公益財団法人慈愛会

年　報

第7号

2022年度

公益財団法人慈愛会

医療理念

医療の原点は、慈愛にあり。

母が子を慈しみ育てる心、愛を持って病める人の苦しみを除く。
慈しみ、愛する心、その素朴で純粋な気持ちが慈愛会の医療理念です。

患者様を肉親と思い医療の達人（プロフェッショナル）を目指します。
同時に
全職員の物心両面の幸せを追求します。

基本方針

公益財団法人慈愛会は「医療理念」を実践するために
５つの項目を掲げて質の向上を図っています。

１．医療を通して地域社会へ貢献します。
２．良心的な高度医療を提供します。
３．心に届く慈愛の看護を実践します。
４．快適な医療環境を提供します。
５．働きがいのある職場環境を目指します。

目次

巻頭言

公益財団法人慈愛会　理事長　今村英仁 …… 2

公益財団法人慈愛会　会長　納光弘 …… 3

総　括

今村総合病院 …… 5

いづろ今村病院 …… 7

谷山病院 …… 8

奄美病院 …… 8

徳之島病院 …… 9

介護老人保健施設　愛と結の街 …… 10

慈愛会在宅支援部 …… 10

鹿児島中央看護専門学校 …… 11

慈愛会クリニック …… 12

七波クリニック …… 12

高麗町クリニック …… 13

かごしまオハナクリニック …… 13

概　要

法人・病院施設概要 …… 14

病院施設別職員数 …… 19

職種別常勤換算人員表 …… 20

病院施設指標

今村総合病院 …… 21

いづろ今村病院 …… 28

谷山病院 …… 36

奄美病院 …… 42

徳之島病院 …… 47

介護老人保健施設　愛と結の街 …… 50

慈愛会在宅支援部 …… 54

高麗町クリニック …… 55

慈愛会クリニック …… 56

七波クリニック …… 57

かごしまオハナクリニック …… 57

鹿児島中央看護専門学校 …… 58

法人業績一覧

論文 …… 59

学会発表 …… 69

第 2 回慈愛会学会学術集会 …… 86

研究会・講演会 …… 90

受章・受賞 …… 102

マスメディア …… 103

公的研究 …… 105

医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」 …… 106

慈愛会専門研修プログラム …… 107

部門別　事業報告(PDCA)　総括　指標　業績一覧

看護部門 …… 108

リハビリテーション部門 …… 132

薬剤部門 …… 149

画像診断 / 放射線治療部門 …… 156

臨床検査部門 …… 162

栄養管理部門 …… 168

ソーシャルワーカー部門（JSW） …… 174

臨床工学部門（CE） …… 188

総務人事部門 …… 190

医療情報室　慈愛会総合情報システム（J-TIS） … 197

教育開発センター …… 200

2022 年度　主なトピック

日本医療マネジメント学会

第 20 回九州・山口連合大会を開催して …… 216

一年のあゆみ

1．慈愛会の新型コロナ対応 …… 217

2．新型コロナウイルス感染症陽性患者（入院）、診療・検査医療機関（発熱外来）の受け入れ、ワクチン接種（個別接種、職域・集団接種）への対応 …… 219

3．地域医療機関支援等コロナ対応にかかる人材派遣 …… 219

4．慈愛会各施設の一年のあゆみ …… 221

編集後記

巻頭言

公益財団法人慈愛会
理事長　**今村　英仁**

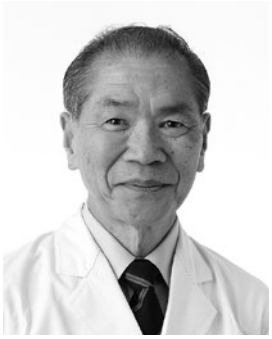
新型コロナ禍も丸３年が経過してようやく感染症の２類相当から５類へ変更となりました。ただし、医療機関におけるコロナ対策は原則今までと変わることはありません。医療機関のご利用者は皆さん感染症に対する免疫力は健常な方に比べて劣っており、新型コロナが５類になっても罹患すると致死的なウイルスであることには変わりありません。医療スタッフは有事の対策を継続しつつ、平時の一般診療を行わなければならない今まで以上に厳しい対応を求められます。そのような環境下にあっても 2022 年度の年報をしっかりと作成してくださった慈愛会スタッフの皆さんには心から感謝申し上げます。この３年間の年報は将来新たな感染症による有事が発生した際にも必ず役に立つことは間違いないと考えます。

今回の有事を契機に当法人は感染症にも強い法人を目指して体制整備を行っていきます。幸い、当法人の総合内科は ER 救急を開始した時から感染症対策には力を入れており、他の施設で診断がつかなかった異所性の感染症をしっかりと診断・治療が出来る内科として知られています。また、感染症専門医も常勤勤務しています。さらに、今回の新型コロナ禍では当法人の感染管理認定看護師が鹿児島県全域で大活躍してくれました。2023 年度からは臨床検査センターと協力しながら感染症対策整備に一層力を入れていきます。

2022 年度は、有事の新型コロナ禍対策に引き続き力を入れつつも、一般診療についても最大限力を発揮してくれました。今回の年報でもそのことが確認できます。

2023 年度はいよいよポストコロナ時代の医療が始まります。これまでの経過を踏まえつつ未来に向かって進むためにもこの年報作成作業は大事です。この年報がポストコロナ時代の当法人の発展に寄与することを願っています。

巻頭言



公益財団法人慈愛会
会長　**納　光弘**

今年は新型コロナウイルスが猛威をふるい、今村総合病院、いづろ今村病院、谷山病院、ならびに奄美病院では院内クラスターが発生し、その他の施設やクリニックでも新型コロナウイルス感染症の多大の影響を受けた年でした。そういう中でも、皆が一丸となって、これを乗り越えることが出来たことは、評価に値すると言えましょう。

コロナ禍の制約のなかでも、病院見学の学生が県内のみならず、県外の大学からも多数来てくれて、今村総合病院の初期臨床研修プログラム･錦江湾プログラムでは今年も 10 人の定員がフルマッチとなったことも、今村総合病院の底力を示すものと言えましょう。

本来、この年報では、2022 年度のまとめをすることになっていますが、この巻頭言のすぐ後に帆北修一名誉院長が縷々述べてくださっているように、今村英仁理事長が日本医師会常任理事に就任されたことに伴う体制の強化について、触れたいと思います。すなわち、帆北先生が理事長補佐に就任され、理事長と連携して、慈愛会の各施設と連絡を取り、また、鹿児島大学の教授や医局とも連絡を取り、すでに、これが多大の成果に繋がっているのです。また、慈愛会の理事のお一人である星北斗先生が福島県から参議院議員に当選され、星先生と今村理事長の連係プレーが政府の医療政策にも影響を与えつつあることも特筆に値することと思います。

今年も今村理事長のリーダーシップのもとで、皆の力を結集して、慈愛会の発展に向け頑張りましょう！

総　括

今村総合病院

名誉院長　**帆北　修一**

2022年の今村総合病院の言葉として、老子の言葉から「**天長地久**：天は長く地は久し」を選びました。「天と地が永久に存在するように、物事がいつまでも変わらないこと、また永遠の存在であること」という意味です。慈愛会の各施設が、永遠の存在となるように、という意味を込めて「天長地久」を選びました。

2022年は「壬寅（みずのえとら）」で安定性や落ち着きを持ちながらも、はっきりと決断できる年だそうです。慈愛会および各施設では､2022年度からの第３次５カ年計画（中長期計画）を策定しました。テーマは「進化・深化」です。その根幹となるのは「有事でもびくともしない組織作り」です。2022年６月に今村英仁理事長が九州ブロックの代表として日本医師会常任理事となりました。東京ならびに各地での業務が多忙ですが、しっかりと慈愛会の事を考えていただいております。今村英仁理事長の方向性のもとに、今村総合病院としては、この変化に対してスピード感をもって的確な対応をして、安全でより質の高い医療を提供できるように心がけております。多くの情報が氾濫していますが、正しい情報を正確にかつ迅速に伝えることが重要であると考えております。

新型コロナウイルス感染症については、３年目となり、オミクロン株に変異してさらに感染力が強くなりました。新型コロナウイルス対策をしっかりと行ってきましたが、2022年春、夏、冬と今村総合病院では３回のクラスターが発生しました。40名近くの委員からなる対策本部会議を連日開催し、対応を協議し情報の共有化を行いました。院内でクラスターが発生すると、一部の診療を停止せざるを得ない状況となりましたが、患者さん・職員の健康維持のためには必要であったと考えます。職員の皆さんの協力により３回のクラスターは収束することができましたが、患者さん、ご家族の皆さんには大変なご迷惑・ご心配をおかけいたしました。

2022年度には救急車の受け入れ台数が2930台でした。これは４月、８月のクラスターのために救急受け入れを一時停止した影響です。手術件数は2286件で、８月のクラスターの影響と考えられます。トモセラピーによる放射線治療件数は3427件でした。抗がん剤による外来化学療法は延べ件数で3417件でした。悪性腫瘍手術は413件で、放射線科ではトモセラピーによる放射線治療・血管塞栓・動注療法等の悪性疾患に対する集学的治療を幅広く行っています。

脳卒中センターでは、脳神経内科と脳神経外科が一体となり、tPA投与21例、超急性期血栓回収術10例に対して治療を行っています。血液内科は、造血幹細胞移植実施件数が42件でした。例年よりやや減少しましたが、新型コロナウイルス感染症による影響が大きいと思われます。泌尿器科では、2022年から前立腺がんに対する密封小線源療法を開始いたしました。小線源治療は現在鹿児島県では当院だけが実施可能医療機関です。前立腺がんに対する治療法として、腹腔鏡・ダヴィンチXi、小線源治療、トモセラピーと幅広い治療法の選択が可能となりました。総合内科（膠原病・リウマチ疾患を含む）・感染症内科・消化器内科・消化器外科・スポーツ整形外科・眼科・腎臓内科・透析・循環器内科・皮膚科・リハビリテーション科・産科・婦人科・精神科・歯科口腔外科等各診療科が医療の質

を高いものして、スピード感をもって安全・安心な医療の提供を行えるように努力いたしております。

教育に関しては、初期研修医を毎年10名の定員枠で受け入れ育成する基幹病院です。さらに内科専攻医を対象とした研修基幹病院でもあります。各診療科が大学の関連施設として専攻医の教育にも努力しています。看護師特定行為指定研修病院であり、特定看護師の育成にも努力しております。2022年4月からは4期生が研修を行っています。

2022年5月10日に垂水市との包括連携協定を締結し、2022年10月からは垂水市の子宮がん検診の個別検診（病院検診）が当院及びいづろ今村病院で開始されました。産婦人科医師による垂水市報への医療コラム掲載や垂水市への出張講座も行っています。

2017年新病棟オープン後からモニター会議や病院内での健康まつり等の行事を行ってきましたが、より地域に密着した連携強化として鴨池コミュニティ協議会との包括連携協定の締結を6月16日に行いました。残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大のためこれまで行ってきた様々なイベントを行いにくい状況でしたが、2023年には再開したいと考えています。

保育園も感染対策をしっかりとして対応していただきました。関連施設としての七波クリニックは糖尿病専門外来で、かごしまオハナクリニックは在宅医療を行っております。いずれのクリニックもそれぞれの特色があり、患者さんの基礎疾患や環境が病院とは異なる方々ですが、しっかりと感染対策を行って通常診療を行う事が出来ました。

2022年11月3－4日、かごしま県民交流センターで日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会を現地開催いたしました。テーマは「医療マネジメントの維新～燃ゆる思いで～」としました。スタッフを含め約900人以上に参加していただきました。今村総合病院はじめ、慈愛会の皆さんの協力があり無事終了する事が出来ました。参加された方々から良い学会であったとのお声をいただきました。

2023年の今村総合病院の言葉として「**修己治人**：己を修めて人を治めるの道を以てす　『大学』」を選びました。個人の修養から始まり家庭の道徳、社会の倫理を正すという意味です。『大学』は『修身・斉家・治国・平天下』の段階的に発展する政治思想の要諦を述べた書物であり、身近な自分の事柄から遠大な国家の理想までの事が書いてあります。非常に簡潔にまとめられていて、『大学』で重視されたのが『徳』だそうです。『徳』とは「自己の最善を他者に尽くしきる事」だそうです。

2023年5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は、感染症法上2類相当から5類へ移行することが決まっております。しかし、ウイルスが消失するわけではありませんので、医療機関における感染対策はこれまでとほぼ同等の対応が必要だと考えます。行政の関与がこれまでより少なくなる事が予想されますので、しばらくの間は現場では混乱が予想されます。今村総合病院では5月8日以降の対応策を、病院全体・各部署別に2月から検討し、対応のマニュアルを作成いたしました。

小生は2023年3月までで今村総合病院の院長を退任いたしました。5年間院長職を務めさせていただきましたが、職員の皆さんと一緒に過ごすことが出来まして、心より感謝しております。4月からは、常盤光弘院長の陣頭指揮でますます今村総合病院が大きく成長することを期待しています。2022年6月に今村英仁理事長が日本医師会常任理事となり、鹿児島での仕事をする時間が十分でないとのことで、小生が理事長補佐として業務を行う事になりました。慈愛会全体を俯瞰しつつ少しずつではありますが、努力したいと考えております。今村総合病院はこれからも地域に密着した高度で専門的、かつ安全・安心な医療を提供できるように職員一同頑張りますので宜しくお願い申し上げます。

いづろ今村病院

前院長　**常盤　光弘**

（2023 年 4 月より今村総合病院院長 兼 急性期病院統括院長）

2022 年 4 月から 2023 年 3 月まで院長を務めさせていただきました。就任当初からハード面においては、年度内に病棟・病床機能再編をやり遂げることを目標にしておりましたが職員各位の協力のおかげで 2023 年 2 月に終了しました。一般急性期（DPC 病棟）35 床、地域包括ケア 58 床、緩和ケア 22 床とすっきりとした陣容にまとめました。

この 1 年の病院管理指標をふり返ってみると病床利用率は年度目標に大きく及ばなかったものの、入院単価や新入院患者数、平均在院日数、眼科手術件数等において目標を大幅にクリアし外来単価上昇と外来患者数増加も認められたため 2022 年度予算を達成することができました。全職員に改めて感謝の意を表したいと思います。

当院では、115 床の病床でありながら 10 科の入院担当科を擁し、2022 年度は平均在院日数 12 日程度（一般急性期のみであれば 8 ～ 9 日）という高回転を維持しました。月に 200 ～ 240 名にのぼる新入院患者のベッドコントロールをこなし、現場の医師・看護師はもちろんのこと地域連携室スタッフの苦労は並々ならぬものであったと感じています。本来であれば病床利用率の上昇が予測される冬場の 1 月、2 月でありましたが、1 月 6 日に新型コロナウイルス感染症の院内クラスターが発生し入退院制限を余儀なくされました。最終的には病院スタッフ 12 名、患者 13 名の感染が確認されましたが、これに対しても職員の昼夜を問わぬ一致団結した総力戦において、12 日間の短期間で終息宣言を出すことができました。転院を引き受けていただきました今村総合病院と、我らいづろ今村病院の全職員に心から感謝申し上げます。また 2 月には病棟再編のための工事が本格化し短期集中で施行された結果、病室の使用制限も一部に発生し稼働がやや低迷しました。

私は就任当初から、我々の存在する目的は一人でも多くの人を幸せにすること、一人でも多くのスタッフを医療界で活躍できる人材に育て上げること、と発言してきました。その目的を達成していくためにすべての職員が今、何をなすべきかを考え行動することができたからこそ、今年度のいづろ今村病院があったと考えています。

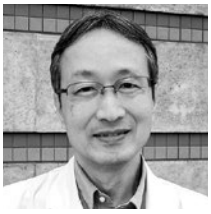
おそらく、2023 年度も新型コロナウイルス感染症の影響は色濃く残り続け、世界情勢の混迷もあって、我々の医療業界の先行きも不透明な状況から脱却できないでしょう。そのような中でも、職員の皆さんには変化を見極めそれに対応しながらも真摯さを失わず目的を果たし続けていただきたいと願っています。2023 年度から院長、看護部長の交代もあり新体制での新たな船出となります。ますます充実したいづろ今村病院へと発展することを祈念しています。

今村総合病院 院長 兼 急性期病院統括院長就任にあたり

2023 年 4 月から上記職に就任させていただきました。私ごときがこなせる役目だろうかと自分自身が不安に感じていることは否めません。しかし我々慈愛会には数多の優秀な職員がいます。私どもの役目は、職員の皆さんがそれぞれの目的をしっかりと意識しながら、いきいきと、かつ効率的に、職場だけでなく家庭でも地域でも活躍し貢献できる環境を整えることであると考えています。来年度には創立 90 周年を迎える慈愛会を皆で益々盛り上げる一翼を担えればうれしい限りです。

谷山病院

院長　**福迫　剛**



2022 年度の谷山病院は、前年よりさらに苦しい一年でした。原因は、新型コロナウイルス感染症のクラスター発生。第７波で、Ｂ２病棟、第８波では、Ａ２病棟、Ａ３病棟、Ｃ４病棟、Ｃ５病棟、Ｃ６病棟と一挙に感染が広がり、死者も３名出ました。そのため、病床利用率は低下したままで、診療収入は減りましたが、今年度も色々な補助金のお陰で、収益は何とか維持できました。

その他は、精神科救急の地域拠点病院として時間外を 184 件（内 132 件入院）受け入れたり、認知症疾患医療センターとしてかかりつけ医や地域包括支援センターと連携を図ったり、結核を合併した精神障害者を２名、新型コロナウイルス感染症を合併した精神障害者を 58 名（内５名死亡）受け入れたり、社会復帰施設と連携して長期入院患者さんの地域移行・地域定着を支援したりと、いつものように頑張りました。職員全員が患者さんのため、慈愛会のために、一生懸命働きました。

2023 年度は、新型コロナウイルス関連の補助金はないので、病床利用率を上げて、結果が残せるように、努力を継続していきたいと思います。

奄美病院

前管理者　**杉本　東一**

2022 年度も新型コロナウイルス感染症が奄美病院グループの収益面のみならず、運営そのものに多大な影響を及ぼしました。入退院や面会の制限、精神科作業療法・デイケアの休止等を余儀なくされた中、院内クラスター（感染者集団）が６～９月に発生。休床病棟を活用したゾーニング、グループ事業所からの応援など、過去に例のない規模の感染拡大防止対策に追われました。

張り詰めた緊張感が続く過酷な環境下で日々の業務に励まれた職員の皆さんには、改めて慰労と感謝の言葉を述べたいと思います。

そのような中、当院は重点目標として年度当初に▽精神科版地域包括ケアシステムの充実▽在宅部門の充実▽地域社会との積極的関わり▽健全経営と業務改善による生産性向上―を設定しました。

病床利用率は計画目標（92.1％）を下回り 85.5％にとどまりました。慢性的なマンパワー不足やコロナ禍も要因の一つとはいえ、離島の精神科中核医療機関として果たすべき役割、さらには経営安定化を図る上でも目標達成が最重要課題と捉えております。喜界島の巡回診療や無料健康相談の開催、グループホームと障害者用賃貸住宅の複合施設整備についても引き続き努力を重ねて参ります。

「長期入院患者の退院促進」は年間６名が退院し、目標（６名）を達成できました。また、直接対面を避けるための遠隔会議が定着したことで出張業務の効率化（働き方改革）や予算削減につながり、離島の私共には思わぬ副産物となりました。

本年度はこれまで以上に感染管理対策の重要性を痛感する日々でした。病原体は目に見えないだけに、ともすれば対策の手が緩みかねません。今後はコロナ禍からの脱却にとどまらず、一連の経験から得た知見を BCP（事業継続計画）に反映させつつステップアップしていけるようグループ一丸となって努めて参ります。

徳之島病院

院長　末満　純一

皆さんこんにちは。新型コロナはやっと目途がつきそうになりましたが、先が見えないのが我々の徳之島病院です。2020 年度までは何とか黒字でやってこられましたが 2021 年度を境に赤字に転落してしまいました。これの一番の原因は少子高齢化に伴う人口減少（必然的に患者数も減少します）にあると考えます。また看護師数、医師数、その他パラメディカルの不足、特に看護師の絶対数不足により、これまでの病棟維持が困難な状況となり現在 1 つの病棟を休床とし 138 床でやっています。この規模に対して入院患者数 130 人、外来患者数一日平均 45 人がギリギリの採算ラインです。病棟を休床にしても看護師の勤務が組めないぐらいの状態で、ついには看護基準を 20 対 1 に変更することを余儀なくされました。そんな中、あるスタッフが「人手不足は理由にならない！業務の流れを効率よくすれば解決できる！」と頼もしいことを言ってくれました。こう言ってくれるスタッフがいることに救われる思いでした。

また「就労継続支援 B 型事業所」の開設を目指しておりましたが、世界情勢により思わぬ物価上昇があり建設費用高騰のため計画が宙ぶらりんの状態になってしまいました。そこに幾分かの生き残りへの光を求めていたのでしたが、、、、。

一方で、2023 年度なんとか「訪問看護ステーション」の新規開設にこぎつけることができ希望の光が見えてきました。

このように勤務のやり繰りのきつい中で沖永良部島、与論島への訪問看護・巡回診療がコンスタントにできたことは、島の人達の想いに沿えて満足出来ることでした。

この膠着した赤字状態を数年後には好転出来ないものか、経営に疎い我々では限界があり病院経営の第三者的プロを交えて考えていければいいなあと振り返っています。

介護老人保健施設 愛と結の街

施設長　**野村　秀洋**

本年度は、第３次マスタープランに掲げた「人生 100 年時代」「2040 年問題」を見据え地域とともに歩むことが出来る組織の確立の実現に向け、１年目の取り組みを終えました。

本年度もコロナ災禍の影響は色濃く残ったものの、クラスターを発生させること無く、愛と結の街グループ職員全員が一丸となり乗り越えることができました。

業績につきましては老健の入所利用率は年間平均 95.5％の高稼働を維持し、且つ本年度より再開した、１日型の通所リハビリが地域の皆様のニーズに応える形となり、利用率を大幅に伸ばす結果となりました。

また超強化型老健としての評価（在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価 70 ポイント以上）も 79 ポイントの指標を維持取得出来ています。

愛と結の街グループは老健を中心に多様な併設事業所（居宅介護支援センター、デイサービス、グループホーム、訪問介護、住宅型有料老人ホーム）がそれぞれの特性を生かし協働することで谷山地区における「地域包括ケアシステム」の拠点としての役割を更に高めつつあります。

今後もグループ全施設が地域の皆様から信頼され、選ばれる存在となることが出来ますよう職員一丸となって歩みを進めて参ります。

慈愛会在宅支援部

在宅支援部長　**中薗　明子**

2022 年４月１日　笹貫訪問看護ステーション愛の街は、介護老人保健施設愛と結の街グループより慈愛会在宅支援部として独立しました。事業内容は大きく変わることはありませんが、更に法人内外の事業所との連携強化が図れることを目指して取り組みました。コロナ禍の中、感染に気をつけながら訪問看護を実施していき、実績を残すことができました。改めて地域で暮らす利用者への支援として訪問看護の重要性を認識する機会となりました。

また、人員不足により、同行訪問などに十分な訪問看護が提供できない時期もありましたので、次年度も人員確保と育成、訪問看護の質の向上を図り、認定・特定看護師の活用推進にも力を入れていきたいと思います。地域にとって必要な医療機能を提供していく事業所となれるよう取り組んでいきたいと思います。

鹿児島中央看護専門学校

校長　**今村　英仁**

副校長　**久徳　美鈴**

鹿児島中央看護専門学校では、2022 年度、第３次マスタープラン「医療の高度化、超高齢社会に対応し、地域住民の医療に貢献できる看護師の養成」の事業目標に向かって、３つの事業計画に沿い、取り組みを行いました。本年度は、特に新カリキュラム適用開始となり、私達の想いを教育活動に落とし込んでいく年でした。20 期生 45 名を迎え入れ、慈愛のこころを基盤に、８つの力を育み、地域に必要とされる実践力の高い看護人材の育成に向かって様々な取り組みを行いました。中でも「地域・島しょの暮らし・看護の実際にふれる学習」は、学生達が地域に暮らす人々と暮らしや文化にふれ、地域における看護の役割を考える機会となりました。また、学生達が主体的・能動的に学ぶ教育活動の推進において、新カリが目指す臨床判断等育成に向けてシミュレーション教育や、技術マニュアルを活用し、技術習得に向けて取り組みました。

本年度も新型コロナ感染症拡大の影響を受ける中での学校運営でしたが、各講師の方々や慈愛会関連施設の協力もあり、３学年の年間教育課程を無事終えることができました。

学生支援においては、先駆的に取り組んでいる ICT 推進や放送大学で学ぶ学生の支援に力を入れました。放送大学で学ぶ学生は 27 名となり本校の強みとなってきました。また国家試験対策支援や学生一人ひとりへの先生方の細やかな学業継続支援によって、休退学も少なく、国家試験合格率も 98.1％と高い合格率を維持できました。

2023 年度も、新カリキュラムが本校の価値をさらに高めるものとなるよう、教員間や実習受け入れ関係者と教育ビジョンを共有しながら教育活動を実施していきます。

慈愛会クリニック

院長　**今村　尚子**

2022 年度も、コロナウイルスと向き合う年でした。通常診療に加えて、コロナウイルスワクチン・インフルエンザワクチン接種を行い、感染予防の徹底をこころがけてきました。

患者数は、昨年より減少していますが、透析予防指導件数は増加しました。透析予防に関する指導を行った患者においてクレアチニン・eGFR と血圧の改善または維持が認められたものの割合は、昨年に引き続き前年より高くなりました。患者様がコロナ禍で自宅で過ごす時間が多くなった時期にも関わらず、結果が出せたのは、限られた接触の中で適切な指導を行った結果の表れだと思います。

今年度は、コロナ対応は変化していきますが患者様自身に届く指導はこれまでと同様実施していきます。

七波クリニック

院長　**鮫島　久子**

2022 年は 1 ヶ月平均患者数 1,122 名で（1 日平均 46 名、前年度 45 名）、若干の増加を認めました。新型コロナウイルスワクチン接種を 2 回実施、例年のインフルエンザワクチンを合わせ、年に 3 回の接種を行いました。待合場所、待ち時間、スタッフの確保等においてうまくいかないところもあり、全員でカバーを行いましたが、職員の COVID-19 感染により残業を余儀なくされています。ミーティングや勉強会開催を心がけましたが不十分な印象でした。糖尿病治療とその合併症治療は今年も新薬発売や指導の見直しなど変化があります。2023 年度は自己啓発活動だけでなく患者会の参加開催を行いたいです。

高麗町クリニック

院長　**木原　浩一**

2022 年 7 月に斧渕前院長から引き継ぎ、在宅療養支援診療所として在宅医療を実践して参りました。2021 年、2022 年と院長交代が続いた混乱もあり契約患者数が 9.5％減少しました。また 6 － 3 月は水曜日の訪問診療を休止せざるを得なかったこともあり、訪問診療・往診による診療報酬が前年度比で 13.8％の減収となりました。訪問リハビリ利用者数も 19.3％減少し、その報酬も 18.4％の減少という結果でした。法人内外からの患者紹介を頂きながら､それにお応えできず忸怩たる思いをして参りました。その一方で、昨年度途中から血液生化学検査の発注先を外注から今村総合病院へ移行し、慈愛会の中で病診連携を図るための基盤を強化して参りました。2023 年度は水曜日にも訪問診療を開始し、これまでカバーしきれなかった地域の患者の皆様もお引き受けしたいと考えています。

かごしまオハナクリニック

院長　**林　恒存**

2022 年度は当初から COVID-19 流行が様々に業務に影響し、かかりつけの責任を継続的に果たせる体制づくりの重要性を実感した 1 年でした。感染拡大予防と在宅療養者の診断・治療に奔走し、また濃厚接触によるスタッフ就業制限時は、今村総合病院からのスタッフ応援をいただくことができ心から感謝しております。通年で 1000 名余のかかりつけの方の定期外来診療と、180 名余の在宅療養契約者を月平均延べ 320 件訪問診療し、結果的には右肩上がりの収益と診療実績を達成できましたが、クリニックとしての継続的な発展には、近年よく耳にする SDGs の視点での BCP 策定が不可欠であることを身をもって実感しました。そこで 2023 年度は①業務の標準化②デジタル化③人材育成を 3 つの柱として、有言実行の 1 年にしたいと思います。

概　　要

公益財団法人慈愛会

主たる事務所
〒892-0822
鹿児島県鹿児島市泉町1番15号
従たる事務所
〒890-0064
鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号

理事長　今村　英仁
事業所　5病院
1介護老人保健施設
1看護師養成所
4診療所
18併設事業所

職員数　2,373名（2023年3月1日現在）
病床　1,589床
うち病院ベッド数1,489床
介護老人保健施設入所定員100床

今村総合病院

管　理　者　（2023年3月まで）帆北　修一
（2023年4月から）常盤　光弘
所　在　地　〒890-0064　鹿児島県鹿児島市鴨池新町11番23号
T　E　L　099-251-2221
病　床　数　428床（一般330床、回復50床、精神48床）
標榜診療科　内科、救急科（総合内科）、血液内科、糖尿病内科、腎臓内科、人工透析内科、脳神経内科、外科、消化器外科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、ペインクリニック内科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、気管食道･耳鼻咽喉科、脳神経外科、整形外科、放射線科、精神科、病理診断科、麻酔科、小児科、産科、婦人科、歯科口腔外科、腫瘍内科、感染症内科、肝臓内科

指定医療機関等
- 臨床研修病院
- 救急告示病院
- 生活保護法指定医療機関
- 被爆者一般疾病医療機関
- 労働者災害補償保険法指定医療機関
- 公害健康被害補償法による医療機関
- 障害者自立支援法による医療機関（更生医療・精神通院医療）
- 特定疾患治療研究事業委託医療機関
- 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
- 鹿児島県がん診療指定病院

学会等認定施設
- 日本プライマリ・ケア連合学会認定新家庭医療後期研修プログラム
- 日本透析医学会専門医制度認定施設
- 日本血液学会認定専門研修認定施設
- 日本HTLV-1学会登録医療機関
- 日本消化器病学会専門医制度認定施設
- 日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本ペインクリニック学会ペインクリニック専門医指定研修施設
- 日本脳卒中学会専門医制度研修教育施設
- 日本神経学会専門医制度教育施設
- 日本リハビリテーション医学会研修施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- 日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- 日本精神神経学会精神科専門医研修施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設（連携施設）
- 日本輸血・細胞治療学会認定臨床輸血看護師制度指定研修施設
- 日本輸血・細胞治療学会輸血機能評価認定制度(I&A制度)認証施設
- 日本病理学会病理専門医制度研修登録施設
- 日本臨床神経生理学会認定施設準教育施設(筋電図・神経伝導分野)
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本脳卒中学会認定一次脳卒中センター
- 日本腹部救急医学会腹部救急認定医・教育医制度認定施設
- 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設

概要

・日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間造血幹細胞移植認定診療科―認定カテゴリー１（血液内科）
・日本骨髄バンクならびに日本造血・免疫細胞療法学会非血縁者間骨髄採取認定施設
・日本内分泌学会内分泌代謝科専門医制度認定教育施設
・日本胆道学会認定指導医制度指導施設
・日本リウマチ学会教育施設
・日本大腸肛門病学会関連施設

その他の認定施設

・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（３rdG:Ver.2.0）
・痛風協力病院
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・消化器がん検診精密検査医療機関
・特定行為に係る看護師の研修制度指定研修機関
・日本診療放射線技師会医療被ばく低減施設
・日本診療放射線技師会臨床実習指導施設
・日本専門医機構専門医制度総合診療領域専門研修プログラム
・日本専門医機構専門医制度内科領域専門研修プログラム
・日本医学放射線学会（JRS）画像診断管理認定施設

いづろ今村病院

管　理　者　（2023年 3月まで）常盤　光弘
　　（2023年 4月から）長野　真二郎
所　在　地　〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-226-2600
病　床　数　115床（一般35床、地域包括ケア58床、緩和ケア22床）
　　（2023年 3月　一般42床→７床減床、地域包括ケア53床→５床増床、緩和ケア20床→２床増床）
標榜診療科　内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、血液内科、外科、消化器外科、大腸・肛門外科、婦人科、放射線科、眼科、緩和ケア内科、皮膚科

指定医療機関等

・厚生労働省協力型臨床研修指定病院
・開放型病院
・救急告示病院
・生活保護法指定医療機関
・被爆者一般疾病指定医療機関
・結核予防法指定医療機関
・特定疾患医療指定医療機関
・母体保護法指定医療機関
・母子保健法指定医療機関
・小児慢性特定疾患医療指定医療機関
・労働者災害補償保険法指定医療機関
・人間ドック指定病院

学会等認定施設

・日本糖尿病学会認定教育施設Ⅱ
・日本消化器内視鏡学会専門医制度指導施設
・日本大腸肛門病学会専門医修練施設
・日本眼科学会専門医制度研修施設
・日本がん治療認定医機構認定研修施設
・日本緩和医療学会認定研修施設
・日本総合健診医学会・日本人間ドック学会　人間ドック健診専門医研修施設

その他の認定施設

・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver. 1.1）
・日本人間ドック学会　人間ドック健診施設機能評価認定（Ver. 3.0）
・全日本病病院協会日帰り人間ドック実施指定施設
・鹿児島県救急災害医療情報システム参加登録病院

通所リハビリテーション　ウェルネスじあい

所　在　地　〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-226-5206

指定訪問リハビリテーション　ウェルネスじあい

所　在　地　〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-226-2600

指定居宅介護支援事業所　ウェルネスじあい

所　在　地　〒892-0824 鹿児島県鹿児島市堀江町17番1号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-226-5207

谷山病院

管　理　者　福迫　剛
所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
T　E　L　099-269-4111
病　床　数　392床
標榜診療科　精神科
認定・指定

・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver2.0）
・生活保護法指定医療機関
・身体障害者福祉法による医療機関
・被爆者一般疾病医療機関（原爆被爆者援護法）
・難病医療費助成指定医療機関
・結核指定医療機関
・結核患者収容モデル事業（A2病棟5床）
・肝炎治療特別促進事業
・自立支援医療機関（精神通院医療）
・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
・精神保健福祉法応急入院指定病院
・医療観察法指定通院医療機関
・鹿児島県指定認知症疾患医療センター
・協力型臨床研修病院（医師臨床研修制度）
・精神科専門医制度認定研修施設（日本精神神経学会）
・精神科救急地域拠点病院（鹿児島県）
・災害時支援中心病院（日本精神科病院協会）
・精神科認定看護師教育課程 実習施設（日本精神科看護協会）
・DPAT登録病院（鹿児島県）
・労働者災害補償保険法指定医療機関

就労支援センター　ステップ

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
T　E　L　099-260-5810

地域活動支援センター　ひだまり

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番1号
T　E　L　099-260-5865

グループホーム　しらゆりの郷

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町6番1号
T　E　L　099-266-3214

奄美病院

管　理　者　（2023年 3月まで）杉本　東一
　　（2023年 4月から）納　光弘
所　在　地　〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町170番地
T　E　L　0997-53-1200
病　床　数　348床
標榜診療科　精神科

認定・指定

・公益財団法人日本医療機能評価機構認定施設（3rdG：Ver.2.0）
・生活保護法指定医療機関
・原爆被爆者医療法一般疾病医療取扱病院
・臨床研修医制度臨床研修病院（協力型）
・自立支援医療機関（精神通院医療）
・精神保健福祉法第19条の8に基づく病院（10床）
・医療観察法にかかる指定通院医療機関
・鹿児島県指定認知症疾患医療センター

訪問看護ステーション　イルカ
指定特定相談支援事業所　あゆみ

所　在　地　〒894-0044 鹿児島県奄美市名瀬浜里町171番1号
T　E　L　0997-57-6750（イルカ）
　　0997-57-6633（あゆみ）

指定障害福祉サービス事業所　あらいぐま

所　在　地　〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿佐仁金久2838
T　E　L　0997-54-8911

グループホーム　ひまわり

所　在　地　〒894-0046 鹿児島県奄美市名瀬小宿砂田2879番1号
T　E　L　0997-54-8787

徳之島病院

管　理　者　末満　純一
所　在　地　〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5190番地
T　E　L　0997-83-0275
病　床　数　206床
標榜診療科　精神科
認定・指定
・公益財団法人日本医療機能評価機構認定病院（3rdG：Ver.2.0）
・精神保健福祉法第19条の8（指定病床数８床）
・生活保護法指定医療機関
・医療観察法指定通院医療機関
・自立支援医療機関（精神通院医療）

グループホーム　うんばた

所　在　地　〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津5201番1号
T　E　L　0997-83-2840

介護老人保健施設 愛と結の街

施　設　長　野村　秀洋（いづろ今村病院　名誉院長）

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号
T　E　L　099-260-6060
入所定員数　100床

指定居宅介護支援センター　愛と結の街
ヘルパーステーション　結の街

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
T　E　L　099-267-6818（居宅）
099-267-0177（ヘルパー）

グループホーム　愛と結の街
デイサービスセンター　あしたの風(認知症対応型)

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番28号
T　E　L　099-267-0533（グループホーム）
099-263-6630（あしたの風）

デイサービス　はなぶさ
(通常規模型通所介護事業所)

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町8番3号
T　E　L　099-284-5663

住宅型有料老人ホーム　あいゆいの家

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
T　E　L　099-260-6060

慈愛会在宅支援部

笹貫訪問看護ステーション　愛の街

所　在　地　〒891-0111 鹿児島県鹿児島市小原町9番1号
T　E　L　099-210-0150

慈愛会クリニック

管　理　者　今村　尚子
標榜診療科　内科，糖尿病内科

所　在　地　〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町1番15号1F
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-239-0588

七波クリニック

管　理　者　鮫島　久子
標榜診療科　内科

所　在　地　〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町51番1号
ニシムタスカイマーケット鴨池内テナント
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-284-0610

高麗町クリニック

管　理　者　（2022年 6月まで）斧渕　泰裕
（2022年 7月から）木原　浩一
標榜診療科　内科
・在宅療養支援診療所

所　在　地　〒890-0051 鹿児島県鹿児島市高麗町39番11号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-812-7712

かごしまオハナクリニック

管　理　者　林　恒存
標榜診療科　内科

所　在　地　〒890-0064 鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-263-8787

鹿児島中央看護専門学校

校　　長　今村　英仁

3 年課程看護科

定　　員　1学年40名

所　在　地　〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町12番7号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　099-227-5330

病院施設別職員数　2023年3月1日現在　（　）は非常勤・パート

	医師		看護部		診療支援部		事務員		その他職員		合計：実働
今村総合病院	114	(59)	450	(26)	224	(10)	111	(13)	24	(14)	1045
七波クリニック	1	(5)	4	(4)	1	(1)	5	(1)			22
かごしまオハナクリニック	2	(1)	4				5				12
いづろ今村病院	25	(34)	136	(10)	64	(5)	40	(7)	2		323
慈愛会クリニック	1	(4)	2	(3)	1		4				15
谷山病院	12	(21)	169	(6)	58	(9)	19	(1)	4		299
就労支援センターステップ			2		11		2				15
地域活動支援センターひだまり			3		7					(1)	11
グループホームしらゆりの郷			4		3		2				9
奄美病院	7	(7)	117	(6)	38	(16)	16		7	(1)	215
指定特定相談支援事業所あゆみ			1		3						4
訪問看護ステーションイルカ			8				1				9
グループホーム ひまわり			3								3
指定障害福祉サービス事業所 あらいぐま			13		1		1				15
徳之島病院	3	(5)	56	(10)	28	(3)	10		9	(4)	128
グループホームうんばた			2				1				3
介護老人保健施設愛と結の街	1	(4)	44	(12)	24.8	(6)	6		2	(5)	104.8
居宅介護支援センター愛と結の街			5.2				2				7.2
グループホーム愛と結の街			14.9	(1)							15.9
ヘルパーステーション結の街			5	(8)							13
デイサービスあしたの風			4.6	(1)							5.6
デイサービスはなぶさ			4.5	(5)							9.5
住宅型有料老人ホーム あいゆいの家				(4)							4
在宅支援部 笹貫訪問看護ステーション愛の街			10	(3)	5		1				19
高麗町クリニック	1	(1)	4		2		3			(1)	12
鹿児島中央看護専門学校							4	(1)	11	(2)	18
法人事業本部	2		5				27	(2)			36
合　　計	169	(141)	1071.2	(99)	470.8	(50)	260	(25)	59	(28)	2373

職種別常勤換算人員表（年度推移：人）

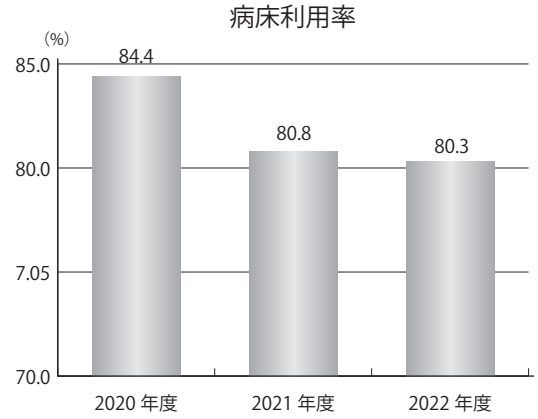
	職種	2020年度	2021年度	2022年度
1	医師	184.8	188.8	193.4
2	歯科医師	1.6	1.6	1.6
	診療部	186.4	190.4	195.2
3	保健師	6.4	5.9	6.9
4	助産師	13.8	11.1	11.3
5	看護師	803.4	827.4	802.5
6	専任教員	24.3	23.2	11.7
7	准看護師	48.5	46.7	40.9
8	看護助手	118.5	122.9	112.2
9	介護福祉士	168.3	169.7	171.2
10	介護支援専門員	10.0	9.8	8.0
11	ケアワーカー	0.0	0.0	0.0
12	ヘルパー	2.1	2.3	2.4
13	歯科衛生士	3.0	2.2	2.2
	看護部	1198.2	1221.1	1169.2
14	薬剤師	46.1	47.4	46.1
15	薬剤師助手	13.4	13.7	12.3
16	診療放射線技師	28.6	29.4	31.4
17	臨床検査技師	40.7	39.7	39.4
18	一般臨床検査士	0.0	0.0	0.0
19	臨床検査助手	1.7	2.0	2.0
20	臨床心理士	6.6	6.7	3.3
21	公認心理師		5.0	5.0
22	理学療法士	63.2	66.7	69.9
23	作業療法士	53.9	53.6	58.8
24	作業療法士助手	0.0	0.0	0.0
25	言語聴覚士	20.0	20.1	20.4
26	音楽療法士	0.4	0.4	0.5
27	リハビリ助手	4.6	4.6	5.7
28	臨床工学技士	18.0	21.3	19.7
29	内視鏡検査士	3.0	3.3	3.7
30	視能訓練士	3.1	3.0	4.0
31	管理栄養士	26.3	27.1	29.0
32	栄養士	14.5	15.0	12.6
33	調理師	63.0	61.1	55.9
34	調理員	26.1	26.5	28.5
35	社会福祉士	13.9	14.9	15.6
36	セーフティーマネージャー	0.0	0.0	0.0
37	精神保健福祉士	45.9	48.2	45.8
38	精神保健福祉士助手	0.0	0.0	0.4
39	柔道整復師	0.0	0.0	0.0
	診療支援部	493.9	505.5	509.1
40	事務員	239.6	244.5	251.1
41	診療情報管理士	12.8	12.3	12.0
42	システムエンジニア	5.0	5.0	5.0
43	売店	4.8	5.0	5.0
44	施設係	35.0	33.3	33.0
45	世話人	0.0	0.0	0.0
46	保育士	18.6	16.9	18.0
47	保育士助手	7.8	8.6	8.7
48	ピアサポーター	1.0	0.8	0.1
49	その他	0.0	0.0	0.0
	事務部	324.6	326.4	332.9
	合計	2203.1	2243.6	2206.3

※公認心理師を2021年度より計上。複数資格保有者については、各病院職員配置表での記載に基づいて換算。

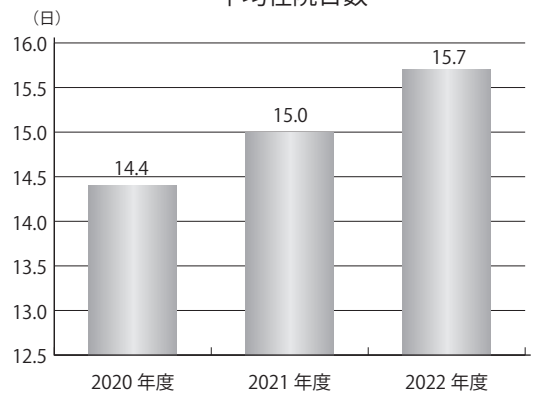
病院施設指標

今村総合病院

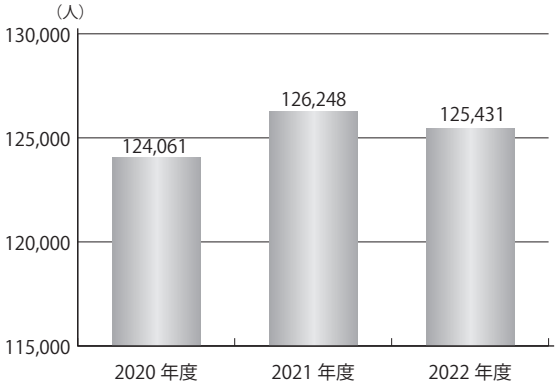
病床利用率



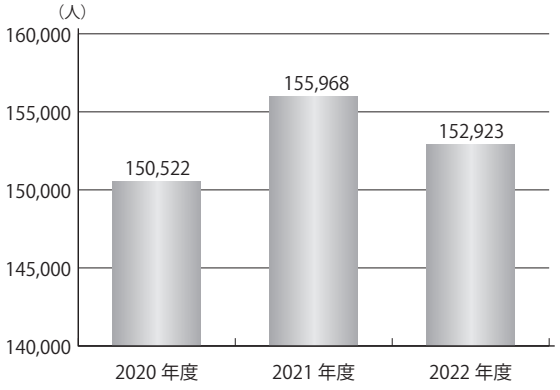
平均在院日数



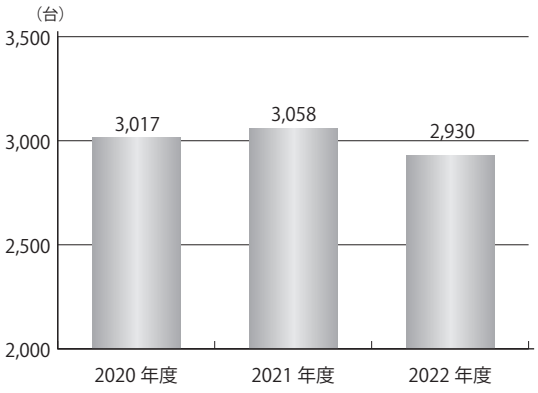
延べ入院患者数



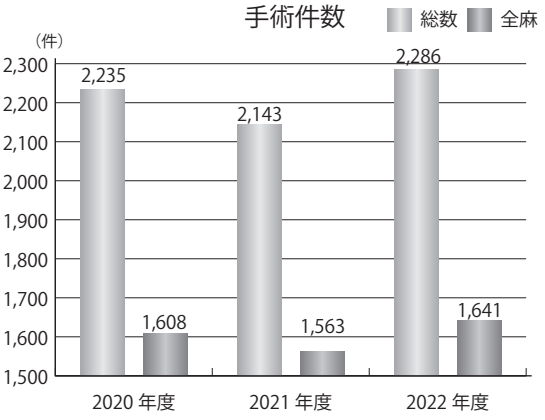
延べ外来患者数

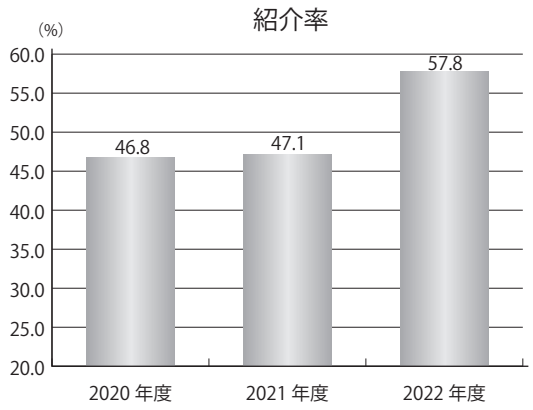


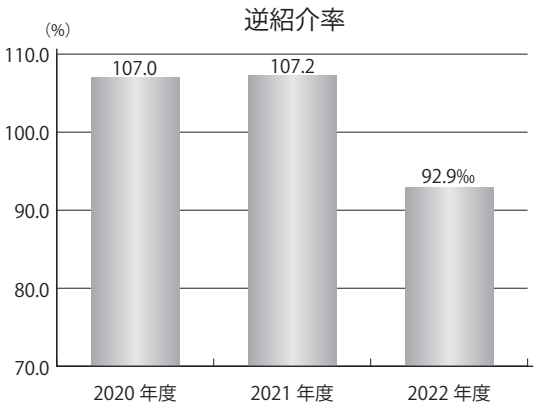
救急車受け入れ台数



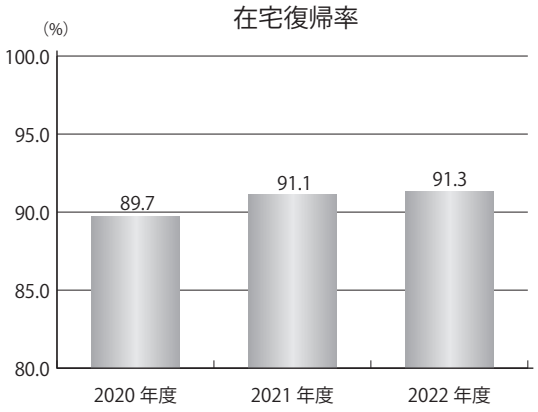
手術件数





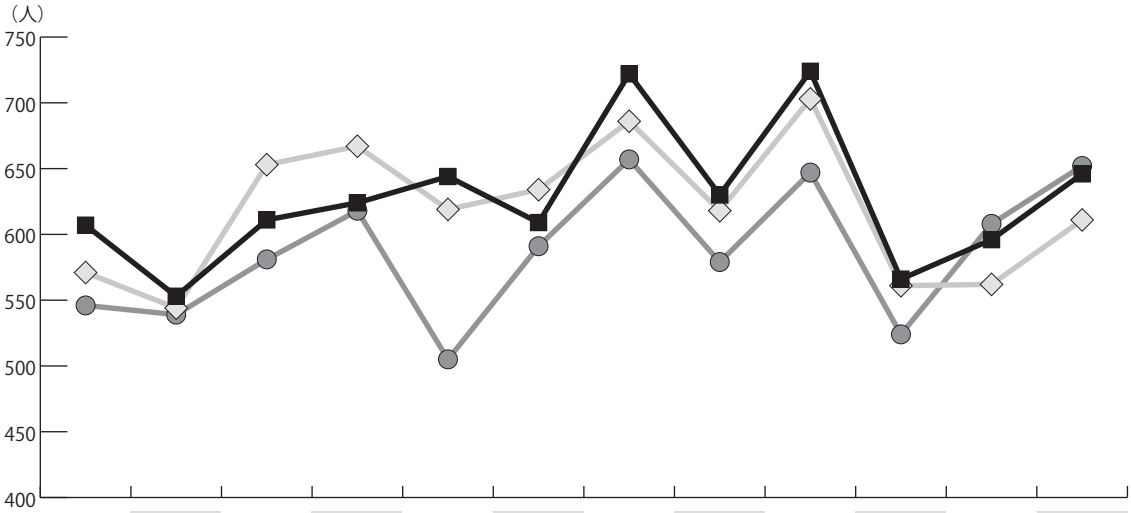


※2022年診療報酬改定により逆紹介率の計算式変更、2022年度データの単位は‰（パーミル）



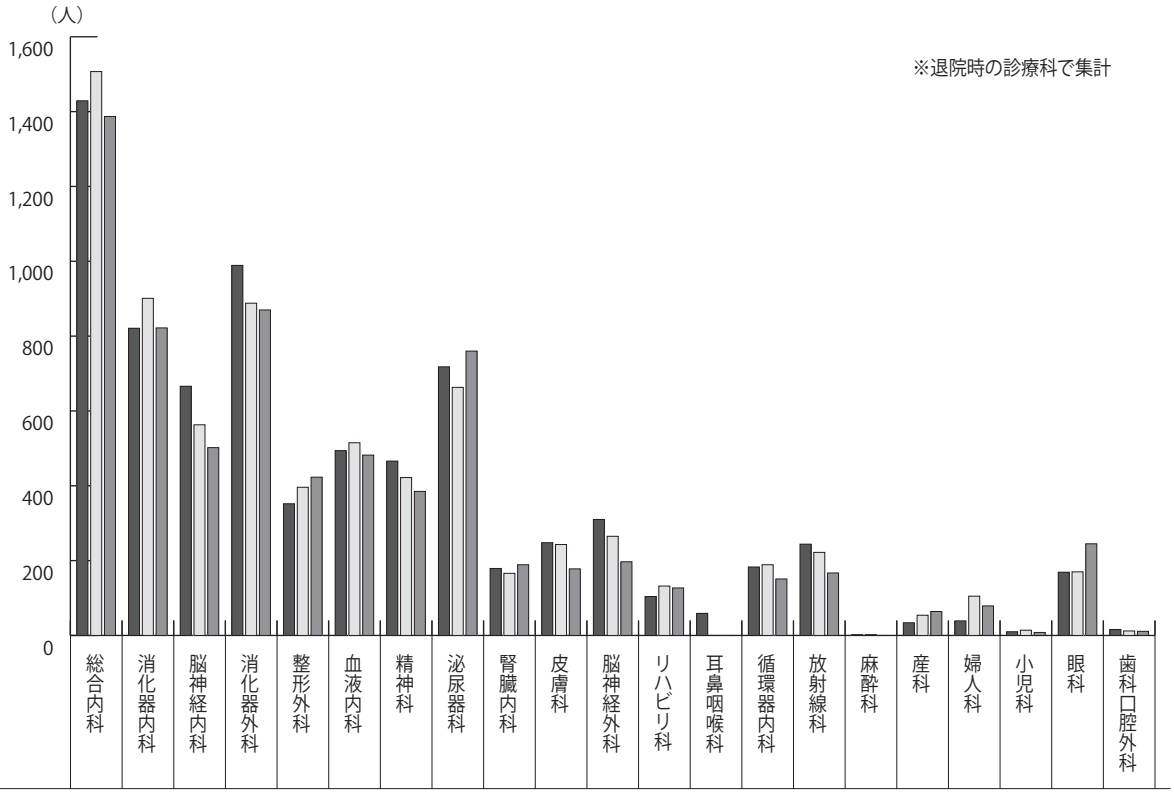
患者動向

年度別月別退院患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年度	607	553	611	624	644	609	722	630	724	566	596	646
2021年度	571	544	653	667	619	634	686	618	703	561	562	611
2022年度	546	539	581	618	505	591	657	579	647	524	608	652

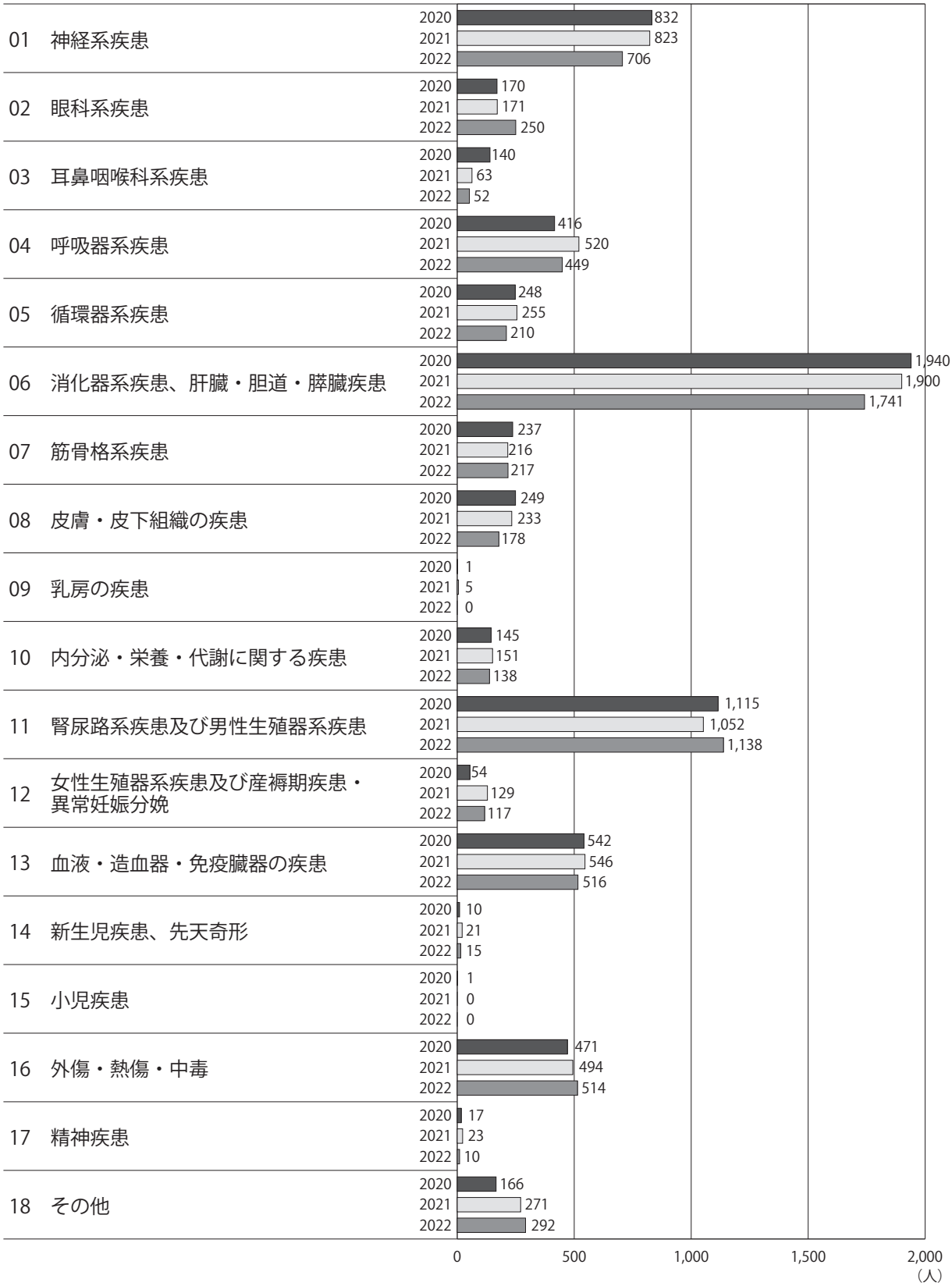
年度別診療科別退院患者数



	総合内科	消化器内科	脳神経内科	消化器外科	整形外科	血液内科	精神科	泌尿器科	腎臓内科	皮膚科	脳神経外科	リハビリ科	耳鼻咽喉科	循環器内科	放射線科	麻酔科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口腔外科
2020年度	1,429	821	666	989	352	494	466	718	179	248	310	104	59	183	244	2	34	39	10	169	16
2021年度	1,507	901	563	888	396	515	422	663	166	243	265	132	0	189	222	2	54	105	14	170	12
2022年度	1,387	822	502	870	423	482	385	760	189	178	197	127	0	151	167	0	64	79	8	245	11

DPC 統計（MDC、ICD）

年度別MDC別退院患者数



ICD-10　大分類による診療科別統計（2020 年度）
2020 年 4 月～ 2021 年 3 月までの退院患者

大分類			総合内科	腎臓内科	血液内科	消化器内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	耳鼻咽喉科	放射線科	脳神経内科	リハビリ科	整形外科	循環器内科	消化器外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	眼科	歯科口腔外科	計
1	感染症および寄生虫症	(A00-B99)	153	3	11	14	0	1	69	0	0	2	0	0	0	9	9	0	1	1	0	0	1	274
2	新生物	(C00-D48)	35	1	411	269	20	193	62	1	176	3	0	3	4	405	46	0	25	0	0	0	1	1,655
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	(D50-D89)	27	1	22	6	0	1	4	0	5	0	0	0	0	5	10	0	0	0	0	0	0	81
4	内分泌、栄養および代謝疾患	(E00-E90)	74	6	3	3	3	1	1	0	1	5	0	0	2	9	15	0	0	7	0	0	0	130
5	精神および行動の障害	(F00-F99)	19	0	2	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	144	0	0	0	0	0	0	171
6	神経系の疾患	(G00-G99)	39	0	1	1	42	0	0	41	2	101	2	0	2	1	16	0	0	0	2	0	0	250
7	眼および付属器の疾患	(H00-H59)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	166	0	191
8	耳および乳様突起の疾患	(H60-H95)	11	0	0	0	3	0	0	0	1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	45
9	循環器系の疾患	(I00-I99)	83	17	2	6	129	6	4	0	13	481	96	0	165	1	12	0	0	0	0	1	0	1,016
10	呼吸器系の疾患	(J00-J99)	351	3	7	2	2	1	2	15	8	4	1	0	2	4	47	0	0	0	0	0	0	449
11	消化器系の疾患	(K00-K93)	97	12	8	461	0	2	2	0	31	0	1	0	2	499	71	0	1	1	0	0	11	1,199
12	皮膚および皮下組織の疾患	(L00-L99)	43	0	0	0	0	2	99	1	1	0	0	2	0	1	9	0	0	0	0	0	2	160
13	筋骨格系および結合組織の疾患	(M00-M99)	164	4	1	0	1	2	4	0	0	6	0	60	0	2	12	0	0	0	0	0	0	256
14	腎尿路生殖器系の疾患	(N00-N99)	248	126	6	3	2	449	0	0	2	1	0	0	3	9	23	0	11	0	0	0	0	883
15	妊娠、分娩および産じょく	(O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	1	0	0	0	0	30
16	周産期に発生した病態	(P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
17	先天奇形、変形および染色体異常	(Q00-Q99)	0	3	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	11
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	(R00-R99)	23	0	0	39	0	41	0	1	0	3	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	110
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響	(S00-T98)	60	3	10	15	106	16	1	0	3	26	4	260	3	23	27	0	0	0	0	2	1	560
20	傷病および死亡の外因	(V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	(Z00-Z99)	0	0	10	1	0	0	0	0	0	0	0	27	0	18	0	4	0	0	0	0	0	60
計			1,429	179	494	821	310	718	248	59	244	666	104	352	183	989	466	34	39	10	2	169	16	7,532

ICD-10　大分類による診療科別統計（2021 年度）
2021 年 4 月～ 2022 年 3 月までの退院患者

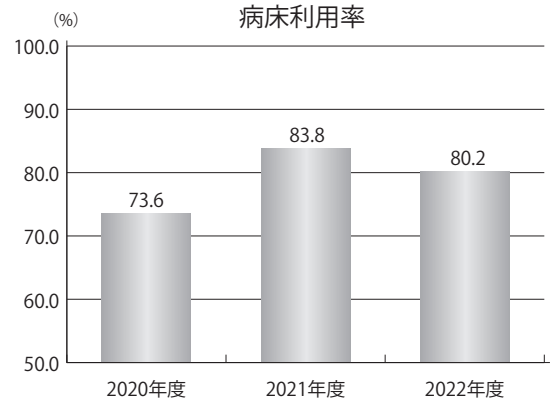
大分類			総合内科	腎臓内科	血液内科	消化器内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	放射線科	脳神経内科	リハビリ科	整形外科	循環器内科	消化器外科	精神科	産科	婦人科	小児科	麻酔科	眼科	歯科口腔外科	計
1	感染症および寄生虫症	(A00-B99)	112	4	17	18	0	0	43	8	3	0	0	0	10	6	0	2	1	0	0	0	224
2	新生物	(C00-D48)	36	6	443	269	10	192	69	160	2	1	2	2	379	48	0	71	0	0	0	0	1,690
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	(D50-D89)	21	1	24	3	0	0	1	2	0	1	0	3	3	7	0	1	0	0	0	0	67
4	内分泌、栄養および代謝疾患	(E00-E90)	73	7	2	3	2	0	0	1	4	0	0	2	11	17	0	2	6	0	0	0	130
5	精神および行動の障害	(F00-F99)	17	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	0	0	107	0	1	1	0	0	0	132
6	神経系の疾患	(G00-G99)	41	1	0	0	32	0	0	0	84	1	0	3	0	18	0	0	0	2	0	0	182
7	眼および付属器の疾患	(H00-H59)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	169	0	193
8	耳および乳様突起の疾患	(H60-H95)	5	0	0	0	5	0	0	0	23	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	34
9	循環器系の疾患	(I00-I99)	61	16	0	4	101	0	0	17	417	102	0	160	0	22	0	0	0	0	0	0	900
10	呼吸器系の疾患	(J00-J99)	412	5	12	5	2	0	0	11	5	7	0	7	1	39	0	0	0	0	0	0	506
11	消化器系の疾患	(K00-K93)	76	1	3	546	2	1	0	18	1	3	0	0	450	56	0	0	0	0	0	9	1,166
12	皮膚および皮下組織の疾患	(L00-L99)	42	3	0	0	0	1	114	0	0	0	0	0	1	10	0	0	0	0	0	2	173
13	筋骨格系および結合組織の疾患	(M00-M99)	135	4	0	0	1	0	6	1	3	4	55	1	1	13	0	0	0	0	0	0	224
14	腎尿路生殖器系の疾患	(N00-N99)	228	107	4	3	1	439	1	1	3	0	0	6	7	33	0	23	0	0	0	0	856
15	妊娠、分娩および産じょく	(O00-O99)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	43	2	0	0	0	0	46
16	周産期に発生した病態	(P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	4	0	0	0	11
17	先天奇形、変形および染色体異常	(Q00-Q99)	0	2	0	1	2	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	2	0	0	0	13
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	(R00-R99)	33	0	0	36	2	14	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	90
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響	(S00-T98)	57	9	4	13	104	14	7	2	11	13	308	5	8	22	0	2	0	0	1	1	581
20	傷病および死亡の外因	(V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	(Z00-Z99)	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	31	0	13	0	4	0	0	0	0	0	54
22	原因不明の新たな疾患の暫定分類 抗菌薬及び抗腫瘍薬への耐性	(U00-U49) (U82-U85)	157	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	157
計			1,507	166	515	901	265	663	243	222	563	132	396	189	888	422	54	105	14	2	170	12	7,429

ICD-10　大分類による診療科別統計（2022 年度）
2022 年 4 月～ 2023 年 3 月までの退院患者

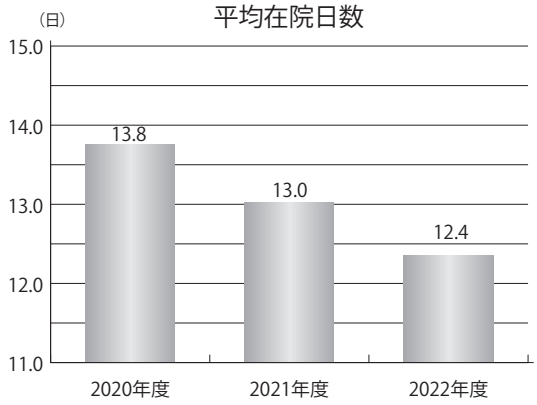
大分類			総合内科	腎臓内科	血液内科	消化器内科	脳神経外科	泌尿器科	皮膚科	放射線科	脳神経内科	リハビリ科	整形外科	循環器内科	消化器外科	精神科	産科	婦人科	小児科	眼科	歯科口腔外科	計
1	感染症および寄生虫症	(A00-B99)	100	1	9	10	0	0	35	2	3	0	0	2	3	8	0	1	2	0	0	176
2	新生物	(C00-D48)	33	1	399	255	9	212	57	130	1	4	4	2	354	31	0	56	0	0	0	1,548
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	(D50-D89)	26	1	25	2	0	0	2	0	0	0	0	1	3	5	0	2	0	0	0	67
4	内分泌、栄養および代謝疾患	(E00-E90)	71	5	1	0	1	1	0	0	9	0	0	1	16	11	0	1	1	0	0	118
5	精神および行動の障害	(F00-F99)	8	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	140	0	0	0	0	0	150
6	神経系の疾患	(G00-G99)	49	0	1	5	23	0	1	0	71	2	0	2	0	6	0	0	0	0	0	160
7	眼および付属器の疾患	(H00-H59)	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	30	0	0	0	243	0	276
8	耳および乳様突起の疾患	(H60-H95)	5	0	1	0	2	0	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	25
9	循環器系の疾患	(I00-I99)	57	12	2	6	72	0	2	10	385	98	0	133	2	21	0	0	0	0	0	800
10	呼吸器系の疾患	(J00-J99)	363	7	11	4	0	3	0	4	1	2	0	5	7	32	0	0	0	0	1	440
11	消化器系の疾患	(K00-K93)	70	2	4	493	0	3	0	17	0	1	0	0	434	52	1	0	1	0	5	1,083
12	皮膚および皮下組織の疾患	(L00-L99)	43	1	1	0	0	2	77	0	0	0	0	0	4	12	0	0	1	0	5	146
13	筋骨格系および結合組織の疾患	(M00-M99)	125	3	0	1	1	1	3	0	2	7	63	0	1	8	0	0	1	0	0	216
14	腎尿路生殖器系の疾患	(N00-N99)	208	139	2	1	0	502	1	0	4	2	0	1	7	24	0	15	0	0	0	906
15	妊娠、分娩および産じょく	(O00-O99)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	46	2	0	0	0	48
16	周産期に発生した病態	(P00-P96)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	2	0	0	9
17	先天奇形、変形および染色体異常	(Q00-Q99)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	6
18	症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	(R00-R99)	11	0	0	28	0	25	0	2	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	72
19	損傷、中毒およびその他の外因の影響	(S00-T98)	46	4	6	14	88	11	0	2	5	9	332	2	9	5	0	2	0	2	0	537
20	傷病および死亡の外因	(V01-Y98)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	(Z00-Z99)	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	24	0	25	0	5	0	0	0	0	61
22	原因不明の新たな疾患の暫定分類 抗菌薬及び抗腫瘍薬への耐性	(U00-U49) (U82-U85)	171	12	14	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	203
計			1,387	189	482	822	197	760	178	167	502	127	423	151	870	385	64	79	8	245	11	7,047

いづろ今村病院

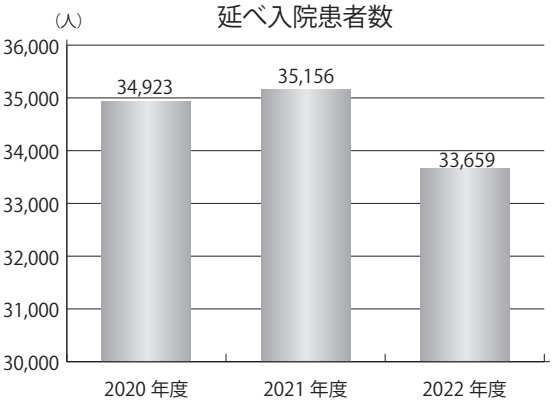
病床利用率



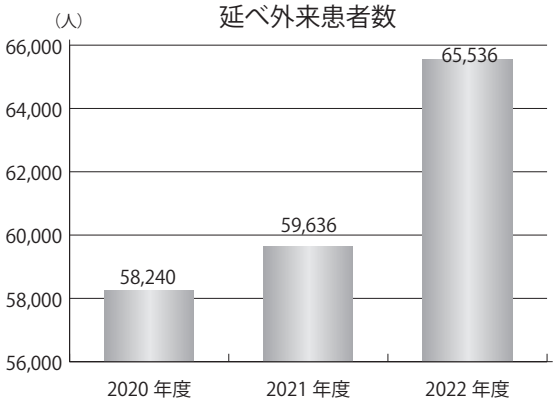
平均在院日数



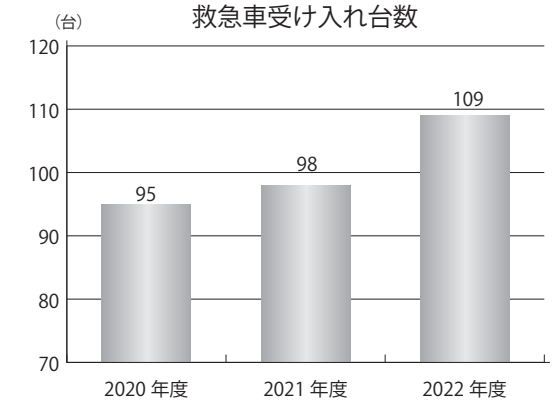
延べ入院患者数



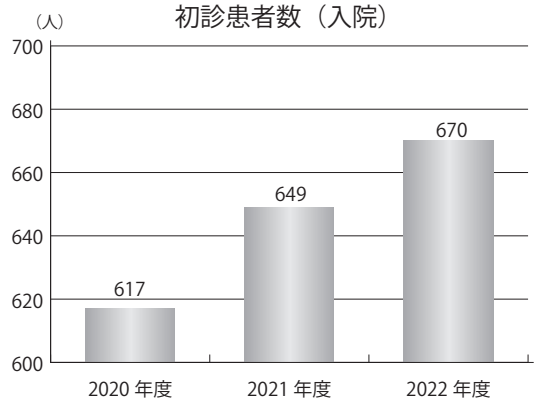
延べ外来患者数



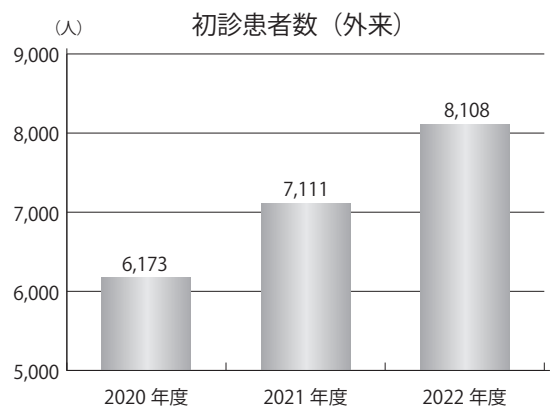
救急車受け入れ台数



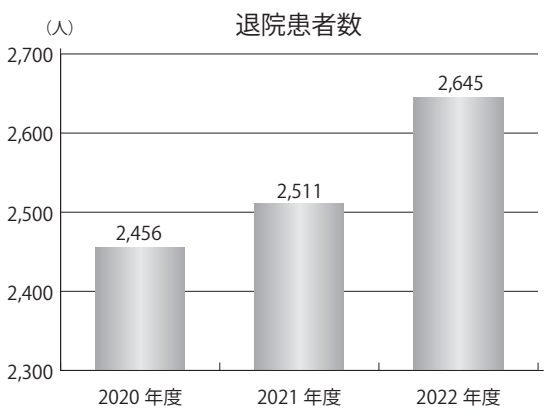
初診患者数（入院）

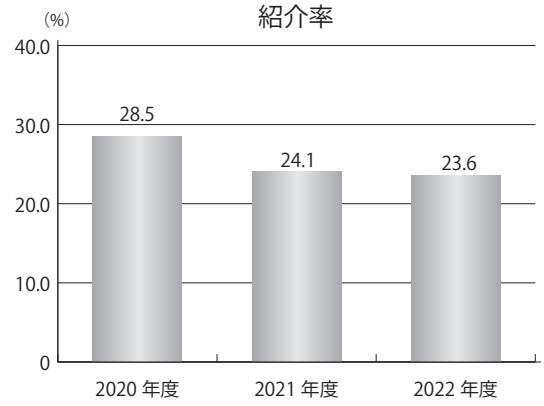


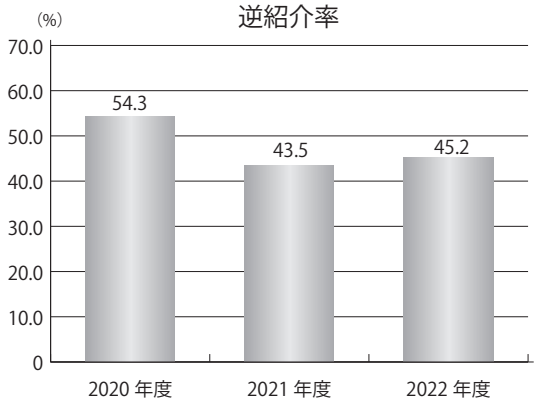
初診患者数（外来）

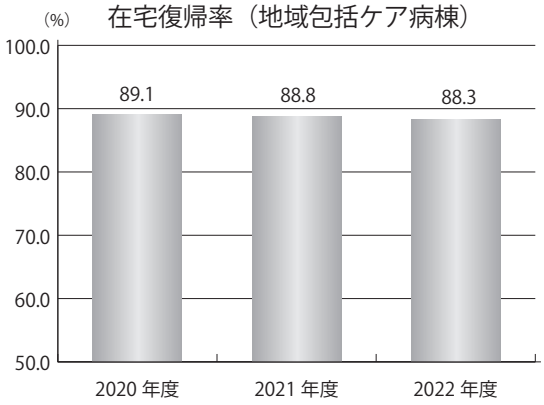


退院患者数

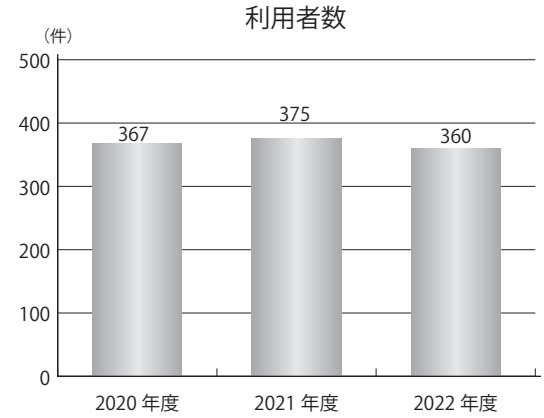








指定居宅介護支援事業所　ウェルネスじあい



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

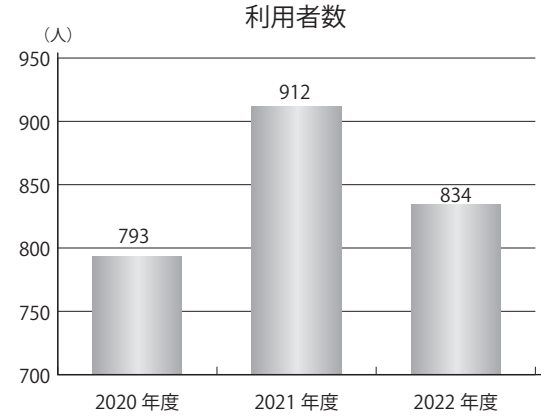
平均利用者実績31件に対し30件、ターミナル目標件数3件に対し5件と増加しています。自宅内での看取りは、一昨年1件に対し今年度3件と増えており在宅診療の充実や在宅療養環境等の調整、連携を密にした結果ではないかと考えます。

＜総括＞

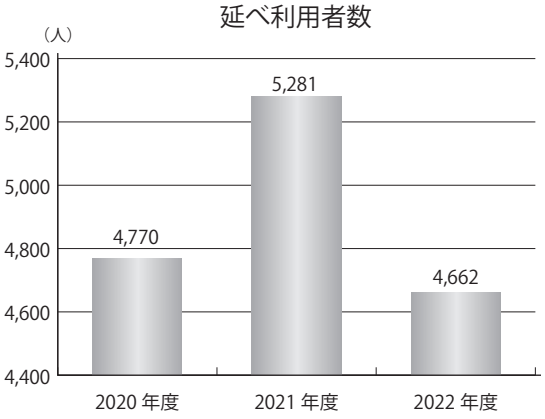
今後も医療と介護が連携することで、在宅療養支援病院としての居宅介護支援事業所の役割を果たしていきます。

通所リハビリテーション　ウェルネスじあい

利用者数



延べ利用者数



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

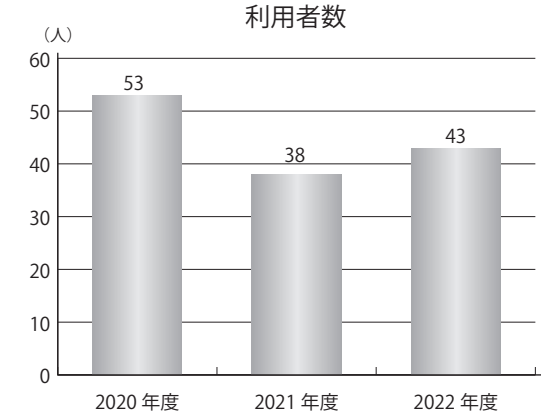
2022年度利用者数は834名、延べ利用者数は4,662名（月平均新規利用1.8名、月平均利用割合68%）と計画未達成。利用者への体験利用を年に21件実施し、そのうち16件が実際の利用となりました。

＜総括＞

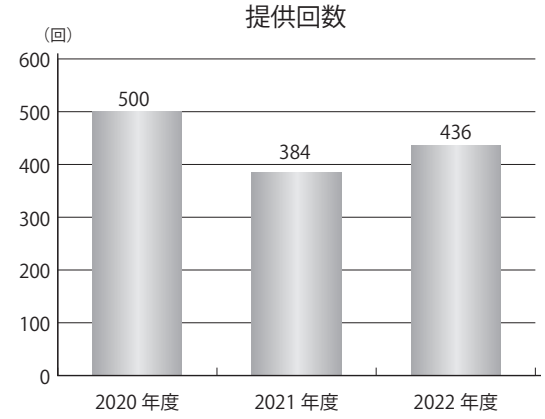
計画未達成についてはコロナ禍、特に5月と8月の休業ならびに利用控えが影響しているようでした。2月に介護用ソフト変更ならびに3月より科学的介護推進体制加算の取得を行いました。今後は院内の健診センター移転プロジェクトに伴う変更があるため、ご利用者へなるべく影響がないように取り組んでいきたいと思います。

指定訪問リハビリテーション　ウェルネスじあい

利用者数



提供回数



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

2022年度は提供回数436回で前年度を上回り目標を達成しました。月平均の利用者数も3.8人で前年度3.2人を上回りました。

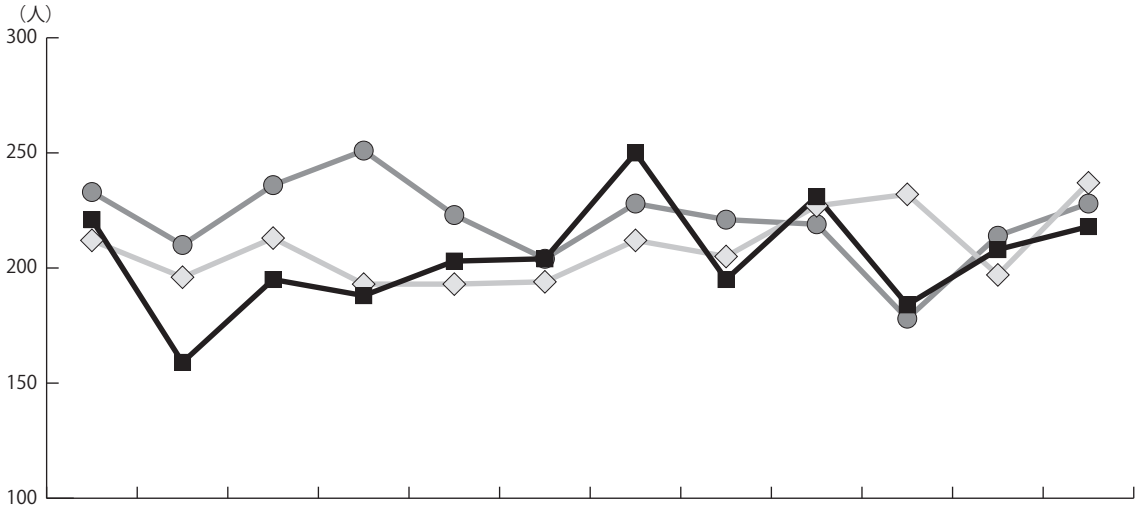
＜総括＞

・対象者は主に当院退院後の患者様、もしくは当院かかりつけ外来の患者様です。2022年度は緩和ケア病棟退院後の患者様に対する短期間の訪問リハビリが増加しました。

・訪問リハ担当スタッフが通所リハや病棟リハと兼任しているため訪問可能枠が少なく件数の大幅な増加は難しいのですが、今後も現在の訪問実績水準を維持していくことを目標にしています。

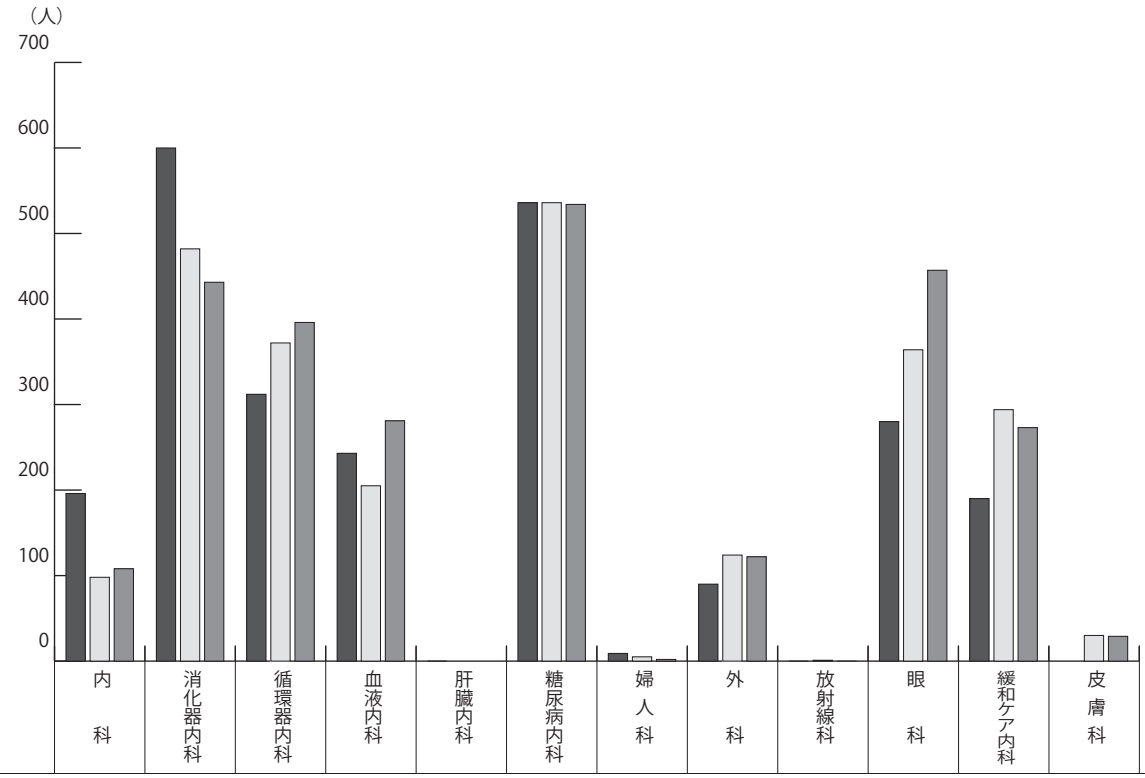
患者動向

年度別月別退院患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2020年度	221	159	195	188	203	204	250	195	231	184	208	218
2021年度	212	196	213	193	193	194	212	205	227	232	197	237
2022年度	233	210	236	251	223	204	228	221	219	178	214	228

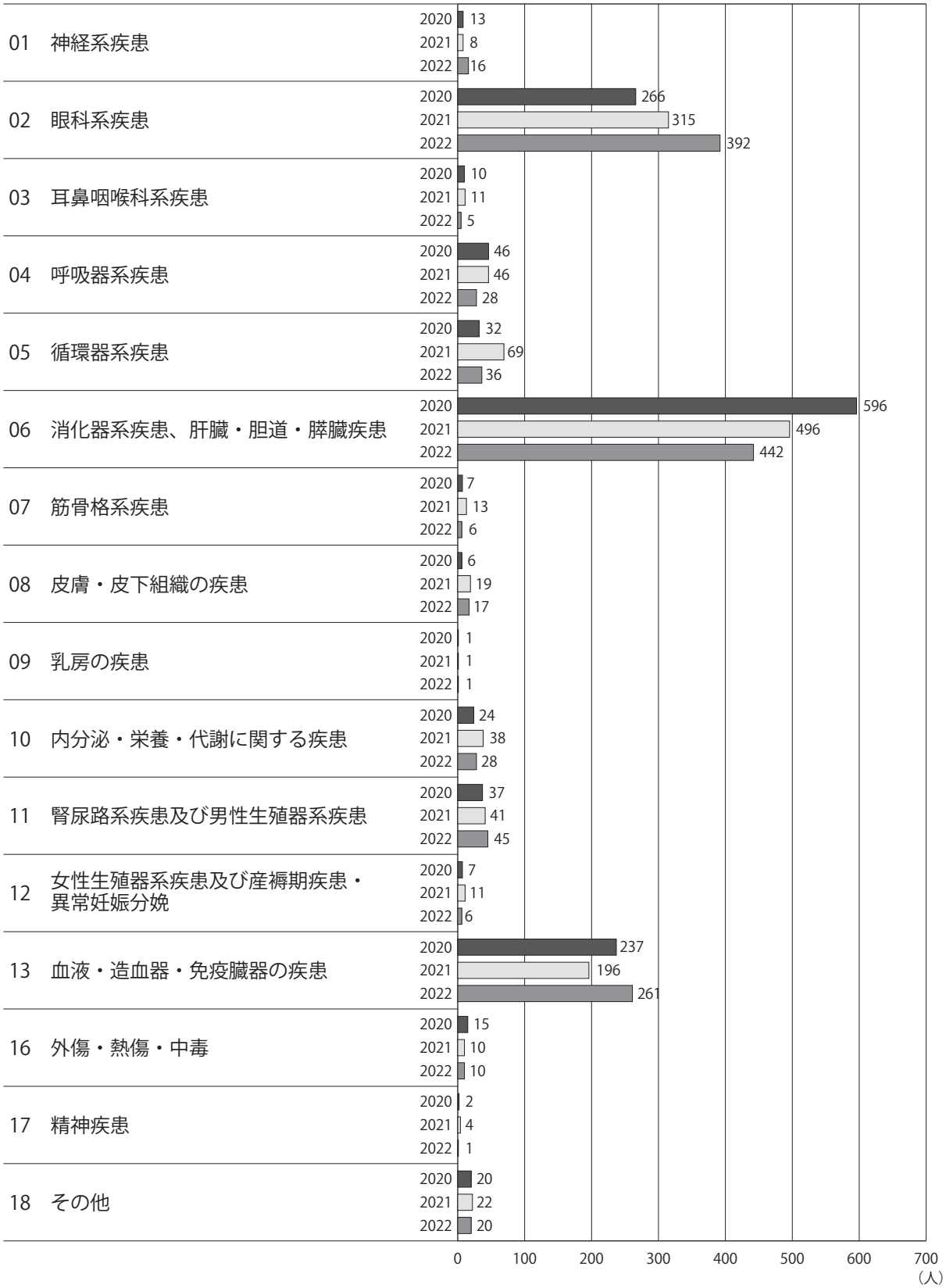
年度別診療科別退院患者数



	内科	消化器内科	循環器内科	血液内科	肝臓内科	糖尿病内科	婦人科	外科	放射線科	眼科	緩和ケア内科	皮膚科
2020年度	196	600	312	243	0	536	9	90	0	280	190	—
2021年度	98	482	372	205	—	536	5	124	1	364	294	30
2022年度	108	443	396	281	—	534	2	122	0	457	273	29

DPC 統計（MDC、ICD）

年度別MDC別退院患者数



ICD-10　大分類による診療科別統計（2020 年度）
2020 年 4 月～ 2021 年 3 月までの退院患者

大分類			内科	消化器内科	血液内科	糖尿病内科	外科	婦人科	循環器内科	緩和ケア内科	眼科	計
1	感染症および寄生虫症	A00-B99	4	20		1	1		3			29
2	新生物	C00-D48	77	191	208		33	9	7	190		715
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	1	6	22							29
4	内分泌，栄養および代謝疾患	E00-E90	6			501	1		4			512
5	精神および行動の障害	F00-F99	11	2					14			27
6	神経系の疾患	G00-G99	3	1					3			7
7	眼および付属器の疾患	H00-H59		1		8			184		280	473
8	耳および乳様突起の疾患	H60-H95	4	1					2			7
9	循環器系の疾患	I00-I99	8	2	1	3			56			70
10	呼吸器系の疾患	J00-J99	24	3	7	7	1		12			54
11	消化器系の疾患	K00-K93	11	356	2	2	51		6			428
12	皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	2	1		6	1		1			11
13	筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	4	1	2	3			8			18
14	腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	31	4		3			3			41
15	妊娠，分娩および産褥	O00-O99										
16	周産期に発生した病態	P00-P96										
17	先天奇形，変形および染色体異常	Q00-Q99										
18	症状，徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99				1						1
19	損傷，中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	10	11	1	1	2		9			34
20	傷病および死亡の外因	V01-Y98										
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	Z00-Z99										
計			196	600	243	536	90	9	312	190	280	2,456

ICD-10　大分類による診療科別統計（2021 年度）
2021 年 4 月～ 2022 年 3 月までの退院患者

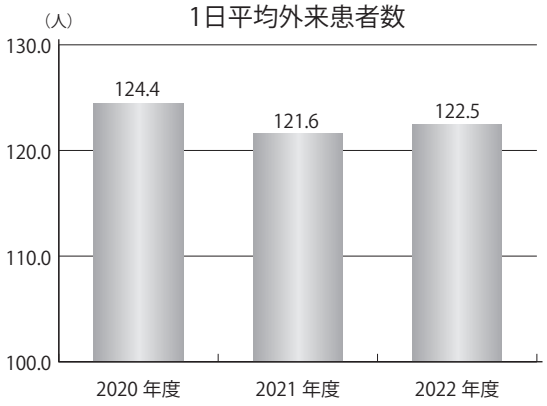
大分類			内科	消化器内科	血液内科	糖尿病内科	外科	婦人科	放射線科	循環器内科	緩和ケア内科	眼科	皮膚科	計
1	感染症および寄生虫症	A00-B99	4	17	5	2	1			3			8	40
2	新生物	C00-D48	16	161	171	1	47	5		10	255	1	5	672
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	4	6	18	1							1	30
4	内分泌，栄養および代謝疾患	E00-E90	2	2		500	3			2				509
5	精神および行動の障害	F00-F99	15	1			3			7				26
6	神経系の疾患	G00-G99	5			2				4				11
7	眼および付属器の疾患	H00-H59				5				207		362		574
8	耳および乳様突起の疾患	H60-H95	3			2				1				6
9	循環器系の疾患	I00-I99	5	2		4	4			110	1	1		127
10	呼吸器系の疾患	J00-J99	15	1	6	4	2			11	1			40
11	消化器系の疾患	K00-K93	3	280	1	3	55			3	1			346
12	皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	1			5	2			1			15	24
13	筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	9	2		2	1			8	5			27
14	腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	7	1	1	5				1	32			47
15	妊娠，分娩および産褥	O00-O99												
16	周産期に発生した病態	P00-P96												
17	先天奇形，変形および染色体異常	Q00-Q99												
18	症状，徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	R00-R99												
19	損傷，中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	9	10	2		6		1	4				32
20	傷病および死亡の外因	V01-Y98												
21	健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用	Z00-Z99												
計			98	483	204	536	124	5	1	372	295	364	29	2,511

ICD-10　大分類による診療科別統計（2022 年度）
2022 年 4 月～ 2023 年 3 月までの退院患者

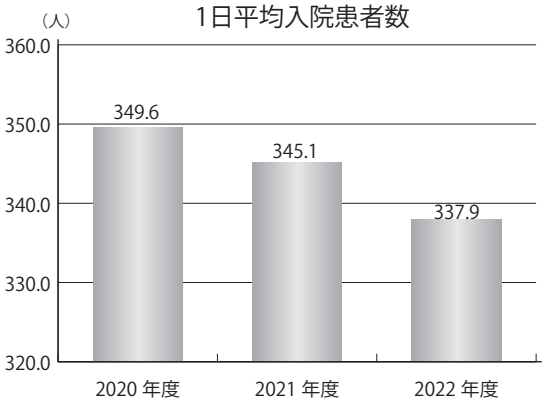
大分類			内科	消化器内科	血液内科	糖尿病内科	外科	婦人科	循環器内科	緩和ケア内科	眼科	皮膚科	計
1	感染症および寄生虫症	A00-B99	2	15	5		5		2	1		7	37
2	新生物	C00-D48	5	136	248	3	49	1	8	236		3	689
3	血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害	D50-D89	9	1	19	1			1				31
4	内分泌，栄養および代謝疾患	E00-E90	10	11	1	505	1		2				530
5	精神および行動の障害	F00-F99	15				4		5				24
6	神経系の疾患	G00-G99	4	4		3	2		6				19
7	眼および付属器の疾患	H00-H59	2	1		1			229		454		687
8	耳および乳様突起の疾患	H60-H95	2	1					1				4
9	循環器系の疾患	I00-I99	12	13		3	3		81	1			113
10	呼吸器系の疾患	J00-J99	15	3	6	2	5		10	1			42
11	消化器系の疾患	K00-K93	3	242	1	1	45		6				298
12	皮膚および皮下組織の疾患	L00-L99	2			2	2		6			17	29
13	筋骨格系および結合組織の疾患	M00-M99	11	1		3	2		21	3			41
14	腎尿路生殖器系の疾患	N00-N99	12	7	1	8	1	1	7	29			66
15	妊娠，分娩および産褥	O00-O99				1							1
19	損傷，中毒およびその他の外因の影響	S00-T98	4	7		1	3		10	1	3	2	31
22	特殊目的用コード	U00-U99		1					1	1			3
計			108	443	281	534	122	2	396	273	457	29	2,645

谷山病院

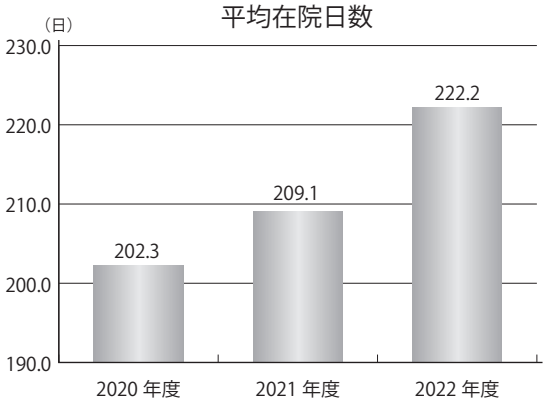
1日平均外来患者数



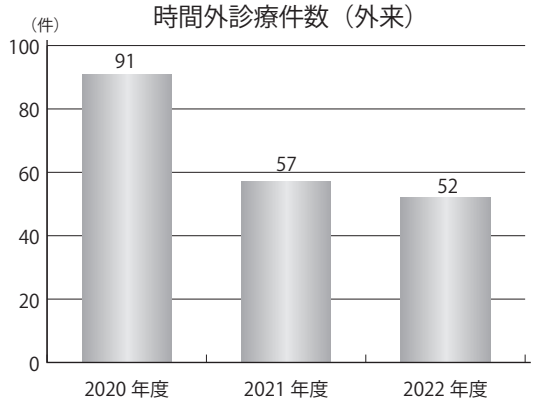
1日平均入院患者数



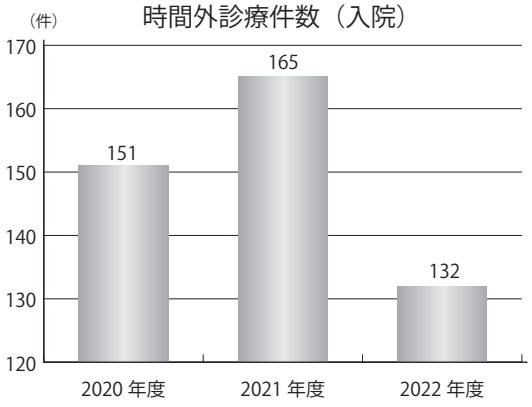
平均在院日数



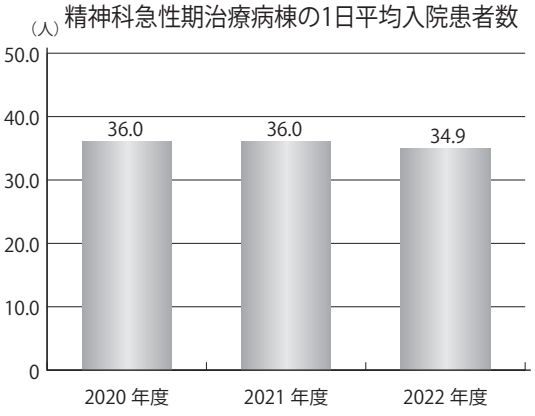
時間外診療件数（外来）



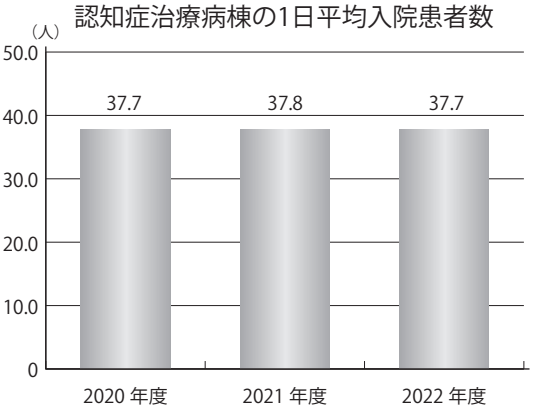
時間外診療件数（入院）



精神科急性期治療病棟の1日平均入院患者数

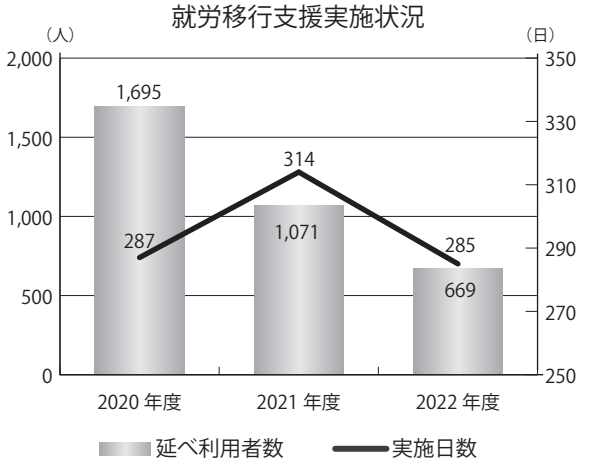


認知症治療病棟の1日平均入院患者数

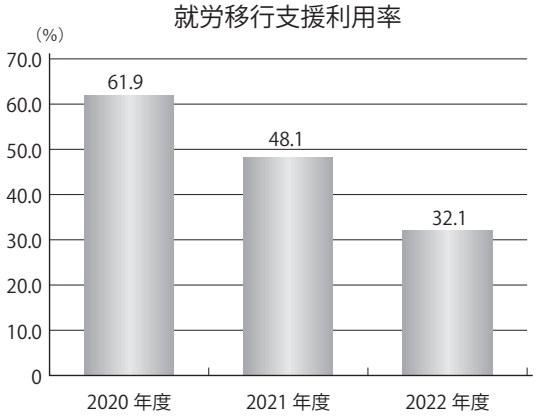


就労支援センター　ステップ

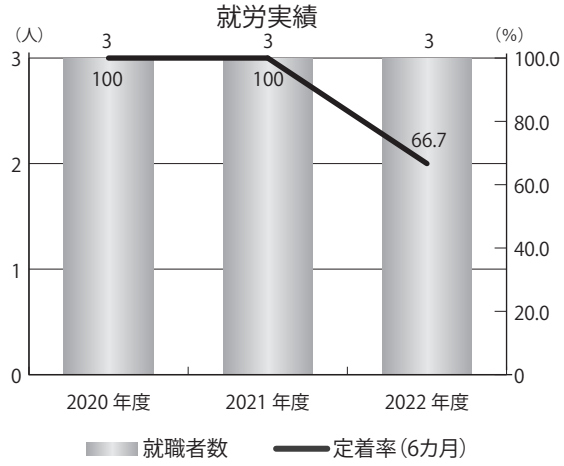
就労移行支援実施状況



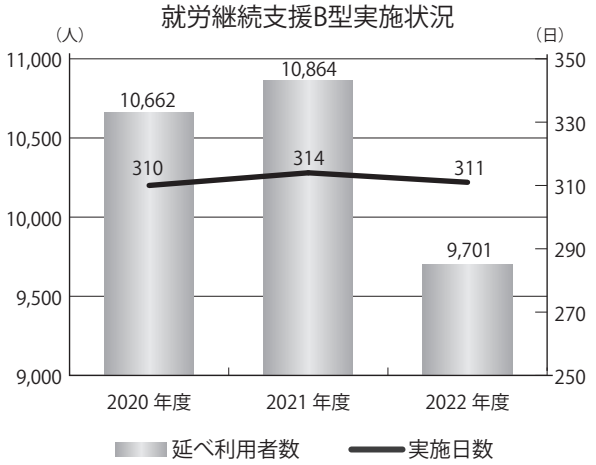
就労移行支援利用率



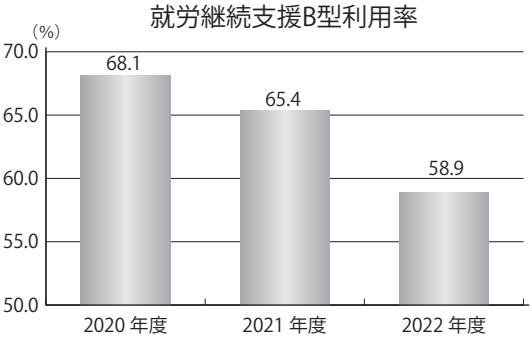
就労実績



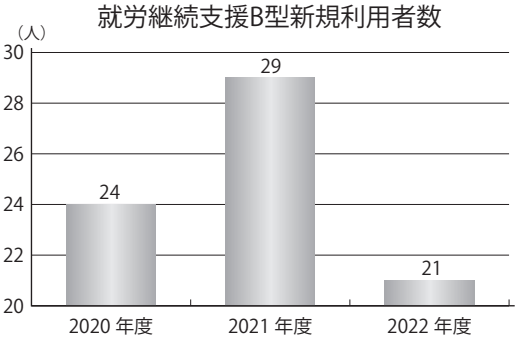
就労継続支援B型実施状況



就労継続支援B型利用率



就労継続支援B型新規利用者数



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

就労移行支援事業

1．就職者数 4 名以上、更に定着率 100%
　⇒就職者数 3 名（達成率 75%）、更に定着率 66.7%（達成率 66.7%）
2．B 型からの形態変更 4 名以上
　⇒B 型からの形態変更 1 名（達成率 25%）
3．就労支援スキルの向上
4．ケース会議の充実
　⇒3. 4. 日々、優先度の高い個別支援ミーティングを実施しスキルの向上と支援の充実を図りました。

就労継続支援B型事業

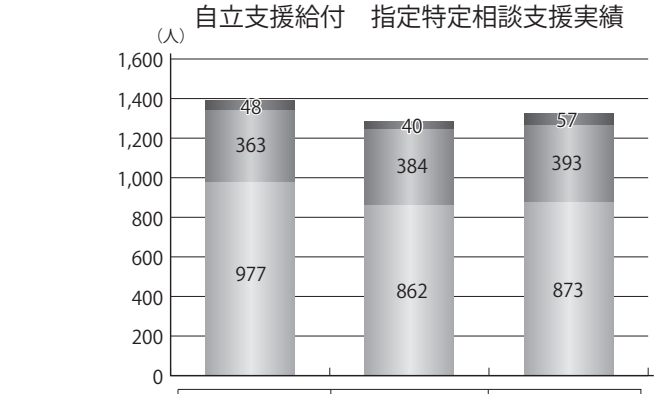
1．新規利用者 25 名以上　⇒新規利用者 21 名（達成率 84%）
2．利用者数80名以上を維持　⇒71名～75名で推移（達成率88.7%）
3．稼働率 80%を維持　⇒稼働率 58.9%（達成率 73.6%）
4．移行への形態変更 4 名以上
　⇒移行への形態変更 1 名（達成率 25%）
5．作業収入の増加　⇒作業収入の増加　935 千円（達成率 103%）

＜総括＞

事業報酬・作業収入ともに赤字となりました。コロナにより積極的な活動が出来なかったことが主原因ですが、2023年1月から徐々に回復の兆しがあります。一過性でなく恒久的に増収増益を見込めるように作業項目の見直しと職員配置見直しを軸に改善を図ります。また事業所として毎日優先度の高い利用者の個別支援ミーティングを実施して利用者の満足度を高め且つ、職員の支援スキルを向上するように努めます。

地域活動支援センター　ひだまり

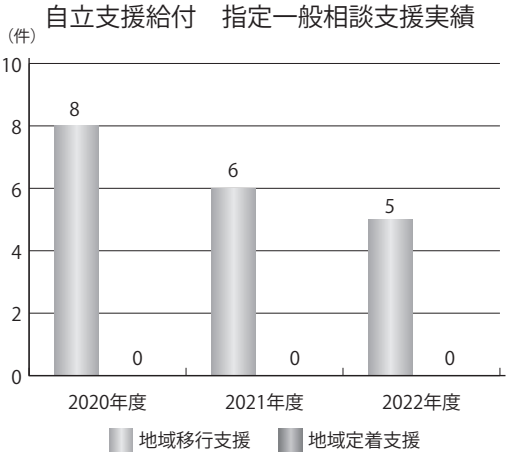
自立支援給付　指定特定相談支援実績



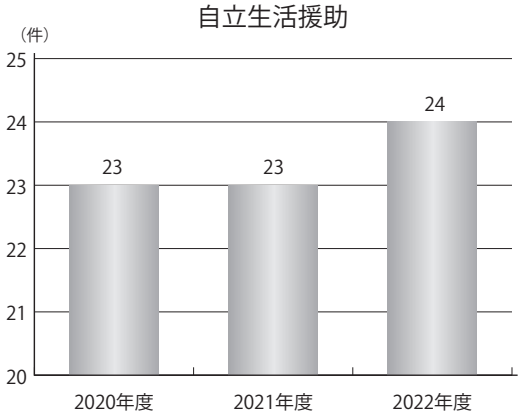
	2020年度	2021年度	2022年度
利用支援（新規）	48	40	57
利用支援（更新）	363	384	393
継続支援（モニタリング）	977	862	873

継続支援（モニタリング）　利用支援（更新）　利用支援（新規）

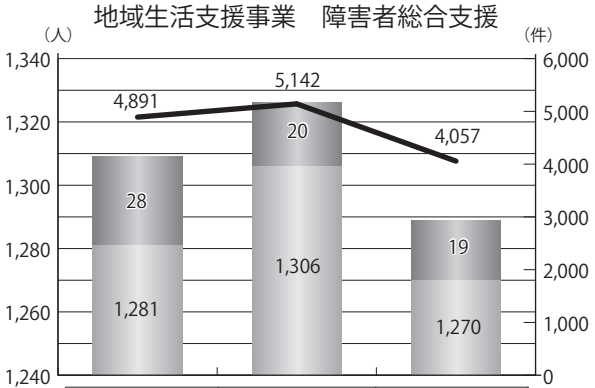
自立支援給付　指定一般相談支援実績



自立生活援助



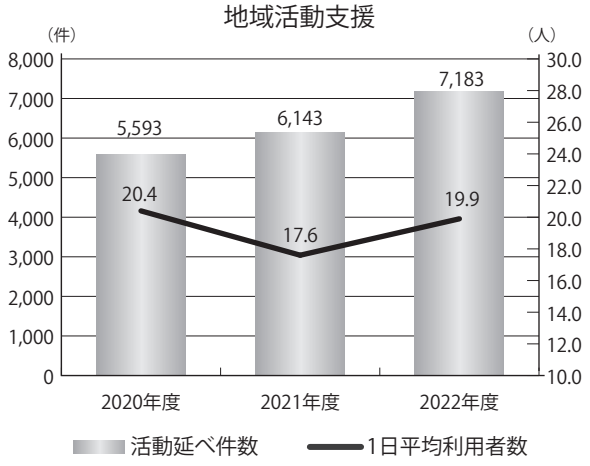
地域生活支援事業　障害者総合支援



	2020年度	2021年度	2022年度
新規相談者	28	20	19
相談継続者数	1,281	1,306	1,270
相談延べ件数	4,891	5,142	4,057

相談継続者数　新規相談者　相談延べ件数

地域活動支援



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

1．地域活動支援センター事業の一日平均利用者数は、コロナ禍における活動制限が影響して19.9件（年間平均）と僅かに未達成

2．指定特定相談支援事業における基本報酬は、月平均約110件であり、目標達成

3．指定一般相談支援事業は4～8月が各1件で以降0件。さらに、自立生活援助は9～11月に各3件であったものの、他の月は2件と、いずれも目標達成に至らず。

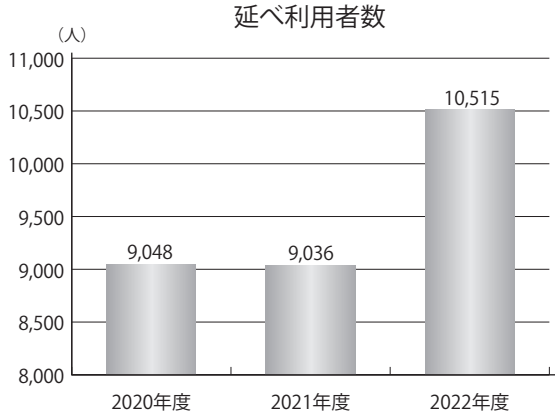
＜総括＞

主に、地域活動支援センター事業の広報活動を強化しました。ホームページのリアルタイムな更新と掲載内容の工夫、広報紙の充実、谷山病院デイケアとの連携による体験ツアー等実施。また、某公立高校を訪問、若者向けのPR活動を行いました。今後は、中高年層を対象としたPR活動を予定しています。

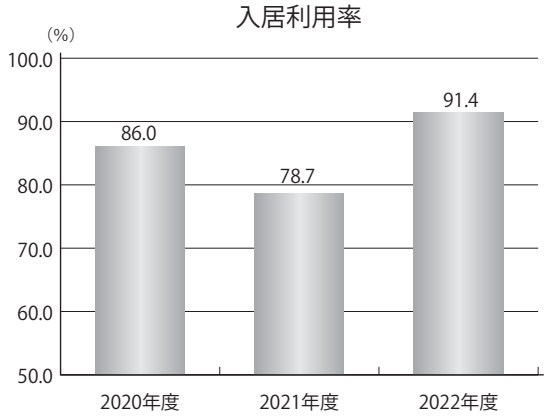
指定特定相談支援事業については、新規計画相談の受け入れのための業務改善を検討。

グループホーム　しらゆりの郷

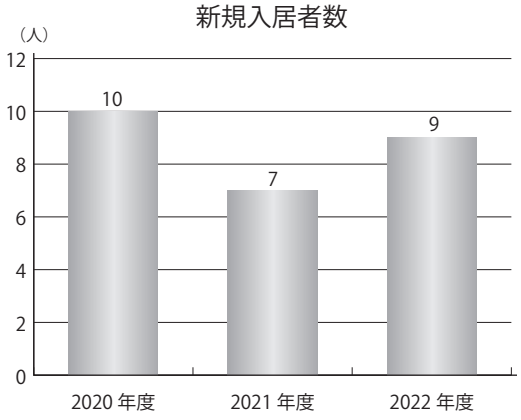
延べ利用者数



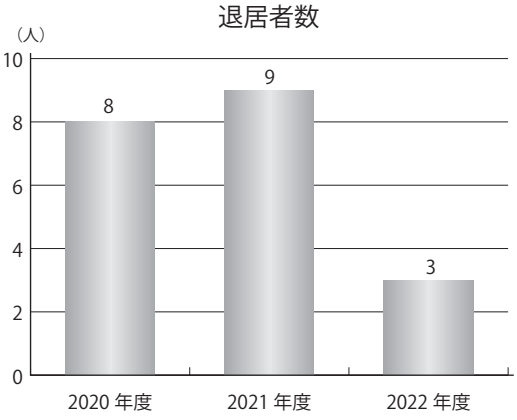
入居利用率



新規入居者数



退居者数



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

1．新規利用者8名の円滑的な受け入れ　⇒年度内の新規利用者9名。目標を上回る実績

2．利用率90％以上　⇒91.4％と目標を達成

3．平均利用者数27名以上　⇒28.9名と大幅に向上

4．サテライト型住居は3部屋を維持。原則3年の一般住居への移行に向けて支援を継続

＜総括＞

新規入居者9名と全体の約3～4割の方が新たに支援開始した方であり、生活全般の把握・障害や症状の理解・細やかで手厚い支援体制が必要となる場面が多く、定期のスタッフミーティングで密に情報共有していくことで支援に臨みました。

今後は、グループホーム新設を予定しており地域の実情に応じた選ばれる事業所を目指していきたい。

３精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2022 年									2023 年			
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
谷山→徳之島	精神保健福祉士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	看護師	0	1	2	1	2	1	1	0	1	0	1	0	10

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
認　定　看　護　師	0	0	0
臨 床 実 習 指 導 者	2	0	2

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. ６月 30 日現在の在院患者数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
Ｆ 00　アルツハイマー病型認知症	22	20	20
Ｆ 01　血管性認知症	1	4	1
Ｆ 02-09　上記以外の症状性を含む器質性精神障害	31	33	36
Ｆ１　Ｆ 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	12	13	11
Ｆ１　覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
Ｆ１　アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	1	0	0
Ｆ２　統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	231	218	220
Ｆ３　気分（感情）障害	37	34	34
Ｆ４　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	13	16	17
Ｆ５　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	1	2
Ｆ６　成人のパーソナリティ及び行動の障害	1	1	1
Ｆ７　精神遅滞〔知的障害〕	6	4	7
Ｆ８　心理的発達の障害	2	2	2
Ｆ９　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	0	0	0
てんかん（Ｆ０に属さないものを計上する）	1	0	0
その他	0	1	0
計	359	347	351

b. 6 月中に退院した患者の退院先

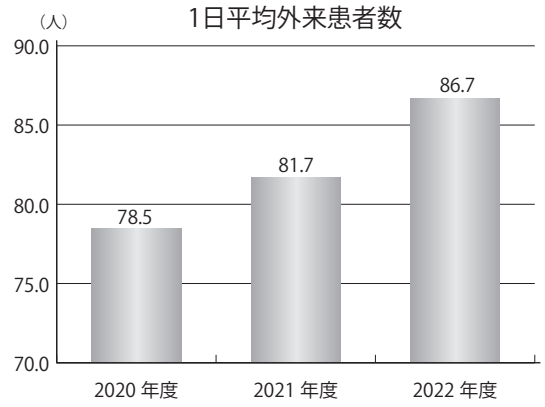
	2020 年度	2021 年度	2022 年度
家庭復帰等	33	27	26
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	5	2	10
高齢者福祉施設	9	5	14
転院・院内転科	6	9	8
死亡	0	2	1
その他			
計	52	45	59

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

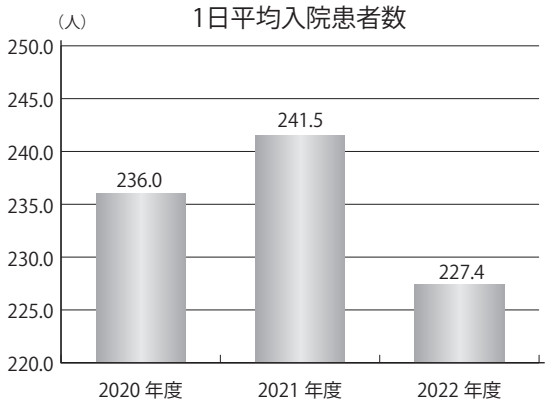
	2020 年度	2021 年度	2022 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	50	42	57
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	30	21	22
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	6	4	5
転院・院内転科	3	5	5
死亡	0	1	1
計	39	39	33
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	11	11	9

奄美病院

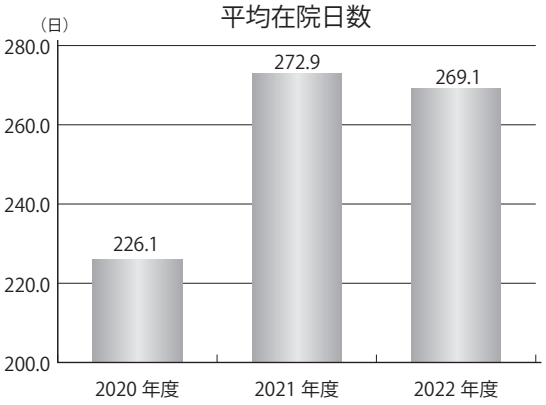
1日平均外来患者数



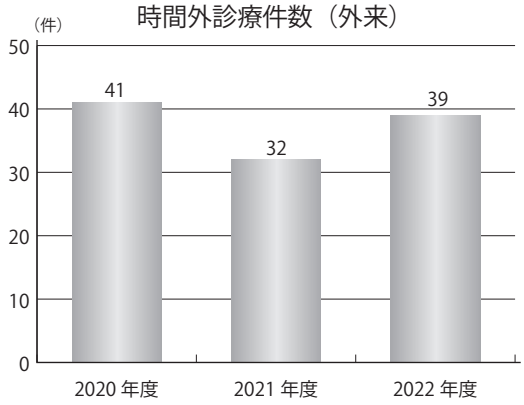
1日平均入院患者数



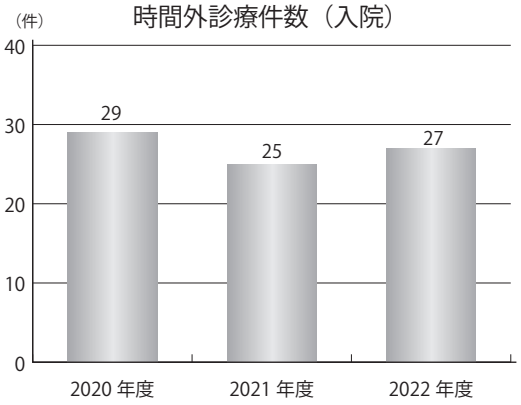
平均在院日数



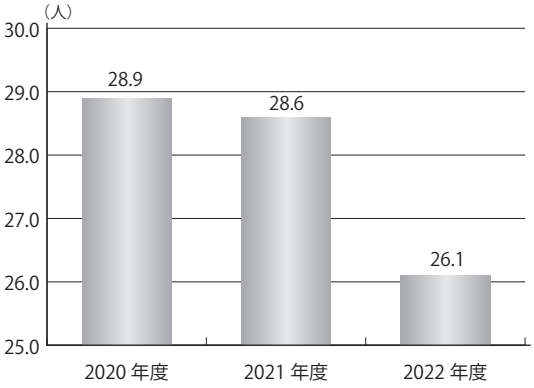
時間外診療件数（外来）



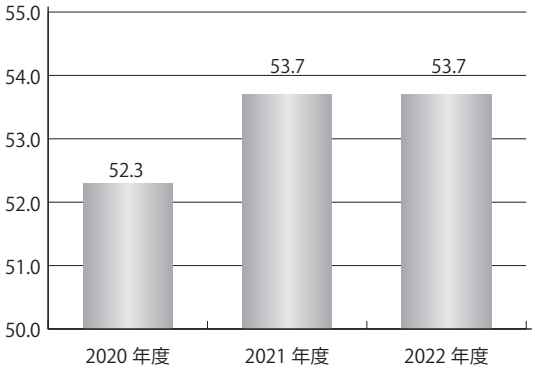
時間外診療件数（入院）



精神科急性期治療病棟の1日平均入院患者数

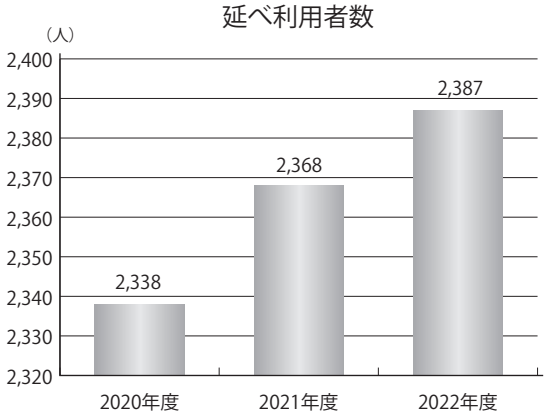


認知症治療病棟の1日平均入院患者数

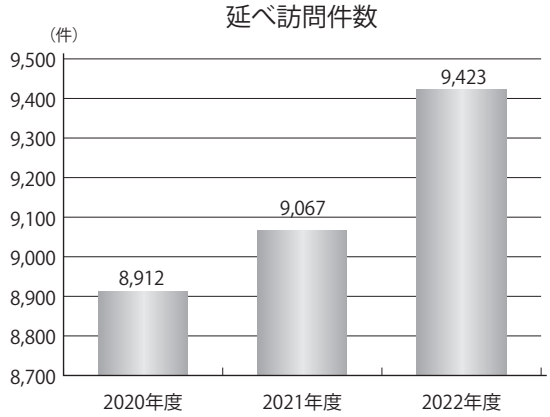


訪問看護ステーション　イルカ

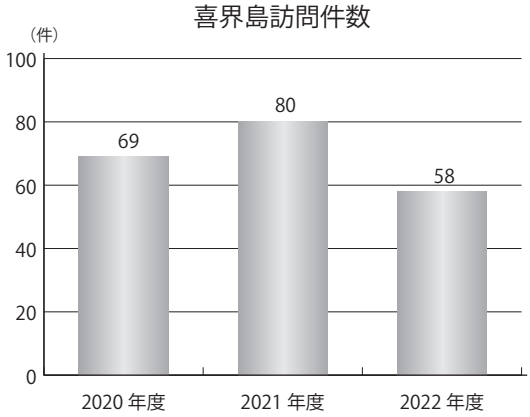
延べ利用者数



延べ訪問件数



喜界島訪問件数



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

１．新規利用獲得：目標値　月平均２名　年間24名以上
⇒実績　36名　達成

２．月平均訪問件数：目標値750件以上　⇒　実績791件　達成

３．スタッフの育成：相談業務担当2名　⇒　実績２名育成　達成
訪問看護実務指導担当２名
⇒実績１名　未達

４．年間目標達成利用者数：3～5名　⇒実績６名　達成

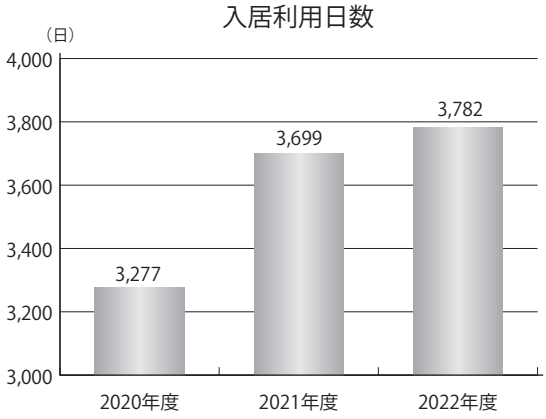
＜総括＞

2022年度の目標数値をほぼ達成できましたが、今後、訪問看護実務指導担当者の育成が急務です。

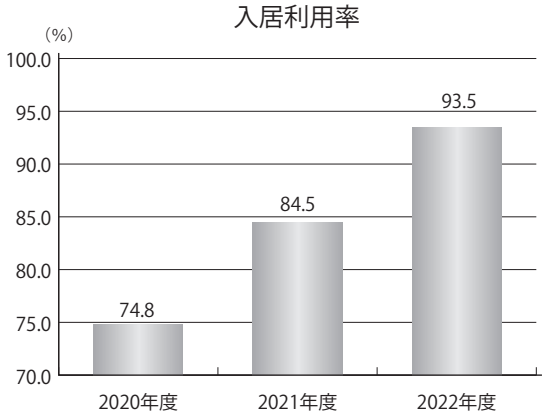
今年度の月平均訪問件数800件を達成するためには、さらに新規利用者の獲得と各スタッフの訪問看護実務能力の向上が必要です。

グループホーム　ひまわり

入居利用日数



入居利用率



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

・COVID-19対策で運営制限がありましたが、入居利用率は目標の80％を超え前年度比111％の結果となりました。

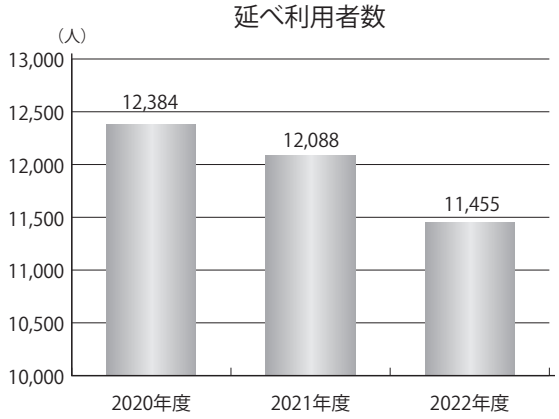
・長期入院患者の退院促進を多職種連携で強化を図りながら今後も地域移行加算の確実な取得を目指していきます。

＜総括＞

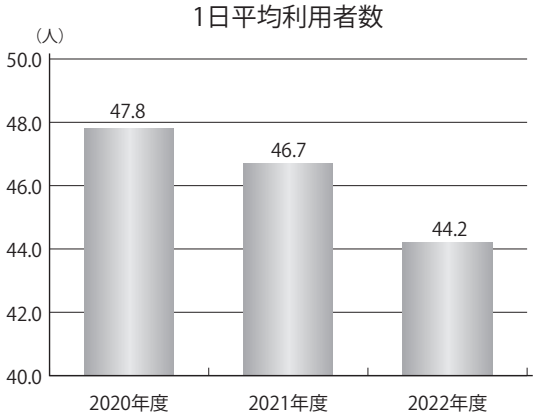
多職種と連携し入退院支援、生活支援等を強化してまいりました。次年度も引き続き利用者が自立した生活が送れるよう取り組んでまいります。

指定障害福祉サービス事業所　あらいぐま

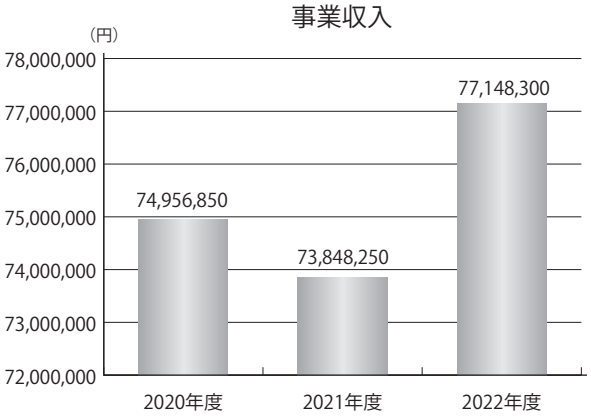
延べ利用者数



1日平均利用者数



事業収入



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

・参加者総数は前年度比95%、平均利用者数は前年度比95%でしたが、目標工賃達成指導員の配置など加算の見直し等を行い、事業収入は前年度比104%となりました。

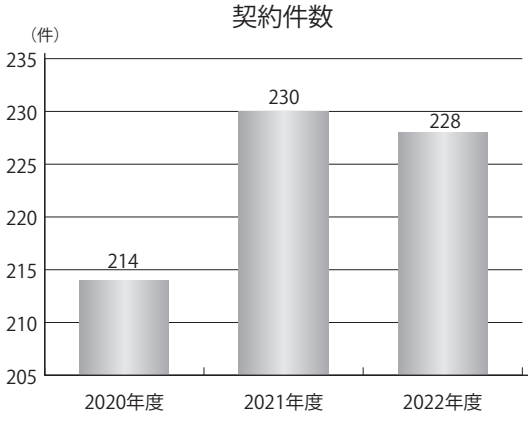
・COVID-19による制限はあったものの、濃厚接触者及び感染者への対策として在宅ワークへの切り替えを行ったため大きな影響は見られませんでした。

＜総括＞

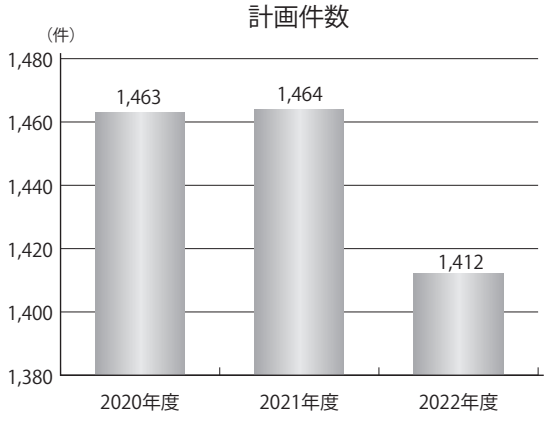
事業収益により利用者工賃の支給が可能な体制が整い、評価に基づいた利用者工賃の引き上げを行うことができました。2023年度は、クリーニング業を基盤としながらも、若い利用者も関心を示すような新しい志向の業務内容を検討し、開始したい。

指定特定相談支援事業所　あゆみ

契約件数



計画件数



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

・新規受け入れ数を増やせましたが、死亡者や介護保険サービスへの移行者も同水準いたため、契約件数は前年並み（2件の減少）でした。

・計画件数は、月平均 120 件を目標に対し実数は月平均 117.6 件（達成度 98.0%）。職員数が年度途中に 2 名減少したため、職員 1 人あたりの計画数は前年度より多くなっています。

＜総括＞

2022年度は、相談支援専門員2名が退職し補充が無かったため、１人当たりの業務量が増え、新規利用者の受け入れが難しい状況となりました。今後、契約者数の増加を図るため、職員を新たに募集することと並行して、適正人数の相談支援専門員を計画的に養成し配置することが必要。また、奄美病院グループの連携や相談支援部会への参加を通して支援の充実を図っていきます。

３精神科病院（谷山・奄美・徳之島）及びいづろ今村病院との人事交流者数（延べ人数）

		2021 年									2022 年			
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
奄美→徳之島	看護師	0	0	0	2	4	0	0	2	0	0	2	0	10
徳之島→奄美	看護師	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2

認定看護師養成コース修了、臨床実習指導者養成人数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
認　定　看　護　師	0	0	1

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2020 年度	2021 年度	2022 年度
14	20	11

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. 6 月 30 日現在の在院患者数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
F 00　アルツハイマー病型認知症	25	25	19
F 01　血管性認知症	10	15	19
F 02-09　上記以外の症状性を含む器質性精神障害	19	22	11
F 1　F 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	14	14	11
F 1　覚せい剤による精神及び行動の障害	2	1	0
F 1　アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	1	0
F 2　統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	142	142	141
F 3　気分（感情）障害	15	13	15
F 4　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	2	2	2
F 5　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	0	0
F 6　成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	1	1
F 7　精神遅滞〔知的障害〕	6	4	3
F 8　心理的発達の障害	3	0	0
F 9　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	1	1	0
てんかん（F 0 に属さないものを計上する）	1	0	0
その他	0	1	14
計	241	242	236

b. 6 月中に退院した患者の退院先

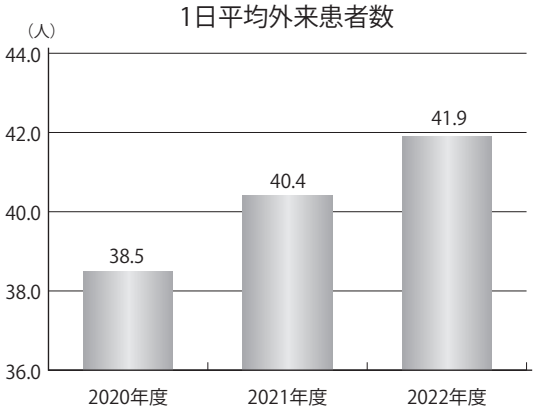
	2020 年度	2021 年度	2022 年度
家庭復帰等	15	20	8
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	0	5	2
高齢者福祉施設	2	0	0
転院・院内転科	5	7	10
死亡	0	0	0
その他	0	0	0
計	22	32	20

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

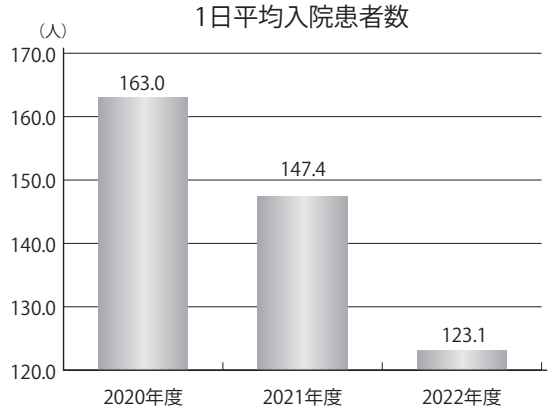
	2020 年度	2021 年度	2022 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	36	33	34
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	25	18	22
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	3	7	4
転院・院内転科	7	5	1
死亡	0	0	1
計	35	30	27
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	1	3	6

徳之島病院

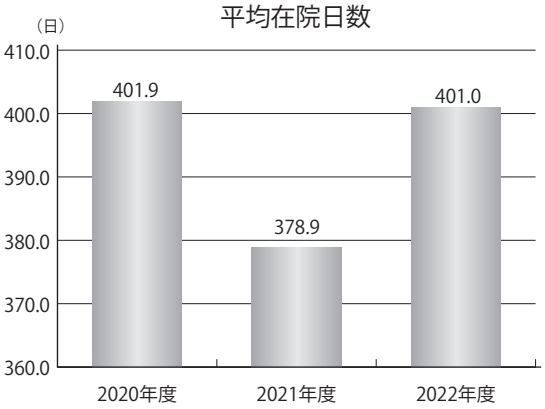
1日平均外来患者数



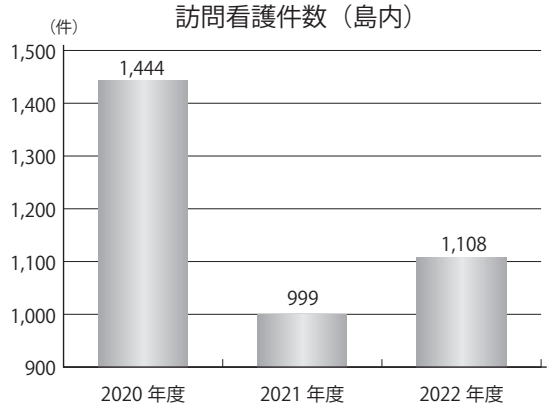
1日平均入院患者数



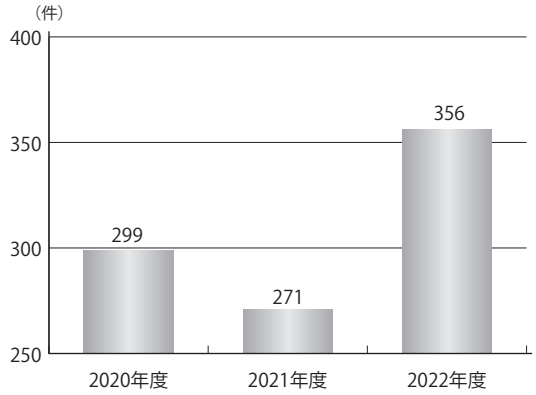
平均在院日数



訪問看護件数（島内）

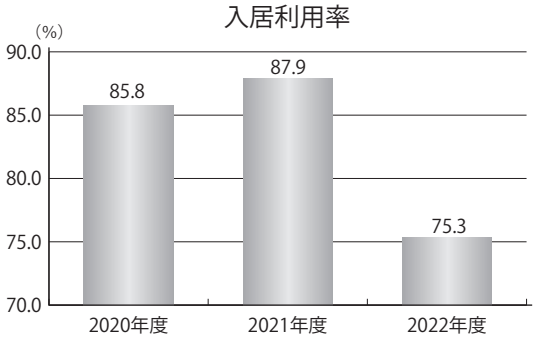


訪問看護件数（島外：沖永良部島・与論島）



グループホーム　うんばた

入居利用率



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

2022年度は徳之島病院から8名を受け入れ、うち5名が地域移行（町営住宅・民間アパート）となりました。今後も1部屋を体験入居用として使用しながら、11名の入所を目指します。

＜総括＞

入居者の自立に向けて、きめ細やかな個別支援（社会復帰に向けて就労施設等への働き方支援・看護師による健康管理等）に取り組みました。今後も積極的に個別支援を行います。

３精神科病院（谷山・奄美・徳之島）との人事交流者数（延べ人数）

		2022 年									2023 年			
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
谷山→徳之島	精神保健福祉士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	作業療法士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	看護師	0	1	2	1	2	1	1	0	1	0	1	0	10
奄美→徳之島	看護師	0	0	0	2	4	0	0	2	0	0	2	0	10

無医地区への医師派遣回数（へき地医療支援）

2020 年度	2021 年度	2022 年度
5	10	9

630 調査（在院患者の疾患別割合と退院患者の退院先）

a. ６月 30 日現在の在院患者数

	2020 年度	2021 年度	2022 年度
Ｆ 00　アルツハイマー病型認知症	0	0	1
Ｆ 01　血管性認知症	0	0	0
Ｆ 02-09　上記以外の症状性を含む器質性精神障害	7	7	7
Ｆ１　Ｆ 10 アルコール使用による精神及び行動の障害	1	1	2
Ｆ１　覚せい剤による精神及び行動の障害	0	0	0
Ｆ１　アルコール、覚せい剤を除く精神作用物類使用による精神及び行動の障害	0	0	0
Ｆ２　統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	147	137	116
Ｆ３　気分（感情）障害	5	5	2
Ｆ４　神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	0	0	0
Ｆ５　生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	1	0	0
Ｆ６　成人のパーソナリティ及び行動の障害	0	0	0
Ｆ７　精神遅滞〔知的障害〕	1	1	1
Ｆ８　心理的発達の障害	0	0	0
Ｆ９　小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害	1	1	0
てんかん（Ｆ０に属さないものを計上する）	1	1	1
その他	0	2	0
計	164	155	130

b. 6 月中に退院した患者の退院先

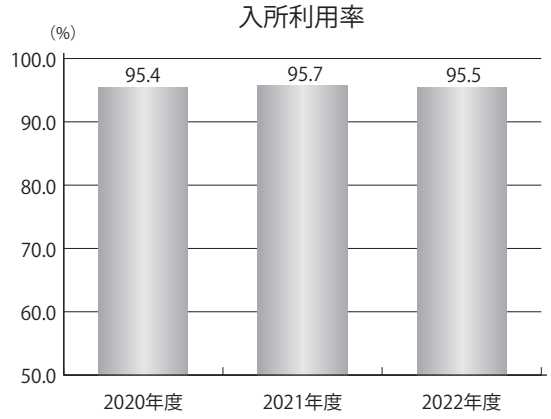
	2020 年度	2021 年度	2022 年度
家庭復帰等	7	3	3
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	0	2	1
高齢者福祉施設	2	1	0
転院・院内転科	2	3	4
死亡	1	1	0
その他	0	0	0
計	12	10	8

630 調査（1 年前の 6 月中に入院した患者の 1 年後の残存率）

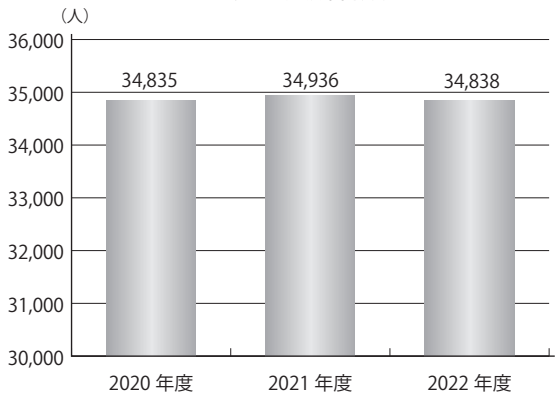
	2020 年度	2021 年度	2022 年度
入院患者数（前年の 6 月中）	2	6	4
↓			
〔退院先〕			
家庭復帰等	0	1	2
グループホーム・ケアホーム・社会復帰施設等	0	0	0
転院・院内転科	1	3	1
死亡	0	1	0
計	1	5	3
↓			
残留患者数（当該年の 6 月末）	1	1	1

介護老人保健施設 愛と結の街

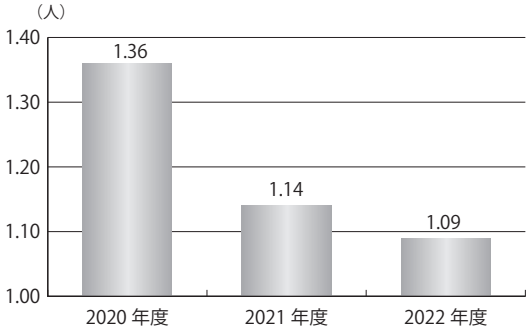
入所利用率



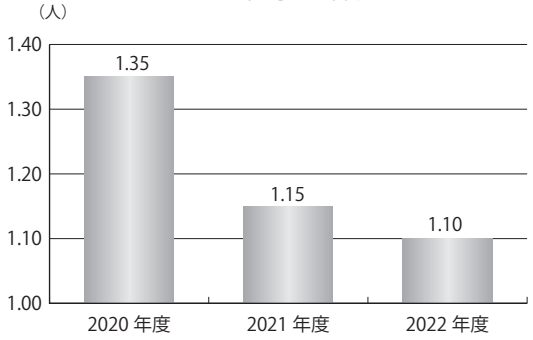
延べ入所者数



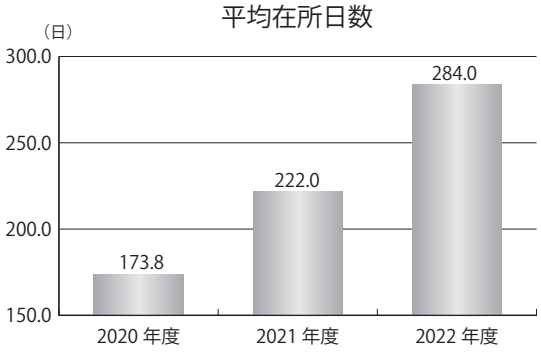
１日平均入所者数



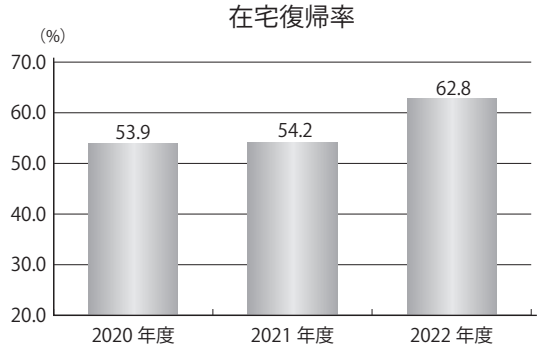
１日平均退所者数



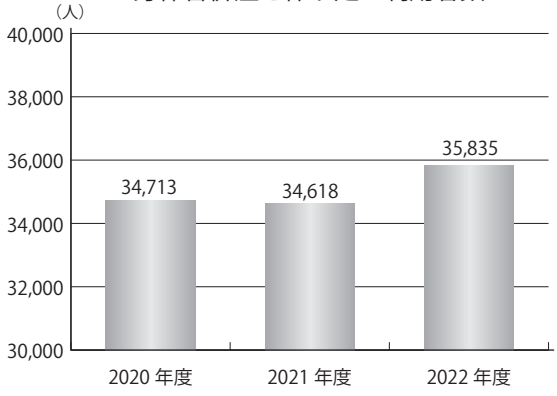
平均在所日数



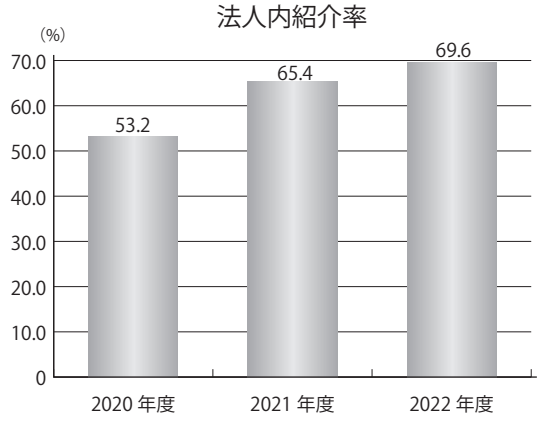
在宅復帰率

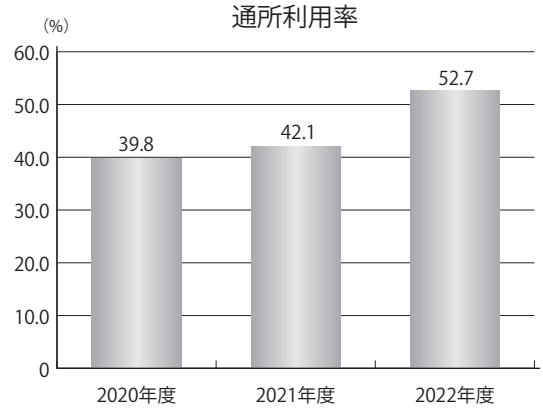


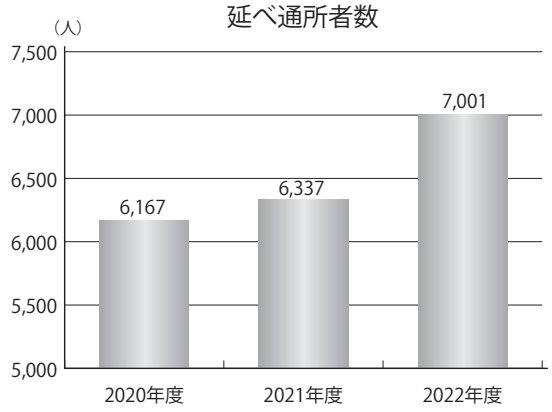
身体合併症を伴う延べ利用者数

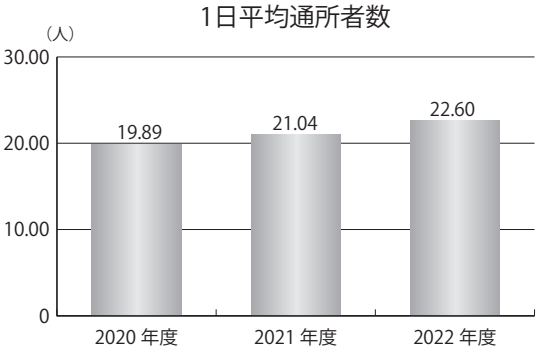


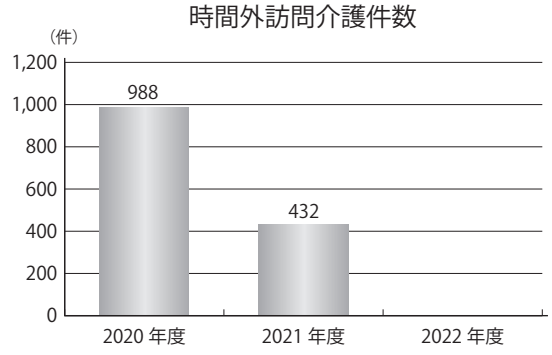
法人内紹介率





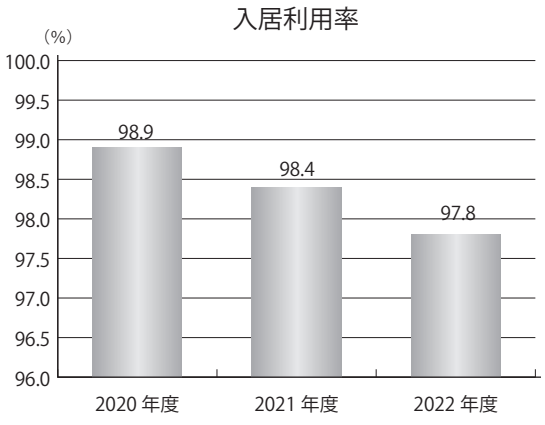


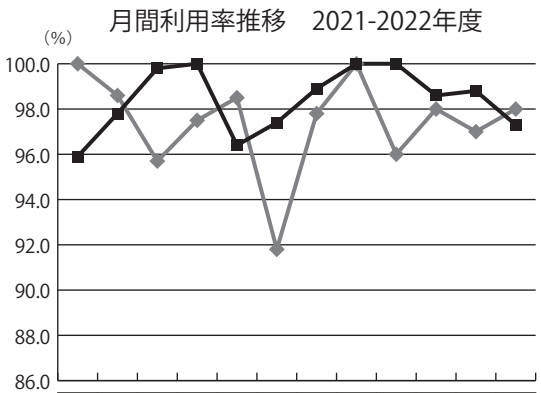




※2022 年度は実施なし。

グループホーム　愛と結の街





	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年度	95.9	97.8	99.8	100	96.4	97.4	98.9	100	100	98.6	98.8	97.3
2022年度	100	98.6	95.7	97.5	98.5	91.8	97.8	100	96.0	98.0	97.0	98.0

【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

目標利用率98.4％に対し、入院が多い状況（骨折や肺炎など延べ15名）になり、実績（97.8％）に大きく影響。看取りは1名。年々、医療ニーズや介護量が増え重度化してきており、今後さらに予防的視点と多職種との連携が重要と考えます。

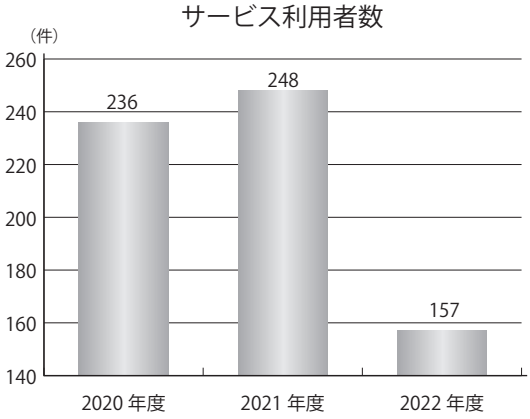
2022年度はCOVID-19の影響もあり、外部の集合研修への参加者が4名にとどまったので、ケアの質の向上のためにも2023年度は積極的に参加したいと考えています。

＜総括＞

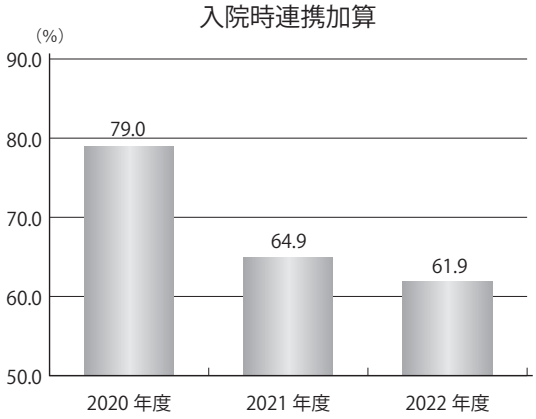
COVID-19対策として窓越し面会が継続する中、ご家族の希望に応じてZoomでの面会も数回実施しました。遠方で会えない場合などは今後もZoomでの面会を実施する方針です。また利用者の重度化に伴い、食事作り（昼・夕食）を2022年11月より老健にて実施。今後は利用者の状態に合わせた食事が提供できるようにしていきたいと考えています。

指定居宅介護支援センター　愛と結の街

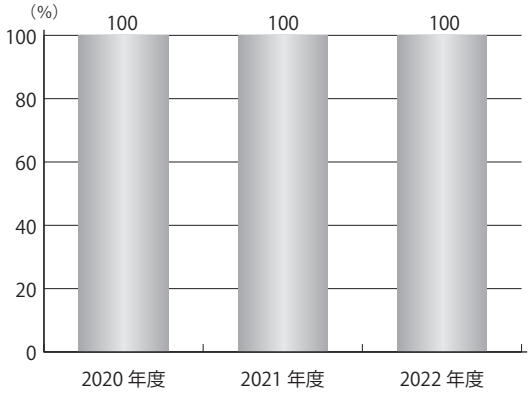
サービス利用者数



入院時連携加算



居宅事業所加算 II



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

1．新規相談受け入れ件数　目標値60件以上⇒最終55件

2．医療との連携による入院時連携加算算定
　　目標値70％以上⇒最終61.9%

3．法人事業所の紹介割合率　目標値70％以上⇒最終51.6%

4．外部研修参加　目標値20件以上⇒最終37件

退職者、人事異動により新規相談に対して、受け入れが難しい体制でしたが、公正中立な立場から法人事業所の紹介、提案を行うことを事業所内で共有し法人事業所と連携できました。

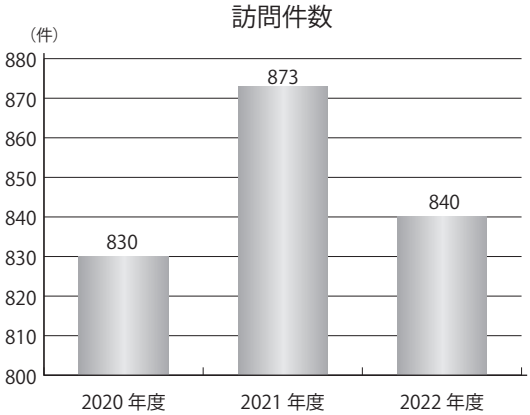
＜総括＞

昨年度は事業所体制が厳しい中で、担当ケースを共有しながら、新規相談対応、ケアマネジメントの実践ができました。

事業所内での相談受け入れ態勢を構築し、家族、包括、医療機関などからの相談に対応し、「医療・介護・福祉」が互いに連携しながら地域での生活を支えていくケアマネジメントができればと思います。

ヘルパーステーション　結の街

訪問件数



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

全体の訪問件数は前年度を下回り目標未達。身体介護と身体・生活支援の件数は、後半やや苦戦しましたがほぼ目標数値に近づけました。

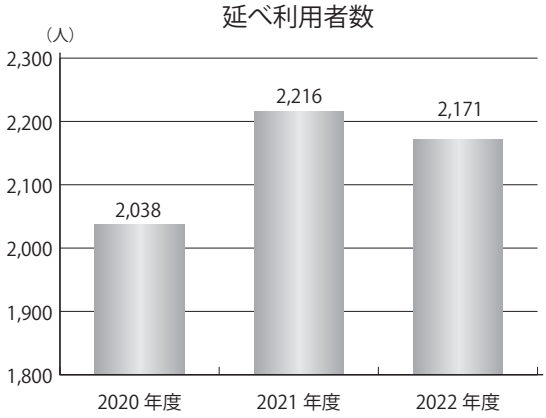
登録ヘルパーの採用が毎年困難な状況。今年の面接者数名も採用には至らず。今後も獲得に向けて努力します。

＜総括＞

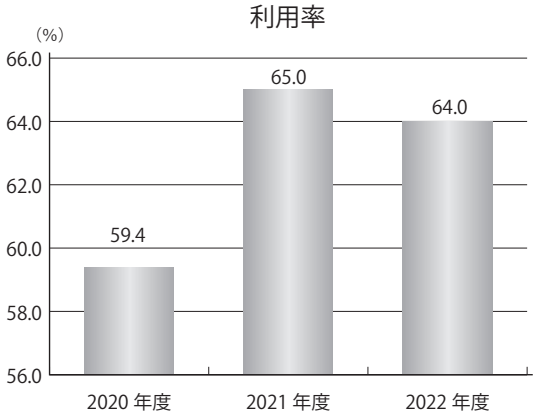
コロナ下での在宅支援を安全に安定して行う役割が求められる中、スタッフの連携や利用者の方々との信頼関係にて、感染等のリスクを回避しながら在宅支援ができました。業務改善での事務の効率化は、進展がありませんでしたが、携帯端末の利用によるスタッフ間の情報共有がスムーズにできており、今後も発展させていきたいと考えます。

デイサービスセンター　あしたの風

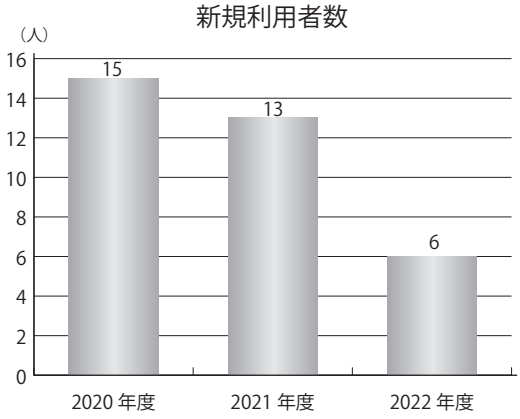
延べ利用者数



利用率



新規利用者数



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

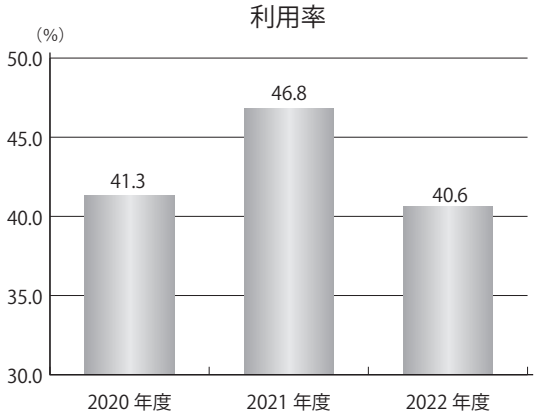
前半は稼働率が目標値に近い67.5％で経過するも、新規利用者の獲得数が目標値を下回り年間平均稼働率は64％。目標達成できなかった。

＜総括＞

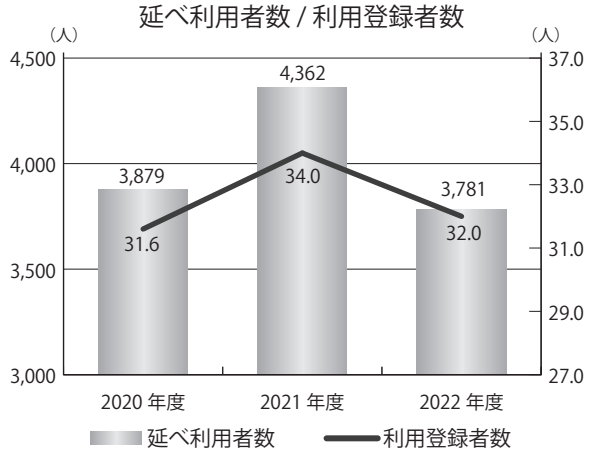
機能訓練指導員を中心にチーム全員で、利用者のBPSDの緩和とともに心身機能の維持に取り組みました。特に認知機能については、脳活性プログラムを中心にした活動を実施し、MMSEでの数値化を図り、維持が図られた利用者の割合が昨年よりさらに増加しました。今後も安心できる環境の中で、効果的な個別機能訓練や活動に取り組みその数値化を進め、利用者のBPSDの緩和と心身機能維持を図っていきます。

デイサービス　はなぶさ

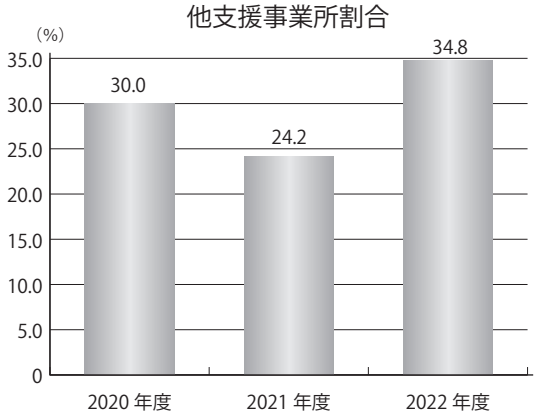
利用率



延べ利用者数 / 利用登録者数



他支援事業所割合



【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

・年間平均稼働率（7～8時間換算）60%、登録利用者数50名を目指して健全な事業所運営に取り組みましたが、年間平均稼働率39.3%、登録利用者数年間平均31名にとどまり、昨年度実績を下回りました。

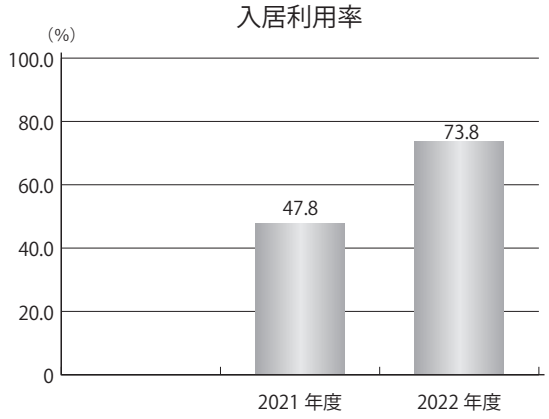
・キャンセル数が508件と昨年を大きく上回る結果となりました。

＜総括＞

併設事業所との併用利用目標は達成。コロナ感染は最低限に抑えました。新たにクラブ活動等の取り組みを始め、利用者の満足度調査等は概ね良い結果が得られました。今後は、競合事業所との競争激化や法人内の機能分化等の課題が残る中、周辺地域のニーズに応え早期に経営基盤の安定化を図ります。

住宅型有料老人ホーム　あいゆいの家

入居利用率



※2021 年 5 月開設

【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

老健施設等と連携を図り、年間平均入居者8名を目標に入居調整を行いました。暫くは8名を維持したものの入院等があり、年間平均で入居者7名に留まり目標達成には至りませんでした。

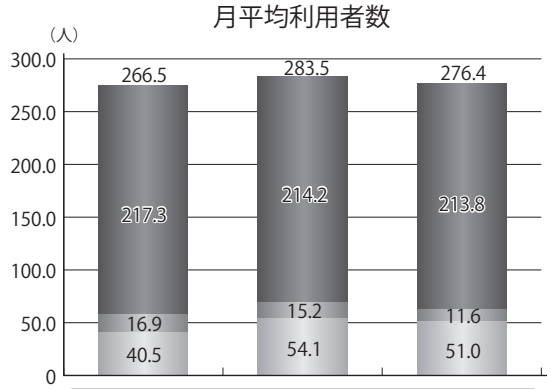
＜総括＞

家庭での生活のようなアットホームな雰囲気作りと快適に生活が出来る支援体制の構築に努めました。食堂の共有スペースでは入居者同士が自然と集い交流が図れるように茶話会やイベント（季節の調理レク等）を定期開催、定期訪問する移動販売の買い物サポート等も実施しました。下半期には新型コロナウイルス感染者が複数発生して対応に追われました。今後も安定的な入居者確保やニーズに応じたサービス内容調整等、柔軟な対応を行っていきます。

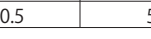
慈愛会在宅支援部

笹貫訪問看護ステーション　愛の街

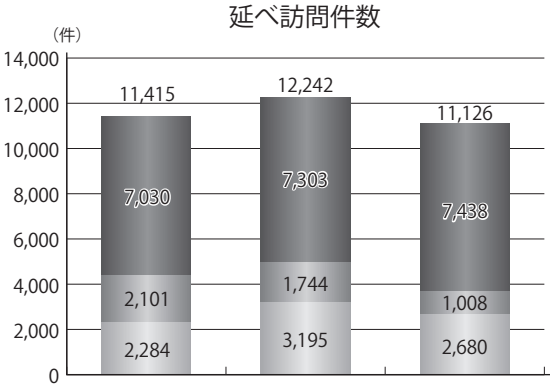
月平均利用者数



	2020年度	2021年度	2022年度
精神	217.3	214.2	213.8
医療	16.9	15.2	11.6
介護	40.5	54.1	51.0



延べ訪問件数



	2020年度	2021年度	2022年度
精神	7,030	7,303	7,438
医療	2,101	1,744	1,008
介護	2,284	3,195	2,680

【2022 年度総括】

＜目標達成度＞

年間訪問看護件数目標12,000件に対して11,126件と、やや目標に到達せず。要因としては、利用者の入居先施設などが、新型コロナ感染者発生により出入りの制限等があったこと、また、季節の変わり目に体調不良で数名が入院などされたことが考えられます。

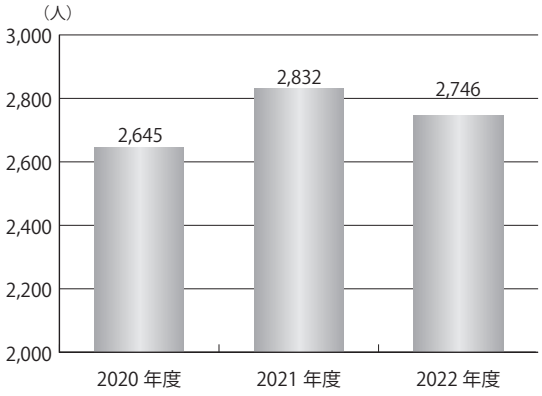
＜総括＞

・自身の感染対策を重点的に留意し、利用者への訪問を実施。
・特定看護師育成と支援。
・働き甲斐のある職場環境づくりとして、有給休暇取得率平均56％の消化率達成。

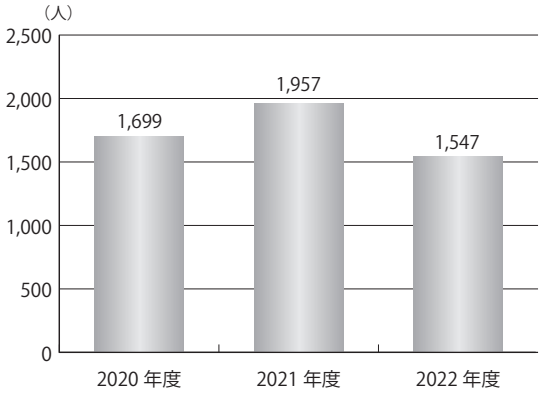
※一般の訪問看護のうち医療保険利用の訪問看護を「医療」、介護保険利用の訪問看護を「介護」として集計。

高麗町クリニック

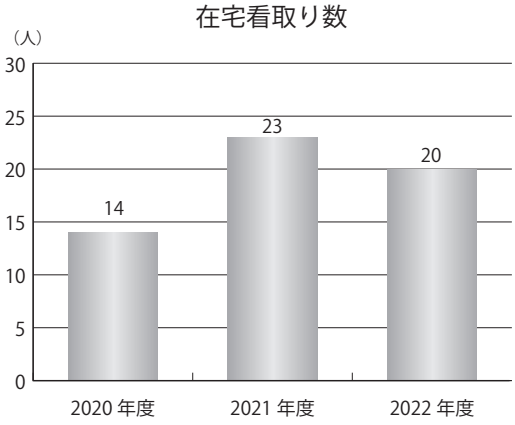
訪問診療延べ患者数



訪問リハ延べ患者数

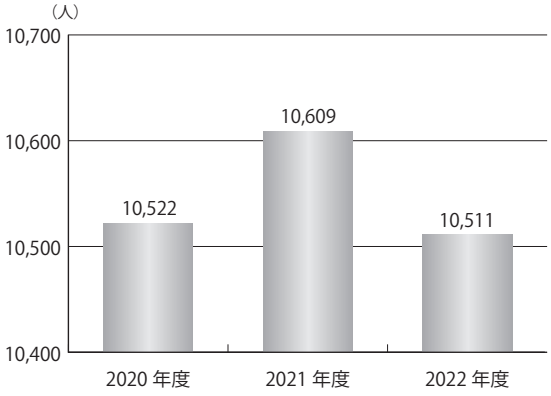


在宅看取り数

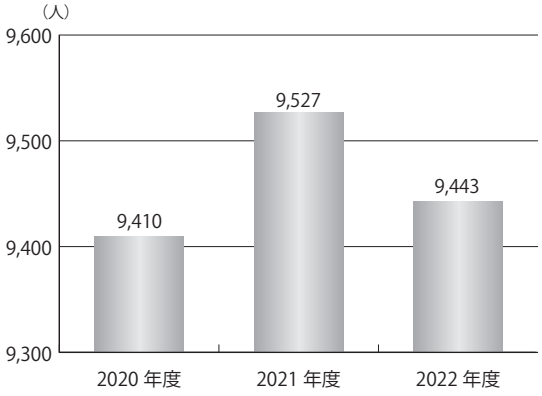


慈愛会クリニック

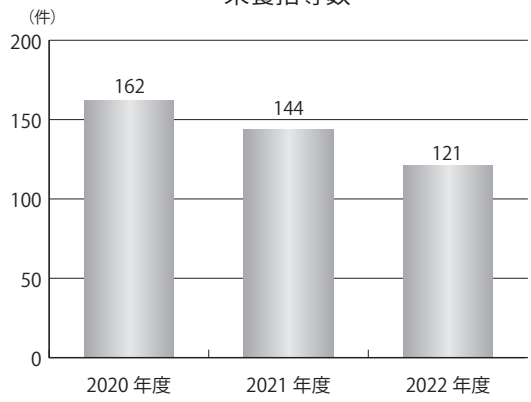
外来患者数



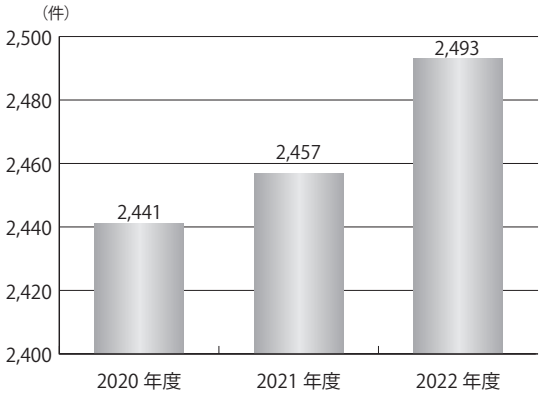
糖尿病患者延べ数



栄養指導数

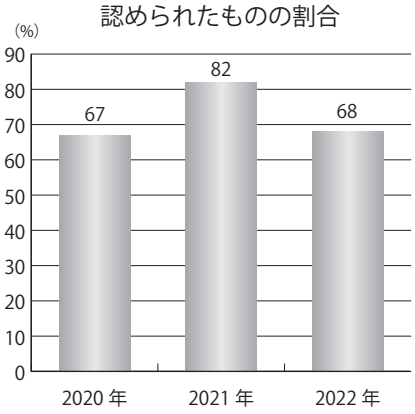


透析予防に関する指導数

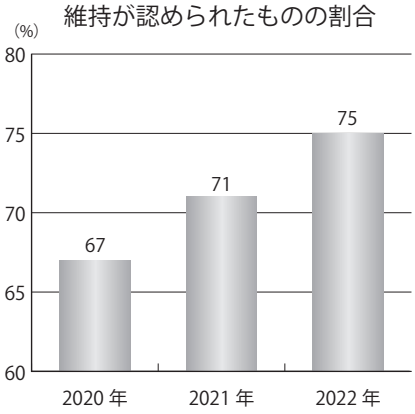


上記の透析予防に関する指導を行った患者における割合

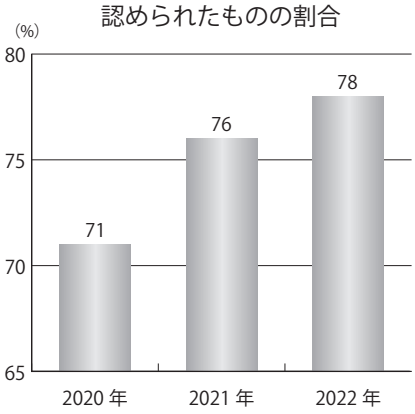
HbA1cの改善または維持が認められたものの割合



クレアチニン・eGFRの改善または維持が認められたものの割合

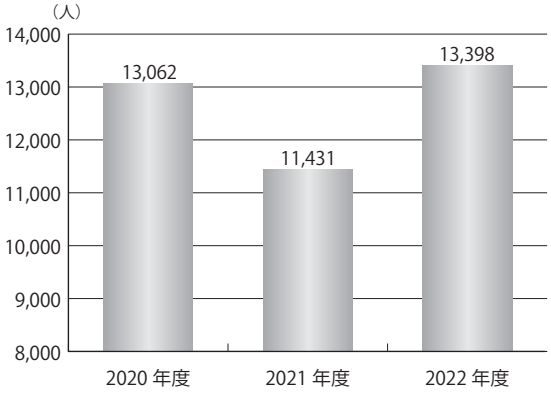


血圧の改善または維持が認められたものの割合

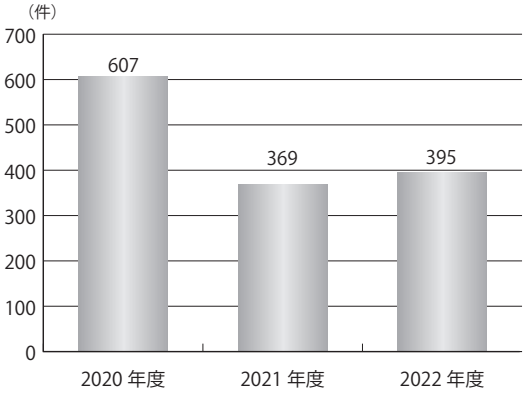


七波クリニック

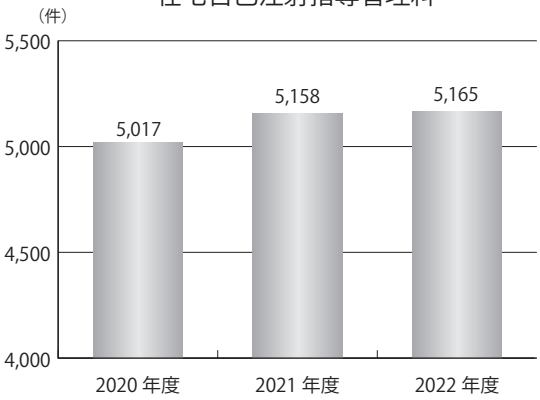
延べ外来患者数



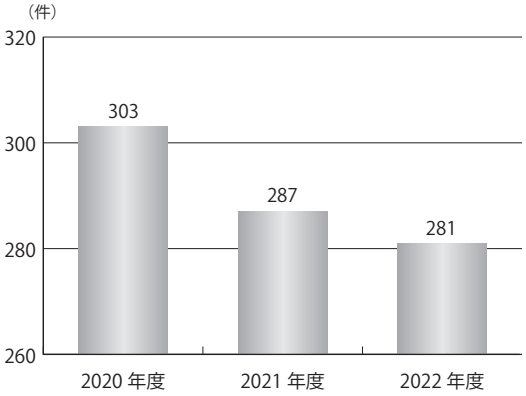
個別栄養食事指導件数



在宅自己注射指導管理料

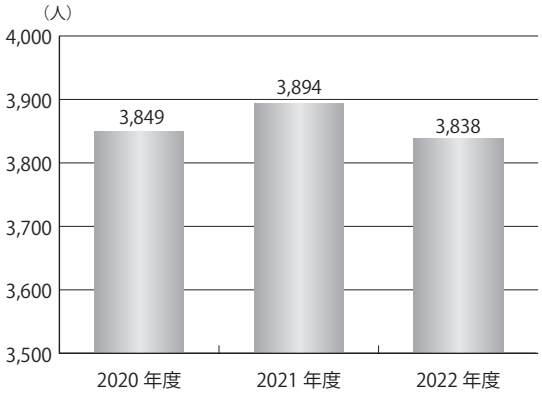


特定健診実施数

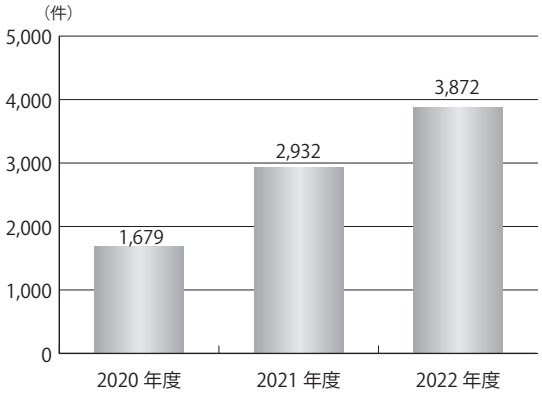


かごしまオハナクリニック

延べ外来患者数

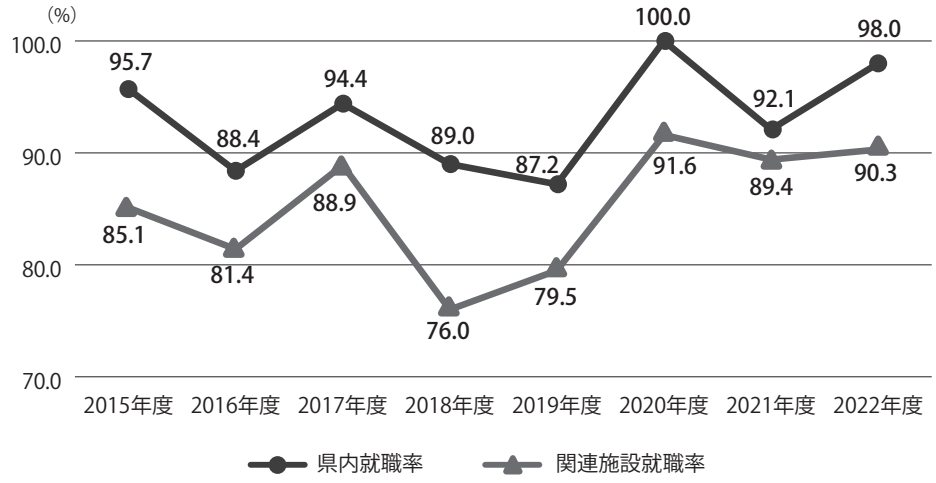


訪問診療件数

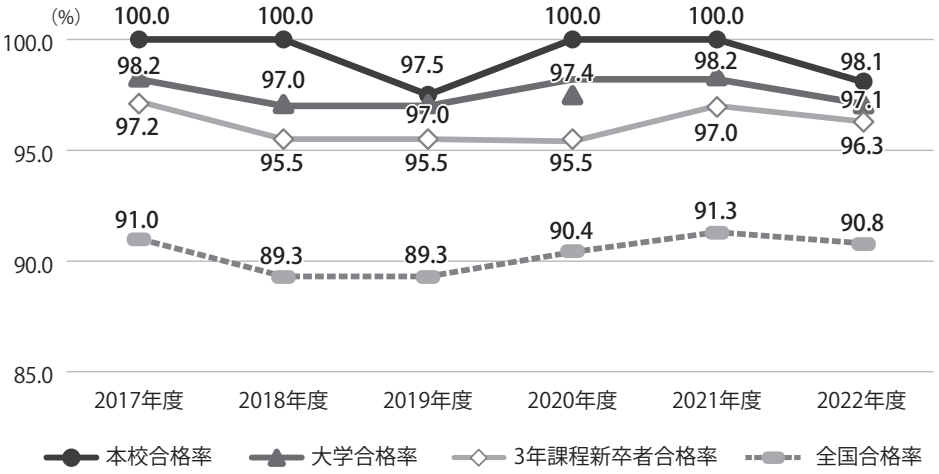


鹿児島中央看護専門学校

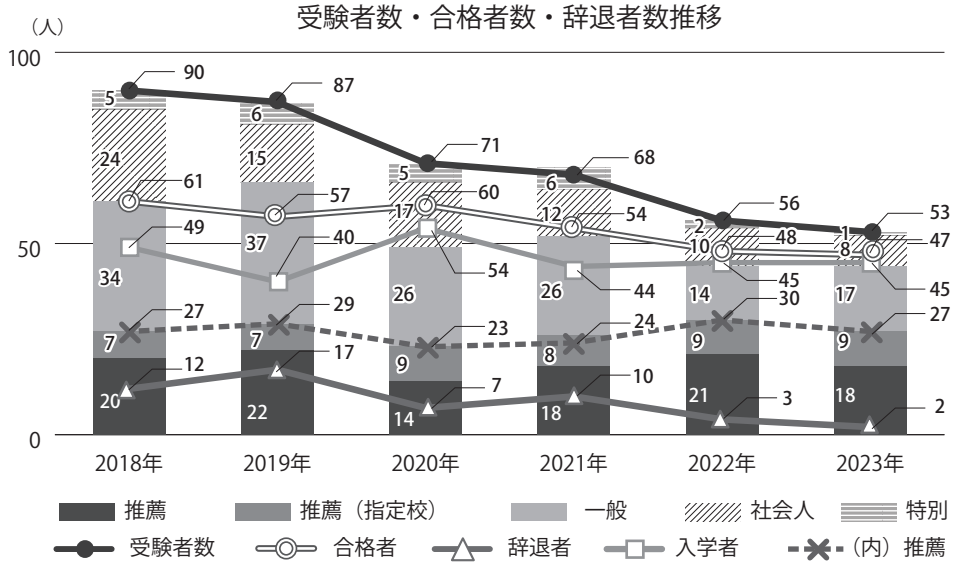
県内就職率・関連施設就職率



国家試験合格率の推移



受験者数・合格者数・辞退者数推移



法人業績一覧

【論文】

血液内科

今村総合病院

＜欧文＞

1．Utsunomiya A, Izutsu K, Jo T, Yoshida S, Tsukasaki K, Ando K, Choi I, Imaizumi Y, Kato K, Kurosawa M, Kusumoto S, Miyagi T, Ohtsuka E, Sasaki O, Shibayama H, Shimoda K, Takamatsu Y, Takano K, Yonekura K, Makita S, Taguchi J, Gillings M, Onogi H, Tobinai K：Oral HDAC Inhibitor Tucidinostat (HBI-8000) in Patients with Relapsed or Refractory Adult T-cell Leukemia/Lymphoma：Phase IIb Results. Cancer Sci 113(8)：2778-2787, 2022（May）. doi：10.1111/cas.15431

2．Tokunaga M, Nakano N, Fuji S, Wake A, Utsunomiya A, Ito A, Eto T, Kawakita T, Mori Y, Moriuchi Y, Suehiro Y, Miyazaki Y, Uchida N, Sawayama Y, Ishitsuka K, Kanda J, Kimura T, Ichinohe T, Atsuta Y, Fukuda T, Yoshimitsu M, Kato K：Cord blood is a suitable donor source of allogeneic hematopoietic cell transplantation for adult T-cell leukemia-lymphoma: a nationwide retrospective study. Bone Marrow Transplant：Online ahead of print, 2023 (Jan)

＜共著＞＜欧文＞

1．Tanaka N, Mori S, Kiyotani K, Ota Y, Gotoh O, Kusumoto S, Nakano N, Suehiro Y, Ito A, Choi I, Ohtsuka E, Hidaka M, Nosaka K, Yoshimitsu M, Imaizumi Y, Iida S, Utsunomiya A, Noda T, Nishikawa H, Ueda R, Ishida T：Genomic determinants impacting the clinical outcome of mogamulizumab treatment for adult T-cell leukemia/lymphoma. Haematologica 107(10)：2418-2431, 2022（Apr）. doi：10.3324/haematol.2021.280352

2．Ishizawa K, Yokoyama M, Kato H, Yamamoto K, Makita M, Ando K, Ueda Y, Tachikawa Y, Suehiro Y, Kurosawa M, Kameoka Y, Nagai H, Uoshima N, Ishikawa T, Hidaka M, Ito Y, Utsunomiya A, Fukushima K, Ogura M：A phase I/II study of 10-min dosing of bendamustine hydrochloride (rapid infusion formulation) in patients with previously untreated indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma, mantle cell lymphoma, or relapsed/refractory diffuse large B-cell lymphoma in Japan. Cancer Chemother Pharmacol 90(1)：83-95, 2022（Jul）. doi：10.1007/s00280-022-04442-2

3．Izutsu K, Makita S, Nosaka K, Yoshimitsu M, Utsunomiya A, Kusumoto S, Morishima S, Tsukasaki K, Kawamata T, Ono T, Rai S, Katsuya H, Ishikawa J, Yamada H, Kato K, Tachibana M, Kakurai Y, Adachi N, Tobinai K, Yonekura K, Ishitsuka K：An Open-Label, Single-Arm, Phase 2 Trial of Valemetostat in Relapsed or Refractory Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma. Blood. 2022 (Sep) Online ahead of print. doi：10.1182/blood.2022016862

4．Imaizumi Y, Iwanaga M, Nosaka K, Ishitsuka K, Ishizawa K, Ito S, Amano M, Ishida T, Uike N, Utsunomiya A, Ohshima K, Tanaka J, Tokura Y, Tobinai K, Watanabe T, Uchimaru K, Tsukasaki K：Validation of the iATL-PI prognostic index in therapeutic decision-making for patients with smoldering and chronic ATL：a multicenter study. Int J Hematol. 2022 (Oct) Online ahead of print. doi：10.1007/s12185-022-03473-y

5．Hiramatsu H, Nosaka K, Kusumoto S, Nakano N, Choi I, Yoshimitsu M, Imaizumi Y, Hidaka M, Sasaki H, Makiyama J, Ohtsuka E, Jo T, Ogata M, Ito A, Yonekura K, Tatetsu H, Kato T, Kawakita T,

Suehiro Y, Ishitsuka K, Iida S, Matsutani T, Nishikawa H, Utsunomiya A, Ueda R, Ishida T：Landscape of immunoglobulin heavy chain gamma gene class switch recombination in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma. Haematologica. 2022 (Nov) Online ahead of print. doi：10.3324/haematol.2022.281435

6．Inamoto Y, Takeda W, Hirakawa T, Sakaguchi H, Nakano N, Uchida N, Doki N, Ikegame K, Katayama Y, Sawa M, Kuriyama T, Hiramoto N, Ota S, Ozawa Y, Kataoka K, Kanda Y, Hino M, Kimura T, Atsuta Y, Fukuda T, Nagafuji K：Adenovirus disease after hematopoietic cell transplantation：A Japanese transplant registry analysis. Am J Hematol 97(12)：1568-1579, 2022（Dec）

7．Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Murase T, Ohtsuka E, Takeshita M, Muto R, Iwasaki H, Ito A, Kusumoto S, Nakano N, Tokunaga M, Yonekura K, Tashiro Y, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R, Inagaki H：CCR7 alterations associated with inferior outcome of adult T-cell leukemia/lymphoma under mogamulizumab treatment. Hematol Oncol 40(5)：876-884, 2022（Dec）

8．Arai A, Yoshimitsu M, Otsuka M, Ito Y, Miyazono T, Nakano N, Obama K, Nakashima H, Hanada S, Owatari S, Nakamura D, Tokunaga M, Kamada Y, Utsunomiya A, Haraguchi K, Hayashida M, Fujino S, Odawara J, Tabuchi T, Suzuki S, Hamada H, Kawamoto Y, Uchida Y, Hachiman M, Ishitsuka K：Identification of putative noncanonical driver mutations in patients with essential thrombocythemia. Eur J Haematol：Online ahead of print, 2023 (Feb)

9．Kameda T, Kataoka K, Kamiunten A, Hidaka M, Miyoshi H, Nakano N, Nosaka K, Yoshimitsu M, Yasunaga JI, Kogure Y, Shide K, Miyahara M, Sakamoto T, Akizuki K, Hidaka T, Kubuki Y, Koya J, Kawano N, Yamashita K, Kawano H, Toyama T, Maeda K, Marutsuka K, Imaizumi Y, Kato K, Sugio T, Tokunaga M, Tashiro Y, Takaori-Kondo A, Miyazaki Y, Akashi K, Ishitsuka K, Matsuoka M, Ohshima K, Watanabe T, Kitanaka A, Utsunomiya A, Ogawa S, Shimoda K：Integrated genetic and clinical prognostic factors for aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma. Haematologica：Online ahead of print, 2023 (Feb)

10. Owatari S, Tokunaga M, Nakamura D, Uozumi K, Sagara Y, Nakamura H, Haraguchi K, Nakano N, Yoshimitsu M, Ito Y, Utsunomiya A, Otsuka M, Hanada S, Iwanaga M, Ishitsuka K：A decrease in newly diagnosed patients with adult T-cell leukemia/lymphoma in Kagoshima, a highly endemic area of HTLV-1 in southwestern Japan. Leuk Lymphoma 10：1-9 Online ahead of print, 2023 (Feb)

11. Imaizumi Y, Iwanaga M, Nosaka K, Ishitsuka K, Ishizawa K, Ito S, Amano M, Ishida T, Uike N, Utsunomiya A, Ohshima K, Tanaka J, Tokura Y, Tobinai K, Watanabe T, Uchimaru K, Tsukasaki K：Validation of the iATL-PI prognostic index in therapeutic decision-making for patients with smoldering and chronic ATL：a multicenter study, Int J Hematol 117 (2)：206-215, 2023 (Feb)

12. Izutsu K, Makita S, Nosaka K, Yoshimitsu M, Utsunomiya A, Kusumoto S, Morishima S, Tsukasaki K, Kawamata T, Ono T, Rai S, Katsuya H, Ishikawa J, Yamada H, Kato K, Tachibana M, Kakurai Y, Adachi N, Tobinai K, Yonekura K, Ishitsuka K：An open-label, single-arm phase 2 trial of valemetostat for relapsed or refractory adult T-cell leukemia/lymphoma. Blood 141 (10)：1159-1168, 2023 (Mar)

＜和文＞

1．宇都宮與，米倉健太郎，石塚賢治，畠清彦，塚崎邦弘：再発または難治性成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する治療選択－エピジェネティック異常を標的とする経口 HDAC 阻害薬ツシジノスタット－血液内科．86(3)：443-454，2023

＜著書＞

1．宇都宮與：教えて！ HTLV-1 のことシリーズ 1『教えて！先生　ATL（成人 T 細胞白血病）のこと』．南方新社，2023

2．宇都宮與：成人 T 細胞白血病・リンパ腫．今日の治療指針 2023 年－私はこう治療している．医学書院，2023，pp678-680

臨床研究センター / HTLV-1研究センター

今村総合病院

＜著書＞

1．宇都宮與：教えて！ HTLV-1 のことシリーズ 1『教えて！先生　ATL（成人 T 細胞白血病）のこと』．南方新社，2023

2．宇都宮與：成人 T 細胞白血病・リンパ腫．今日の治療指針 2023 年－私はこう治療している．医学書院，2023，pp678-680

皮膚科

今村総合病院

＜共著＞＜欧文＞

1．Sakamoto Y，Ishida T，Masaki A，Takeshita M，Iwasaki H，Yonekura K，Tashiro Y，Ito A，Kusumoto S，Iida S，Utsunomiya A，Ueda R，Inagaki H：Clinicopathological significance of CD28 overexpression in adult T-cell leukemia/lymphoma．Cancer Sci 113(1)：349-361，2022

2．Ohata C，Tsuruta N，Yonekura K，Higashi Y，Saito K，Katayama E，Imafuku S：Western Japan Inflammatory Disease Research Group：Clinical characteristics of Japanese pustular psoriasis：A multicenter observational study．J Dermatol 49(1)：142-150，2022

3．Hamada T，Morita A，Suga H，Boki H，Fujimura T，Hirai Y，Shimauchi T，Tateishi C，Kiyohara E，Muto I，Nakajima H，Abe R，Fujii K，Nishigori C，Nakano E，Yonekura K，Funakoshi T，Amano M，Miyagaki T，Makita N，Manaka K，Shimoyama Y，Sugaya M：Safety and efficacy of bexarotene for Japanese patients with cutaneous T-cell lymphoma，Real-world experience from post-marketing surveillance．J Dermatol 49(2)：253-262，2022

4．Nosaka K，Kusumoto S，Nakano N，Choi I，Yoshimitsu M，Imaizumi Y，Hidaka M，Sasaki H，Makiyama J，Ohtsuka E，Jo T，Ogata M，Ito A，Yonekura K，Tatetsu H，Kato T，Kawakita T，Suehiro Y，Ishitsuka K，Iida S，Matsutani T，Utsunomiya A，Ueda R，Ishida T：Clinical significance of the immunoglobulin G heavy-chain repertoire in peripheral blood mononuclear cells of adult T-cell leukaemia-lymphoma patients receiving mogamulizumab．Br J Haematol 196(3)：629-638，2022

5．Utsunomiya A，Izutsu K，Jo T，Yoshida S，Tsukasaki K，Ando K，Choi I，Imaizumi Y，Kato K，Kurosawa M，Kusumoto S，Miyagi T，Ohtsuka E，Sasaki O，Shibayama H，Shimoda K，Takamatsu Y，Takano K，Yonekura K，Makita S，Taguchi J，Gillings M，Onogi H，Tobinai K：Oral histone deacetylase inhibitor tucidinostat (HBI-8000) in patients with relapsed or refractory adult T-cell leukemia/lymphoma：Phase IIb results．Cancer Sci 113：2778-2787，2022

6．Sakamoto Y，Ishida T，Masaki A，Murase T，Ohtsuka E，Takeshita M，Muto R，Iwasaki H，Ito A，Kusumoto S，Nakano N，Tokunaga M，Yonekura K，Tashiro Y，Iida S，Utsunomiya A，Ueda R，Inagaki H：CCR7 alterations associated with inferior outcome of adult T-cell leukemia/lymphoma under mogamulizumab treatment．Hematol Oncol 40(5)：876-884，2022

7．Izutsu K，Makita S，Nosaka K，Yoshimitsu M，Utsunomiya A，Kusumoto S，Morishima S，Tsukasaki K，

Kawamata T, Ono T, Rai S, Katsuya H, Ishikawa J, Yamada H, Kato K, Tachibana M, Kakurai Y, Adachi N, Tobinai K, Yonekura K, Ishitsuka K：An open-label, single-arm phase 2 trial of valemetostat for relapsed or refractory adult T-cell leukemia/lymphoma. Blood 141(10)：1159-1168, 2023

8．Hiramatsu H, Nosaka K, Kusumoto S, Nakano N, Choi I, Yoshimitsu M, Imaizumi Y, Hidaka M, Sasaki H, Makiyama J, Ohtsuka E, Jo T, Ogata M, Ito A, Yonekura K, Tatetsu H, Kato T, Kawakita T, Suehiro Y, Ishitsuka K, Iida S, Matsutani T, Nishikawa H, Utsunomiya A, Ueda R, Ishida T：Landscape of immunoglobulin heavy chain　γ gene class switch recombination in patients with adult T-cell leukemia-lymphoma. Haematologica 108(4)：1173-1178, 2023

9．Ohata C, Anezaki H, Kaneko S, Okazaki F, Ito K, Matsuzaka Y, Kikuchi S, Koike Y, Murota H, Miyagi T, Takahashi K, Sugita K, Hashimoto A, Nakahara T, Morizane S, Ohyama B, Saruwatari H, Yanase T, Yoshida Y, Yonekura K, Higashi Y, Hatano Y, Saito K, Katayama E, Yamane M, Yamazaki F, Tsuruta N, Imafuku S：Clinical characteristics of patients with psoriasis with family history：A multicenter observational study. J Dermatol. 2023 (Jan) Online ahead of print. doi：10.1111/1346-8138.16733

10. Yanase T, Tsuruta N, Yamaguchi K, Ohata C, Ohyama B, Katayama E, Sugita K, Kuwashiro M, Hashimoto A, Yonekura K, Higashi Y, Murota H, Koike Y, Matsuzaka Y, Kikuchi S, Hatano Y, Saito K, Takahashi K, Miyagi T, Kaneko S, Ota M, Harada K, Morizane S, Ikeda K, Furue M, Nakahara T, Okazaki F, Sasaki N, Okada E, Yoshida Y, Ito K, Imafuku S：Survival rates of systemic interventions for psoriasis in the Western Japan Psoriasis Registry：A multicenter retrospective study. J Dermatol. 2023(Feb) Online ahead of print.. doi：10.1111/1346-8138.16737

＜和文＞

1．米倉健太郎：菌状息肉症に対する新規治療．皮膚科 1(3)：378–385, 2022

2．米倉健太郎：【ウイルスと皮膚疾患－新しい考え方】（Part4）知っておきたいウイルスの話題　HTLV-1 と成人 T 細胞白血病リンパ腫（解説）．Visual Dermatology 21(10)：1032-1034, 2022

3．上塘葉子，米倉健太郎，田代幸恵，二之宮謙次郎，金蔵拓郎：菌状息肉症の 1 例 CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の 1 例．Skin Cancer 36 (3)：230-234, 2022

＜著書＞

1．米倉健太郎：皮膚リンパ腫．日本臨床 増刊号 新リンパ腫学 基礎・臨床の最新動向．日本臨牀社 81(3), 2023, pp398-406

外科・消化器外科

今村総合病院

＜欧文＞＜共著＞

1．Fujisaki M, Nomura T, Yamashita H, Uenosono Y, Fukunaga T, Otsuji E, Takahashi M, Matsumoto H, Oshio A, Nakada K：Impact of Tumor Location on the Quality of Life of Patients Undergoing Total or Proximal Gastrectomy. J Gastric Cancer 22(3)：235-247, 2022

2．Lee SW, Kaji M, Uenosono Y, Kano M, Shimizu H, Noguchi T, Ueda S, Nobuoka T, Oshio A, Nakada K：The evaluation of the postoperative quality of life in patients undergoing radical gastrectomy for esophagogastric junction cancer using the Postgastrectomy Syndrome Assessment Scale-45：a nationwide multi-institutional study. Surg Today 52(5)：832-843, 2022

3．Kobayashi K, Suyama K, Katsuya H, Izawa N, Uenosono Y, Hu Q, Kusumoto T, Otsu H, Orita H, Kawanaka H, Shibao K, Koga S, Shimokawa M, Makiyama A, Saeki H, Oki E, Baba H, Mori M; KSCC1701 study group. A phase II multicenter trial assessing the efficacy and safety of first-line S-1 + ramucirumab in elderly patients with advanced/recurrent gastric cancer：KSCC1701. Eur J Cancer 166:279-286, 2022

4．Arigami T, Matsushita D, Okubo K, Shimonosono M, Sasaki K, Tsuruda Y, Kita Y, Tanabe K, Mori S, Yanagita S, Uenosono Y, Nakajo A, Kurahara H, Ohtsuka T：A prognostic scoring system for conversion surgery after trastuzumab-based chemotherapy for human epidermal growth factor receptor 2-positive advanced gastric cancer. Surg Today 52(12)：1721-1730, 2022

＜和文＞

1．木許広太郎, 平野拓郎, 冨田実代, 福久はるひ, 馬場研二, 瀧川譲治, 上之園芳一, 帆北修一, 二之宮謙次郎, 田代幸恵：腹膜播種と鑑別を要した石灰化線維種を伴ったSclerosing angiomatoid nodular transformationの1例. 鹿児島県臨床外科学会誌（1346-0498）33：43-47, 2022

＜その他の論文, 著述＞

1．帆北修一, 上之園芳一：病院めぐり　公益財団法人今村総合病院. 臨外 77(5)：590, 2022

消化器内科

今村総合病院

＜欧文＞＜共著＞

1．Koga F, Kawaguchi Y, Shimokawa M, Murayama K, Nakashita S, Oza N, Ureshino N, Takahashi H, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Otsu S, Arima S, Fukahori M, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Shibuki T, Nio K, Ide Y, Mizuta T, Shirakawa T, Otsuka T, Mitsugi K：Gemcitabine plus nab-paclitaxel in older patients with metastatic pancreatic cancer：A post-hoc analysis of the real-world data of a multicenter study (the NAPOLEON study). J Geriatr Oncol 13(1)：82-87, 2022

2．Shibuki T, Mizuta T, Shimokawa M, Koga F, Ueda Y, Nakazawa J, Komori A, Otsu S, Arima S, Fukahori M, Makiyama A, Taguchi H, Honda T, Mitsugi K, Nio K, Ide Y, Ureshino N, Shirakawa T, Otsuka T：Prognostic nomogram for patients with unresectable pancreatic cancer treated with gemcitabine plus nab-paclitaxel or FOLFIRINOX: A post-hoc analysis of a multicenter retrospective study in Japan (NAPOLEON study). BMC Cancer 22：19, doi：10.1186/s12885-021-09139-y, 2022

泌尿器科

今村総合病院

＜欧文＞＜共著＞

1．Miyake M, Iida K, Nishimura N, Inoue T, Matsumoto H, Matsuyama H, Fujiwara Y, Komura K, Inamoto T, Azuma H, Yasumoto H, Shiina H, Yonemori M, Enokida H, Nakagawa M, Fukuhara H, Inoue K, Yoshida T, Kinoshita H, Matsuda T, Fujii T, Fujimoto K；Nishinihon Uro-oncology Extensive Collaboration Group：Site-specific Risk Stratification Models for Postoperative Recurrence and Survival Prediction in Patients with Upper Tract Urothelial Carcinoma Undergoing Radical Nephroureterectomy：Better Stratification for Adjuvant Therapy. Eur Urol Open Sci 30；41：95-104, 2022

2．Kawakami I, Yoshino H, Fukumoto W, Tamai M, Okamura S, Osako Y, Sakaguchi T, Inoguchi S, Matsushita R, Yamada Y, Tatarano S, Nakagawa M, Enokida H：Targeting of the glutamine transporter SLC1A5 induces cellular senescence in clear cell renal cell carcinoma. Biochem Biophys Res Commun 611：99-106, 2022

3．Tatarano S, Mitsuke A, Sakaguchi T, Matsushita R, Inoguchi S, Yoshino H, Nishimura H, Yamada Y, Enokida H: Laparoscopic surgery for pheochromocytoma in dialysis patients. Int J Nephrol. 3060647, 2022

4．Miyamoto T, Miyake M, Nakahama T, Nishimura N, Onishi K, Iida K, Yonemori M, Enokida H, Nakagawa M, Matsumoto H, Matsuyama H, Matsushita Y, Miyake H, Fujii T, Shimada K, Baba S, Kinjyo M, Shimokama T, Okumura K, Fujimoto K；Nishinihon Uro-oncology Extensive Collaboration group：Validation of the risk stratification newly defined in the Japanese Urological Association guidelines 2019 for non-muscle invasive bladder cancer：A multi-institutional collaborative study. Int J Urol：2023(Feb) Online ahead of print. doi：10.1111/iju.15162

＜和文＞＜共著＞

1．坂口大，鑪野修一，楢木伴直，森威慈，見附明彦，大迫洋一，井口智生，松下良介，吉野裕史，西村博昭，山田保俊，榎田英樹：腎移植後にロボット支援下膀胱全摘術および回腸導管造設術を施行した1例．日本臨床腎移植学会雑誌（2187-9907）10(2)：229-231，2022

病理診断科

今村総合病院

＜欧文＞＜共著＞

1．Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Takeshita M, Iwasaki H, Yonekura K, Tashiro Y, Ito A, Kusumoto S, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R, Inagaki H: Clinicopathological significance of CD28 overexpression in adult T-cell leukemia/lymphoma. Cancer Sci 113(1)：349-361，2022

2．Sakamoto Y, Ishida T, Masaki A, Murase T, Ohtsuka E, Takeshita M, Muto R, Iwasaki H, Ito A, Kusumoto S, Nakano N, Tokunaga M, Yonekura K, Tashiro Y, Iida S, Utsunomiya A, Ueda R, Inagaki H：CCR7 alterations associated with inferior outcome of adult T-cell leukemia/lymphoma under mogamulizumab treatment. Hematol Oncol 40(5)：876-884，2022(Dec)

3．Kameda T, Kataoka K, Kamiunten A, Hidaka M, Miyoshi H, Nakano N, Nosaka K, Yoshimitsu M, Yasunaga JI, Kogure Y, Shide K, Miyahara M, Sakamoto T, Akizuki K, Hidaka T, Kubuki Y, Koya J, Kawano N, Yamashita K, Kawano H, Toyama T, Maeda K, Marutsuka K, Imaizumi Y, Kato K, Sugio T, Tokunaga M, Tashiro Y, Takaori-Kondo A, Miyazaki Y, Akashi K, Ishitsuka K, Matsuoka M, Ohshima K, Watanabe T, Kitanaka A, Utsunomiya A, Ogawa S, Shimoda K：Integrated genetic and clinical prognostic factors for aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma. Haematologica, Online ahead of print, 2023 (Feb)

＜和文＞＜共著＞

1．木許広太郎，平野拓郎，冨田実代，福久はるひ，馬場研二，瀧川譲治，上之園芳一，帆北修一，二之宮謙次郎，田代幸恵：腹膜播種と鑑別を要した石灰化線維種を伴ったSclerosing angiomatoid nodular transformationの1例．鹿児島県臨床外科学会誌（1346-0498）33：43-47，2022

2．上塘葉子，米倉健太郎，田代幸恵，二之宮謙次郎，金蔵拓郎：菌状息肉症の1例 CD4/CD8 double-negative 菌状息肉症の1例．Skin Cancer 36 (3)：230-234，2022

循環器内科

今村総合病院

＜欧文＞

1．Sameshima K，Higo K，Hiwatari S，Shioura T，Torigoe T，Yoshimura A，Ohishi M：A case of Takotsubo cardiomyopathy with apical hypertrophic cardiomyopathy-like morphological changes during recovery．J Rural Med 17(3)：171-175，2022

小児科

今村総合病院

＜和文＞

1．溝田美智代，四元景子，関祐子：学校の成長曲線で発見された頭蓋内胚細胞腫瘍の一例．鹿児島市医報 61(4)：20-22，2022

2．四元景子，溝田美智代，髙崎能久，田代幸恵：単純ヘルペスウイルス初感染時にヘルペス食道炎を発症した基礎疾患のない小児例．小児科臨床 75(5)：801-806，2022

眼　科

今村総合病院

＜和文＞

1．北國陽，土居範仁，宇都勇紀，東美木子，下野裕生，室屋真二，帆北修一：精神疾患を有する全身麻酔白内障手術．鹿児島市医報 61(10)：15-16，2022

麻酔科・ペインクリニック内科

今村総合病院

＜和文＞

1．下野裕生，川﨑孝一，東美木子，新村尚美，蓑田祐子，鈴木有希：レミマゾラム麻酔後の悪心嘔吐．臨床麻酔 vol.46/10：1331-3，2022

救急・総合内科

今村総合病院

＜著書＞

1．西垂水和隆，市來征仁，大塚暢，畠中成己，伊藤加菜絵：総合診療で診逃さない！むくみの原因とピットフォール．診断と治療社，2022

歯科口腔外科

今村総合病院

＜和文＞＜共著＞

1．後藤雄一，今村晴幸，坂元亮一，内野祥徳，比地岡浩志，杉浦剛：全頸部郭清後に生じた片側乳糜胸に対する保存治療を行った 1 例．日本口腔腫瘍学会誌 34(3)：137-143，2022

かごしまオハナクリニック

＜和文＞

1．林恒存，﨑山隼人，西方マリ子，宮路千代美，宮脇めぐみ，西田智美，横峯三夏，中谷紗織:かごしまオハナクリニックに期待される在宅医療の役割についての考察．かごしま慈愛会ジャーナル１（創刊号）：3-7，2022

以上　診療部

看護部

今村総合病院

＜和文＞

1．吉森みゆき，有馬丈洋，西垂水和隆，北原美代子，有島尚亮，上之園芳一，神田直昭，常盤光弘，帆北修一：新型コロナウイルスワクチンのブースター接種後の副反応について．鹿児島市医報 61(2)：16-19，2022

いづろ今村病院

＜和文＞

1．岩元美樹，脇志織，前田みさき，内大久保恵，福盛貴子：繰り返される注射のインシデントの要因調査～スタッフの属性に焦点を当てて～．かごしま慈愛会ジャーナル１（創刊号）：55-59，2022

谷山病院

＜和文＞

1．潮昌子：専門職としての自律とやる気を上げる組織風土に向けた取り組み．かごしま慈愛会ジャーナル１（創刊号）：65-68，2022

愛と結の街

＜和文＞

1．仮屋薗綾，中田絵里，米澤美智代：顔面領域におけるがん性悪臭対策の検討～尊厳ある生活を支えるために～．かごしま慈愛会ジャーナル１（創刊号）：32-39，2022

2．西七海，福満貴幸：自分で美味しく食べるために　自己摂取への取り組み．かごしま慈愛会ジャーナル１（創刊号）：46-49，2022

法人事業本部

＜和文＞

1．今村健次：精神科認定看護師によるクラスター発生施設でのメンタルヘルス支援．病院 82(2)：130-134，2023

鹿児島中央看護専門学校

＜和文＞

1．高山理恵，大保まり子，久徳美鈴：災害トリアージ演習における看護学生の心のケアを重視した教育方法の効果．かごしま慈愛会ジャーナル１（創刊号）：69-73，2022

リハビリテーション部

今村総合病院　理学療法士

＜和文＞

1．武清孝弘，堂園浩一朗，奈良聡一郎，吉田一成，堂園充代，村山芳博，森希美，馬場佳菜江，藤野聡司，小田原淳，徳永雅仁，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：同種造血幹細胞移植患者における身体機能変化．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：26-31，2022

＜著書＞

1．Takekiyo T，Morishita S：Exercise Therapy on Muscle Mass and Physical Function in Patients Undergoing Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation．Physical Therapy and Research in Patients with Cancer，Springer，2023，pp163-190

谷山病院　作業療法士

＜和文＞

1．小澤孝典，嶺井千春，上野博之，幸春奈，久保美杉，伊藤智子，真喜志元希，梅岡啓香，川原香織：心理教育プログラム導入の振り返りと普及への課題～心理教育普及ガイドラインフィデリティ尺度とヒアリング調査から～．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：50-54，2022

薬剤部

いづろ今村病院

＜和文＞

1．野元優基，内山ゆかり，東條知子，東屋敷史織，遠矢素子，神門孝典，長野真二郎，山口辰哉：薬剤総合評価調整加算・薬剤調整加算算定取得に対する取り組み～ポリファーマシー解消に向けて薬剤師が介入した症例を通しての一考察～．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：40-45，2022

画像診療 / 放射線治療部

今村総合病院

＜和文＞

1．市來守，牧野竜大，上川翔美，髙山大史，惠智徳，小澤修一，内山典明，西田博利，土器屋卓志，米倉健太郎：強度変調放射線治療を用いた全身皮膚周囲照射の放射線治療計画に関する報告．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：20-25，2022

医療福祉相談部

奄美病院

＜その他の論文，著述＞

1．西牟田智子：AA との出会い，AA について思うこと．AA 鹿児島地区 40 周年記念誌，2022，pp7-8

2．西牟田智子：はい。精神保健福祉士の○○です！．Members'Magazine「精神保健福祉士」No.242，2022，pp6

事務部

今村総合病院　診療情報管理室

＜和文＞

1．前田雄介：脳梗塞患者における自宅退院の可否に関する検討：決定木分析による自宅退院可否の早期予測モデル．診療情報管理 34(3)：109-113，2022

今村総合病院　総務課

＜和文＞

1．鈴木大輔，有島尚亮：有事下でもゆるぎない病院経営を目指して～ COVID-19 禍における「病院経営の BCP」への一考察～．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：8-19，2022

法人事業本部

＜和文＞

1．今村英仁：日本の病院の官民問題を議論する前に．病院 81(4)：298-302，2022
2．今村英仁：病院給食の問題解決に向けて－本特集の背景とねらい．病院 81(8)：654-658，2022
3．高野正樹：病院給食の赤字化の理由　病院給食管理と臨床栄養管理の課題に分けて現状を分析する．病院 81(8)：21-30，2022
4．今村英仁：徳洲会グループのガバナンス　日本最大民間病院グループのサスティナビリティへの挑戦．病院 81(9)：811-815，2022
5．今村英仁：社会保障制度と不可分な病院経営のサスティナビリティ．病院 82(1)：55-57，2023

＜その他の論文，著述＞

1．尾形裕也，今村英仁：対談　公民問わず迫られる各病院の役割の明確化．病院 81(4)：279-284，2022
2．中村丁次，今村英仁：対談　病院給食と臨床栄養管理の両輪を回す．病院 81(8)：639-644，2022
3．今村英仁：特別寄稿　日本医師会常任理事に就任して．鹿児島大学医学部同窓会鶴陵会会報第 51 号：39-43，2023

【学会発表】

血液内科

今村総合病院

＜国際＞

1．Nakano N，Takatsuka Y，Fujino S，Odawara J，Tokunaga M，Miyazono T，Takeuchi S，Ito Y，Utsunomiya A：Re-Transplantation for Recurrent ATL and AML/ALL after Allo-HSCT. 2022 Transplantation & Cellular Therapy Meetings of ASTCT and CIBMTR，Salt Lake City，23-26 April，2022 (Web)

2．Nakano N，Tashiro Y，Fujino S，Odawara J，Tokunaga M，Miyazono T，Yonekura K，Ito Y，Utsunomiya A：Efficacy and safety of brentuximab vedotin in adult T-cell leukemia/lymphoma. 20th International Conference on Human Retrovirology：HTLV and Related Viruses (HTLV22) Conference，Melbourne (Virtual)，8-11 May，2022

3．Utsunomiya A，Nakano N，Tokunaga M，Odawara J，Miyazono T，Fujino S，Ito Y，Yonekura K，Tashiro Y，Takatsuka Y，Takeuchi S，Uchimaru K，Watanabe T：Fluctuation of HTLV-1 provirus load in long survival patients with ATL underwent allogeneic hematopoietic cell transplantation. 20th International Conference on Human Retrovirology：HTLV and Related Viruses (HTLV22) Conference，Melbourne (Virtual)，8-11 May，2022

＜国際＞＜共同演者＞

1．Benjy Jek Yang Tan，Sugata K，Reda O，Matsuo M，Uchiyama K，Miyazato P，Hahaut V，Yamagishi M，Uchimaru K，Suzuki Y，Ueno T，Suzushima H，Katsuya H，Tokunaga M，Uchiyama Y，Nakamura H，Sueoka E，Utsunomiya A，Ono M，Satou Y：HTLV-1 infection promotes excessive T cell activation and transformation into adult T cell Ieukemia/Iymphoma. 20th International Conference on Human Retrovirology：HTLV and Related Viruses (HTLV22) Conference，Melbourne (Virtual)，8-11 May，2022

2．Kannagi M，Hasegawa A，Utsunomiya A，Akari H：Potential anti-ATL therapeutic vaccine using short-term cultured autologous peripheral blood mononuclear cells：preclinical evidence in vitro and in vivo. 20th International Conference on Human Retrovirology：HTLV and Related Viruses (HTLV22) Conference，Melbourne (Virtual)，8-11 May，2022

3．Karpe SD，Artesi M，Durkin K，Hahaut V，Wayet J，Uschimaru K，Makiyama J，Iwanaga M，Utsunomiya A，Heezen K，Langerak A，Burny A，Watanabe T，Georges M，Van den Broeke A：NGS quantification of viral clonal architecture identifies HTLV-1 asymptomatic carriers at high risk of progression to aggressive leukemia. 20th International Conference on Human Retrovirology：HTLV and Related Viruses (HTLV22) Conference，Melbourne (Virtual)，8-11 May，2022

4．Valcarcel B, Sano H, Katsuya H, Utsunomiya A, Otsuka M, Miyahara M, Takamatsu Y, Ishitsuka K, Kimura S：Progression of Disease within 5 Months of Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma (ATL5) as a Clinical Endpoint for High-Risk Mortality Outcomes in the Real-World Setting：A Multinational Cohort Analysis. 64th ASH Annual Meeting and Exposition，December，2022

5．Valcarcel B, Sano H, Katsuya H, Utsunomiya A, Otsuka M, Miyahara M, Takamatsu Y, Ishitsuka K, Kimura S：Clinical Features，Treatment Patterns，and Outcomes Among 837 Patients with Adult T-Cell Leukemia-Lymphoma in the Real-World Setting：A Comparison of Endemic Regions：64th ASH Annual Meeting and Exposition，December，2022

＜国内＞

1．宇都宮與：HTLV-1 と ATL について－歴史と最近の話題－．第 38 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会（ハ

イブリッド開催），2022 年 4 月 24 日，鹿児島

2．中野伸亮，高塚祥芝，藤野聡司，小田原淳，徳永雅仁，宮園卓宜，竹内昇吾，伊藤能清，宇都宮與：同種移植後再発 ATL 及び AML/ALL に対する再移植後生存成績に関する比較．第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会 総会，2022 年 5 月 12–14 日，横浜

3．宮園卓宜，中島彩乃，藤山裕輝，小林果蓮，小田原千里，牧野桃子，兼石知香，久保友恵，小田原淳，中野伸亮，宇都宮與，帆北修一：輸血ラウンド動画の作成～鹿児島県内輸血医療の向上を目指して～．第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会（ハイブリッド），2022 年 5 月 27 日，名古屋

4．萬福歩夢，小田原淳，中野伸亮，徳永雅仁，藤野聡司，宮園卓宜，宇都宮與，伊藤能清，田代幸恵，二之宮謙次郎：末梢血中の腫瘍細胞が少なく診断に苦慮した HCL の 1 例．第 337 回日本内科学会九州地方会，2022 年 5 月 28 日，Web

5．中野伸亮，小田原淳，藤野聡司，徳永雅仁，宮園卓宜，伊藤能清，宇都宮與：CBT with tacrolimus single-agent GVHD prophylaxis for progressive stage ATL．第 84 回日本血液学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 10 月 15 日，福岡

6．中野伸亮，小田原淳，藤野聡司，徳永雅仁，宮園卓宜，伊藤能清，宇都宮與：病態進行期 ATL に対するタクロリムス単剤 GVHD 予防による臍帯血移植．第 84 回日本血液学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 10 月 14–16 日，福岡

7．宇都宮與，亀田拓郎，中野伸亮，徳永雅仁，宮園卓宜，伊藤能清，米倉健太郎，日高道弘，河北敏郎，幣光太郎，田平優貴，秋月渓一，上運天綾子，日高智徳，久冨木庸子，下田和哉：HTLV-1 キャリアにおける新型コロナウイルスワクチン接種後の液性免疫反応．第 8 回日本 HTLV-1 学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 11 月 4 日，東京

8．徳永雅仁，宇都宮與，倉光球，相良康子，中村仁美，中野伸亮，宮園卓宜，手塚健太，伊藤能清，浜口功：夫婦間 HTLV-1 感染における特異抗体発現解析．第 8 回日本 HTLV-1 学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 11 月 4 日，東京

9．中野伸亮，高塚祥芝，徳永雅仁，宮園卓宜，大山利栄，佐々木謙介，藤野聡司，米倉健太郎，竹内昇吾，伊藤能清，宇都宮與：当院における ATL に対する初回同種造血幹細胞移植の後方視的検討．第 8 回日本 HTLV-1 学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 11 月 4 日，東京

10. 大山利栄，中野伸亮，佐々木謙介，藤野聡司，米倉健太郎，徳永雅仁，宮園卓宜，伊藤能清，宇都宮與：当院における ATL に対する初回化学療法の後方視的検討．第 8 回日本 HTLV-1 学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 11 月 4 日，東京

11. 中野伸亮，高塚祥芝，徳永雅仁，宮園卓宜，大山利栄，佐々木謙介，藤野聡司，米倉健太郎，竹内昇吾，伊藤能清，宇都宮與：今村総合病院における ATL に対する同種造血幹細胞移植の変遷．第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 10–12 日，名古屋

12. 松崎璃子，吉永沙織，池田清夏，中野伸亮，伊藤能清：新型コロナウイルス流行下に行われた血液内科病棟看護師の結婚式に関する実態調査．第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 10–12 日，名古屋

13. Utsunomiya A：Progress in the treatment of adult T-cell leukemia/lymphoma．7th Tsurui Lymphoma Workshop，Kushiro，Japan，24 Feb，2023 (English)

＜国内＞＜共同演者＞

1．中島誠，宇都宮與，渡邉俊樹，堀江良一，内丸薫：CD30 シグナルが誘導する染色体不安定性の促進機構．第 81 回日本癌学会学術総会（ハイブリッド開催），2022 年 9 月 29 日 –10 月 1 日，横浜

2．Nosaka K，Izutsu K，Makita S，Yoshimitsu M，Utsunomiya A，Kusumoto S，Morishita S，Tsukasaki K，Kawamata T，Ono T，Rai S，Katsuya H，Ishikawa J，Yamada H，Kato K，Kakurai Y，Fujioka T，Adachi N，

Tobinai K, Yonekura K, Ishitsuka K：Pivotal phase2 study of EZH1/2 inhibitor valemetostat in patients with relapsed/refractory ATL. 第 84 回日本血液学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 10 月 15 日，福岡

3．亀田拓郎，片岡圭亮，上運天綾子，日高道弘，三好寛明，中野伸亮，野坂生郷，吉満誠，安永純一朗，木暮泰寛，幣光太郎，宮原正晴，阪本貴士，日高智徳，久冨木庸子，古屋淳史，今泉芳孝，加藤光次，徳永雅仁，高折晃史，宮崎泰司，赤司浩一，石塚賢治，松岡雅雄，大島孝一，渡邉俊樹，北中明，宇都宮與，小川誠司，下田和哉：Integrated genetic and clinical prognostic factors for aggressive adult T-cell leukemia/lymphoma. 第 84 回日本血液学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 10 月 15 日，福岡

4．山田麻美，安永純一朗，砂川純也，中岡慎治，岩見真吾，木暮泰寛，伊藤勇太，片岡圭亮，中川正法，岩永正子，内丸薫，宇都宮與，高起良，渡邉俊樹，野坂生郷，松岡雅雄：Evaluation of the risk of HTLV-1-associated diseases by analyzing immune responses and proviral load. 第 84 回日本血液学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 10 月 15 日，福岡

5．末廣陽子，白土基明，福田哲也，飯野忠史，渡邉健，長谷川温彦，安永純一朗，松岡雅雄，宇都宮與，石田高司，油布祐二，長藤宏司，徳永えり子，下川元継，加藤光次，崔日承，宇都宮勇人，平田聖子，今泉芳孝，吉田真一郎，河北敏郎，牛島泰宏，神谷武志，大島孝一，永井宏和，高柳涼一，赤司浩一，神奈木真理：Therapeutic Tax-targeted dendritic cell vaccine produces durable remission in adult T-cell leukemia-lymphoma. 第 84 回日本血液学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 10 月 15 日，福岡

6．倉光球，石塚賢治，久保田龍二，佐藤知雄，山野嘉久，橋倉悠輝，梅北邦彦，野坂生郷，長谷川寛雄，三浦清徳，宇都宮與，高起良，相良康子，蕎麦田理英子，佐竹正博，浜口功：イムノクロマト法による新規 HTLV-1 抗体検査法の性能評価－多施設共同研究. 第 8 回日本 HTLV-1 学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 11 月 4 日，東京

7．菅田謙治，タン ベンジージェックヤン，ホサイン ベラル，ラジブ サミウルラジブ，レダ オムニア，徳永雅仁，野村隼也，増田曜章，佐藤知雄，植田光晴，宇都宮與，山野嘉久，佐藤賢文：HAM 患者末梢血および脳脊髄液のシングルセル解析による HAM 病態解明と疾患サロゲートマーカーの探索研究. 第 8 回日本 HTLV-1 学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 11 月 4 日，東京

8．亀田拓郎，片岡圭亮，日高道弘，三好寛明，木暮泰寛，宮原正晴，髙折晃史，宮崎泰司，赤司浩一，大島孝一，石塚賢治，松岡雅雄，渡邉俊樹，宇都宮與，小川誠司，下田和哉：Aggressive ATL における臨床的予後因子と遺伝的予後因子の統合. 第 8 回日本 HTLV-1 学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 11 月 4 日，東京

9．中島誠，川俣豊隆，南谷泰仁，宇都宮與，渡邉俊樹，内丸薫：MembraneCD30 と Soluble CD30 の二重解析による CD30 発現評価法の検討. 第 8 回日本 HTLV-1 学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 11 月 4 日，東京

10. 瀬賀亜里沙，中島誠，山岸誠，水池潤，宇都宮與，渡邉俊樹，内丸薫：ATL における CD30 発現機構の解析. 第 8 回日本 HTLV-1 学会学術集会（ハイブリッド開催），2022 年 11 月 4 日，東京

11. 中森瑞季，頭金正博，片山早紀，柴田侑裕，楠本茂，野坂生郷，今泉芳孝，末廣陽子，宇都宮與，上田龍三，石田高司，石塚賢治：モガムリズマブ投与患者における重篤な皮膚障害の発症に関連するバイオマーカーの探索研究. 第 43 回日本臨床薬理学会学術総会，2022 年 11 月 30 日 -12 月 3 日，横浜

12. 坂本光，澤山靖，中野伸亮，伊藤歩，衛藤徹也，河北敏郎，石塚賢治，森康雄，末廣陽子，糸永英弘，宮崎泰彦，内田直之，鬼塚真仁，福田隆浩，熱田由子，吉満誠：高齢者 ATL への同種移植における予後因子の検討. 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 10-12 日，名古屋

13. 栗田尚樹，今橋伸彦，田中正嗣，小林光，内田直之，衛藤徹也，安齋尚之，丸山ゆみ子，名和由一郎，中野伸亮，木村貴文，一戸辰夫，熱田由子，諫田淳也：骨髄系腫瘍に対する臍帯血移植におけるフルダラビン含有レジメンの比較. 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 10-12 日，名古屋

14. 武清孝弘，堂園浩一朗，岡村敏之，森希美，中島徳久，奈良聡一郎，吉田一成，堂園充代，大山利栄，佐々木謙介，徳永雅仁，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：同種造血幹細胞移植患者の SF-36 における身体機能スコア変化の特徴. 第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 10-12 日，名古屋

15. 森康雄，長藤宏司，内田直之，和氣敦，片山雄太，岩崎浩己，衛藤徹也，藤崎智明，伊藤能清，上村智彦，高橋勉，今村豊，谷本一史，石塚賢治，杉田純一，河野徳明，谷本一樹，吉本五一，崔日承，日高智徳，小川亮介，高松泰，加藤光次，宮本敏浩，赤司浩一：造血細胞移植症例における SARS-CoV-2 ワクチン booster 接種の有効性：多施設共同前向き観察研究．第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 10-12 日，名古屋

輸血管理部

今村総合病院

＜国内＞

1．宮園卓宜，中島彩乃，藤山裕輝，新屋果蓮，小田原千里，牧野桃子，兼石知香，久保友恵，小田原淳，中野伸亮，宇都宮與，帆北修一：輸血ラウンド動画の作成　～鹿児島県内輸血 医療の向上を目指して～．第 70 回日本輸血・細胞治療学会学術総会（ハイブリッド開催），2022 年 5 月 27-29 日，名古屋

2．宮園卓宜，中島彩乃，藤山裕輝，新屋果蓮，牧野桃子，兼石知香，久保友恵，中野伸亮，宇都宮與，帆北修一：Ven-Aza 治療にて寛解（CRi）となるも血球改善みられず、さい帯血移植（uCBT）を施行した急性骨髄性白血病（AML）の一例．日本輸血・細胞治療学会九州支部会 第 69 回総会，第 90 回例会，2022 年 12 月 10 日，久留米

皮膚科

今村総合病院

＜国内・指定演題＞

1．米倉健太郎：HTLV-1 と ATL について－歴史と最近の話題－（シンポジウム）．第 38 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会，2022 年 4 月 23-24 日，鹿児島

2．米倉健太郎：鹿児島県における病院勤務医の現状（シンポジウム）．第 38 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会，2022 年 4 月 23-24 日，鹿児島

3．米倉健太郎：血液疾患の皮膚病変．日本皮膚科学会 2022 年度研修講習会 選択講習，2022 年 8 月 14 日，東京（web）

4．米倉健太郎：ATL の多彩な臨床像と病態研究・治療の最新情報（シンポジウム）．第 86 回日本皮膚科学会東部支部学術大会，2022 年 8 月 27-28 日，新潟

＜国内・一般演題＞

1．武田浩一郎，上塘葉子，玉井真理子，佐藤浩子：多菌型ハンセン病の 1 例．第 121 回日本皮膚科学会総会，2022 年 6 月 2-5 日，京都（Web）

2．米倉健太郎，上塘葉子：当科における再発・難治性成人 T 細胞白血病リンパ腫（ATL）に対するツシジノスタットの使用経験．第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術学会，2022 年 6 月 24-25 日，弘前（Web）

3．上塘葉子，田代幸恵，二之宮謙次郎，米倉健太郎：デュピルマブ投与後に顕在化したセザリー症候群の 1 例．第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会，2022 年 6 月 24-25 日，弘前（Web）

4．米倉健太郎，鶴田紀子，宮城拓也，小池雄太，東裕子，桑代麻希，中原剛士，大畑千佳，金子栄，山口道也，池田賢太，原田佳代，齊藤華奈実，柳瀬哲至，今福信一：乾癬患者における HTLV-1 抗体陽性率と治療選択に与える影響を明らかにするための多施設共同観察研究．第 74 回日本皮膚科学会西部支部学術大会，2022 年 10 月 22-23 日，福岡（Web）

5．米倉健太郎：筋肉内腫瘤を呈した菌状息肉症．第 3 回皮膚リンパ腫症例検討会，2022 年 12 月 9 日，鹿児島（Web）

6．米倉健太郎，玉井真理子：今村総合病院皮膚科における掌蹠膿疱症に対するグセルクマブの使用経験．第 192 回日本皮膚科学会鹿児島地方会，2022 年 12 月 11 日，鹿児島

病理診断科

今村総合病院

＜国際＞＜共同演者＞

1．Nakano N，Tashiro Y，Fujino S，Odawara J，Tokunaga M，Miyazono T，Yonekura K，Ito Y，Utsunomiya A：Efficacy and safety of brentuximab vedotin in adult T-cell leukemia/lymphoma．20th International Conference on Human Retrovirology：HTLV and Related Viruses (HTLV22) Conference，Melbourne (Virtual)，8-11 May，2022

2．Utsunomiya A，Nakano N，Tokunaga M，Odawara J，Miyazono T，Fujino S，Ito Y，Yonekura K，Tashiro Y，Takatsuka Y，Takeuchi S，Uchimaru K，Watanabe T：Fluctuation of HTLV-1 provirus load in long survival patients with ATL underwent allogeneic hematopoietic cell transplantation．20th International Conference on Human Retrovirology：HTLV and Related Viruses (HTLV22) Conference，Melbourne (Virtual)，8-11 May，2022

＜国内＞＜共同演者＞

1．萬福歩夢，小田原淳，中野伸亮，徳永雅仁，藤野聡司，宮園卓宜，宇都宮與，伊藤能清，田代幸恵，二之宮謙次郎：末梢血中の腫瘍細胞が少なく診断に苦慮した HCL の 1 例．第 337 回日本内科学会九州地方会，2022 年 5 月 28 日，Web

2．上塘葉子，田代幸恵，二之宮謙次郎，米倉健太郎：デュピルマブ投与後に顕在化したセザリー症候群の 1 例．第 38 回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会，2022 年 6 月 24-25 日，弘前（Web）

3．原章太郎，保坂優斗，秋元皐，飯尾俊也，平野拓郎，馬場研二，二之宮謙次郎，田代幸恵，上之園芳一，帆北修一：S 状結腸憩室炎の術前に偶然発症し同時切除しえた出血性 Peutz-Jeghers 型ポリープの 1 例．第 84 回鹿児島県臨床外科学会総会・医学会，2022 年 8 月 22 日，鹿児島

4．保坂優斗，飯尾俊也，吉野春一郎，平野拓郎，馬場研二，二之宮謙次郎，田代幸恵，上之園芳一，帆北修一：S 状結腸閉塞を伴う絞扼性小腸軸捻転症の 1 例．鹿児島市外科医会秋季例会，2022 年 11 月 17 日，鹿児島

5．平野拓郎，飯尾俊也，保坂優斗，馬場研二，瀧川譲治，上之園芳一，帆北修一，二之宮謙次郎，田代幸恵：腹壁膿瘍を契機に発見された下行結腸癌の 1 切除例．第 84 回日本臨床外科学会総会，2022 年 11 月 24 日，福岡

6．飯尾俊也，上之園芳一，保坂優斗，平野拓郎，馬場研二，田代幸恵，有上貴明，帆北修一，大塚隆生：当院で経験した胃原発胎児消化管上皮類似癌の 3 例の検討．第 95 回日本胃癌学会総会，2023 年 2 月 23-25 日，札幌

7．平野拓郎，飯尾俊也，保坂優斗，馬場研二，瀧川譲治，上之園芳一，帆北修一，二之宮謙次郎，田代幸恵：腸重積を伴った小腸 Inflammatory Fibroid Polyp の 1 切除例．第 59 回腹部救急医学会総会，2023 年 3 月 9 日，沖縄

8．吉野春一郎，保坂優斗，飯尾俊也，平野拓郎，馬場研二，二之宮謙次郎，田代幸恵，上之園芳一，帆北修一：S 状結腸が嵌入し絞扼性小腸閉塞に至った原発性小腸軸捻転症の 1 例．第 58 回九州外科学会，2023 年 3 月 10-11 日，宮崎

消化器内科

今村総合病院

＜国際＞

1．Taguchi H，Hashimoto S，Iwashita Y，Shibata R，Kojima I，Tsuneyoshi K，Nakamura Y，Fujita T，Hinokuchi M，Iwaya H，Ido A：RECURRENT BILIARY OBSTRUCTION IN COMPARISON BETWEEN METALLIC AND PLASTIC STENT FOR ENDOSCOPIC ULTRASONOGRAPHY-GUIDED BILIARY DRAINAGE BY USING PROPENSITY SCORE MATCHING ANALYSIS．Digestive Disease Week 2022，San Diego，USA，May 24，2022（Web）

＜国内＞

1．秋元遥，田中啓仁，前田将久，前田英仁，小牧祐雅，佐々木文郷，上村修司，井戸章雄：潰瘍性大腸炎患者に発症した腫瘍に対する診療の現状と課題．第 29 回日本大腸検査学会九州支部会，2022 年 8 月 20 日，沖縄

2．松岡慧，佐々木文郷，藤野悠介，矢野弘樹，前田英仁，上村修司，井戸章雄，那須雄一郎：当科の表在型非乳頭部十二指腸腫瘍に対する治療戦略．第 104 回日本消化器内視鏡学会総会（JDDW2022），2022 年 10 月 27 日，福岡

3．秋元遥，田口宏樹，板山雄亮，湯通堂和樹，松岡慧，田代幸恵，井戸章雄：傍大動脈リンパ節生検にて診断された退形成膵癌の一例：第 120 回日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部会，2022 年 12 月 2-3 日，熊本

4．田口宏樹，上田裕二郎，下川元継，大塚大河，澁木太郎，中澤潤一，有馬志穂，三輪啓介，岡部義信，古賀風太，窪津祥仁，下川穂積，竹下茂之，小森梓，細川歩，小田尚伸，境健爾，川平真知子，在田修二，大内田次郎，本田琢也，恒吉研吾，河口康典，藤田俊浩，白川剛，水田敏彦，三ツ木健二：膵癌化学療法におけるナノリポソーム型イリノテカンの投与量に関する検討「NAPOLEON 2 study より」．第 120 回日本消化器病学会九州支部例会ワークショップ，2022 年 12 月 2-3 日，熊本

5．板山雄亮，湯通堂和樹，秋元遥，松岡慧，田口宏樹，上村修司，田代幸恵，井戸章雄：高度の低アルブミン血症を契機に発見された，Cronkhite-Canada 症候群の 1 例．第 132 回日本消化器病学会北海道支部例会，2023 年 3 月 4-5 日，北海道（Web）

＜国内＞＜共同演者＞

1．田中啓仁，秋元遥，森聡志，前田将久，荒木紀匡，藤野悠介，小牧蕗子，矢野弘樹，前田英仁，小牧祐雅，佐々木文郷，田ノ上史郎，橋元慎一，上村修司，井戸章雄：潰瘍性大腸炎の活動性評価に対する LRG の有用性についての検討．第 104 回日本消化器内視鏡学会総会（JDDW2022），2022 年 10 月 27 日，福岡

2．田中啓仁，秋元遥，森聡志，前田将久，湯通堂和樹，桑水流康介，小牧蕗子，鮫島洋一，前田英仁，小牧祐雅，佐々木文郷，上村修司，井戸章雄：分子標的薬の多様化がもたらす潰瘍性大腸炎の変革と未来　潰瘍性大腸炎に対するベドリズマブの投与順序の違いにおける投与継続率の検討．第 120 回日本消化器病学会九州支部例会・日本消化器内視鏡学会九州支部会，2022 年 12 月 2-3 日，熊本

外科・消化器外科

今村総合病院

＜国内＞

1．原章太郎，保坂優斗，秋元皐，飯尾俊也，平野拓郎，馬場研二，二之宮謙次郎，田代幸恵，上之園芳一，帆北修一：S 状結腸憩室炎の術前に偶然発症し同時切除しえた出血性 Peutz-Jeghers 型ポリープの 1 例．第 84 回鹿児島県臨床外科学会総会・医学会，2022 年 8 月 22 日，鹿児島

2．馬場研二，上之園芳一，飯尾俊也，保坂優斗，平野拓郎，有馬豪男，帆北修一，盛真一郎，大塚隆生：当院における大腸癌手術 DST 再建における工夫と成績．第 47 回日本大腸肛門病学会九州地方会（ワークショップ），2022 年 10 月 1 日，長崎

3．飯尾俊也，馬場研二，保坂優斗，平野拓郎，上之園芳一，帆北修一，大塚隆生：当院における人工肛門閉鎖術の真皮縫合法と環状皮膚縫合法の検討．第 35 回日本外科感染症学会総会学術集会，2022 年 11 月 8-9 日，倉敷

4．保坂優斗，飯尾俊也，吉野春一郎，平野拓郎，馬場研二，二之宮謙次郎，田代幸恵，上之園芳一，帆北修一：S 状結腸閉塞を伴う絞扼性小腸軸捻転症の 1 例．鹿児島市外科医会秋季例会，2022 年 11 月 17 日，鹿児島

5．平野拓郎，飯尾俊也，保坂優斗，馬場研二，瀧川譲治，上之園芳一，帆北修一，二之宮謙次郎，田代幸恵：腹壁膿瘍を契機に発見された下行結腸癌の 1 切除例．第 84 回日本臨床外科学会総会，2022 年 11 月 24 日，福岡

6．馬場研二，上之園芳一，保坂優斗，平野拓郎，有馬豪男，帆北修一，大塚隆生：当院における直腸癌術前化学療法と手術成績．第 35 回日本内視鏡外科学会総会，2022 年 12 月 9 日，名古屋
7．保坂優斗，馬場研二，吉野春一郎，平野拓郎，上之園芳一，帆北修一：Persistent descending mesocolon を伴う S 状結腸癌と直腸癌に対する腹腔鏡下大腸切除術の手術成績．第 85 回鹿児島県臨床外科学会総会・医学会，2023 年 2 月 11 日，鹿児島
8．飯尾俊也，上之園芳一，保坂優斗，平野拓郎，馬場研二，田代幸恵，有上貴明，帆北修一，大塚隆生：当院で経験した胃原発胎児消化管上皮類似癌の 3 例の検討．第 95 回日本胃癌学会総会，2023 年 2 月 23–25 日，札幌
9．平野拓郎，飯尾俊也，保坂優斗，馬場研二，瀧川譲治，上之園芳一，帆北修一，二之宮謙次郎，田代幸恵:腸重積を伴った小腸 Inflammatory Fibroid Polyp の 1 切除例．第 59 回腹部救急医学会総会，2023 年 3 月 9 日，沖縄
10. 吉野春一郎，保坂優斗，飯尾俊也，平野拓郎，馬場研二，二之宮謙次郎，田代幸恵，上之園芳一，帆北修一：S 状結腸が嵌入し絞扼性小腸閉塞に至った原発性小腸軸捻転症の 1 例．第 58 回九州外科学会，2023 年 3 月 10–11 日，宮崎
11. 松下直樹，保坂優斗，吉野春一郎，平野拓郎，馬場研二，上之園芳一，帆北修一：ストーマ脱を伴う傍ストーマヘルニアと腹壁瘢痕ヘルニアの合併に対し腹腔鏡下 Sugarbaker 法を施行した 1 例．第 59 回九州外科学会総会，2023 年 3 月 10–11 日，宮崎

＜学会主催＞
1．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島

救急・総合内科

今村総合病院

＜国内＞
1．中村大悟，市來征仁，榎田唯人，伊藤加菜絵，西垂水和隆：SLE と ANCA 関連血管炎の合併を疑われた感染性心内膜炎の 1 症例．第 337 回日本内科学会九州地方会，2022 年 5 月 28 日，熊本（Web）
2．加倉健太郎，有馬丈洋，市來征仁，西垂水和隆：感染性腹部大動脈瘤早期診断における腹部所見の有用性についての考察．第 337 回日本内科学会九州地方会，2022 年 5 月 28 日，熊本（Web）
3．石川そでみ，伊藤加菜絵，畠中成己，市來征仁，西垂水和隆：消化管出血を合併した劇症型抗リン脂質抗体症候群（CAPS）に対し抗凝固・免疫抑制治療で救命し得た 1 例．第 339 回日本内科学会九州地方会，2022 年 11 月 27 日，大分（Web）
4．永山宗太郎，市來征仁，鶴本亜衣，中村大悟，畠中成己，有馬丈洋，大塚暢，西垂水和隆：結石性腎盂腎炎による大腸菌敗血症に血栓性微小血管障害を合併した 1 例．第 339 回日本内科学会九州地方会，2022 年 11 月 27 日，大分（Web）

循環器内科

今村総合病院

＜国内＞
1．伊比隆輔，肥後建樹郎，鮫島光平，立志公史郎，大石充：漢方薬による偽性アルドステロン症の診断に OptiVol が有用であったペースメーカー移植後高齢患者の一例．第 338 回日本内科学会九州地方会，2022 年 8 月 27 日，鹿児島（Web）
2．肥後建樹郎，帆北修一：循環器遠隔モニタリングによる安全管理の実際．第 20 回日本医療マネジメント学会九州・

山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

3．肥後建樹郎，伊比隆輔，鮫島光平，立志公史郎，大石充：DWIBS が有用であった急性大動脈解離の一症例．第 133 回日本循環器学会九州地方会，2022 年 12 月 3 日，福岡

小児科

今村総合病院

＜国内＞

1．溝田美智代，四元景子，長谷川高誠，二川奈都子：FGF23 関連低リン血症性くる病に burosumab を開始した 2 例．第 95 回日本内分泌学会，2022 年 6 月 2-4 日，大分

2．溝田美智代，四元景子，徳永美菜子，森田智，玉田泉，柿本令奈：学校での成長曲線作成の有用性と鹿児島県での活用状況について．第 179 回日本小児科学会鹿児島地方会，鹿児島

3．溝田美智代，徳永美菜子，森田智，玉田泉，柿本令奈，関祐子：学校での成長曲線作成の有用性と鹿児島県での活用状況について．第 55 回日本小児内分泌学会，2022 年 11 月 1-3 日，横浜

＜国内＞＜共同演者＞

1．鎌田さつき，薗牟田友美，徳永美菜子，四元景子，溝田美智代：小児生活習慣病予防検診で受診した児の経過と対応について～外来での支援方法を考える～．第 26 回鹿児島県小児内分泌研究会，2022 年 10 月 1 日，鹿児島

健康康管理センター

いづろ今村病院

＜国内＞

1．常盤二起子，山下志緒莉，川原裕子，橋元洋恵，加藤麻里，有村智子，坂之上智恵子，久保田敬子，比良高明，常盤光弘：年代別婦人科検診受診勧奨の試み．第 63 回人間ドック学会学術大会，2022 年 9 月 2-3 日，千葉

2．久保田敬子，坂之上智恵子，常盤光弘：婦人科検診の年代別受診勧奨－婦人科外来と健康管理センターのチーム医療－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

麻酔科・ペインクリニック内科

今村総合病院

＜国内＞

1．下野裕生，川﨑孝一，東美木子，新村尚美，蓑田祐子，鈴木有希：青壮年患者に対するレミマゾラム麻酔にフルマゼニルを用いた時の抜管時間とレミマゾラム麻酔の術後悪心・嘔吐について（第 2 報）．日本麻酔科学会第 69 回学術集会，2022 年 6 月 16 日，神戸

リハビリテーション科

今村総合病院

＜国内＞

1．堂園浩一朗，北原美代子，中谷明実，惠真紀，井上和晃，中川昌行，帆北修一：一般急性期病棟におけるストレスチェックの結果とその要因の分析．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

糖尿病内科

いづろ今村病院

＜国内＞

1．竹迫慎平，新中須敦，田川理笑，竹内直矢，和田華菜子，鎌田哲郎，西尾善彦：清涼飲料水ケトアシドーシスを契機に急性発症 1 型糖尿病と判明した症例．第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会，2022 年 5 月 12-14 日，神戸

2．和田華菜子，新中須敦，竹迫慎平，田川理笑，竹内直矢，鎌田哲郎，西尾善彦：社会資源を見据えた加療を行った超高齢発症の SPIDDM．第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会，2022 年 5 月 12-14 日，神戸

3．鎌田哲郎，新中須敦，田川理絵，竹迫慎平，竹内直矢，和田華菜子，石橋和久，大重聡彦，上久保定一郎：インスリン取り違えによる低血糖事故から学んだこと．第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会，2022 年 5 月 12-14 日，神戸

4．新中須敦, 和田華菜子, 竹内直也, 田川理笑, 竹迫慎平, 大重聡彦, 上久保定一郎, 鎌田哲郎, 西尾善彦:入院加療を行った 2 型糖尿病患者における高 LDL-C 血症改善の予測因子の検討．第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会，2022 年 5 月 12-14 日，神戸

5．新中須敦，鎌田哲郎，西尾善彦：入院加療を行った 2 型糖尿病患者における高 LDL-C 血症改善の予測因子の検討．第 54 回日本動脈硬化学会総会・学術集会，2022 年 7 月 23-24 日，福岡

6．末永正俊，新中須敦，和田華菜子，田川理笑，大重聡彦，上久保定一郎，鎌田哲郎，西尾善彦：COVID-19 感染後に発症した急性 1 型糖尿病．第 60 回日本糖尿病学会九州地方会，2022 年 10 月 7-8 日，福岡

7．新中須敦，鎌田哲郎：地域包括ケアを利用した周術期血糖コントロールにおける病病連携の有用性．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

眼　科

今村総合病院

＜国内＞

1．北國陽，宇都勇紀，田代葵子：精神疾患を有する全身麻酔下での白内障手術症例について．鹿児島眼科集談会，2022 年 9 月 17 日，鹿児島

かごしまオハナクリニック

＜国内＞＜共同演者＞

1．渡口侑樹，梶田一旭，横山大輔，渡部なつき，鳥巣裕一：ポートフォリオ（詳細事例報告書）作成に関するいろは．日本プライマリ・ケア連合学会第 17 回九州支部総会・学術大会（ワークショップ），2023 年 2 月 11-12 日，熊本

七波クリニック

＜国内＞

1．有村愛子：100 年後の糖尿病合併症．第 65 回日本糖尿病学会年次学術集会，2022 年 5 月 12-14 日，神戸

以上　診療部

看護部

今村総合病院

＜国内＞

1．南由希美，清藤樹乃，石原愛梨，上山りえ，池田清夏，中野伸亮，伊藤能清：同種造血幹細胞移植後患者の復職状況の実態調査．第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2022 年 5 月 12-13 日，横浜

2．松山日実子，櫻美尚美，久徳美鈴：臨床指導者と協働した臨床判断能力育成に向けた学習会の成果～指導者の意識に焦点を当てて～．第 34 回一般社団法人日本看護学校協議会学会，2022 年 8 月 9-10 日，神戸

3．中村倫丈：ICU におけるリハビリテーションの実施状況～算定状況からみた現状の考察～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

4．瑞泉絢華, 中村倫丈, 切手康加, 田中恵美, 嘉村早苗:手指消毒に対する意識向上のための取り組みと評価～ ICU スタッフの手指衛生に対する行動変容～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

5．大野かおり：回復期リハビリテーション病棟における医療福祉連携士の役割を考える（シンポジウム）．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

6．小濵奈々：急変予知力向上のための取り組みの効果－ RRS 要請コード「看護師の懸念」に着目して－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

7．松山郁子，今村健次，木佐貫涼子：新人看護師成長パス・指導者パスの導入を試みて．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

8．松山日実子，久徳美鈴：臨床指導者と協働した臨床判断能力育成に向けた学習会の成果～指導者の意識に焦点を当てて～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

9．中間周平：手術室看護師のモチベーション向上の為のストレス現状把握と課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

10. 久保侑香：超過勤務時間から見えるセル看護方式導入後の効果．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

11. 北之園優佳：服薬管理方法を判断する基準の統一化に向けて．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

12. 春成優希：身体合併症精神科病棟における看護師のストレス実態調査．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

13. 宇治野菜月, 吉松美恵子:総合病院における分娩件数増加に至らない要因の検討－職員による産院選択の現状から－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

14. 西森識：造血幹細胞移植後の患者への多職種カンファレンスが看護師に与えた影響．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

15. 谷村利行：意識調査によりみえてきた特定看護師の今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

16. 小波津武志：パンフレットを用いた，がん患者のセルフケア向上につながる効果的な指導の検討．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

17. 井手扶紗，松山郁子，吉森みゆき，北原美代子，中谷明実：看護補助者活動の活性化を目指して－看護師長小集団活動の取り組みから－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

18. 平川あゆみ：当院における院内急変コールの分析と今後の課題－コードブルー症例を振り返って－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

19. 有村美保：患者へ統一した看護を提供するための取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

20. 上山テルヨ：看護師特定行為研修センターの役割と今後の課題－研修の充実を目指して－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
21. 松崎璃子，吉永沙織，池田清夏，中野伸亮，伊藤能清：血液内科病棟で勤務している看護師の新型コロナウイルス流行中に行われた結婚式の実態調査．第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 11-12 日，名古屋

かごしまオハナクリニック

＜国内＞

1．西方マリ子：地域の調剤薬局との連携による在宅での医療用麻薬管理の工夫．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

いづろ今村病院

＜国内＞

1．永田ゆい：ウーキングカンファレンスの見直し－申し送りチェック表を利用して－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
2．籔下和代，木佐貫涼子，北原美代子，中薗明子，福長由美，宮本陽子，原口悦江，中谷明実：働き方改革に対する取り組みの実際と課題～副師長の達成感・やりがい感に繋がる支援～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 14 日，鹿児島
3．長野加代子：医療と介護を繋いだ自宅での看取り．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2020 年 11 月 14 日，鹿児島
4．落司文月：意思決定支援に対する現状把握と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2020 年 11 月 15 日，鹿児島
5．今井朋子：多職種によるリンパ浮腫ケアの有効性の検討．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2020 年 11 月 15 日，鹿児島

谷山病院

＜国内＞

1．中薗明子：倫理的な組織文化の醸成．第 47 回日本精神科看護学術集会，2022 年 6 月 24-25 日，宜野湾
2．山下喜美枝：精神科看護師が CVPPP の身体的介入場面で感じる感情の分析．第 47 回日本精神科看護学術集会，2022 年 6 月 24-25 日，宜野湾
3．福栄作，大井美樹：精神看護学実習において実習指導者が行う意図的関わりの実践から見える指導の特徴．第 29 回日本精神科看護専門学術集会，2022 年 11 月 19-20 日，松江
4．中薗明子：倫理綱領の改正を受けて現場がどのように取り組んでいくか．第 29 回日本精神科看護専門学術集会，2022 年 11 月 19-20 日，松江

奄美病院

＜国内＞

1．清あかり：外来継続看護の確立を目指して－情報共有と連携強化から見えてきたもの－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
2．本山健太:精神科病棟で働く職員のストレスに関する現状の把握と今後の展望－体験の共有･共感がもたらす効果－．第 29 回日本精神科看護専門学術集会，2022 年 11 月 19-20 日，Web
3．成田清美：患者のアドヒアランスの向上に向けた内服援助－内服自己管理方法の変更からみえたもの－．第 29 回日

本精神科看護専門学術集会，2022 年 11 月 19-20 日，Web

徳之島病院

＜国内＞

1．福島絵理子：外国人技能実習生受け入れによる看護補助者の役割意識の変化．日本医療マネジメント学会　第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

リハビリテーション部

今村総合病院　理学療法士（総合）

＜国内＞

1．武清孝弘，堂園浩一朗，村山芳博，森希美，奈良聡一郎，吉田一成，堂園充代，小田原淳，藤野聡司，徳永雅仁，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：同種造血幹細胞移植患者における身体機能・QOL 回復．第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2022 年 5 月 12-14 日，横浜

2．松元龍：当院病棟職員の腰痛と関連因子．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

3．川﨑和也：当院回復期のアウトカムについて．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

4．梶原良太：広報の新たな取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

5．武清孝弘，堂園浩一朗，岡村敏之，森希美，中島徳久，奈良聡一郎，吉田一成，堂園充代，大山利栄，佐々木謙介，藤野聡司，徳永雅仁，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：同種造血幹細胞移植患者の SF-36 における身体機能スコア変化の特徴．第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 10-12 日，名古屋

今村総合病院　理学療法士（スポーツ整形リハセンター）

＜国内＞

1．吉田研吾，白尾泰宏，鮫島智志，轟原与織，岡弥津希，濱里雄次郎：当院における鏡視下腱板修復術後の他動関節可動域と再断裂率～他動関節可動域練習の早期化による変化～．第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会，2022 年 9 月 24-25 日，Web

2．岡弥津希，吉田研吾，鮫島智志，轟原与織，白尾泰宏，濱里雄次郎：鏡視下腱板修復術後における術後 1 年までの他動肩関節可動域の推移について．第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会，2022 年 9 月 24-25 日，Web

3．轟原与織，白尾泰宏，吉田研吾，鮫島智志，岡弥津希，濱里雄次郎：鏡視下腱板修復術における術前・術後肩関節自動可動域の推移について．第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会，2022 年 9 月 24-25 日，Web

4．鮫島智志，岡弥津希，轟原与織，吉田研吾，白尾泰宏，濱里雄次郎：当院における肩腱板断裂・損傷に対する鏡視下腱板修復術の治療成績－ JOA と Sh36 からみた疼痛と満足度－．第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会，2022 年 9 月 24-25 日，Web

5．橋口由美子，迫田彩夏，多田克史，白尾泰宏，濱里雄次郎：当院における膝前十字靱帯再建術後 3 ヵ月の伸展可動域に影響を与える因子について．第 9 回日本スポーツ理学療法学会学術大会，2022 年 12 月 10-11 日，東京

6．迫田彩夏，橋口由美子，多田克史，白尾泰宏，濱里雄次郎：前十字靭帯損傷に合併する半月板損傷に影響を与える要因について．第 9 回日本スポーツ理学療法学会学術大会，2022 年 12 月 10-11 日，東京

今村総合病院　作業療法士

＜国内＞

1．福岡直幸：ADOC-H にて立案した目標を共有したことで MAL が改善した一症例．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

今村総合病院　言語聴覚士

＜国内＞

1．田中光：とろみ調整食品で調製した粘稠液状食品の再現性に対する臨床調査．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

2．鮫島悠子：完全側臥位法による嚥下障害者に対する経口摂取の可能性と地域連携への課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

3．丸岡由佳：脳卒中急性期患者へ看護師が行う嚥下機能評価導入に向けた取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

4．丸岡由佳：MMASA 導入に向けての取り組み．第 11 回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会熊本学会，2023 年 1 月 28-29 日，Web

5．小齊平千夏：視床損傷による注意機能と失語症状．第 11 回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会熊本学会，2023 年 1 月 28-29 日，Web

いづろ今村病院　理学療法士

＜国内＞

1．西洋樹：歩行障害を呈した転移性去勢抵抗性前立腺がん患者への鎮痛薬治療・理学療法と地域連携．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

愛と結の街　作業療法士

＜国内＞

1．廣田享子，村井真由美：老健通所リハビリ利用者の応用的 ADL 評価（以下 FAI）スコアの傾向と課題．第 21 回九州ブロック介護老人保健施設大会inさが，2022 年 12 月 15-16 日，佐賀

2．村井真由美, 原口悦江:生産性向上の取組～フロア業務･送迎を検討して～．介護現場における生産性向上推進フォーラム　九州・沖縄エリア，2023 年 2 月 14 日，大分（Web）

薬剤部

今村総合病院

＜国内＞

1．谷口麻里子，橋本直美，鬼丸俊司：安全安心の薬剤再利用の取り組み～コスト削減を目指した業務改善～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

2．鬼丸俊司，橋本直美：薬薬連携拡大のための試み～患者に寄り添う適切な医療を提供するために～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

3．橋本直美，鬼丸俊司：閉鎖式薬物輸送システムの全面導入による医療従事者に対する抗がん曝露対策．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

4．鎌田春紫，國師奈緒美，志氣成，冨永咲季，橋本直美，松山淳史，鬼丸俊司：周術期薬剤管理加算算定に向けた業務展開について．第 6 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会，2023 年 2 月 11 日，鹿児島

いづろ今村病院

1．御牧夕紀子，遠矢素子，野元優基，東屋敷史織，東條知子，内山ゆかり，神門孝典：フェンタニル製剤における下剤の適正使用の検討．第 15 回日本緩和医療薬学会年会，2022 年 5 月 13–15 日，熊本（Web）
2．東屋敷史織：当院入院患者における週 1 回 GLP-1 受容体作動薬セマグルチドの使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島
3．田原七海，古澤夕紀子，遠矢素子，木村理子，東屋敷史織，東條知子，内山ゆかり，神門孝典：フェンタニル製剤におけるオピオイド誘発性便秘症の要因探索．第 6 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会，2023 年 2 月 11 日，鹿児島

谷山病院

1．永井未仁，四本晶子，染川考佑，稲森志織，森原亜希子，長曽我部翔，新村味穂子，吉永浩之：谷山病院の疑義照会の現状．第 6 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会，2023 年 2 月 11 日，鹿児島

画像診断 / 放射線治療部

今村総合病院

＜国内＞

1．馬場隆行：患児の笑顔を作り出そう　－患者・家族・医療者の立場から－．第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会，2022 年 5 月 26–27 日，鹿児島
2．馬場隆行:ついに公開．クロックポジションスケール;CPS のすべて．ここから始まる高精度 X 線撮影．プレショットや補助具は CPS の序章だった．第 38 回日本診療放射線技師学術大会，2022 年 9 月 15–18 日，神戸
3．馬場隆行：手話と鏡で施設バリアを除く－大切な人も安心できる撮影室をめざして．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島
4．川上眞司：埋め込み型ポート使用時の造影撮影の注意点．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島
5．蓑田辰則：被ばく相談室の設置の目的・成果の報告－目に見えない気持ちと対話する－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島
6．市來守：ヘリカル IMRT を用いた全皮膚照射における PTV 設定の検討．第 35 回日本放射線腫瘍学会学術大会，2022 年 11 月 10–12 日，広島
7．馬場隆行：高精度補正を行うための基本と臨床応用。ここまで進化した撮影画像の計測と入射点移動で実現する高精度 X 線画像の実現．第 17 回九州放射線医療技師学術大会，2022 年 11 月 18–20 日，福岡

いづろ今村病院

1．脇田慎一：地域医療連携サービスの使用実績と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島
2．上舞優介：当院の人間ドックにおける胃 X 線検査の役割．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島

臨床検査部

今村総合病院

＜国内＞

1．中島彩乃：RhD 陰性血輸血後に抗 D を産生した RhD 陰性患者症例．第 18 回鹿児島県医学検査学会，2023 年 2 月

12 日，奄美

いづろ今村病院

＜国内＞

1．上赤遼：血液検査に影響を与える因子の評価．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

2．臼田歩実：糖尿病患者における心不全のリスク軽減に向けた当院の取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

臨床工学部

今村総合病院

＜国内＞

1．中鶴良登，三重陽一，竹之内聖三，新村由梨，渡邉喜代美，上荒磯ひとみ，平牟禮妙子，井上元紀，川井田季睦，竹下佳希，徳満拓実：当院における透析中に運動療法を開始した患者の評価～エスカルゴ運動を取り入れて～．第 12 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，2022 年 4 月 11-28 日，岡山（Web）

2．井上元紀，神ノ川喬伍，松田歩美，今村莉那，竹之内聖三，三重陽一，福元まゆみ，上床美紀，潤田心，渡邉喜代美，上荒磯ひとみ，川元みつ子：透析センターでの，防災マニュアル改定への取り組み．第 39 回鹿児島県人工透析研究会，2023 年 2 月 12 日，鹿児島

3．川井田季睦：タスクシフトに向けての取り組み．第 29 回鹿児島県臨床工学会＆かごわい 2022，2023 年 2 月 19 日，鹿児島

4．中鶴良登，徳満拓実，三重陽一，竹之内聖三，新村由梨，渡邉喜代美，上荒磯ひとみ，片平由依，關朱璃奈，井上元紀：当院における透析中の運動療法導入促進への取り組み～ InBody による筋肉量評価を取り入れて～．第 13 回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，2023 年 3 月 18-19 日，埼玉

管理栄養部

いづろ今村病院

＜国内＞

1．中薗智美：共通目標に向かって業務改善を行い，栄養部門の人材育成に繋がった取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

徳之島病院

＜国内＞

1．清水崇，作元ゆかり：外来栄養指導強化に関する取り組みについて．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

愛と結の街

＜国内＞

1．隈﨑耕輔，山下幸輝，滝寺雅之，今村瑞香：調理師としてできること～法人グループ内の課題からみえてきたこと～．第 33 回全国介護老人保健施設大会 兵庫，2022 年 9 月 22 日，神戸

視能訓練士

いづろ今村病院

＜国内＞

1．小浜侑貴：健康管理センターと視能訓練士の業務連携．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

医療福祉相談部

今村総合病院

＜国内＞

1．地頭所孝之：法人内ソーシャルワーカーの連携を目指して　慈愛会ソーシャルワーカー部の報告と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

施設管理

いづろ今村病院

＜国内＞

1．牧迫孝樹：逆止弁設置に係る検討 －施設課で検討可能な災害対策シリーズ－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

事務部

今村総合病院　医師事務補助課

＜国内＞

1．登美奈子：当院医師事務補助課の変遷と今後－医師事務補助課に求められるものとは？－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

2．東雅美，登美奈子：A クリニックでの業務改善サポート－医師から DA へタスクシフティング－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

3．上栗明郁，日髙奈津美，大迫真由美，東雅美：コミュニケーションツールの作成とその成果について～ウイズコロナ時代の新たな取り組み～．日本医師事務作業補助者研究会第 11 回全国学術集会，2022 年 11 月 20 日，Web

今村総合病院　診療情報管理室

＜国内＞

1．前田雄介：脳梗塞患者における自宅退院の可否に関する検討（第 2 報）．第 48 回日本診療情報管理学会学術大会，2022 年 10 月 14 日 -11 月 13 日，Web

2．本村公一：多職種による診療記録の質的監査と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

今村総合病院　総務課

＜国内＞

1．福留亮：病院全体で取り組む施設基準の検討について－チームアプローチ検討委員会の活動報告．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

2．鈴木大輔，有島尚亮：医療機関における地域支援を考える－異なる二つの包括連携協定の報告と課題について．日

本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

いづろ今村病院　医事課

＜国内＞

1．長屋雄太：病棟紹介と入院料の比較．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

いづろ今村病院　健康管理センター

＜国内＞

1．坂之上智恵子：検査の効率化と受診者へのサービス向上を目指して．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

七波クリニック

＜国内＞

1．帖地浩一郎：糖尿病専門クリニックにおける新型コロナワクチンの接種体制についての一考察．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

鹿児島中央看護専門学校

＜国内＞

1. 飯田珠美，久徳美鈴：選ばれる看護師養成所を目指した一戦術としての ICT 推進の効果．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

法人事業本部

＜国内＞

1．高野正樹：離島における非常食のあり方を考える．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

【第２回慈愛会学会学術集会】

2022 年 7 月 9 日　鹿児島県市町村自治会館

（所属・氏名は抄録集に基づき掲載）

＜大会長講演＞

慈愛会における血液内科 ～歴史と現在・未来～

今村総合病院　名誉院長兼臨床研究センター長　宇都宮與

＜パネルディスカッション＞

COVID-19 ～私たちの経験と with コロナ・新興感染症に備えた未来への展望～

コーディネーター：今村総合病院　医師　有馬丈洋，看護師　吉森みゆき

パネリスト：いづろ今村病院　医師　松下格司，谷山病院　看護師　鳥井口三恵子，中尾明美，愛と結の街　看護師　下大迫陽子，鹿児島中央看護専門学校　専任教員　櫻美尚美

＜口演＞

第Ⅰセッション〔医療福祉の質〕

1．今村総合病院　医師　中野伸亮，徳永雅仁，宮園卓宣，小田原淳，藤野聡司，宇都宮與，伊藤能清，いづろ今村病院　医師　高塚祥芝，竹内昇吾，今村総合病院　理学療法士　武清孝弘，今村総合病院　看護師　福山美智子，牧野桃子，垣添有佳，池田清夏：当院における臍帯血移植の試み　＊口演発表最優秀賞

2．今村総合病院　理学療法士　松元龍，津曲麻美，言語聴覚士　東慎也，鮫島悠子，丸岡由佳，医師　堂園浩一朗，神田直昭，看護師　浜崎彩，細樅由花，中村久美，事務員　今村ゆかり，池田祐太：今村総合病院 Stroke care unit の多職種連携　＊口演発表優秀賞

3．いづろ今村病院　医師　新中須敦，鎌田哲郎：病病・病診連携による周術期血糖コントロールの実際～症例から見えてくる連携のメリット～

4．いづろ今村病院　医師　久保田敬子，比良高明，看護師　里之園美佐代，有村智子：婦人科検診の年代別受診勧奨～婦人科外来と健康管理センターのチーム医療～

5．今村総合病院　歯科衛生士　田畑千歌，紀奈保美，歯科医師　坂元亮一，比地岡浩志，言語聴覚士　中島史博，看護師　内山政子：口腔ケアラウンド活動を振り返って～今後の活動を考える～

6．いづろ今村病院　視能訓練士　小浜侑貴，岩田修子，濱村高子：視能訓練士と健康管理センターの業務連携～今後の業務連携へ繋げる～

第Ⅱセッション〔医療福祉の質・医療安全・医療経済〕

1．今村総合病院　診療放射線技師　馬場隆行，榊大樹，中田有希乃，前田裕介，小林晃也，蓑田辰則：手話と鏡で施設バリアを取り除く～大切な人も安心できる撮影室を目指して～

2．いづろ今村病院　薬剤師　東屋敷史織，内山ゆかり，東條知子，御牧夕紀子，遠矢素子，神門孝典，今村総合病院薬剤師　野元優基：当院入院患者における週１回 GLP-1 受容体作動薬の使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討　＊口演発表奨励賞

3．今村総合病院　薬剤師　谷口麻里子，橋本直美，西元寺慧一，井原万葵，松山淳史，鬼丸俊司：薬物療法変更に伴う返品薬取扱いについて～医療安全にも繋がる業務改善～

4．今村総合病院　事務員　登美奈子：医師事務補助課に求められること～医師事務補助課の変遷と今後について～　＊口演発表奨励賞

5．今村総合病院　施設管理係　有島尚紀：施設課で実施した原価低減について～「競争」と「分解」の視点からの一

考察～

6．鹿児島中央看護専門学校３年課程看護科　事務員　飯田珠美，専任教員　大保まり子，久徳美鈴：選ばれる看護師養成所を目指した一戦術としてのICT推進の効果　＊口演発表優秀賞

第Ⅲセッション〔医療福祉の質・人材育成・働き方改革〕

1．今村総合病院　看護師　松元知佳，上野真由美，日高教子，大久保珠里：事前指示書に対する透析スタッフの意識調査～患者の意思表示を明確にする事前指示書導入へ向けて～

2．今村総合病院　看護師　西森識，上山テルヨ，医師　西垂水和隆，事務員　船迫彩乃：特定行為研修を修了した看護師の看護実践に対する変化　＊口演発表優秀賞

3．奄美病院　精神保健福祉士　吉村あゆみ：ワーカーミーティングの活性化へ向けて～SPRINT（最速仕事術）の応用～　＊口演発表優秀賞

4．今村総合病院　介護福祉士　諏訪薗和人，溝上博臣，磯部裕子，吉川愛美，理学療法士　松元龍，看護師　池田玲香，井手扶紗，大久保珠里，吉森みゆき，松山郁子，中谷明実：今村総合病院内での介護福祉士・ナースエイド委員会活動の報告～介護福祉士主導の研修～

5．谷山病院　看護師　内田宏貴，郡田かおり：当院における特定看護師活動推進マニュアル導入について～周知活動と実践トレーニングレポートの成果～

6．鹿児島中央看護専門学校３年課程看護科　専任教員　松山日実子，櫻美尚美，久徳美鈴：臨床指導者と協働した臨床判断能力育成に向けた学習会の成果～指導者の意識に焦点を当てて～

第Ⅳセッション〔医療福祉の質・地域医療〕

1．社会福祉法人慈愛会　障害者支援施設愛の浜園　生活支援員　松原充子，恵拓也：伝統と新しい風～陶芸とジャンベ活動を通して～

2．奄美病院　医師　砂川亘：喜界島の現状と精神医療アウトリーチ

3．徳之島病院　看護師　白山洋美，吉元初美，嶺井千春，精神保健福祉士　川原香織，作業療法士　城間いずみ：離島で働く人達の不安軽減に向けた多職種の思い　＊口演発表特別賞

4．今村総合病院　看護師　作田圭子，吉野典子，垣内恵梨奈，林真香，前田真紀子，皆吉菜穂子，吉森みゆき：A病院における継続看護の現状と課題～グループインタビューからみえてきたもの～

5．グループホーム愛と結の街　介護福祉士　加納美紀，中村真由美：帰りたい思いに寄り添って，グループホームで穏やかに過ごす～情報から見えるA氏への関わり方を考える～

6．居宅介護支援事業所ウェルネスじあい　介護支援専門員　長野加代子：医療と介護を繋いだ自宅での看取り

＜ポスター＞

1．いづろ今村病院　理学療法士　西洋樹，医師　松下格司：去勢抵抗性前立腺がん患者の多発骨・リンパ節転移による歩行障害に対する鎮痛薬治療と理学療法の有効性が認められた症例

2．いづろ今村病院　診療放射線技師　上舞優介，上釜健作，脇田慎一，医師　緒方三千恵，三重浩子，久保田敬子：人間ドックにおける胃X線検査の役割

3．いづろ今村病院　臨床検査技師　上赤遼，紺屋仁：血液検査に影響を与える因子の評価

4．いづろ今村病院　看護師　倉岡真穂，落司文月，大坪美和子，岩切郁美，福盛貴子：患者の意思決定支援の実際とそれに伴う看護師の心の動き～治癒困難患者の意思決定支援を振りかえって～

5．いづろ今村病院　看護師　今井朋子，医師　長野真二郎：多職種によるリンパ浮腫ケアの有効性の検討

6．いづろ今村病院　事務員　楠原憲一郎，患者・職員サービス委員会：2021年度外来患者満足度調査とベンチマーク

の活用～患者様の声から学ぶ～　＊ポスター発表優秀賞

7．今村総合病院　理学療法士　鮫島智志，岡弥津希，轟原与織，吉田研吾，白尾泰宏，医師　濱里雄次郎：鏡視下腱板修復術における患者主観評価と関節可動域の関連

8．今村総合病院　診療放射線技師　蓑田辰則，市來守，惠智徳：被ばく相談室の設置の目的・成果の報告～目に見えない気持ちと対話する～

9．今村総合病院　臨床検査技師　久保田知慎：採血取り直しとなる原因と検査値に及ぼす影響について

10. 今村総合病院　診療放射線技師　二間瀬竜太，下茂大輝，水流彩友美，川上眞司，松下啓，惠智徳：長期的使用注入用植込みポート使用時の造影 CT 撮影の注意点～安全性の確保と診療画像の担保～

11. 今村総合病院　臨床検査技師　上野朋絵：院内コロナウイルス PCR 検査の実態と現状

12. 今村総合病院　看護師　鎌田さつき，藺牟田友美，医師　溝田美智代，四元景子：小児生活習慣病予防検診で受診した児の経過と対応について～外来での支援方法を考える～

13. 今村総合病院　看護師　小波津武志，林真香，平恵子，皆吉菜穂子，吉森みゆき：患者のセルフケア向上につながる効果的な指導を目指して～化学療法を受ける患者にパンフレットを活用した指導を導入した試み～

14. 今村総合病院　看護師　谷川莉菜，福七海，兒玉健瑠，越口晋伍，中村倫丈，嘉村早苗：せん妄発症予防のための身体拘束減少を目指した取り組み～実態調査から見えた ICU の現状～

15. 徳之島病院　管理栄養士　清水崇，栄養士　作元ゆかり：外来栄養指導強化に関する取り組みについて　＊ポスター発表奨励賞

16. 徳之島病院　看護師　上野博之，准看護師　伊藤智子：新型コロナウイルスワクチン接種の意識調査～感染予防への行動変容～

17. 介護老人保健施設愛と結の街　施設管理係　田中一気，松元幸一郎，児玉健，前野節子：施設内のトイレ清掃について

18. 介護老人保健施設愛と結の街　介護福祉士　濱田小百合：65 歳以下の介護度が維持または軽度に移行した方と重度に移行した方の差について

19. デイサービスセンターあしたの風　看護師　徳田めぐみ，介護福祉士　前屋敷さよ子：中等度認知症の家族指導本人の理解力のある段階で

20. デイサービスはなぶさ　介護福祉士　上赤栄造：通所リハビリ併用利用者と通所介護単独利用者との比較・分析～取り組みに対する意欲の差について～

21. いづろ今村病院　診療放射線技師　脇田慎一，今村総合病院　医師　志村武，診療放射線技師　惠智徳：地域医療連携サービスの使用実績と今後の課題～選ばれる画像診断部となるために～　＊ポスター発表奨励賞

22. 谷山病院　作業療法士　東泊由紀：プレデイケアの効果～デイケア導入期に必要なこと～　＊ポスター発表優秀賞

23. 今村総合病院　看護師　平川あゆみ，福田美幸：当院における院内緊急コールの分析と今後の課題～コードブルー症例を振り返り見えてきたもの～

24. 谷山病院　看護師　早水裕子：楽しい医療安全活動の推進～２つの活動を通して～　＊ポスター発表奨励賞

25. 奄美病院　看護師　大野美和：看護補助者との協働による医療安全の取り組み

26. いづろ今村病院　事務員　長屋雄太，松本綾乃，永野里歩，今留美希：病棟紹介と入院料の比較

27. 今村総合病院　看護師　中村倫丈，嘉村早苗，理学療法士　桑野大介，医師　市來征仁：ICU におけるリハビリテーションの実施状況～早期離床リハビリテーションの算定状況～

28. 谷山病院　薬剤師　大平有紗，新村味穂子，四本晶子，馬場貴子，幸田将輝，染川考佑，稲森志織，田代佳代，慈愛会　薬剤師　山口辰哉：退院時薬剤情報連携加算取得に向けた当院の取り組み

29. 今村総合病院　看護師　松山郁子，いづろ今村病院　看護師　中窪尊子，谷山病院　看護師　永迫智子，法人事業本部　看護師　今村健次，木佐貫涼子：新人看護師成長パス，指導者パスの導入を試みて　＊ポスター発表優秀賞

30. 今村総合病院　看護師　井手扶紗，池田玲香，吉森みゆき，大久保珠里，松山郁子，中谷明実：看護補助者活動の

活性化を目指して～看護師長小集団活動の取り組みから～

31. 谷山病院　看護師　吉井百合子，児玉康恵，生見千鶴：ポリバレントスタッフの育成に向けて～看護補助者のシーツ交換の取り組みを通して～
32. 奄美病院　看護師　富丸千奈美：ICT 委員の教育体制の構築～病院全体の感染管理の意識向上を目指して～
33. 法人事業本部　看護師　池田貴美子，木佐貫涼子，事務員　米丸直美：管理者任用候補者選考制度における研修目標の達成度～受講動機別目標達成度の比較と考察～　＊ポスター発表奨励賞
34. いづろ今村病院　管理栄養士　中薗智美，内田紗弥，植祐美，調理師　梶原喜久美，浜松淳，志賀友洋，内野丈志：栄養部門　業務改善の取り組み～よりよい食支援のために～
35. いづろ今村病院　事務員　坂之上智恵子，安本清美，下野綾華，前野祐香，菊永恵理子，佐藤チハル：検査の効率化と受診者へのサービス向上を目指して
36. 今村総合病院　助産師　鶴薗由加子：コロナ禍の母親のニーズに寄り添うための活動報告
37. 谷山病院　精神保健福祉士　内門直人：窓口の開所時間遅れを防ぐ～朝礼業務を終礼に分散～
38. 慈愛会看護部長会　籔下和代，木佐貫涼子，北原美代子，中薗明子，福長由美，宮本陽子，原口悦江，中谷明実：働き方改革に対する取り組みの実際と課題～副看護師長の達成感・やりがい感につながるための支援～
39. いづろ今村病院　臨床検査技師　臼田歩実，湯淺由合，泉琴美，医師　山下誠，木佐貫彰，長野真二郎：GLS による糖尿病性心筋症の検出　＊ポスター発表最優秀賞
40. いづろ今村病院　施設管理係　牧迫孝樹，今村総合病院　施設管理係　有島尚紀，谷山病院　施設管理係　有馬弘之，愛と結の街　施設管理係　田中一気，奄美病院　施設管理係　窪田和弘，徳之島病院　施設管理係　武和幸，法人事業本部　事務員　高野正樹：逆止弁設置に係る検討～施設課で検討可能な災害対策シリーズ～
41. 今村総合病院　臨床工学技士　松元彰洋，坂口政人，越智秀美，原康隆，高岡大：医療機器管理システムを導入して得られたこと
42. 谷山病院　作業療法士　濵迫なる光：グループホーム退院を目指す知的障害者の日常生活能力向上に向けた取り組み～目標シートを作成して～
43. 谷山病院　看護師　上薗優子：導線を考えた業務のスリム化～預かり物品の整理を通して～
44. 谷山病院　看護師　中薗明子：精神科病院における新型コロナウイルス感染症病棟看護師のストレス調査～現状と課題～
45. 谷山病院　看護師　加藤和弘：新型コロナウイルス感染症クラスター発生施設におけるメンタルヘルス支援活動報告
46. 奄美病院　管理栄養士　和田裕美，荒垣春奈，永井杏子，法人事業本部　事務員　高野正樹：離島における非常食のあり方とは～コロナ禍を踏まえて現場の視点から考える～　＊ポスター発表優秀賞
47. 徳之島病院　看護師　屋綾子：自炊講座の取り組みから見えた課題
48. 住宅型有料老人ホームあいゆいの家　介護福祉士　中馬健一：住宅型有料老人ホームにおける生活支援の在り方について～ほがらかハウスの事例からの考察～　＊ポスター発表奨励賞
49. 法人事業本部　事務員　高野正樹，奄美病院　管理栄養士　和田裕美：非常食に係る先行研究を踏まえて，そのあり方を考える～奄美病院栄養科との共同研究～

【研究会・講演会】

血液内科

今村総合病院

1．宇都宮與：ATL 治療と ATL/HTLV-1 の最近の話題．ハイヤスタ錠発売記念講演会 in 石川，2022 年 4 月 8 日，Web
2．藤野聡司：当院における・Kd 療法の長期使用経験．MM café 〜，2022 年 4 月 14 日，Web
3．中野伸亮：新規薬剤時代の ATL に対する治療を考える．Takeda T-cell Lymphoma Webinar，2022 年 4 月 18 日，Web
4．藤野聡司：進行期に腹部腫瘤が急速に増大したハイリスク染色体を有する一例．DARAZQURO®　WEB 講演会 in 九州，2022 年 4 月 26 日，Web
5．佐々木謙介：CRISPR-Cas9 全ゲノムスクリーニングに基づいた CRLF2 再構成 Ph-like ALL に対する新規治療戦略．FBMTG 学術講演会，2022 年 4 月 28 日，福岡（Web）
6．伊藤能清：Ph+ALL の TKI 治療．第 44 回日本造血･免疫細胞療法学会総会　ランチョンセミナー, 2022 年 5 月 13 日，横浜（Web）
7．佐々木謙介：CLL の診断と治療 〜当院における治療経験〜．HEMATOLOGY WEB SEMINAR，2022 年 6 月 9 日，Web
8．宇都宮與：ATL 診療の到達点と今後の展望．ATL Forum，2022 年 6 月 16 日，Web
9．中野伸亮：アグレッシブ ATL に対する新規薬剤に関する最新知見．当院における ATL に対するブレンツキシマブベドチンの使用経験．令和 4 年度第 1 回 AMED 福田班班会議，2022 年 7 月 17 日，7 月 23 日，Web
10．宇都宮與：アグレッシブ ATL に対する新規薬剤に関する最新知見．ツシジノスタット（ハイヤスタ ®）．令和 4 年度第 1 回 AMED 福田班班会議，2022 年 7 月 17 日，7 月 23 日，Web
11．佐々木謙介：CRISPR-Cas9 全ゲノムスクリーニングに基づいた CRLF2 再構成 Ph-like ALL に対する新規治療戦略．第 17 回血液学若手研究者勉強会（麒麟塾），2022 年 7 月 23 日，東京（Web）
12．大山利栄：当院におけるベネトクラクス併用アザシチジン療法後の造血幹細胞移植の経験．Hematology Expert Meeting in Kagoshima，2022 年 7 月 28 日，鹿児島（Web）
13．伊藤能清：Ph+ALL 治療の進歩．アイクルシグ発売 5 周年 Web Seminar from Fukuoka，2022 年 8 月 2 日，福岡（Web）
14．中野伸亮：急性リンパ性白血病に対するブリナツモマブの使用を考える．BLINCYTO Web Symposium，2022 年 8 月 25 日，Web
15．中野伸亮：急性リンパ性白血病に対するブリナツモマブの使用を考える．BLINCYTO Web Symposium，2022 年 8 月 26 日．Web
16．中野伸亮：当院におけるカルフィルゾミブ使用症例．Multiple Myeloma Expert Seminar in 西日本，2022 年 8 月 31 日，Web
17．伊藤能清：Ph+ALL の治療．Ph+ Leukemia Web Seminar from Fukuoka，2022 年 9 月 23 日，福岡（Web）
18．中野伸亮：当院における ATL に対する同種移植の試み．Hokkaido Pioneer Seminar for Hematological Residents，2022 年 9 月 29 日，札幌（Web）
19．宮園卓宜：Isa ± d 療法の位置づけを考える．サークリサ鹿児島ハイブリッド講演会，2022 年 10 月 24 日，Web
20．藤野聡司：当院における IsaKd 療法の使用経験．第 4 回鹿児島 MM カンファレンス，2022 年 11 月 11 日，Web
21．中野伸亮：当院における ATL に対する治療戦略．Hematology Seminar in 岩手，2022 年 11 月 17 日，岩手（Web）
22．中野伸亮：移植施設における ATL 治療戦略．Tochigi T-cell Lymphoma Forum　〜ハイヤスタ錠　1 周年記念講演会〜，2022 年 12 月 1 日，（Web）
23．中野伸亮：ATL 治療戦略を考える．HSCT Meeting in Kanagawa，2022 年 12 月 16 日，横浜
24．宮園卓宜：濾胞性リンパ腫に対する治療戦略の現状と課題．Follicular Lymphoma Seminar，2023 年 1 月 19 日，Web
25．宇都宮與：ATL の現状と今後．鹿児島県令和 4 年度 HTLV-1 対策講演会，2023 年 1 月 22 日，鹿児島（Web）

26. 佐々木謙介：移植後再発 AML への FLT3 阻害剤の使用を考える．Gilteritinib Seminar ～ Targeted therapy を考える～，2023 年 1 月 26 日，鹿児島
27. 中野伸亮：ATL に対する治療を考える．Hematology Expert Web Seminar in Kagoshima，2023 年 1 月 30 日，鹿児島
28. 中野伸亮：ATL 領域における『移植』関連の話題．ATL に関する社内研修会，2023 年 3 月 1 日，鹿児島
29. 中野伸亮：ATL の治療戦略を考える．第 47 回久留米造血器腫瘍研究会，2023 年 3 月 3 日，久留米
30. 中野伸亮：ATL の移植，再発・難治性の治療について．オンコロジー領域担当 MR を対象とした社内研修，2023 年 3 月 8 日（撮影），鹿児島
31. 宇都宮與：Opening Remarks．ATL Web Forum，2023 年 3 月 10 日，鹿児島

＜社内勉強会＞

1．中野伸亮：造血幹細胞移植，VOD/SOS に関する知識および同種造血細胞移植における凝固第 13 因子の影響．2022 年 5 月 17 日，日本新薬株式会社社内勉強会（Web）
2．中野伸亮：当院における ATL に対する治療戦略．2022 年 6 月 14 日，協和キリン株式会社社内勉強会（Web）
3．宮園卓宜：当院における濾胞性リンパ腫に対する GB（obinutuzumab + bendamustine）療法の使用経験．2022 年 6 月 16 日，中外製薬株式会社社内講演会（Web）
4．宮園卓宜：AML に対する造血幹細胞移植について～同種移植の準備，実施～．2022 年 7 月 19 日，アッヴィ合同会社社内講演会（Web）
5．中野伸亮：ATL に対する臍帯血移植及び ATL における真菌感染症．2022 年 8 月 23 日，旭化成株式会社社内勉強会（Web）
6．宮園卓宜：輸血管理室の立ち上げ～ I&A 制度認証施設になるまで．2022 年 9 月 15 日，Meiji Seika ファルマ株式会社社内講演会（Web）
7．中野伸亮：当院の ATL に対する移植．2022 年 9 月 21 日，Meiji Seika ファルマ株式会社社内勉強会（Web）
8．中野伸亮：当院の悪性リンパ腫に対する移植．2022 年 9 月 27 日，中外製薬株式会社社内勉強会（Web）
9．宮園卓宜：慢性 GVHD について．2022 年 9 月 29 日，ヤンセンファーマ株式会社社内講演会（Web）
10. 宮園卓宜：PolaBR 療法の使用経験．2022 年 10 月 13 日，中外製薬株式会社社内講演会（Web）
11. 藤野聡司：cGVHD 勉強会．2022 年 10 月，ヤンセンファーマ株式会社社内勉強会（Web）
12. 宮園卓宜：DLBCL の治療方針．2022 年 11 月 29 日，中外製薬株式会社社内講演会（Web）

臨床研究センター / HTLV-1研究センター

今村総合病院

1．宇都宮與：ATL の現状と今後．鹿児島県令和 4 年度 HTLV-1 対策講演会，2023 年 1 月 22 日，鹿児島（Web）

輸血管理部

今村総合病院

1．藤山裕輝：当院における日当直スタッフへの輸血業務再教育と支援体制．鹿児島県臨床検査技師会「役立つ！スキルアップ」Web 研修会，2022 年 12 月 10 日，Web

糖尿病内科

いづろ今村病院

1．鎌田哲郎：糖尿病治療標準化の試み（鹿児島方式）．SDM カスタマイズド鹿児島 in 指宿，2022 年 4 月 22 日，指宿
2．新中須敦：私が考える GLP-1 受容体作動薬の使い方．GLP-1 受容体作動薬 Seminar，2022 年 5 月 11 日，Web
3．鎌田哲郎：FreeStyle リブレの臨床活用．Satsuma isCGM Spread Seminar，2022 年 5 月 18 日，Web
4．新中須敦：地域包括ケアを利用した高齢糖尿病患者へのアプローチ～当院における病診連携と治療選択～．Diabetes online seminar ～これからの GLP-1RA での高齢者治療～，2022 年 5 月 24 日，Web
5．新中須敦:DPP-4 阻害薬を再考する～何を期待して使うか？～．糖尿病 WEB セミナー in 鹿児島, 2022 年 6 月 16 日，Web
6．鎌田哲郎：糖尿病の食事療法と運動療法について．鹿児島大学医学部　臨床講義，2022 年 6 月 21 日，鹿児島
7．新中須敦：当院における高齢 2 型糖尿病患者への GLP-1 受容体作動薬の活用方法．GLP-1RA Up to Date，2022 年 6 月 22 日，Web
8．新中須敦：当院におけるソリクア配合注の使用経験．Diabetes Expert Webinar，2022 年 7 月 8 日，Web
9．鎌田哲郎：医師がする高齢者糖尿病患者への外来ワンポイントアドバイス．第 25 回糖尿病医療連携体制講習会，2022 年 7 月 19 日，鹿児島
10．新中須敦：糖尿病患者の動脈硬化と脂質管理．第 25 回糖尿病医療連携体制講習会，2022 年 7 月 19 日，鹿児島
11．新中須敦：GLP-1 受容体作動薬の立ち位置と当院での使い方．若手医師のための Diabetes Incretin Forum in 三重，2022 年 7 月 21 日，Web
12．鎌田哲郎：糖尿病治療標準化の試み（鹿児島方式）SDM カスタマイズド鹿児島．第 491 回姶良地区内科医会学術講演会，2022 年 7 月 27 日，鹿児島
13．新中須敦：在宅に向けての糖尿病治療～ GLP-1 受容体作動薬の有用性～．人吉球磨医師会学術講演会 Diabetes & Incretin Seminar．2022 年 8 月 3 日，人吉（Web）
14．新中須敦：高齢 2 型糖尿病患者の問題点と治療～当院における GLP-1 受容体作動薬の活用～．GLP-1RA Online Meeting，2022 年 8 月 26 日，Web
15．鎌田哲郎：糖尿病について知っておきたいこと～グルコーススパイクって何？～．鹿児島市糖尿病重症化予防教室，2022 年 8 月 30 日，鹿児島
16．鎌田哲郎：糖尿病外来診療ワンポイント・レッスン⑧～糖尿病と消化器疾患～．第 9 回いづろ今村病院糖尿病治療連携セミナー，2022 年 9 月 7 日，鹿児島
17．新中須敦：当院におけるソリクア配合注の使用経験．Sanofi Diabetes 1Day Webinar，2022 年 9 月 16 日，Web
18．鎌田哲郎：新しい糖尿病薬イメグリミンに期待すること～糖尿病臨床とミトコンドリア～．TWYMEEG Web Seminar in 鹿児島．2022 年 9 月 27 日，鹿児島（Web）
19．新中須敦：糖尿病治療における SGLT-2 阻害薬への期待～当院における SGLT-2 阻害薬の使用～．大隅地区 web 学術講演会，2022 年 10 月 20 日，Web
20．鎌田哲郎：メトホルミンの安全使用について．DiaMond Seminar in 鹿児島，2022 年 11 月 2 日，鹿児島
21．鎌田哲郎：新しい糖尿病薬ツイミーグに期待すること．Dual Seminar in 鹿児島，2022 年 11 月 18 日，鹿児島
22．新中須敦：当科での治療経験からみた経口セマグルチドの有用性．GLP-1 Web Meeting，2022 年 12 月 9 日，Web
23．鎌田哲郎：効果のあがる糖尿病教育入院を考える．糖尿病研究会 in 宮崎，2023 年 1 月 20 日，宮崎（Web）
24．鎌田哲郎：運動療法指導のための基礎知識．第 79 回 SDM 研究会，2023 年 1 月 21 日，鹿児島（Web）
25．鎌田哲郎：糖尿病性腎症重症化予防の取り組み～鹿児島編～．DiaMond Seminar in 九州，2023 年 3 月 3 日，鹿児島（Web）
26．鎌田哲郎：専門医が考える“かかりつけ医が困っている症例”への対応．第 27 回糖尿病治療連携講習会，2023 年 3 月 14 日，鹿児島

27. 新中須敦：血糖マネジメントへの早期介入の必要性．DiaMond Live Seminar in 鹿児島．2023 年 3 月 16 日，Web
28. 鎌田哲郎：糖尿病性腎症重症化予防の取り組み．第 10 回鹿児島合併症研究会，2023 年 3 月 29 日，鹿児島

消化器内科

今村総合病院

1．田口宏樹：プライマリケアの心を持って専門医へ．第 3 回地方創生医師団シンポジウム，公立多良木病院，2022 年 4 月 30 日，熊本
2．田口宏樹：GERD をはじめとする上腹部症状に対する治療戦略について～胆膵内視鏡あれこれ～．第 2 回鹿児島消化器 Web セミナー，2022 年 6 月 13 日，鹿児島
3．湯通堂和樹，秋元遥：第 4 回南北ヤングライオンアカデミー ディスカッサー．2022 年 8 月 3 日，鹿児島（Web）
4．秋元遥：第 5 回南北ヤングライオンアカデミー ディスカッサー．2023 年 3 月 8 日，鹿児島（Web）

外科・消化器外科

今村総合病院

1．馬場研二：当院における大腸癌化学療～補助療法からサルベージラインまで～．第 5 回消化器がん治療カンファレンス，2022 年 10 月 19 日，鹿児島
2．馬場研二：最新の大腸がん治療 化学療法～腹腔鏡手術．大隅臨床外科医会，2022 年 11 月 18 日，鹿屋
3．馬場研二:大腸癌治療の up to date ～化学療法と腹腔鏡手術～．大島地区消化器集団検診研究会, 2022 年 12 月 2 日，奄美
4．帆北修一：医師の働き方改革に関する事例報告「医師の働き方改革について～当院における取組～」．国立保健医療科学院　地域医療構想の実現に向けた病院管理者研修，2022 年 12 月 14 日，Web
5．馬場研二：ここまできた大腸癌治療～患者さんに優しい手術療法・がんに厳しい薬物療法～．鹿児島県民のための大腸がん予防講座，2023 年 1 月 22 日，鹿児島

皮膚科

今村総合病院

1．米倉健太郎：当院におけるリウマチとの院内連携と PPP に対するグセルクマブの使用経験．鹿児島県皮膚科医部会学術講演会，2022 年 7 月 2 日，鹿児島（Web）
2．米倉健太郎：爪白癬の病態，診断を再確認しよう．爪白癬治療を考える会 in 鹿児島，2022 年 8 月 3 日，鹿児島
3．米倉健太郎：皮膚リンパ腫の最近の治療について．Dermatology Web Seminar，2022 年 8 月 19 日，八王子（Web）
4．米倉健太郎：IL-31 の特徴とミチーガへの期待．鹿児島県皮膚科医部会 ミチーガ発売記念学術講演会，2022 年 9 月 7 日，鹿児島（Web）
5．米倉健太郎：当院におけるアトピー性皮膚炎治療．南九州 Dermatology Expert Seminar，2022 年 9 月 21 日，鹿児島（Web）
6．米倉健太郎：生物学的製剤による乾癬治療．炎症性皮膚疾患セミナー，2022 年 11 月 11 日，鹿児島（Web）
7．米倉健太郎：皮膚科における ATL 診療とハイヤスタの使用経験．Meiji Seika ファルマ Web カンファレンス，2022 年 11 月 30 日，Web
8．米倉健太郎：今村総合病院における皮膚リンパ腫・ATL の治療．第 4 回皮膚リンパ腫症例検討会　基調講演，2023 年 1 月 21 日，岡山（Web）

9．米倉健太郎：皮膚 T 細胞リンパ腫の治療戦略～デニロイキン ジフチトクスの位置づけを考える～．第 2 回 CTCL Meet The Expert，2023 年 2 月 16 日，名古屋（Web）
10. 米倉健太郎：JAK 阻害薬・バイオ時代のアトピー性皮膚炎治療と皮膚リンパ腫について．第 4 回鹿児島皮膚腫瘍研究会，2023 年 2 月 22 日，鹿児島（Web）
11. 米倉健太郎:乾癬治療の当科における病診連携～鑑別診断, フォローアップを含めて～. 第 1 回鹿児島県皮膚科講話会，2023 月 3 月 15 日，鹿児島

救急・総合内科

今村総合病院

1．伊藤加菜絵：ベンリスタのエビデンスに基づく SLE/LN 治療での位置付け．九州 SLE エキスパートミーティング 2022，2022 年 4 月 9 日，福岡（Web）
2．伊藤加菜絵：JAK 阻害薬リンヴォックの最新トピックス．RINVOQ Expert Meeting　吉玉先生の部屋，2022 年 4 月 18 日，鹿児島（Web）
3．伊藤加菜絵：リウマチ内科医から見た Psoriatic disease の治療選択．Biologic Clinical Seminar in Kurume，2022 年 6 月 21 日，鹿児島（Web）
4．伊藤加菜絵：第 3 回 KAGOSHIMA RA NEXT generations conference（パネリスト），2022 年 9 月 5 日，鹿児島
5．伊藤加菜絵：膠原病の最新治療と日常生活の注意点．鹿児島県難病支援センター巡回相談，2022 年 10 月 8 日，鹿児島
6．伊藤加菜絵：EGPA 新治療の実践．GSK EGPA web seminar ～長期予後を見据えた EGPA 治療とメポリズマブの位置付け，2022 年 10 月 14 日，鹿児島（Web）
7．伊藤加菜絵：実臨床における新たな選択肢～ジセレカ錠の使用経験から．リウマチ診療を考える会 in 鹿児島，2022 年 12 月 15 日，鹿児島
8．伊藤加菜絵：知っておきたい膠原病の基礎知識－症状スクリーニングと呼吸器合併症の管理－．病診連携セミナー，2022 年 12 月 23 日，鹿児島（Web）
9．伊藤加菜絵：CTD-ILD Meet The Expert in 鹿児島（パネリスト），2023 年 1 月 14 日，鹿児島
10. 伊藤加菜絵：RA Next Generation Meeting in 南九州（パネリスト），2023 年 1 月 28 日，鹿児島
11. 伊藤加菜絵：当院におけるサリルマブ使用経験．Sarilumab Expert Seminar，2023 年 2 月 6 日，鹿児島
12. 伊藤加菜絵：EGPA 新治療の実践．GSK EGPA web seminar ～長期予後を見据えた EGPA 治療とメポリズマブの位置付け，2023 年 2 月 7 日，鹿児島
13. 伊藤加菜絵：血管炎を見逃さないために～血管炎の早期診断のポイント・治療について～．血管炎治療 Update Webinar in 鹿児島，2023 年 3 月 3 日，鹿児島

緩和ケア内科

いづろ今村病院

1．松下格司：緩和ケア病棟と在宅診療のより良い地域連携について．緩和ケア WEB セミナー，2022 年 7 月 6 日，鹿児島（Web）
2．松下格司：全人的苦痛に対する緩和ケア．がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（相良病院），2022 年 6 月 26 日，鹿児島
3．松下格司：全人的苦痛に対する緩和ケア．がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（霧島市立医師会医療センター），2022 年 11 月 20 日，霧島

4．松下格司：e-learning の復習・質問，全人的苦痛に対する緩和ケア．がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（種子島医療センター），2022 年 11 月 23 日，西之表
5．松下格司：療養場所の選択と地域連携．がん診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会（鹿児島大学病院），2023 年 2 月 11 日，鹿児島

産科・婦人科

今村総合病院

1．貴島佳子：出産・子育て・更年期など幅広い女性の悩みに寄り添ったお話．第 1 回今村総合病院による講演会，2022 年 6 月 16 日，垂水
2．貴島佳子：加齢にともなう女性のからだの変化について 閉経後・老年期に多い婦人科疾患とその対策法．第 3 回今村総合病院による講演会，2023 年 3 月 16 日，垂水

小児科

今村総合病院

1．四元景子：あかちゃんのスキンケア＆夏の病気．すこやか子育て交流館講座，2022 年 7 月 25 日，鹿児島
2．四元景子：あかちゃんのスキンケア & 冬の病気．すこやか子育て交流講座，2022 年 11 月 26 日，鹿児島
3．溝田美智代：小児の成長と成長曲線の活用．第 39 回姶良地区学校保健研究協議会，2022 年 12 月 8 日，姶良

腎臓内科

今村総合病院

1．福元まゆみ：腎臓内科医からみた CKD 診療について．糖尿病オンラインセミナー in 鹿児島，2022 年 6 月 29 日，鹿児島（Web）

スポーツ整形外科

今村総合病院

1．海江田英泰：子どもの肘を守る．薩摩おいどんカップ，2023 年 3 月 12 日，鹿児島

精神科

今村総合病院

1．小玉哲史：コミュニケーション・ロールプレイ．がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
2．小玉哲史：コミュニケーション・ロールプレイ．がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会，2022 年 12 月 4 日，薩摩川内
3．小玉哲史：コミュニケーション・ロールプレイ．がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会，2023 年 1 月 7 日，鹿児島
4．小玉哲史：コミュニケーション・ロールプレイ．がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会，2023 年 2 月 19 日，鹿屋

麻酔科・ペインクリニック内科

今村総合病院

1．東美木子：令和 4 年度　今村総合病院　BLS，2022 年 7 月 2 日，鹿児島
2．東美木子：令和 4 年度　今村総合病院　ACLS，2022 年 7 月 10 日，鹿児島
3．東美木子：令和 4 年度　今村総合病院　ACLS，2022 年 8 月 14 日，鹿児島
4．東美木子：令和 4 年度　今村総合病院　BLS，2022 年 11 月 19 日，鹿児島

かごしまオハナクリニック

1．林恒存：認知症を理解する．鹿児島市認知症介護教室，2022 年 6 月 4 日，鹿児島
2．林恒存：認知症を理解する．鹿児島市認知症介護教室，2022 年 9 月 16 日，鹿児島
3．林恒存：県立宮崎病院 JMECC/ICLS コース インストラクター，2022 年 10 月 22 日，宮崎
4．林恒存：総合診療体制の構築・在宅医療の実際．慈愛会管理者任用候補者研修，2022 年 11 月 24 日，鹿児島
5．林恒存:日常診療で行いたい，かかりつけ医による認知症ケア．かかりつけ医認知症対応力向上フォローアップ研修，2022 年 12 月 17 日，Web
6．横山大輔：ポートフォリオ．第 10 回鹿児島総合診療合同勉強会，2023 年 1 月 31 日，鹿児島（Web）
7．林恒存：救急科講義「高齢者」．鹿児島県消防学校，2023 年 3 月 1 日，鹿児島

以上　診療部

看護部

今村総合病院

1．中村倫丈:成人看護学Ⅱ「呼吸機能障害の看護」.鹿児島中央看護専門学校3年課程看護科非常勤講師,2022年4月-6月,鹿児島
2．中村倫丈：共通基本技術Ⅱ「フィジカルアセスメント」．久木田学園看護専門学校非常勤講師，2022 年 7 月 -9 月，鹿児島
3．中村倫丈：高齢者権利擁護推進事業における看護実務者研修会．鹿児島県（鹿児島県看護協会委託），2022 年 7 月 6 日，鹿児島
4．中村倫丈：訪問看護師養成研修「フィジカルアセスメント・入門コース」．鹿児島県看護協会，2022 年 7 月 16 日，鹿児島
5．吉森みゆき：施設等における新型コロナウイルス感染症の感染対策について．鹿児島市保健所 感染症講演会および感染症対応実務研修会，2022 年 8 月 1 日 -8 月 31，Web
6．中村倫丈：訪問看護師養成研修「フィジカルアセスメント・e ラーニングコース」．鹿児島県看護協会，2022 年 8 月 6 日，鹿児島
7．吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症対策支援について．鹿児島県看護協会 With コロナ時代における感染対策研修．2022 年 8 月 27 日，鹿児島
8．中村倫丈：大島地区看護師研修会「フィジカルアセスメント」．鹿児島県看護協会，2022 年 10 月 8 日，奄美
9．浜辺恵里香：入退院支援応用編．令和 4 年度 看護協会教育研修会，2022 年 10 月 24 日，鹿児島
10．吉森みゆき：教育講演　感染症とは！新型コロナウイルス感染症対策．第 89 回日本消化器内視鏡技師学会．2022 年 10 月 29 日．福岡
11．吉森みゆき：新型コロナウイルス感染症対策．守谷病院職員研修会．2022 年 11 月 18 日．鹿児島

12. 浜辺恵里香：退院支援．令和 4 年鹿児島県 MSW 協会基礎研修，2022 年 12 月 3 日，鹿児島
13. 中村倫丈：再就業支援セミナー「呼吸と循環」．鹿児島県看護協会，2022 年 12 月 6 日，鹿児島
14. 浜辺恵里香：ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現．特定非営利活動法人鹿児島県介護支援専門員協議会　令和 4 年度主任介護支援専門員研修，2022 年 12 月 15 日，鹿児島
15. 浜辺恵里香：ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現．特定非営利活動法人鹿児島県介護支援専門員協議会　令和 4 年度主任介護支援専門員研修，2023 年 2 月 16 日，鹿児島

かごしまオハナクリニック

1．西方マリ子：在宅支援診療所の看護師の立場から．退院支援看護師院内養成講座，2022 年 11 月 19 日，鹿児島

いづろ今村病院

1．中窪尊子：緩和ケア学．鹿児島純心女子大学，2022 年 6 月 29 日，鹿児島
2．中窪尊子：第 8 回 ELNEC － J コアカリキュラム看護師教育プログラム．NPO 法人日本ホスピス緩和ケア協会九州支部，2022 年 8 月 27 日，9 月 23-24 日，10 月 1 日，Web
3．尾堂ゆかり：糖尿病重症化予防（フットケア）研修．鹿児島県看護協会，2022 年 11 月 16-18 日（全 3 回），鹿児島

谷山病院

1．内田宏貴：精神科認定看護師教育課程　対象理解Ⅰフィジカルアセスメント．日本精神科看護協会，2022 年 5 月 28-29 日，Web
2．中薗明子：ファーストレベル教育課程　人材管理Ⅰ．公益社団法人鹿児島県看護協会　認定看護管理者ファーストレベル教育，2022 年 8 月 23 日，鹿児島
3．内田宏貴：精神科認定看護師教育課程　演習Ⅰ．日本精神科看護協会，2022 年 8 月 26- 27 日，Web
4．内田宏貴：認定看護セミナー．学校法人原田学園　鹿児島医療技術専門学校講義，2022 年 10 月 6 日，鹿児島

愛と結の街

1．川﨑愛:生活支援～食事について～．鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科，2022 年 4 月 8･25･ 日，5 月 9･16･23 日，6 月 6･13･20･27 日，7 月 4･11･25 日，8 月 29 日，9 月 5･12 日，鹿児島
2．原口悦江：老年看護学方法論Ⅱ．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2022 年 5 月 23･30 日，6 月 20･27 日，鹿児島
3．前屋敷さよ子：認知症について．妙行寺 認知症サポーター養成講座，2022 年 7 月 17 日，鹿児島
4．木場田哲也：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島医療技術専門学校看護科，2022 年 9 月 5･12 日，鹿児島
5．今西由香：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島医療技術専門学校看護科，2022 年 9 月 26 日，10 月 3 日，鹿児島
6．川﨑友義：チームマネジメント．鹿児島女子短期大学，2022 年 9 月 30 日，10 月 7･14･21･28 日，11 月 4 日，12 月 2･9･16･23 日，2023 年 1 月 13･20 日，鹿児島
7．宮田強:「わたしは歩けるよ」～グループホームでの個別リハビリへの取組み～．第 27 回鹿児島県老人保健施設大会，2023 年 2 月 14 日，鹿児島
8．前屋敷さよ子：認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けていけるために．鹿児島市　認知症等見守りメイト研修会，2023 年 2 月 25･28 日，鹿児島

法人事業本部

1．木佐貫涼子：慈愛の心．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2022 年 4 月 22 日，5 月 13･20･27 日，鹿児島
2．今村健次：医療安全．学校法人原田学園鹿児島医療技術専門学校，2022 年 6 月 7 日 -7 月 5 日（全 8 回），鹿児島

リハビリテーション部

今村総合病院　理学療法士（総合）

1．村山芳博：社会の中の理学療法士．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会新人オリエンテーション，2022 年 4 月 17 日，鹿児島
2．村山芳博：理学療法士の医療政策論 1．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会，2022 年 5 月 29 日，鹿児島
3．村山芳博：理学療法士の職能・未来と展望．鹿児島第一リハビリ専門学校，2022 年 6 月 17 日，鹿児島
4．村山芳博：理学療法士の医療政策論 2．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会，2022 年 6 月 19 日，鹿児島
5．村山芳博：チーム医療の実践について．鹿児島大学医学部保健学科，2022 年 6 月 28 日，鹿児島
6．武清孝弘:造血幹細胞移植患者のリハビリテーションについて．厚生労働省 造血幹細胞移植体制整備事業 スキルアップ Web セミナー（島根大学），2022 年 10 月 8 日，島根（Web）
7．津曲麻美：産後・育児ママの身体のケアについて．慈愛会と垂水市の包括連携協定に基づく子育て世代向け講演会，2022 年 11 月 4 日，垂水
8．村山芳博：CVA の理学療法の評価．鹿児島大学医学部保健学科，2022 年 12 月 12 日，鹿児島

今村総合病院　理学療法士（スポーツ整形リハセンター）

1．納村千夏：産後・育児ママの身体のケアについて．慈愛会と垂水市の包括連携協定に基づく子育て世代向け講演会．2022 年 11 月 4 日，垂水
2．白尾泰宏：身体特性から考える運動器疾患に対する理学療法（upper quarter 編）．鹿児島県理学療法士協会運動器専門領域研修会，2022 年 11 月 23 日，Web
3．轟原与織：東京オリ・パラ用 JPTA ブラッシュアップ研修伝達～足関節テーピング編～．鹿児島県理学療法士協会専門領域スポーツ系研修会，2023 年 2 月 12 日，Web
4．吉田研吾：スポーツ傷害における理学療法（肩関節）．第 2 回奄美地区研修会，2023 年 2 月 18 日，Web
5．白尾泰宏：身体特性から考える運動器疾患に対する理学療法（lower quarter 編）．鹿児島県理学療法士協会運動器専門領域研修会，2023 年 3 月 5 日，Web

いづろ今村病院　理学療法士

1．土井敦：福祉用具と住宅改修．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会 生活環境支援部研修会，2022 年 10 月 9 日，鹿児島（Web）
2．土井敦：介護実務者研修 介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識．公益財団法人介護労働安定センター，2022 年 10 月 13 日，鹿児島
3．土井敦:基本動作と生活環境．鹿児島理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 訪問リハビリテーション研究会，2022 年 10 月 29 日，鹿児島（Web）
4．西洋樹：フレイルと運動について．鹿児島県理学療法士連盟　宮路拓馬国政報告会　，2022 年 10 月 30 日，鹿児島
5．土井敦：看護介護職員向け動作介助研修会．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会 公開講座，2022 年 12 月 18 日，鹿児島（Web）
6．西洋樹，森永恭子：糖尿病の運動療法（効果的な運動の種類，強度，時間など）．鹿児島県糖尿病療養指導士会受託鹿児島県国保ヘルスアップ事業，2023 年 1 月 29 日，2 月 5･26 日，鹿児島（Web）
7．土井敦：快適な住環境整備と介護．鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修，2023 年 2 月 17 日，鹿児島
8．西洋樹：糖尿病疾患における自助を促す工夫．鹿児島県理学療法士協会公益事業部主催　介護予防シンポジウム，2023 年 3 月 9 日，鹿児島（Web）
9．西賢一郎:呼吸リハビリテーションに関するステートメントについて～チーム医療，病期・病態別呼吸リハビリテーションを中心に～．第 12 回呼吸療法セミナー　南九州 ME 研究会，2023 年 3 月 18 日，鹿児島（Web）

谷山病院　作業療法士

1．小澤孝典：精神科作業療法について．鹿児島中央看護専門学校，2023 年 1 月 10 日，鹿児島

薬剤部

今村総合病院

1．橋本直美：専門医療機関連携薬局認定に対する医療機関の責務．第 6 回慈愛会薬薬連携交流会，2022 年 10 月 21 日，鹿児島

谷山病院

1．四本晶子：服薬継続の重要性について．鹿児島市保健部保健支援課主催　患者家族会・ドラえもんの会，2023 年 2 月 18 日，鹿児島

2．染川考佑：谷山病院における抗パーキンソン薬（抗コリン薬）と抗精神病薬の使用状況．抗コリン薬・抗精神病薬を再考するin鹿児島，2022 年 3 月 24 日，鹿児島 （Web）

画像診断 / 放射線治療部

今村総合病院

1．馬場隆行：ついに初公開！これがクロックポジションスケール：CPS の全貌だ！　見逃すな！広島からはじまる戦略的高精度 X 線撮影　プレショットや補助具は CPS の序章だった！．23 回 NTRT 全国 X 線撮影技術読影研究会，2022 年 7 月 9-10 日，広島

2．市來守：椎体定位放射線治療の初期経験．2022 年度 日本放射線技術学会 九州支部放射線治療セミナー，2022 年 7 月 30 日，鹿児島

3．川上眞司：手術支援　CT 画像．第 52 回鹿児島 CT 研究会，2022 年 8 月 17 日，Web

いづろ今村病院

1．上釜健作:超音波検査室の精度認定制度について．第 317 回鹿児島超音波医学研究会, 2022 年 5 月 31 日, 鹿児島(Web)

2．上釜健作：ここがポイント！虫垂アプローチ．第 20 回鹿児島超音波研究会，2022 年 7 月 20 日，鹿児島（Web）

3．上釜健作：PD 後の膵尾部腫瘤の 1 例．第 321 回鹿児島超音波医学研究会，2022 年 9 月 27 日，鹿児島（Web）

4．上釜健作:左乳癌による転移性肝腫瘍の 1 例．第 324 回鹿児島超音波医学研究会，2022 年 12 月 6 日，鹿児島（Web）

5．上釜健作：どうしていますか？？経過観察時に心がけるべきこと．第 21 回鹿児島超音波研究会，2023 年 2 月 1 日，鹿児島（Web）

6．上釜健作：SMA 症候群の 1 例．第 327 回鹿児島超音波医学研究会，2023 年 3 月 29 日，鹿児島（Web）

臨床検査部

今村総合病院

1．藤山裕輝：当院における日当直スタッフへの輸血業務再教育と支援体制．役立つ！スキルアップ．鹿児島県臨床検査技師会 Web 研修会，2022 年 12 月 10 日，鹿児島

管理栄養部

いづろ今村病院

1．中薗智美：IBD 患者さまとの関わり 栄養士の立場から．鹿児島 IBD チーム医療連携の会，2022 年 5 月 26 日，鹿児島（Web）
2．中薗智美：病院栄養士の体験から．鹿児島県立短期大学キャリアデザイン「先輩の就活体験・職業体験から学ぶ」，2022 年 9 月 21 日，鹿児島
3．中薗智美：「職場の安全は皆さんの健康から」～高血圧症について　食事に関すること（適塩）．積水安全大会，2022 年 10 月 6 日，鹿児島
4．中薗智美：病態を知ろう（糖尿病）「症例検討～インスリン」．鹿児島県栄養士会リレー研修会 Part Ⅰ（第 5 回），2022 年 10 月 15 日，鹿児島（Web）
5．萬福有理：先輩からあなたへ　体験発表．鹿児島純心女子大学，2022 年 9 月 27 日，鹿児島（Web）
6．中薗智美：症例検討研修会（症例 2）．令和 4 年度鹿児島県栄養士会糖尿病重症化予防事業，2023 年 1 月 28 日，鹿児島
7．中薗智美：糖尿病の食事指導～腎症・時間栄養学・肥満への対応～．令和 4 年度糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会，2023 年 1 月 29 日，鹿児島
8．中薗智美：高齢者のフレイル対応～食事編．食品交換表の活用，飲酒指導．令和 4 年度糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会，2023 年 2 月 5 日，鹿児島

徳之島病院

1．清水崇：第 8 回鹿児島 1 型糖尿病セミナーファシリテーター，2022 年 12 月 4 日，鹿児島（Web）

慈愛会クリニック

1．加藤実穂：病態を知ろう（糖尿病）「NCP 症例検討」．鹿児島県栄養士会リレー研修会 Part Ⅰ（第 5 回），2022 年 10 月 15 日，鹿児島（Web）

医療福祉相談部

今村総合病院

1．馬場園望：将来の MSW 育成プロジェクト．鹿児島国際大学 学生対象講話，2022 年 7 月 20 日，鹿児島

奄美病院

1．吉村あゆみ：生活に活かせるリフレーミング．第 1 回平松町地域 PTA 子育て講話，2022 年 7 月 13 日，奄美
2．吉村あゆみ：離島精神医療における LAI（TRI）の意義．ヤンセンオンライン講演会離島精神科医療を考える会，2022 年 8 月 25 日，長崎（Web）
3．西牟田智子：AA との出会い，AA について思うこと．AA 鹿児島地区 40 周年記念集会，2022 年 10 月 16 日，鹿児島（Web）
4．吉村あゆみ：部下を持つ職員のためのメンタルヘルス．奄美海上保安部メンタルヘルス講演会，2022 年 11 月 24 日，奄美
5．西牟田智子：精神保健福祉士の実践論Ⅰ．一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会，2022 年 11 月 27 日，鹿児島（Web）
6．有村美幸，貴島世梨香：地域支援者による実践報告．令和 4 年度鹿児島県医療観察制度地域連絡協議会．2022 年 12 月 1 日，奄美

7．西牟田智子：オンラインゲームの問題点，オンラインゲームやSNSとの付き合い方，ゲーム依存症について．奄美市教育委員会（学校保健委員会）．2022年12月2日，奄美
8．西牟田智子：成年後見制度とは．龍郷町成年後見研修会，2022年12月22日，大島郡龍郷町
9．森越志保：離島の認知症疾患医療センターの現状と取り組みと課題．第10回認知症疾患医療センター全国研修会，2023年1月28日，高知（Web）
10．西牟田智子：高齢者虐待について．奄美市笠利地区居宅介護支援事業者連絡会及びケアマネージャー学習会，2023年2月15日，奄美

鹿児島中央看護専門学校

1．久徳美鈴：管理実践課題演習支援．鹿児島県看護協会 令和4年度認定看護管理者教育課程サードレベル講師，2022年8月4日-11月19日　33時間（全7回），鹿児島

法人事業本部

1．今村英仁：病院給食問題と地域の課題解決に向けて．医療経済フォーラム・ジャパン第106回定例研修会，2022年4月7日，東京
2．今村英仁：病院の栄養部門が抱える課題とこれからの管理栄養士への期待．第7回全国栄養経営士のつどい　東京大会，2022年9月1日，東京（Web）
3．今村英仁:地域におけるポジショニング．東京大学　高度医療経営人材育成プログラム,2022年9月3日,東京(Web)
4．今村英仁：病院給食の問題解決に向けて．HOSPEX Japan2022　病院・福祉給食セミナー，2022年10月27日，東京
5．高野正樹：「病院給食の赤字化の理由」～ヒト・モノ・カネの視点から～．HOSPEX Japan2022　病院・福祉給食セミナー，2022年10月27日，東京
6．今村英仁：病院の栄養部門が抱える課題とこれからの管理栄養士への期待．令和4年度東京都立病院機構No.1職層別研修　管理者研修　病院幹部マネジメント（栄養）Web研修，2023年2月20日，東京（Web）
7．高野正樹：医療施設給食の赤字化の理由～給食経営管理および臨床栄養管理の視点からの考察．第34回日本給食経営管理学会研修会，2023年3月10日，Web

【受章】

＜令和４年秋の叙勲＞
愛と結の街　施設長　野村秀洋：保健衛生功労　旭日双光章
内閣府 2022 年 11 月 3 日付発令

【受賞】

小児科

今村総合病院

1．徳永美菜子:「学校検診で発見された Cushing 病の一例」 第 27 回小児内分泌専門セミナー　ベストプレゼンテーション賞．2022 年 8 月，名古屋

看護部

今村総合病院

1．松山郁子：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県看護協会，2022 年 5 月

2．吉森みゆき：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県看護協会，2022 年 5 月

いづろ今村病院

1．中窪尊子：鹿児島県看護協会長表彰．公益社団法人鹿児島県看護協会，2022 年 4 月

徳之島病院

1．宮上博成：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県医師会，2022 年 5 月

2．豊永すみ江：看護業務永年勤続表彰．公益社団法人日本精神科病院協会，2022 年 10 月

リハビリテーション部

今村総合病院　理学療法士（総合）

1．村山芳博：日本理学療法士協会賞　受賞．公益社団法人日本理学療法士協会，2022 年 5 月

今村総合病院　言語聴覚士

1．丸岡由佳:「MMASA 導入に向けての取り組み」大会長賞．第 11 回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会熊本学会，2023 年 1 月 28-29 日

薬剤部

慈愛会薬剤部

1．吉永浩之：病院機能評価事業 功績感謝状．公益財団法人日本医療機能評価機構，2023 年 3 月 18 日

今村総合病院

1．鎌田春紫：「周術期薬剤管理加算算定に向けた業務展開について」優秀発表賞．第 6 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会，2023 年 2 月 11 日，鹿児島

【マスメディア】

血液内科

今村総合病院

＜ Web 記事＞

1．宇都宮與：ATL, HTlV-1 の臨床と研究の最前線を走り続ける高齢患者が快適に長く生きる治療戦略も必要に（前編）．HematoPaseo，2022 年 10 月 6 日

2．宇都宮與：ATL, HTlV-1 の臨床と研究の最前線を走り続ける高齢患者が快適に長く生きる治療戦略も必要に（後編）．HematoPaseo，2022 年 10 月 13 日

＜動画配信＞

1．宇都宮與：ATL とは．HoTLiVes ほっとらいぶ　HTLV-1 情報ポータルサイト　基礎知識を知りたい　HTLV-1 と関連疾患の基礎知識　e-learning　第二集：ATL，2022 年 10 月
URL：https://htlv1.jp/e-learning/e-learning2/

2．宇都宮與：ATL の現状と今後．鹿児島県令和 4 年度 HTLV-1 対策講演会，2023 年 3 月 5 日
URL：https://youtu.be/tY0Ma_0bPkw（視聴期限 2024 年 3 月 31 日）

外科・消化器外科

今村総合病院

1．馬場研二：テーマ「大腸がん」．MBC ラジオ ここが聞きたい！ドクタートーク 第 992-995 回，2022 年 5 月 7 日，14 日，21 日，28 日

産科・婦人科

今村総合病院

1．貴島佳子：思春期の娘さんのために，親として「今」できる事～子宮頸がんワクチンというプレゼント～．鹿児島県垂水市「広報たるみず」，2022 年 7 月号

2．貴島佳子：どのような症状の時に産婦人科を受診したらいいの？．鹿児島県垂水市「広報たるみず」，2023 年 3 月号

小児科

今村総合病院

1．四元景子：起立性調節障害－家族や周囲の理解大切－．南日本新聞　あんしん救急箱，2022 年 9 月 30 日

2．徳永美菜子：思春期－始まりに個人差，治療も－．南日本新聞　あんしん救急箱，2022 年 10 月 28 日

3．徳永美菜子：家庭でできるケガ・事故の予防．鹿児島県垂水市「広報たるみず」，2022 年 11 月号

看護部

今村総合病院

1．吉森みゆき：「高齢者施設等における感染者発生対応マニュアル」に基づいた研修動画　②初動対応について（陽性者の隔離とゾーニング）．鹿児島県公式ウェブサイト内 鹿児島インターネット放送局 ムーブ！鹿児島 4ch，2022 年 10 月 17 日～
URL：https://www.pref.kagoshima.jp/aa02/move/4ch/koureisyasisetutaioumanyuaru2.html

リハビリテーション部

愛と結の街　作業療法士

1．村井真由美：作業療法士の仕事を知りたい．南日本新聞　オモセコ，2022 年 9 月 24 日

管理栄養部

いづろ今村病院

1．堀木まどか：KAJYOTAN GUIDEBOOK 2023　入学者向けパンフレット　生活科学科 食物栄養学専攻 ～食物栄養学専攻 OG　寄稿，2022 年 5 月

医療福祉相談部

奄美病院

1．森越志保：世界アルツハイマー月間　認知症について，地域包括支援センター，認知症疾患医療センターについて．あまみエフエム　ゆぶぃニングアワー　夕方フレンド，2022 年 9 月 7 日

2．森越志保，西牟田智子：世界アルツハイマー月間の取り組みについて．奄美新聞，2022 年 9 月 23 日

3．森越志保，西牟田智子：世界アルツハイマー月間の取り組みについて．南海日日新聞，2022 年 9 月 24 日

法人事業本部

1．今村英仁：鹿児島・垂水市，医療機関と連携協定　妊産婦支援へ．日本経済新聞電子版，2022 年 5 月 11 日
URL：https://www.nikkei.com/article/DGXZQOJC111KR0R10C22A5000000/

2．今村英仁：産科ゼロの垂水市，出産・子育て支援へ鹿児島市の医療機関と連携．朝日新聞デジタル，2022 年 5 月 11 日
URL：https://www.asahi.com/articles/ASQ5B76TQQ5BTLTB004.html?iref=pc_ss_date_article

3．今村英仁：出産・子育て環境整備へ連携協定　垂水市と慈愛会．南日本新聞，2022 年 5 月 12 日

4．今村英仁：病院給食問題と地域の課題解決に向けて．社会保険旬報 No.2858，2022 年 6 月 11 日

5．今村英仁：健康・福祉充実　連携協定を締結　鴨池コミュ協と慈愛会．南日本新聞，2022 年 6 月 21 日

6．今村英仁：日本医師会常任理事に今村氏．南日本新聞，2022 年 7 月 1 日

7．今村英仁：県内初の日本医師会常任理事．南日本新聞「かお」，2022 年 8 月 24 日

【公的研究】

血液内科

今村総合病院

＜日本医療研究開発機構（AMED）研究費＞

1．宇都宮與:『HTLV-1 の総合的な感染対策に資する研究』班　研究分担者（研究代表者:国立感染症研究所　浜口功）

2．宇都宮與:『遺伝子異常の全貌とクローン構造の理解に基づく ATL 個別化診療の確立』班　研究分担者（研究代表者:宮崎大学　下田和哉）

3．宇都宮與:『成人 T 細胞白血病 / リンパ腫の治癒を目指した HTLV-1 ウイルス標的樹状細胞ワクチン療法の確立：薬事承認を目的とした第 II 相医師主導治験』班　研究分担者（研究代表者：九州がんセンター　末廣陽子）

4．中野伸亮『成人 T 細胞白血病に対する移植後シクロフォスファミドを用いた非血縁者間末梢血幹細胞移植法の確立と移植後再発への対策に関する研究』班　研究分担者（研究代表者：国立がん研究センター中央病院　福田隆浩）

5．徳永雅仁:『「HTLV-1 総合対策」推進におけるキャリア対策の基盤整備と適正な研究開発の推進に資する包括的評価と提言のための研究』班　研究分担者（研究代表者　聖マリアンナ医科大学大学院　渡邉俊樹）

＜国際共同研究加速基金＞

1．宇都宮與『HTLV-1a/c 亜型の疫学調査と独自の病原性発現機構解明に向けた日豪共同研究』 研究協力者（研究代表者：東京大学大学院　中野和民）

医師育成への取り組み

初期研修プログラム「錦江湾プログラム」

公益財団法人慈愛会は、人材育成の重要な柱の一つとして、初期臨床研修医の育成に力を注いできました。

初期研修の制度ができた初年度の2004年度から今村病院（現　いづろ今村病院）を基幹型病院とする「じあいプログラム」をスタートさせました。その後､2010年度からは､「じあいプログラム」に併設する形で「錦江湾プログラム」をスタートさせました。

「錦江湾プログラム」は今村総合病院が基幹型病院を務め、いづろ今村病院、谷山病院、奄美病院、鹿児島大学病院を含む20の協力病院群からなる初期研修プログラムです。発足初年度は規定により2名の定員枠でしたが、次年度は5名の定員枠が認められ、2012年度には定員枠が7名に増えました。「じあいプログラム」は10年目の2013年度をもって終了させ、2014年度より定員枠を10名に増やす形で「錦江湾プログラム」に一本化し、現在に至ります。この間、両プログラム合わせて148名の研修医を育ててきました（現在進行中の研修医を含む）。

「錦江湾プログラム」は学生の間で、今とても人気が高い状況です。人気が高い大きな理由は、各診療科の医療のレベルが高いだけではなく、スタッフの人材が揃っており、研修医を育てようという意気込みが学生に伝わっているからとのことです。

私たちは、全国から人材が集まってくるような、日本有数の教育病院に育てようと全力を挙げて取り組んでおり、着実に研修医が育ちつつあります。

【初期研修医数の推移】

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	総数
錦江湾プログラム	2名	5名	7名	5名	8名	7名	6名	10名	9名	10名	10名	10名	10名	99名

【基本方針】

基本目標として将来の専門性にかかわらず医学・医療の社会ニーズを認識しつつ、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようにプライ・マリケアの対応能力を習得することを基本方針とする。

【研修プログラム】

内　科	麻酔科	救急科	外　科	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	選択科目
24週 （※1）	8週	12週	8週	4週	4週	4週	4週	36週

※1一般外来4週を含む

❗錦江湾プログラムは下記の病院群と機能を分担して実施する。

必修研修	内　科	24週	今村総合病院（一般外来研修含む）・いづろ今村病院・鹿児島大学病院	
	外　科	8週	今村総合病院	
	救　急	12週	今村総合病院	
	麻酔科	8週	今村総合病院	
	小児科	4週	今村総合病院・鹿児島大学病院・鹿児島こども病院・霧島市立医師会医療センター	
	産婦人科	4週	今村総合病院・鹿児島大学病院・いまきいれ総合病院・愛育病院・鹿屋医療センター	
	精神科	4週	今村総合病院・谷山病院・奄美病院・鹿児島大学病院	
	地域医療	4週	高麗町クリニック・五反田内科クリニック・倶知安厚生病院・小林市立病院 ・かごしまオハナクリニック	
自由選択	36週		今村総合病院	全診療科
			いづろ今村病院	全診療科
			介護老人保健施設 愛と結の街	保健
			鹿児島大学病院	全診療科
			鹿児島医療センター	循環器内科
			聖マリア病院	救急
			浦添総合病院	救急
			飯塚病院	内科
			中央病院	循環器内科

慈愛会専門研修プログラム

慈愛会では、専門医を育成するため、内科と総合診療の専門研修プログラムを開設しています。

●慈愛会内科専門研修プログラム

2018 年度にスタートした慈愛会内科専門研修プログラムは、急性期病院である今村総合病院を基幹施設として、鹿児島県内、福岡県内、東京都内、および北海道内にある連携施設で内科専門研修を行っており、11 名の専攻医が在籍しています。3 年間のプログラムを終え、2022 年度に 3 名が修了となりました。

総合内科専門医は単に各専門科を全て経験すれば良いということではなく、多くの診療科にまたがる症例や、逆にどこの専門科にも属しにくいような症例、症状を解決していく能力が必要となります。

当プログラムでは、総合内科の specialist を育成するため、最大の特徴として基幹病院である今村総合病院の救急・総合内科で研修を行うとともに、他の院内診療科や連携施設とは、より専門性の高い研修を受けることができるよう連携しています。

●慈愛会総合診療専門研修プログラム

2018 年度に慈愛会総合診療専門研修プログラムがスタートし、これまでに 2 名が修了しました。

当プログラムでは院内の各診療科はもとより連携施設とも連携し、総合診療医として、予防医療、プライマリケア（急性期対応）、総合内科知識・技能・亜急性期・慢性期、そして終末期のいずれの段階の医療にも対応できる能力の習得、または病院総合医、地域の開業医、在宅医療、老健施設での慢性期医療など、将来どのような環境でも活躍できるようなオールラウンドプレイヤー養成を基本としています。

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

看 護 部 門

中長期計画		2022年度 事業計画 (Stage5)	実施　2022.4月～2023.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護部支援室	看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援	(1). クリニカルラダー（看護師・訪問看護・認定・特定看護師・ナースエイド、介護福祉士）活用によるキャリア支援 慈愛会認定看護師・特定看護師、介護福祉士、ナースエイドクリニカルラダー作成と運用	※クリニカルラダーからキャリア開発ラダーへ通称変更 (1)看護師キャリア開発ラダー申請・認定者増加支援 ・キャリア開発ラダー 申請率　86.1%（全体） 今村総合病院 83.2%　いづろ今村病院 98.5% 谷山病院100%　奄美病院 39.3%　徳之島病院 100% 認定率　52.5%（全体） 今村総合病院 51.6%　いづろ今村病院51.5% 谷山病院 50%　奄美病院 60.7% 徳之島病院　80% ・キャリア開発ラダー　レベル別認定状況（5病院計） ラダーレベルⅠ　90.5% ラダーレベルⅡ　89.1% ラダーレベルⅢ　60.3% ラダーレベルⅣ　45% ラダーレベルⅤ　31.9% ・心に届く慈愛の物語を紡ぐ会（第2部）でのラダーレベルⅤの取り組み発表　副看護部長支援 ・10/22・10/29　3年目看護師研修 （参加者：22日32名　29日18名） 講師：鹿児島国際大学新学部準備室　堤　由美子教授 「危機的状態の患者・家族の看護」 ～心に届く看護ケアを行うために必要な知識～ ・ナースエイドキャリア開発ラダー作成完了 ・鹿児島県委託 訪問看護提供体制確保推進事業 笹貫訪問看護ステーション愛の街 2名、奄美病院訪問看護ステーションイルカ 1名新卒看護師 採用準備→新卒訪問看護師育成プログラム作成、指導体制構築、学校訪問、ガイダンス ・訪問看護キャリア開発ラダー　申請率 50% 認定率 33% ・慈愛会人事交流研修 徳之島病院　看護師1名→谷山病院（6/1 ～ 6/3） 今村総合病院 看護師2名→徳之島病院（6/5 ～ 6/8） 谷山病院　看護師2名→徳之島病院（6/19 ～ 6/22） いづろ今村病院看護師1名 →笹貫訪問看護ステーション愛の街 （6 ～ 8月予定　7月25日コロナ感染拡大により一時中止） 徳之島病院　看護師1名（2年目看護師） →奄美病院（10/6 ～ 10/8）	・キャリア開発ラダーの申請、認定率は増加傾向にある。ラダーレベルⅣ、ⅤはラダーレベルⅠ～Ⅲに比べ認定率が30 ～ 40%と低い。認定にかかる課題は看護研究、学会参加、J-seatyナース研修である。達成できない課題ではないので本人の目標達成への計画的取り組みと共に支援体制を強化していく。達成できるように意欲を高める支援を行う。新型コロナウィルス感染症の影響があり取り組みが出来ていないことが要因の一つであるが人材育成のツールとして管理者の教育と職員への周知が必要である。看護師キャリア開発ラダーレベルⅤ対象者の「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」第2部における取り組みの実践報告はその支援を副看護部長が中心となり行い部署や看護部全体の看護の質向上に繋がっている。 ・ナースエイド、介護福祉士ラダーを作成でき活用と周知を図り質の向上につなげることができた ・訪問看護提供体制確保推進事業として2024年度からの採用準備を進めた。今後、育成プログラムを活用し職員への周知、理解を促進し指導者の育成にも力を注ぐ。	(1)キャリア開発ラダー（看護師・訪問看護・認定・特定看護師・ナースエイド、介護福祉士）活用によるキャリア支援、申請率・認定率の増加 ・特定看護師活動支援　看護師特定行為研修センターとの連携 ・訪問看護への新卒者プログラム作成 ・新卒訪問看護師採用に向けプロジェクト始動 ・3訪問看護ステーション定例会開催 第3火曜日16時～ 17時 ・慈愛会看護部介護福祉士教育、介護力向上
		(2). スペシャリストの計画的育成と活動支援 特定行為研修受講10名以上、認定看護師教育課程受講3名以上	(2)認定看護師会開催（5/21） ・認定看護師研修受講　4名 ：沖縄県看護協会　沖縄県看護研修センター 感染管理認定看護師教育課程１名受講（奄美病院） ：国際医療福祉大学　九州地区生涯教育センター 感染管理認定看護師教育課程１名受講（谷山病院） ：徳島大学大学院歯薬学研究部 （看護リカレント教育センター） 在宅ケア認定看護師教育課程　1名受講（谷山病院） ：聖路加国際大学　聖路加国際大学教育センター生涯教育部 認知症看護認定看護師教育課程　1名受講 （今村総合病院） ・特定行為研修受講　11名 （今村総合病院10名　いづろ今村病院1名）	・2022年度は認定看護師４名、特定看護師11名が受講し目標は達成できた。慈愛会での有資格者は認定看護師29名、特定看護師19名となった。今後、認定看護師や特定看護師に期待される役割は大きく計画的な育成が必要である。特定行為活動支援マニュアルは積極的活用に至っていない。各施設の多職種の理解を得て活動促進を図りたい。また定期的な認定看護師会、特定看護師会の開催をバックアップ、各施設での活動支援を推進し研修後取得した能力を活かすための支援が必要である。今後も引き続き人材育成と看護、医療の質向上に努める。	(2)スペシャリストの計画的育成と活動支援 認定看護師教育課程受講 3名以上 2023年度受講 ・感染管理認定看護師2名 （今村総合病院、いづろ今村病院） ・集中ケア認定看護師1名 （今村総合病院） 特定行為研修受講8名以上 2023年度受講 ・今村総合病院5名 ・徳之島病院1名 ・愛と結の街1名 ・かごしまオハナクリニック1名 在宅部門スペシャリスト育成強化 笹貫訪問看護ステーション愛の街・徳之島病院・奄美病院
		(3). 管理者マネジメント力育成マネジメントラダー活用 管理者教育継続 鹿児島県看護協会認定看護管理者教育課程 サードレベル受講3名 鹿児島県看護協会認定看護管理者教育課程3名受講	(3)マネジメントラダー　申請率 61%（全体）　認定率 41%（全体） ・マネジメントラダー　レベル別　申請状況（5病院計） ラダーレベルⅠ　100% ラダーレベルⅡ　86% ラダーレベルⅢ　20% ラダーレベルⅣ　75% 副看護部長職　50% 看護部長職　40% ・マネジメントラダーレベル別　認定状況（5病院計） ラダーレベルⅠ　45% ラダーレベルⅡ　83% ラダーレベルⅢ　67% ラダーレベルⅣ　11% 副看護部長職　33% 看護部長職　0% マネジメントラダー実践例作成	・管理者研修を開催し各役職におけるマネジメント力の向上に努めた。管理者研修は集合、オンラインを活用し延期はしても全て中止することなく開催でき受講者の満足度も高かった。今後も継続する。今年度は鹿児島県看護協会主催の認定看護管理者教育課程サードレベルを2名が受講できた。認定合格後は3施設に認定看護管理者が配置できる。今後、全施設配置に向け継続的に研修受講を計画し育成に努める。またサードレベル研修修了者の支援も行い管理者の質の向上を図る。	(3)看護管理者のマネジメント能力育成 サードレベル研修修了者支援　昇任者支援 2023年度認定看護管理者教育課程受講 ・サードレベル2名以上 ・セカンドレベル2名以上 ・ファーストレベル5名以上 2023年度マネジメントラダーレベルⅠ、Ⅱ　認定要件に離島（徳之島病院）における看護管理 実地研修を加え、地域から求められる看護管理について理解を深め管理能力を向上する。 マネジメントラダー活用

中長期計画		2022年度 事業計画 (Stage5)	実施　2022.4月～ 2023.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護部支援室	看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援		・管理者研修 ・初期キャリア支援研修（7/1） いづろ今村病院5名・今村総合病院22名・谷山病院６名・愛と結の街1名・奄美病院5名・法人事業本部3名　計42名参加 ・新任副看護師長研修（7/1） いづろ今村病院1名・今村総合病院5名・谷山病院1名　計7名 ・新任看護師長研修　（7/15） 今村総合病院1名・谷山病院1名　計2名 ・鹿児島県看護協会認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修　7名受講 （今村総合病院：2名　谷山病院：2名　奄美病院：2名　愛と結の街：1名） ・鹿児島県看護協会認定看護管理者教育課程サードレベル研修　2名受講 （いづろ今村病院：1名　谷山病院：1名） ・副看護部長研修（12/23） 今村総合病院3名・いづろ今村病院1名・谷山病院1名・奄美病院1名・徳之島病院1名・法人事業本部1名　計8名 ・副看護師長研修（11/26） 今村総合病院29名、いづろ今村病院9名、谷山病院16名、在宅支援部1名、奄美病院10名、徳之島病院3名　計68名 ・看護部長研修（10/28）　参加者6名 ・管理者任用候補者研修 受講者　看護部 26名 看護師14名（今村総合病院4名、いづろ今村病院3名、谷山病院１名、在宅支援部1名、愛と結の街1名、奄美病院2名、七波クリニック1名、高麗町クリニック1名） 介護福祉士11名（今村総合病院1名、いづろ今村病院3名、谷山病院3名、愛と結の街3名徳之島病院1名） 介護支援専門員1名 ・慈愛会学会　研究発表支援 （看護部長会、慈愛会教育委員会） ・看護研究発表 ・11/4　日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会　発表 「働き方改革に対する取り組みの実際と課題-副師長の達成感・やりがい感に繋がる支援-」 「新人看護師成長パス、指導者パスの導入を試みて」		
		⑷. 慈愛会内外組織横断支援ナース育成 慈愛会内外組織横断支援カース構成検討	⑷慈愛会内外組織横断支援ナース設置（2022.4 ～） 3名1組　2チーム ・新型コロナウイルス感染症により今村総合病院へ支援ナース派遣　（4/28-5/8） いづろ今村病院7名（延べ日数25日）、 愛と結の街３名（延べ日数6日）、 看護部支援室３名（延べ日数2.5日） ・感染管理認定看護師による感染に関するコンサルテーション（奄美病院、おひさま保育園） ・新型コロナウイルス感染症により徳之島病院へ支援ナース派遣 奄美病院　2名（8/6 ～ 8/15）10日間 鹿児島中央看護専門学校　2名 （8/8 ～ 8/11、8/15 ～ 8/24）14日間 谷山病院　1名（8/6 ～ 8/7、8/13 ～ 8/14）4日間 看護部支援室　1名（8/12 ～ 8/15）4日間 愛と結の街　介護福祉士　1名（8/7 ～ 8/15）9日間	・有事に備え慈愛会看護支援チーム体制を構築した。8月のオミクロン株大流行による徳之島病院支援では支援チームが機能した。新型コロナウィルス感染拡大に伴い、各施設協力のもと、支援チームが活動することにより慈愛会の安定した看護を継続することを可能とした。今後も対応力強化するため定期的なシミュレーションを行い、質の向上に努める。	⑷慈愛会内外組織横断支援ナース育成 地域を見据えた構築準備（特定看護師・認定看護師チーム） 感染症、災害への対応力強化（支援体制・BCP・定期シミュレーション）
		⑸. 看護＋介護一体化強力な看護チーム構築 専従退院支援ナース育成プログラム検討		・今年度は取り組み不十分。地域包括ケアの中で看護と介護の一体化はより必要性が高まり病院、施設、在宅へとつなぐため専従退院支援ナースの育成も進めていく。	⑸看護＋介護一体化強力な看護チーム構築 専従退院支援看護師育成プログラム検討
		⑹. 臨床教員配置による基礎教育・臨床教育の充実 臨床教員業務基準策定および基準に基づく業務推進	⑹今村総合病院へ臨床看護教員1名配置（鹿児島中央看護専門学校より異動） ・臨地実習指導者・教員合同研修開催（4/16）58名参加 グループワーク：学生の臨床判断能力を育成するための具体的行動計画 ・臨地実習指導者・教員合同研修開催（10/15）54名参加 臨床教員による講義「学生に一歩踏み込んで、そして発問しながら臨床判断能力を育む指導」 ・徳之島病院　新人看護師教育（11/6 ～ 11/12） ・慈愛会新人看護師　　離職率　3.6% 日本看護協会新人看護師　離職率　10.8%	・鹿児島中央看護専門学校の教員を臨床看護教員として今村総合病院に配置し新人看護師の支援強化や基礎教育の充実、指導者育成や教員の看護実践能力の向上に取り組んだ。特に今年度は看護師長会などを巻き込み勉強会を行い臨床判断能力の育成に努めた。 ・新卒者教育プログラムの実践とともに臨床看護教員の配置により新卒看護師の離職者数、離職率の減少につながった。一方、既卒者の離職率はかなり高い為、入職後の支援、強化に努めていく。	⑹実習環境整備 実習指導者会議体制を整備し学生の実習環境を改善する 実習指導者会議に実習指導者と共に看護師長参加 臨床看護教員活動支援 新卒看護師の支援強化 臨地実習指導者・教員合同研修　2回/年開催 ・第1回：4/15　外部講師：池西静枝先生 講演「臨地実習における看護管理者・教員・実地指導者の役割」 ～生き生きと学べる実習環境作り～ ・第2回：10/15予定
		⑺. 介護人材の確保と教育 介護福祉士ローテーション研修導入	⑺フレッシュ介護福祉士ローテーション研修（6/27 ～） 愛と結の街（介護福祉士２名） →今村総合病院へ研修参加	・約１カ月の研修を行い急性期の現場で行われている治療やケアと介護福祉士の役割などについて多くの学びを得て自施設での支援に活かすことが出来た。今後も看護と介護の連携、一体化を目指し継続していく。	⑺安定した看護・介護人材の確保と教育 介護福祉士　ローテーション研修（愛と結の街　今村総合病院　いづろ今村病院） 介護福祉士教育構築・介護力向上 介護福祉士キャリア開発プログラム活用

中長期計画		2022年度 事業計画 (Stage5)	実施　2022.4月～2023.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護部支援室	看護実践能力の高い人材育成とキャリア支援	(8). 定期異動体制構築（管理者、職員）による職場活性化・質の均てん化 定期異動体制検討	(8)定期異動　異動日4/1付 ・いづろ今村病院　看護師1名→谷山病院 ・看護学校2年課程　専任教員4名 →いづろ今村病院地域連携室1名、今村総合病院地域連携室1名、産科婦人科外来1名、徳之島病院1名 教務主任1名 →在宅支援部 笹貫訪問看護ステーション愛の街 実習担当主任1名→看護学校3年課程 ・谷山病院　看護師3名 →しらゆりの郷1名、徳之島病院1名、愛と結の街1名 ・谷山病院　介護福祉士1名→愛と結の街1名 ・徳之島病院　看護師2名→今村総合病院2名 ・徳之島病院　副看護師長1名→谷山病院 ・愛と結の街　管理者補佐 →今村総合病院　看護師長1名 異動（7/29） ・いづろ今村病院 看護師1名→谷山病院 ・今村総合病院　副看護師長1名 →在宅支援部 笹貫訪問看護ステーション愛の街 所長代理1名　特定看護師	・希望する異動は可能であった。離職せず働きつづける仕組みとして異動は今後も積極的に取り組む。看護学校と臨床との異動が活性化していない。	(8)定期異動体制構築（管理者、職員）による職場活性化・質の均てん化 看護師長　異動（今村総合病院　在宅支援部） 学校教員、臨床との配置換体制構築　令和5年度から開始 ・一般グループ　↔　学校 ・精神グループ　↔　学校
		(9). J-seaty研修継続による慈愛会職員育成 8コース開催	(9)J-seatyナース研修　6コース開催 ・徳之島病院（離島を含む精神科看護）J-seatyナース研修（6/8-11）2名参加 ・今村総合病院（感染管理）J-seatyナース研修（6/29-7/1）20名参加 ・谷山病院（精神科看護）J-seatyナース研修（7/26-28）5名申し込み 新型コロナ感染拡大により中止 ・いづろ今村病院（地域包括・緩和ケア）J-seatyナース研修（12/5-12/7）6名参加 ・愛と結の街・在宅支援部（在宅看護・老健）J-seatyナース研修（10/11－13）4名参加 ・奄美病院（離島を含む精神科看護）J-seatyナース研修（11月30日～12月2日） 新型コロナ感染拡大により中止 ・今村総合病院（フィジカル）J-seatyナース研修（11/30-12/2）15名参加 ・鹿児島中央看護専門学校（看護基礎教育）J-seatyナース研修（2/20-2/22）6名参加	・2022年度は6コースを開催した。慈愛会各施設の専門性について研修生は意欲的かつ積極的に学び知識技術を習得すると共に自施設に還元している。また他施設と交流を図ることで組織の活性化に繋がっている。新型コロナウイルス感染、台風等の影響を受け開催できるコースに変動はあるが受講者は増加し慈愛会看護部への周知がされ活用できている。	(9)J-seatyナース研修継続参加者前年比増加
	急性期、回復期、在宅医療サービス向上	(1). 在宅支援部の設置訪問看護ステーション一元管理 在宅支援部設置 訪問看護師増員サテライト運用と拡大への検討 【在宅支援部の目標アウトカム】 ・笹貫訪問看護ステーション愛の街：法人内外施設との連携を強化し、サテライト・ICTを活用しながら効率化を図り、幅広い利用者の受け入れを可能にする。(1,000件／月) ・訪問看護において法人内各病院との連携、サテライトの更なる活用を推進し、カバーエリアの拡大を目指す。	(1)在宅支援部設置（2022.4～） ・訪問看護運営会議（4/26・5/24・6/28・7/26・8/23・9/27・10/25・11/22・12/27・ 1/24・2/28・3/28）開催 ・訪問看護実績 笹貫訪問看護ステーション愛の街 （一般）訪問件数　291件/月　　利用者数　56件/月 （精神）訪問件数　665件/月　　利用者数　210件/月 （合計）訪問件数　955件/月　　利用者数　266件/月 サテライト利用件数　85.5件/月 奄美病院　　訪問件数　785件/月　　利用者数　199件/月 徳之島病院　　訪問件数　151件/月　　利用者数　117件/月 ・訪問看護キャリア開発ラダー　申請率　50%　　認定率　33% ・人事交流研修（笹貫訪問看護ステーション愛の街）6～8月 いづろ今村病院看護師1名参加→感染拡大により7/25で中止	・2022年度より在宅支援部が独立した。笹貫訪問看護ステーション愛の街の訪問件数は目標の1000件に未達であるがサテライトによる利用者の増加がみられている為広報活動の継続と慈愛会内外の病院連携を強化し利用者の増加につながるよう努めていく。 徳之島病院、奄美病院でも在宅医療のニーズは高く訪問看護の充実を図る。 人材についても専門性の高い認定・特定看護師の育成に取り組み、訪問看護の質向上に努めていく必要がある。	(1)訪問看護部の設置。訪問看護ステーション一元管理 ・訪問件数、利用者数、前年より増加 ・訪問看護ステーション新設（徳之島病院） ・訪問看護ステーションサテライト設置（奄美病院） ・笹貫訪問看護ステーション愛の街　サテライト新設検討（かごしまオハナビル） ・専門性高い訪問看護師育成 訪問看護師への新卒看護師受け入れ体制構築 2024年度　3名 笹貫訪問看護ステーション愛の街：2名 奄美病院訪問看護ステーションイルカ：1名
		(2). 病床稼働率向上のための具体的策定と実施による経営参画 ・病床コントロール部門体制構築（看護部役割明確化） ・病床コントローラー配置（看護部役割明確化）	(2)看護部長ミーティングで協議 ・毎月の看護部長ミーテングで各施設の病床利用率について情報共有し 利用率向上のため対策について検討。 ・新型コロナウイルス感染症拡大により病床運営影響を受けたが他部門とも協力し病床運営を 行った。 今村総合病院 8/30～9/10 C4病棟→7東病棟へ集約　9/11からC4病棟再開	・各施設、ベッドコントロールに携わる責任者の明確化と各病棟師長の病床管理能力及び連携強化を図り引き続き経営に直結する入院患者の確保に努めていく。	(2)病床利用率向上のための具体的計画策定と実施による経営参画 ・病床再編成による看護体制整備（徳之島病院　いづろ今村病院） ・病床コントロール部門、看護部介入体制構築
		(3). 外来機能の明確化・連携かかりつけ機能の強化と外来看護専門性の向上 ・診療報酬改定への対応強化 ・外来看護専門性の明確化			(3)外来看護専門性の向上 ・自施設内外人事交流（かごしまオハナクリニック、他施設） ・スペシャリスト配置
		(4). 地域とのコミュニケーション地域との一体化 ・地域ニーズの把握			(4)地域とのコミュニケーション地域との一体化 ・地域ニーズの把握（看護部長訪問による情報収集、公的看護部長会への参画）

中長期計画		2022年度 事業計画 (Stage5)	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
看護部支援室	医療と介護、介護サービス事業所内の連携強化、協力体制整備による連携推進	(1). 慈愛会内外との連携強化（情報連携強化）、連携推進 ・慈愛会連携推進会議定期開催（1回/2か月） ・慈愛会連携パス作成着手 ・ACP活用状況実態調査 (2). アセスメントシート活用の効率化（整理） ・多職種情報記入シート（サマリーシート）考案	(1)慈愛会連携推進会議開催（1回/2カ月） 4/21・6/16・8/18・10/20・12/15・2/16 ・各施設の連携状況 ・各施設のサマリーの確認 (2)多職種でのサマリー作成、ACPを踏まえたサマリー等の課題の抽出 ・サマリー作成のプロジェクト検討	・定期的に（2カ月に1回）開催できた。各施設の連携状況を確認、情報共有し医師も含めた協議ができ慈愛会内外での連携強化に努めることが出来た。在宅医療、看護を行う上で重要となるACPについて検討を重ね、連携パスへの導入を検討中。 慈愛会連携推進委員会での目標が明確となりサマリーの統一、連携シートを作成、活用し今後より必要な情報を適切に伝達し患者利用者の安心に繋げていきたい。	(1)慈愛会内外との連携強化（情報連携強化）、連携推進 ・看護部長　連携先病院訪問による連携強化 ・慈愛会連携推進会議　隔月定期開催 ・慈愛会連携パス検討開始 (2)アセスメントシート活用の効率化（整理） ・ACP導入検討
	看護職の働きかた改革（働く環境の整備、子育て介護支援、ＩＣＴ活用、人的支援、働きかた改善ｅｔｃ）	(1). 働きやすい労働環境の整備（夜勤時間の検討、超過勤務の削減、部署による休暇取得日数の格差減少、お互い様お陰様補完体制）による職場満足度向上 ・安定した人材確保 ・職場風土調査5か年データ分析改善計画策定 ・看護職離職の現状実態分析とメンタルヘルスケアの強化	(1)人材確保活動 ・2023/3/12マイナビ（福岡）就職セミナー 慈愛会来場者数 12名 ・2023/3/28マイナビ（鹿児島）就職セミナー 慈愛会来場者数　81名 ・慈愛会就職説明会開催（4/23）71名参加 （鹿中看外24名含む） ・看護学校就職ガイダンス参加 （南学園4/26、鳳凰高等学校5/31） ・看護師採用試験（R5.4採用） 第1回目 5/28　9名受験　8名合格 第2回目 8/17　53名受験　50名合格 第3回目11/5　1名受験　1名合格 第4回目 1/28　3名受験　3名合格 ・看護師臨時採用試験 8/26　5名受験　5名合格 11/12　1名受験　1名合格 12/28　1名受験　1名合格 3/6　1名受験　1名合格 ・看護補助者・介護福祉士採用試験 9/17　3名受験　3名合格 （介護福祉士2名 看護補助者1名） ・学校訪問 4月　15校（看護学校9校、高校5校、大学1校） 11～12月　8校（看護学校6校、高校2校） 3月　9校（看護学校6校,高校3校） ・2023年度看護師内定者支援オンライン懇親会 （12/2・5・6・7・26） 対象：鹿中看以外の新卒内定者14名中13名参加 （参加率92.9%） ・人材確保活動ミーティング（1回/月） ・看護部長ミーティング　（1回/月） 協議事項：人材確保、人材育成、管理者育成、新型コロナ感染受け入れ状況・感染対策、働き方改革（ユニフォーム更新）、経営参画、入院受け入れ体制、人事計画、新卒訪問看護師採用計画等 ・時間外勤務縮減 ①ユニフォーム更新の機会に2色制 （昼夜間勤務との区別）導入 いづろ今村病院、今村総合病院、愛と結の街 （夜勤：ネイビー色　日勤：白色） ②働き方改革　看護記録による時間外勤務縮減 ～tudo記録　soku記録で看護をつなぐ～ ・看護師募集案内パンフレット作成 ・看護職求人情報　高校求人パンフレット発送　99校 ・年賀状発送 新人看護師～3年目看護師　175名 2023年度新卒入職内定者62名、2024年度卒業予定資料請求者63名、看護学校23校　外部講師4名 ・病院、施設見学対応 7/29　愛と結の街　施設見学　介護福祉士 学校法人川島学園　尚志館高等学校　3年生1名 8/6　いづろ今村病院・谷山病院施設見学　ナースエイド 鹿児島県立鹿児島東高校3年生1名 8/12　愛と結の街　施設見学　介護福祉士 鹿児島県立開陽高校　3年生2名 ・慈愛会看護管理者協議会 第1回管理者協議会（7/8） 協議事項：2022年度慈愛会看護部目標、各施設の目標と運営方針、各施設新型コロナウイルス感染症に関わる対応と状況、慈愛会看護部支援チーム派遣、看護師確保活動状況、管理者任用制度 第2回看護管理者協議会（10/28） 協議事項：令和4年度目標管理進捗状況、慈愛会看護部人材確保、人材育成について、新型コロナウィルス第8波への各施設準備と連携、2023年度法人内ローテーション、異動計画等 第3回看護管理者協議会（2/24） 協議事項：徳之島看護師支援、働き方改革、看護職被服貸与規程、実習指導会議体制、看護部長会看護研究進め方、プラチナナースの夜勤手当等	(1)人材不足により看護師の負担感が増加している。新型コロナウィルス感染による入院受け入れで業務内容も増加し変化している。業務改善、改革が必須である。4月1日採用数は例年と同様71名確保できたが年間を通して中途採用が少なく既卒者の離職が多かった。引き続き人材確保、中途入職者への支援強化を行う。 ・新型コロナ感染流行中、2021年度、2022年度はいづろ今村病院、今村総合病院、谷山病院の離職率はかなり増加した。疲弊感、バーンアウトしやすい環境下にありメンタルヘルスケアを強化する必要がある。これ迄毎年、調査している職場風土調査を分析し環境の変化、職員の傾向を整理し具体的対策に繋げていく。	(1)働きやすい労働環境の整備 ・各施設ボトムアップによる改善策への積極的取り組み ・職場風土調査　5カ年職場環境調査分析と今後の改善計画策定 ・業務改善・改革の具体的取り組み ・超過勤務の削減、有給休暇取得増加による職場満足度向上 ・2色ユニフォーム導入による効果測定（今村総合病院いづろ今村病院） ・看護部長BSCへの取り組み強化 ・定期ストレスチェックと早期メンタルヘルス介入 ・安定した看護・介護人材の確保と教育 ・内定者向けオンライン懇親会の継続

中長期計画		2022年度 事業計画 (Stage5)	実施　2022.4月～2023.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
看護部支援室	看護職の働きかた改革（働く環境の整備、子育て介護支援、ＩＣＴ活用、人的支援、働きかた改善ｅｔｃ）	(2). ICT等のテクノロジー活用による業務負担軽減、生産性向上（記録の効率化・看護記録の音声入力、医療―介護―在宅現場をつなぐ情報共有システム、会議・研修等への活用推進） ・ICT, ロボット活用現状把握とニード洗い出し ・看護記録の診療録記載への検討（MIRAIs） ・クリティカルパス活用による業務軽減	(2)いづろ今村病院～DX化に向けてスマートフォン活用による記録の音声入力のデモ機の試行予定	(2)スマートフォン活用による音声入力での記録は未だ行えていない。超過勤務時間削減のための看護記録のあり方について副看護師長を中心として様々な取り組みを行った。一定の成果は見られているがICTが進む中で）スマートフォンでの記録音声入力も試行し効果があれば活用し記録の業務に関する負担軽減を図っていく。それと共に効率的な看護記録のあり方、積極的なクリテイカルパスの活用を進めていく。	
		(3). 子育て支援介護支援プラチナナース支援の充実 ・子育て支援研修企画（働くママサポート・育児休業復帰支援） ・夜間保育希望状況調査及び夜間保育体制検討	(3)子育て支援便り 7月発行（いづろ今村病院、谷山病院、徳之島病院、看護部支援室） 1月発行（今村総合病院、いづろ今村病院、谷山病院、奄美病院、看護部支援室） プラチナナース支援 具体的対策に繋げるため看護部長会でプラチナナースを対象にアンケートを実施し対策への示唆が得られた。	(3)育児休暇中の看護師への子育て支援便りは継続し慈愛会の人を大切にする職場であることを継続してアピールしていく。臨床現場を離れて不安に思う育児休業復帰者等へも状況を確認しながら復帰に向けて援助していくことが人材定着にも繋がる。 ・キャリアを積んだプラチナナースの存在価値は大きく、後輩指導の一つとしてアンケート結果を生かし、今後も活動を推進し支援していく。	(3)子育て支援介護支援プラチナナース支援の充実 ・子育て支援便り発行　6月12月 ・ママサポート・育児休業復帰支援 ・プラチナナースアンケート結果による改善
		(4). タスクシフティング・タスクシェアリング ・業務洗い出し ・委託業務の明確化とタスクシフティング準備		(4)人材不足の状況の中、業務内容の整理や改善は必至であり他職種との業務シェア、シフティングも今後計画的に行っていく必要がある。	(4)タスクシフティング・タスクシェアリング
		(5). 縁結び応援プロジェクト活動の拡大 ・継続と拡大	(5)4/1　新入職オリエンテーションⅠ（hop）参加者111名 5/14　新入職オリエンテーションⅡ（step）参加者87名 心に届く慈愛の物語エピソード選考 （応募51作品から13作品選考）(4/8) 心に届く慈愛の物語エピソード選考 （13作品の中から三角みづ紀先生に選考）(4/11-22) 心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催（5/14）216名参加 多職種合同ラダーレベル研修開催 （6/15 参加31名・10/4 参加：62名・11/19 参加84名） 初期キャリア支援研修（7/1）　参加42名 フィッシング大会表彰（谷山病院：5名）	(5)縁結び応援プロジェクトは新型コロナウイルス感染の流行により活動できない状況が続いた。情勢が変化していく中で活動を再開し慈愛会内での人事交流を行い人と人が繋がっていくことができるよう計画していく。 ・研修などの機会に多職種、慈愛会全体での交流を図ることが出来た。	(5)縁結び応援プロジェクト活動再開による職員交流の場拡大 ・年2回　開催
		(6). 各職種の処遇改善・給与反映の検討 ・特定看護師資格手当運用開始	(6)特定看護師資格手当、訪問看護師の処遇改善	(6)適切な処遇改善、各手当を支給することで人材を確保、定着を図る。	(6)各職種の処遇改善・給与反映の検討 ・訪問看護師の業績に応じた処遇改善（令和5年5月給与より実施） ・夜勤従事者の処遇見直し（一定回数以上従事者への支援）
	感染症・災害への対応力強化、業務継続計画ＢＣＰ策定など着実な整備	(1). 新興感染症・災害時業務継続計画策定と定期シミュレーション ・BCP策定と定期訓練実施、安否確認、体調管理アプリシステム構築 (2). 地域への活動支援体制整備 ・地域活動支援チーム検討	(1)BCP策定のための看護部支援室優先業務の策定 各施設での災害支援ナースを中心に整備を進めた	・有事に備え各施設、各部署で定期的なシミュレーションが実施できるよう働きかけていく。 ・感染管理認定看護師の慈愛会外での活動は積極的に行えている。今後は他の認定看護師の地域へ向けた活動も推進していく。	(1)新興感染症・災害時業務継続計画策定と定期シミュレーション (2)地域への活動支援体制整備 感染管理認定看護師以外の要請への対応と広報
	多職種連携チームによるマネジメント、安全で質の高いサービス提供	(1). 摂食嚥下チーム感染対策チーム認知症ケアチーム緩和ケアチーム等活動推進 ・多職種チーム活動状況把握と推進	(1)多職種合同研修・初期キャリア支援研修等で動機づけ 初期キャリア支援研修（多職種での協働）7/1　参加42名 多職種合同ラダーレベル研修の開催 （6/15 参加 31名・10/4 参加 62名・11/19 参加84名）	・多職種連携チームによるマネジメント、安全で質の高いサービスについて認定看護師を中心に各施設で活動している。今後、各施設での取り組みを可視化し慈愛会全体で共有できる仕組みに取り組みたい。	(1)摂食嚥下チーム　感染対策チーム　認知症ケアチーム緩和ケアチーム等活動推進、活動の共有化

2022年度は新型コロナウイルスの中でも感染力の強いオミクロン株の流行によって大きな影響を受けた。しかしこれまで体験したことを活かしながら「安定した人材確保」「人材育成」「感染症対応力強化」「看護サービスの向上」「連携推進」「働き方改革」に粛々と取り組んだ。看護部支援室は、看護職員人材確保と育成の役割を担っており、人材確保活動として積極的な学校訪問、広報活動、採用試験の実施を行った。例年と同様の定期採用での人材確保はできたが、新型コロナウイルス感染の影響は大きく、離職者の増加と中途採用者の減少により現場での人材不足は続いた。人材不足による負担感を軽減するために周辺業務の多職種との協働や業務改善に取り組んでいるが、引き続き早急な対策と人材確保と離職防止対策が求められる。2022年日本看護協会調査によると全国の新卒看護師の離職率は10.3%となり初めて10%を越えた。当法人は新卒者の離職率は3.6%と前年度より減少した。実習体験の少ない新卒者の入職を考慮した教育プログラムの見直しとリアリティショックにならない細やかな支援、臨床教員の配置、各施設の全職員での支援体制を強化したことが減少につながったといえる。一方既卒者の離職率は高かった。人材不足の中、即実践力として期待する看護師経験者への支援不足があったと考えられる。今後は引き続き中途入職者の積極的採用と入職後の支援強化が人材確保（人材定着）の重要なポイントである。今年度後半から人材確保チームを立ち上げ看護部全体で取り組みを開始している。慈愛会全体のチーム力・新しい発想力で今後も積極的に取組む方針である。人材定着、職員の働き甲斐を高めるためには働き方改革への取り組みは必須であり、2022年度は時間外勤務で多くを占める看護記録に着目し、テーマ「働き方改革～tudo記録soku記録で看護をつなぐ」を掲げ看護部全体で取り組んだ。徐々に成果を上げているので今後も引き続き取り組む。

いづろ今村病院、今村総合病院ではユニフォームの更新の機会に職員の意見を聴取し新ユニフォームを導入した。自ら選んだユニフォームを着用することで働きやすさにもつながり、夜勤者の区別のための２色制を採用したことで時間外勤務の縮減が期待できる。

人材育成に関しては、2022年度新たに認定看護師や特定看護師が誕生した。また鹿児島県ではじめて認定看護管理者教育課程サードレベル研修が開催され、当法人内から看護管理者２名が受講した。今後認定試験に合格すると慈愛会で認定看護管理者が５名となり、マネジメント力の向上が期待できる。今後も毎年研修受講を勧め、各施設に１名の認定看護管理者を配置し積極的に経営参画ができる人材を育成していく。教育プログラムの開発は介護福祉士・ナースエイドプログラムを作成した。これで慈愛会看護部統一の看護職員の教育開発プログラム作成は完了した。今後職員個々が活用しキャリアアップに繋げられるように活用推進していきたい。

2022年度は新たに在宅支援部が設置された。在宅サービスへのニーズが拡大・需要が高まる中、質の高い訪問看護ステーションが期待されている。慈愛会には笹貫訪問看護ステーション、奄美病院訪問看護ステーションイルカ、（徳之島病院）わたりどり訪問看護ステーションがある。強みを活かし、今後訪問看護ステーションの質向上のため３訪問看護ステーションの情報共有の場を設け互いの成長に向けてお互いに協力しながら取り組んでいく予定である。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

１．慈愛会の急性期医療・慢性期医療・終末期医療・在宅医療の連携強化

2022年は８月に新型コロナウイルス感染爆発的拡大の影響によって、入院患者受け入れや病床利用率に影響を受けたが、施設間の連携強化や支援体制をとりながら対応した。

2022年度より笹貫訪問看護ステーション愛の街は愛と結の街から独立し在宅支援部となり、更なる在宅医療の推進を図った。

１）看護管理者協議会（３回/年　７・10・２月開催）
　慈愛会看護部長ミーティング（１回/月）

《主な協議・確認事項》

人材確保・定着、人材育成、管理者の育成、新型コロナ感染受け入れ状況・感染対策、働き方改革（ユニフォーム更新）、経営参画、入院受け入れ体制、人事計画、新卒訪問看護師採用計画等について

慈愛会看護部支援チーム体制を構築、第８波における感染拡大の際、徳之島病院へ各施設から支援を行い、離島における感染収束に向けた支援を行うことができた。働き方改革については超過勤務時間短縮のための記録について取り組み、またユニフォームの２色制を導入し時間外勤務の削減に努めた。

2024年度からの新卒訪問看護師の採用に向けて新卒訪問看護師教育プログラムを作成し受け入れ準備を進めている。

2）慈愛会看護部教育委員会（1回/月）

新人教育、3年目研修や実習指導者・教員合同研修企画と運営等、慈愛会全体の教育活動を実践し教育レベルの質向上を図っている。鹿児島中央看護専門学校の教員を臨床看護教員として今村総合病院に配置し新人看護師の支援強化や基礎教育の充実、指導者育成や教員の看護実践能力の向上に取り組んだ。

3）慈愛会連携推進委員会（1回/ 2月）

各施設の慈愛会内外の連携状況について情報共有し、地域連携強化、積極的な入退院支援に取り組んだ。また慈愛会で用いるサマリーの統一化を検討しACPの導入・推進を図り地域包括ケアに関わる資質の向上に努めた。今後、よりスムーズな連携を図るために連携シートの作成に取り組んでいく。

2．在宅事業部（訪問診療・看護）の機能強化

2022年度より在宅支援部が愛と結の街から独立し設置され、地域に求められる在宅支援を目指し実践している。新規依頼の拡大に向けて積極的な広報活動や実際の利用者による口コミなど信頼を得られるような質確保に向けて取り組んだ。月平均訪問看護件数約934件で目標1000件は未達である。泉町のサテライト設置による利用者の増加はみられており拡大のための取り組みを継続する。人材確保および専門性の高い認定・特定看護師の育成等に取り組みサービスの向上に努めていく。

現在徳之島病院は徳之島、与論島、沖永良部の精神科医療を担い、訪問看護も実施している。ニーズは高く

慈愛会連携推進会議報告

	開催日時	議題
第1回	2022/4/21（木）	1）慈愛会内外連携報告 2）慈愛会連携推進に向けての検討 （1）各施設情報共有
第2回	2022/6/16（木）	1）慈愛会内外連携報告 2）慈愛会連携推進に向けての検討 （1）各施設情報共有
第3回	2022/8/18（木）	1）慈愛会内外連携報告 2）慈愛会連携推進に向けての検討 （1）各施設情報共有　　連携困難事例について （2）法人内連携実績データ入力の検討 （3）看護サマリーの統一化について
第4回	2022/10/20（木）	1）慈愛会内外連携報告 2）慈愛会連携推進に向けての検討 （1）各施設情報共有　　連携困難事例について （2）法人内連携実績データ入力の検討 （3）看護サマリーの統一化について
第5回	2022/12/15（木）	1）慈愛会内外連携報告 2）慈愛会連携推進に向けての検討 （1）各施設情報共有　　連携困難事例について （2）連携シートについて （3）各施設 ACP 取り組み実態・慈愛会での ACP 導入・推進について
第6回	2023/2/16（木）	1）慈愛会内外連携報告 2）慈愛会連携推進に向けての検討 （1）各施設情報共有　　連携困難事例について （2）連携シート　プロジェクト立ち上げについて （3）ACP の導入、推進について

在宅支援の要となっている。2023年度、訪問看護ステーションとして独立し更に活動を活性化していく方針であり現在準備を進めている。看護が活躍できる場を拡大し看護職がやりがいをもって働き続けられるよう今後も取り組んでいきたい。

3．看護師確保について

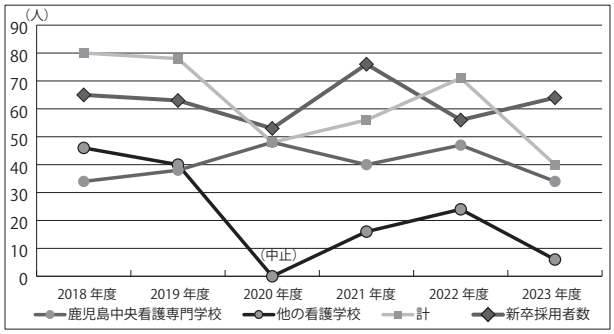
1）採用試験実施（年4回開催　5月、8月、11月、1月）

定期採用試験は4回、臨時採用試験は2回実施した。受験者数は前年度と比し増加した。しかし退職者が前年度よりほとんどの施設で増加し人材不足が続いた。離職要因は依然として他施設への就職や結婚転居、健康上が上位を占める。また急性期病院では2年目～5年目未満の離職が多いため中堅看護師の負担が大きくなった。次年度は離職に関する研究やこれまで調査した5か年分の職場風土調査等を分析し、職場改善や離職防止への具体的な対策に繋げていきたいと考える。

2）採用活動

主な採用活動として慈愛会就職説明会、学校訪問、業者によるガイダンスを鹿児島会場に加え福岡会場まで拡大し人材確保に努めた。また内定者とオンラインによる懇親会を開催し当法人スタッフと親睦を深め、内定辞退を防ぎ確実な人材確保に繋げることが出来た。　令和5年1月より週1回、人材確保活動ミーティングを開催し就職ガイダンスの内容や方法について協議し人材確保に関する準備が活性化している。慈愛会看護部への就職に繋げられるようにしていきたい。

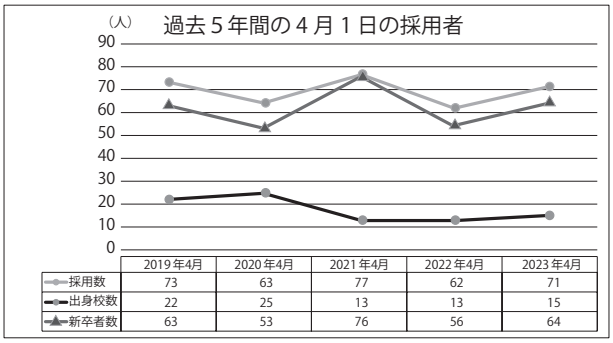
慈愛会主催就職説明会の来場者状況（過去５年間）



	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
鹿児島中央看護専門学校	34	38	48	40	47	34
他の看護学校	46	40	0	16	24	6
計	80	78	48	56	71	40
新卒採用者数	65	63	53	76	56	64

※2020 年度は新型コロナウィルス感染拡大の為
　鹿児島中央看護専門学校以外の学生への就職説明会は未実施
※2021 年度は感染対策の為
　鹿児島中央看護専門学校と他の看護学校の 2 回に分けて開催
※2023 年度は学校主催のガイダンス増加し、慈愛会就職説明会
　への参加が減少したと考えられる

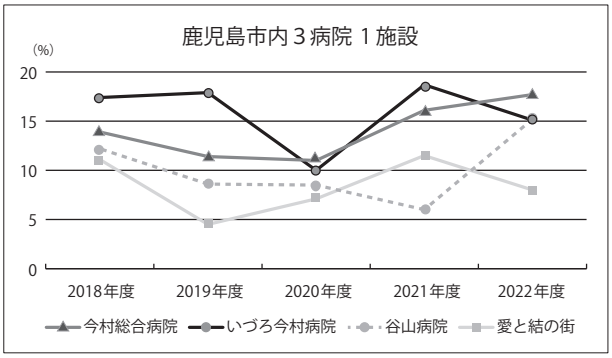
看護師採用状況



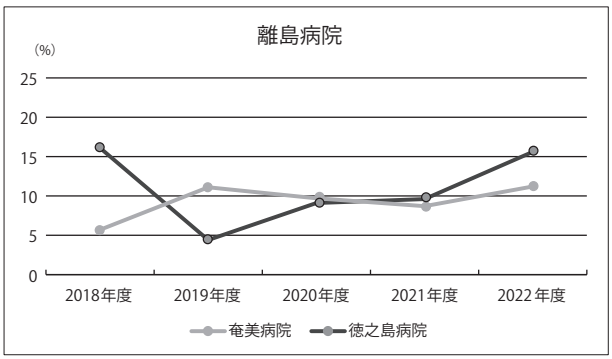
過去５年間の４月１日の採用者（病院別）

	2019年4月	2020年4月	2021年4月	2022年4月	2023年4月
今村総合病院	51	45	50	43	45
いづろ今村病院	11	9	9	7	13
谷山病院	9	6	12	7	10
奄美病院	0	1	2	2	2
徳之島病院	2	2	4	3	0
訪看愛の街	—	—	—	—	1

離職率状況



	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
今村総合病院	13.9	11.4	11.0	16.1	17.7
いづろ今村病院	17.4	17.9	10.0	18.7	15.1
谷山病院	12.2	8.6	8.5	6.0	15.2
愛と結の街	11.1	4.5	7.1	11.5	8.0



	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度
奄美病院	5.7	11.1	9.7	8.7	11.2
徳之島病院	16.1	4.4	9.1	9.6	15.6

合同研修会

			開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価（レポート・評価表）	研修プログラム	開催場所	参加者数
管理者研修	1	看護部長研修会	2022 年 10 月 28 日 （金） 2023 年 2 月 24 日 （金）	全看護部長	人材育成能力・人的資源活用能力向上	1）看護管理者の能力開発における現状と課題が明確にできる 2）慈愛会全体の看護管理者能力開発について方針を明確にできる。 3）トップマネジャーとしてマネジメントラダーのねらいと自病院（自施設）の人材育成に関する方針を明確にできる 4）トップマネジャーが看護職員能力開発プログラムについて理解を深め、現状の問題を明らかにし改善できる。 5）看護職員能力開発プログラム活用へのマネジャーの方針を明らかにし管理実践計画が立案出来る。 6）JNA マネジメントラダーの理解を深め、慈愛会マネジメントラダーの再構築が出来る。	BSC 達成状況確認	看護部長企画BSC評価 今後の方向性検討 1）慈愛会内地域包括ケアシステムの推進。在宅医療の推進 2）看護職が安心して働き続けられる魅力ある職場づくり推進 3）キャリア支援（看護管理者、看護師、介護福祉士、ナースエイド） 4）新卒訪問看護師受け入れ体制	かごしま オハナビル 3 階 中会議室	いづろ：1 名 総合：1 名 谷山：1 名 奄美：1 名 徳之島：1 名 愛結：1 名 本部：1 名 合計：7 名
	2	副看護部長研修会	2022 年 9 月 10 日 （日） （延期） 2022 年 12 月 23 日 （新任） 8：30- 17：30 （新任以外） 13：00- 17：30	慈愛会に勤務する 10 名	副看護部長としてのマネジメント力を高める	1）自施設の看護サービス向上への自己課題を明確にし、行動できる。 2）自施設の人材育成に積極的に関与できる。 3）マネジメントラダー（副看護部長職）の理解と今後の課題が明確にできる。	【事前レポート】 ①慈愛会看護部 働き方改革「看護記録による時間外勤務ゼロプロジェクト～ tudo 記録 soku 記録で看護をつなぐ～」に関する看護師長、副看護師長への支援の実施 ②「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」第 2 部看護を語る会を企画する上での自己の考えと次年度企画への提案（考えていること） ③マネジメントラダー　副看護部長職評価 【事後伝達】 ①研修受講後、師長会などの会議で研修内容を伝達する ②伝達内容を「研修後伝達用紙」（様式③）に記載し提出	【講義①】 副看護部長の役割 【講義②】 人事考課制度 【講義③】 労務管理 【先輩管理者の語り】 【グループワーク①】 「副看護部長としてのマネジメント力を高める」 ・自施設の看護部の取り組み状況 ・副看護部長として期待されていること ・副看護部長として自己の役割と現在、思うこと 【グループワーク②】 ～副看護部長としての役割発揮～「働き方改革看護記録による時間外勤務ゼロプロジェクト 看護師長、副看護師長が具体的に成果をあげ、達成感を得られるための副看護部長としての支援」 ・企画立案の段階 ・企画立案後～成果発表まで（進捗、計画、会議運営） 【グループワーク③】 「第3回 心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 第2部企画ラダーレベルⅤチャレンジ者への支援」 ・2023年5月発表までのスケジュール ・昨年度に追加し、更に工夫する点、指導において深めたい点等 【発表】	かごしま オハナビル 3 階 大会議室	いづろ：1 名 総合：3 名 谷山：1 名 奄美：1 名 徳之島：1 名 本部：1 名 合計：8 名
	3	新任看護師長研修会	2022 年 7 月 15 日 （金） 8：30- 12：30	2021 年 8 月以降、看護師長に昇任した者　2 名	看護師長の役割を認識し、中間管理者としての資質の向上を図る	①看護師長の役割と自覚が芽生え、目標管理を実践できる。 ②看護師長としての能力を自己評価し、自己の課題が明確になる。 ③マネジメントラダーⅡ認定に向けた、自己の課題と取り組みを立案し実践できる。 ④看護管理に必要な専門的知識を修得し、実践に活かすことができる。	【事前レポート】 ①テーマ「自部署の看護記録による超過勤務の現状の分析と課題」 ②自病棟・自部署の SWOT 分析／クロス SWOT 分析　BSC 【事後伝達】 ①研修受講後、看護師長会で研修内容を伝達 ②伝達内容を「研修後伝達用紙」に記載し提出	7月1日の初期キャリア支援研修「人事考課」「自院の財務状況の把握」を事前に受講 【グループワーク】 看護師長となってぶつかっている壁～想いを吐き出そう～ 【講義】 ・組織が求める看護師長への期待 ・現場の看護で大変嬉しかったこと 【講義】 労務管理について 【ディスカッション】 楽しく学ぶQ&A 【グループワーク】 現状の課題に向けて今後の取り組み	かごしま オハナビル 3 階 大会議室	総合：1 名 谷山：1 名 計：2 名
	4	副看護師長研修会	2022 年 7 月 24 日 （土） 8：30- 17：30 （延期） 2022 年 11 月 26 日 （土）	新任の副看護師長を除く全ての副看護師長	副看護師長の役割を理解し、中間看護管理者としての資質向上を図る	①実践モデルとしての副看護師長の役割を認識できる。 ②部署の問題を分析し、看護サービスの向上への取り組みができる。 ③新型コロナウイルス感染対策の実際（ゾーニング、標準予防策）を習得しスタッフ育成に活用できる。 ④マネジメントラダーレベルⅠの自己の課題に取り組むことができる。	【事前レポート】 ①看護部管理目標「働きかた改革～記録による時間外勤務ゼロプロジェクト～ tudo 記録　soku 記録で看護をつなぐ」に関する取り組みを、「看護管理実践計画」のプロセスの「テーマの選定」から「戦略目標の立案」までをまとめる。 ②管理者に求められる資質評価・マネジメントラダーⅠ評価 【事後レポート】 ①テーマ「研修を通しての学び」 ②研修を受講して「看護管理実践計画」の修正と、その根拠（意図）をまとめる ③②の 2 月 28 日までの取り組みを「看護管理実践計画」のプロセスでまとめる	【講義】 適切な感染対策 基礎知識と演習 【講義】 副看護師長の達成感、やりがい感につなげる「看護管理プロセス」 【発表】 ・働き方改革に対する取り組みの実際と課題 ・働き方改革の取り組み5例 【講義】 慈愛会看護部の超過勤務実態及び離職率について 【グループワーク】 「働きかた改革～記録による時間外勤務ゼロプロジェクト～ tudo記録　soku記録で看護をつなぐ」について ・看護管理実践計画の進捗状況の発表・意見交換 ・現状把握・分析から考えられたこと ・今後の取り組みの進め方	慈愛会ビル 3F 会議室 4F 会議室	いづろ：9 名 総合：29 名 谷山：16 名 奄美：10 名 徳之島：3 名 在宅：1 名 合計：67 名
	5	新任副看護師長研修会	2022 年 7 月 1 日 （金） 13：30- 17：30	2021 年 7 月以降、副看護師長に昇任した者	副看護師長の役割を認識し、中間看護管理者としての資質の向上を図る。	1）副看護師長の役割を認識できる。 2）副看護師長としての資質を自己評価し、自己の課題が明確になる。 3）看護師長の補佐としての自覚が芽生え、自部署の目標達成の意義が理解できる。	【事前レポート】 テーマ「副看護師長となり看護師長の補佐として取り組んでいることと直面している課題」 【事後レポート】 テーマ「マネジメントラダーレベルⅠを達成するために行動変容すること」	【グループワーク】 ・事前レポートと初期キャリア支援研修の学びを通し副看護師長として思うこと ・先輩看護管理者の語り 【講義】 マネジメントラダーレベルⅠの理解 【グループワーク】 マネジメントラダーレベルⅠを達成するための具体的行動について 同日午前「初期キャリア支援研修」	かごしま オハナビル 3 階 大会議室	いづろ：1 名 総合：5 名 谷山：1 名 合計：7 名

			開催月日	対象者	研修目的	目標	研修評価（レポート・評価表）	研修プログラム	開催場所	参加者数
職員研修	6	慈愛会看護部　3年目研修会	【1回目】 2022年 10月22日 （土） 8：30- 17：30 【2回目】 2022年 10月29日 （土） 8：30- 17：30	卒後3年目 看護師 51名 総合38名 いづろ7名 谷山5名 徳之島1名	危機的状態の看護理論を活用して看護実践ができる看護師の育成	1）危機的状態の患者・家族の心理や受容過程を理解する 2）危機のプロセスに応じた看護介入方法を学ぶ 3）学んだことを今後の看護実践で活かすことができる	【事前課題】 ①振り返りレポート レポート閲覧：研修前日までにグループ内の事前レポートを閲覧する 【事後課題】 ①実践レポート：研修で学んだことを実践し、感じたことをまとめる	【講義】 「危機的状態の患者・家族の看護」～心に届く看護ケア～ Ⅰ.発病による危機のプロセスの理解 Ⅱ.発病による危機のプロセスに沿ったケア Ⅲ.発病による危機のプロセスに沿ったケア Ⅳ.再発・転移時の心理とケア 【個人ワーク】 看護実践具現化シート 講義を受け、事前レポート（事例）のリフレクション ①患者・家族の心理、受容過程 ②危機のプロセスに応じた看護介入方法 【グループワーク】 ○リフレクション内容を相手に語る自己の看護の語りを相手に伝え、相手の看護の語りを聴くことを大切にする ○学んだことを実践につなげるために危機的状態の患者・家族の心に届くケアを具体的に考える	かごしまオハナビル3階 大会議室	【1回目】 総合：19名 いづろ4名 谷山4名 徳之島1名 計　28名 【2回目】 総合15名 いづろ：3名 谷山：1名 計　19名 合計　47名
臨地実習	7	臨地指導者・教員合同研修会	第1回 2022年 4月16日 10：30- 12：30	慈愛会の実習指導者 教育担当 副看護部長 教育担当 看護師長 副看護師長 看護師長 副看護師長 看護部長 鹿児島中央 看護専門学校専任教員	基礎教育において質の高い臨地実習環境を提供するための実習指導者・教員の育成	1）臨地実習における学生に、効果的指導方法を見出すことが出来る。 2）臨地実習において、学生が、自ら考え、気づき、学ぶようなかかわり方を考えることができる。 3）指導者と教員が互いに学びあい、学生指導に対する関係性の重要性を理解できる。	研修会前の臨地実習指導者会議での講演「看護基礎教育における臨床判断能力の育成」を聴講する	【グループワーク】 「学生の臨床判断能力を育成するための具体的行動」 【発表・質疑応答】 【まとめ】	鹿児島中央 看護専門学校3年課程	いづろ：5名 総合：21名 愛結：9名 鹿中看11名 本部：4名 リモート 谷山：9名 合計：62名
			第2回 2022年 10月15日 10：00- 12：30				講義資料「学生に一歩踏み込んで、そして発問しながら臨床判断能力を育む指導」（パワーポイント8ページ）ミッション1を事前に考えてくる	【各施設の取り組み発表】 「臨床判断能力育成を試みて」 【講義】 「学生に一歩踏み込んで、そして発問しながら臨床判断能力を育む指導」 【グループワーク】 【発表・質疑応答】	鹿児島中央 看護専門学校3年課程	いづろ：7名 総合：22名 谷山：8名 愛結：8名 鹿中看：9名 支援室：3名 合計：57名

技能・能力向上に向けた取り組み

キャリア開発

1．看護師のキャリア開発ラダー取得状況（表1）

新型コロナ感染拡大のため、個々のラダーレベル認定活動にも影響し、目標達成できない職員もいた。対象に応じて適切に支援をしていくことも強化していきたい。

2．J-seatyナース研修

2022年度は8コース中、谷山病院・奄美病院の精神医療を除く6コースを開催した。慈愛会全体で52名が参加し、年々参加者は増加している。研修生は意欲的に学び、知識技術を習得すると共に自施設に還元することで組織全体の質向上につながっている。

3．認定看護師その他の資格保有状況（表2）

2022年度は認知症看護、在宅ケアに各1名、感染管理2名が認定看護師教育課程を受講し修了した。次年度は集中ケア認定看護師教育課程に1名、感染管理認定看護師教育課程に2名が受講予定である。特定行為研修は今年度11名受講し、次年度は8名が受講する。各施設が研修終了後の環境を整え、特定看護師が専門的な知識と技術を生かし看護の質向上に貢献できるよう引き続き努める。

4．看護管理者の育成とマネジメントラダーレベル認定状況（表3，表4）

マネジメントラダーの周知を図りながら申請認定への支援を行った。レベルアップのためには管理者としての役割を自覚し自ら率先して取り組み、看護管理の質を更に向上していきたいと考える。2022年度は認定看護管理者教育課程ファーストレベル7名、認定看護管理者教育課程サードレベルを副看護部長2名が受講した。

2023年度はマネジメントラダーレベルⅠ・Ⅱの認定要件に離島における看護管理研修を加えた。自施設に留まらず地域を見据えた管理について学ぶためである。2023年度は昇任者を対象に取り組んでいく計画である。

2022年度　J-seatyナース研修

施設名	研修名	研修期間	受講者	講義（内容）	講師（担当）	
徳之島病院	離島を含む精神医療	6月8日（水）～11日（金）	3名	離島の精神医療について	医師	末満 純一
				徳之島病院の沿革（歴史）	事務員	福島 太志
				南三島の役割について	看護師	宮本 陽子
				精神科治療薬と管理について	薬剤師	東槇 徹
				精神保健福祉士の役割と地域連携	精神保健福祉士	梅岡 啓香
				精神科リハビリテーションの役割	作業療法士	真喜志 元希
				禁忌薬に伴う体重増加と食事管理	管理栄養士	清水 崇
				離島訪問看護の役割	看護師	嶺井 千春
今村総合病院	感染管理	6月29日（水）～7月1日（金）	13名	感染予防策の基本	看護師	川畑 友佳
				感染経路予防策	看護師	切手 康加
				感染管理とマネジメント	看護師	切手 康加
				職業感染防止の実際	看護師	川畑 友佳
				ファシリティマネジメント	看護師	切手 康加
				情報交換・交流会	看護師	吉森 みゆき
				流行性感染症／結核	看護師	切手 康加
				感染症	医師	有馬 丈洋
				N95マスクフィットテストおよびチェック　個人防護具の着脱	看護師	吉森 みゆき
					看護師	川畑 友佳
					看護師	切手 康加
				ＣＯＶＩＤ－19の感染対策	看護師	吉森 みゆき
				洗浄・消毒・滅菌	看護師	切手 康加
				病院見学	看護師	吉森 みゆき
				病院見学	看護師	切手 康加
				精神科看護における感染対策	看護師	中尾 明美
				検体採取について	看護師	切手 康加
				抗菌薬適性使用	医師	有馬 丈洋
				医療関連感染サーベイランス	看護師	川畑 友佳
					看護師	切手 康加
				グループワーク	看護師	川畑 友佳
					看護師	切手 康加
愛と結の街	老健・在宅	10月11日（火）～13日（木）	4名	老健　愛と結の街の概要	医師	野村 秀洋
				介護保険制度の変遷と鹿児島県の現状	看護師	原口 悦江
				高齢者及び認知症の方の理解と生活支援（事例検討およびグループワーク）	医師	黒野 明日嗣
					作業療法士	宮田 雅士
					介護福祉士	前屋敷さよ子
					作業療法士	中村 真由美
					看護師	今西 由香
				地域包括家システムにおける愛と結の街の役割・機能在宅支援の取り組み	社会福祉士	斉藤 尚美
				老健におけるリハビリテーション	作業療法士	村井 真由美
				老健におけるリハビリテーション	言語聴覚士	大脇 万喜
				自立支援に向けたケア	介護福祉士	竪山 佳佑
					看護師	木場田 哲也
					理学療法士	細樅 友美
				老健における栄養マネジメント	管理栄養士	今村 瑞香
				介護保険制度におけるケアマネジメント	介護福祉士	高田 直樹
				ヘルパーステーションの役割と在宅支援の実施	介護福祉士	坂口 香美
				訪問看護とは	看護師	伊地知 幸輝
				在宅看護	看護師	米澤 美智代
					看護師	假屋薗 綾
					看護師	米澤 真理子
				訪問看護の実際	看護師	伊地知 幸輝

施設名	研修名	研修期間	受講者	講義（内容）	講師（担当）	
今村総合病院	フィジカルアセスメント	11月30日（水）～12月2日（金）	14名	今村総合病院の役割と機能	看護師	中谷明実
				フィジカルアセスメント　呼吸	看護師	中村倫丈
				誤嚥性肺炎の予防ケアを考える	看護師	中村倫丈
				フィジカルアセスメント　循環	看護師	小濵奈々
				フィジカルアセスメント　脳神経	看護師	浜崎　彩
				病院見学・フィジカルアセスメント　概要	看護師	平川あゆみ
					看護師	中村倫丈
					看護師	小濵奈々
					看護師	浜崎　彩
				急変時の初期対応	看護師	平川あゆみ
					看護師	中村倫丈
					看護師	小濵奈々
				敗血症の初期対応を考える	看護師	中村倫丈
				意見交換・質疑応答・まとめ	看護師	小波津武志
					看護師	大六野由樹
いづろ今村病院	緩和ケア	12月5日（月）～7日（水）	6名	いづろ今村病院の目指すもの	医師	常盤光弘
				いづろ今村病院看護部概要	看護師	籔下和代
				緩和ケア概論	医師	松下格司
				症状マネジメント「がん性疼痛」	看護師	水流尚子
				症状マネジメント「消化器症状、呼吸困難、倦怠感、せん妄」	看護師	中窪尊子
				緩和ケア病棟概要	看護師	平石敬美
				リフレクション	看護師	中窪尊子
				病棟実習「申し送り、ミーティング」	看護師	平石敬美
				アロマセラピー・リンパマッサージ	看護師	今井朋子
				病棟実習「病棟での実際を学ぶ」	看護師	平石敬美
				がん治療におけるチームアプローチ	薬剤師	東條知子
					栄養士	萬福有理
					作業療法士	飯田真由美
					臨床心理士	片山秀美
					看護師	大垣美紀
					看護師	矢崎唯里
				患者、家族への支援	看護師	平石敬美
				病棟実習	看護師	平石敬美
				コミュニケーション	看護師	中窪尊子
				デスカンファレンス	看護師	平石敬美
				グループワーク「研修を通しての学びから専門職としての取り組み発表」	看護師	中窪尊子
鹿児島中央看護専門学校	看護基礎教育	2023年2月20日（月）～22日（水）		開講式、鹿児島中央看護専門学校教育の特徴	専任教員	久徳美鈴
				成人学習者の理解、看護教員への道	専任教員	大保まり子
				学校案内　ICT教育	専任教員	櫻美尚美
				講義のねらいや講義方法の理解	専任教員	久徳美鈴
				講義の聴講	専任教員	久徳美鈴
				本日の研修リフレクション	専任教員	櫻美尚美
				教職員会議参加	専任教員	櫻美尚美
				シミュレーション学習	専任教員	高山理恵
				臨地実習の意義、ルーブリック評価、リフレクション	専任教員	中村栄子
				本日の研修リフレクション	専任教員	櫻美尚美
				卒業時看護技術練習参加	専任教員	蒲地恵美
					専任教員	飯田かずよ
				3年生との交流会	専任教員	蒲地恵美
					専任教員	飯田かずよ
				研修の振り返り	専任教員	久徳美鈴
				意見交換・質疑応答・まとめ	専任教員	櫻美尚美

コース別　参加者所属施設別　内訳

コース	看護基礎教育（鹿児島中央看護専門学校）	感染管理（今村総合病院）	精神医療（谷山病院）	老健・在宅（愛と結の街）	緩和ケア（いづろ今村病院）	フィジカルアセスメント（今村総合病院）	離島を含む精神医療（奄美病院）	離島を含む精神医療（徳之島病院）	計
研修期間	2023年2月20日（月）～22日（水）	6月29日（水）～7月1日（金）	7月26日（火）～28日（木）延期2023.1月24日(火)～26日（木）中止	10月11日（火）～13日（木）	12月5日（月）～7日（水）	11月30日（水）～12月2日（金）	11月30日（水）～12月2日（金）延期2023.2月27日(月)～3月1日（水）中止	6月8日（水）～6月11日（金）	
今村総合病院	0	8	0	1	1	4	0	0	14
いづろ今村病院	0	4	0	1	3	4	0	1	13
谷山病院	2	2	0	0	0	3	0	0	7
奄美病院	2	2	0	2	1	2	0	1	10
徳之島病院	1	1	0	0	0	1	0	0	3
愛と結の街	1	1	0	0	1	1	0	1	5
鹿児島中央看護専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	18	0	4	6	15	0	3	52

各種指標

（表１）　2022 年度　慈愛会看護部　看護師キャリア開発ラダー認定状況

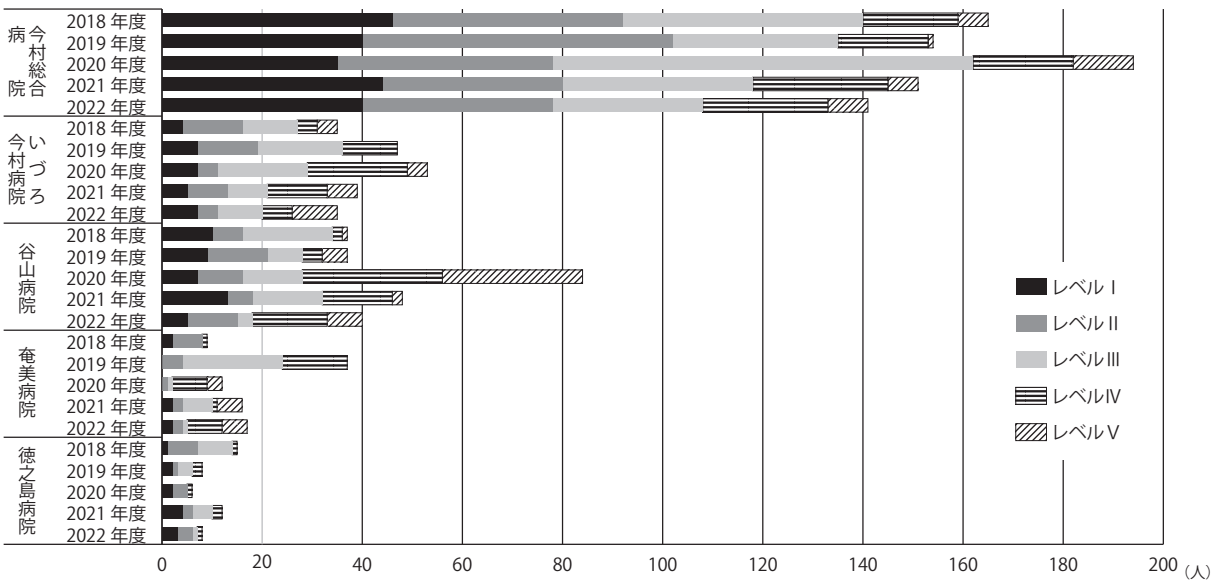
		1．認定申請率 ※対象者に対する		2．全体の認定率 ※対象者に対する		3．今年度の認定合格率 ※申請者に対する		4．認定合格者（数）	5．今年度の対象者（数）※看護管理者除外 / 全体の対象者（数）※看護管理者除外	6．これまでに１回も申請がない（人数） / これまでに１回も認定されていない（人数）
		対象者の中での申請者数	申請率	対象者の中での認定者数	認定率	申請者のうち認定合格者数	合格率			
今村総合病院	今年度の新たな認定者・更新者	227	83.2%	141	51.6%	141	62.1%	141	273	1
	全体の認定者	286	99.7%	286	99.7%	216	75.5%	286	287	1
いづろ今村病院	今年度の新たな認定者・更新者	67	98.5%	35	51.5%	35	52.2%	35	68	0
	全体の認定者	68	100.0%	68	100.0%	36	52.9%	68	68	0
谷山病院	今年度の新たな認定者・更新者	80	100.0%	40	50.0%	40	50.0%	40	80	0
	全体の認定者	88	100.0%	88	100.0%	88	100.0%	88	88	0
奄美病院	今年度の新たな認定者・更新者	11	39.3%	17	60.7%	17	154.5%	17	28	0
	全体の認定者	30	100.0%	30	100.0%	20	66.7%	30	30	0
徳之島病院	今年度の新たな認定者・更新者	10	100.0%	8	80.0%	8	80.0%	8	10	0
	全体の認定者	10	100.0%	10	100.0%	9	90.0%	10	10	0
全　体	今年度の新たな認定者・更新者	395	86.1%	241	52.5%	241	61.0%	241	459	1
	全体の認定者	482	100.0%	482	99.8%	369	76.6%	482	483	1

（注）１．認定申請率 …… 対象者とは、副看護師長以上の看護管理者を除く看護師（助産師）
２．全体の認定率 …… 常勤（嘱託）の副師長以上の管理職を除く看護師（助産師）に対する認定率 （レベル取得した者の率）
３．今年度の認定合格率 …… 今年度に申請し今年度の年度末に合格した合格率
４．認定合格者 …… 過去の認定者も含めて全体でレベルⅠ～Ⅳ
５．対象者 …… 年度末（３月 31 日）時点の対象者総数とする

2022 年度　看護師キャリア開発ラダー認定者数　一覧

		レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ	レベルⅣ	レベルⅤ
今村総合病院	2018 年度	46	46	48	19	6
	2019 年度	40	62	33	18	1
	2020 年度	35	43	84	20	12
	2021 年度	44	36	38	27	6
	2022 年度	40	38	30	25	8
いづろ今村病院	2018 年度	4	12	11	4	4
	2019 年度	7	12	17	11	0
	2020 年度	7	4	18	20	4
	2021 年度	5	8	8	12	6
	2022 年度	7	4	9	6	9
谷山病院	2018 年度	10	6	18	2	1
	2019 年度	9	12	7	4	5
	2020 年度	7	9	12	28	28
	2021 年度	13	5	14	14	2
	2022 年度	5	10	3	15	7
奄美病院	2018 年度	2	6	0	1	0
	2019 年度	0	4	20	13	0
	2020 年度	0	1	1	7	3
	2021 年度	2	2	6	1	5
	2022 年度	2	2	1	7	5
徳之島病院	2018 年度	1	6	7	1	0
	2019 年度	2	1	3	2	0
	2020 年度	2	3	0	1	0
	2021 年度	4	2	4	2	0
	2022 年度	3	3	1	1	0

施設毎　レベル毎認定数比較



（表２）　看護師資格取得状況一覧（2022 年度）

			いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	在宅支援部	鹿中看3年課程	本部	法人計
認定看護師	救急看護	資格者		2								2
		受講中										0
	皮膚・排泄ケア	資格者		2								2
		受講中										0
	クリティカルケア	資格者		1								1
		受講中										0
	緩和ケア	資格者	1	2								3
		受講中										0
	がん性疼痛看護	資格者	1									1
		受講中										0
	がん放射線療法看護	資格者		1								1
		受講中										0
	がん化学療法看護	資格者		1								1
		受講中										0
	感染管理	資格者	1	2	1							4
		受講中			1	1						2
	糖尿病看護	資格者	1									1
		受講中										0
	脳卒中リハビリテーション看護	資格者		1								1
		受講中										0
	認知症看護	資格者	1									1
		受講中		1								1
	在宅ケア	資格者							1			1
		受講中			1							1
	精神科	資格者		1	3	1					1	6
		受講中										0
認定看護管理者	ファーストレベル	資格者	16	24	32	15	8	5	2	2	3	107
		受講中		2	3	1		1				7
	セカンドレベル	資格者	7	13	7	4	2	3		1	2	39
		受講中										0
	サードレベル	資格者		1	1					1		3
		受講中	1		1							2
	認定看護管理者	資格者		1	1					1	2	5
		受講中										0
特定行為研修	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	資格者	1	6	1				1			9
		受講中	1	7	2							10
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	資格者		6								6
		受講中		4								4
	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	資格者		2								2
		受講中		3								3
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	資格者		1					1			2
		受講中		1	1							2
	循環動態に係る薬剤投与関連	資格者		2								2
		受講中										0

			いづろ	総合	谷山	奄美	徳之島	老健	在宅支援部	鹿中看3年課程	本部	法人計
特定行為研修	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	資格者	1	1	1							3
		受講中		3								3
	創傷管理関連	資格者	1	4	1				1			7
		受講中			1							1
	胸腔ドレーン管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	腹腔ドレーン管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	資格者		1								1
		受講中										0
	栄養に係るカテーテル管理（抹消留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	資格者		1								1
		受講中										0
	創部ドレーン管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	動脈血液ガス分析関連	資格者		2								2
		受講中		6								6
	術後疼痛管理関連	資格者		1								1
		受講中										0
	感染に係る薬剤投与関連	資格者										
		受講中	1	1	1							
	ろう孔管理関連	資格者		2	1				1			4
		受講中	1		1							2
長期	教員養成課程修了	資格者	1	3	1	1				12	2	20
		受講中										0
	教務主任養成課程修了	資格者										
		受講中								2		2
その他の資格・研修	医療安全管理養成過程終了者		25	32	15	10	3	2	0		2	89
	臨床指導者講習修了者（看護）		8	11	24	5		8	2	4	2	64
	臨床指導者講習修了者（介護）		0	0	0			18				18
	災害支援ナース		3	3	6				1	1	1	15
	糖尿病療養指導士		7	3								10
	呼吸療法士		2	6								8
	消化器内視鏡技師		2	4								6
	透析技術認定士		0	6								6
	日本救急学会認定 インストラクター ICLS コース		1	7	5		2					15
	アメリカ心臓病学会 インストラクター BLS コース		2	6	6							14
	栄養サポートチーム 専門療法士		0	1								1
	介護支援専門員		2	1	1			19	1	1		25
	訪問看護師 養成講習会修了者		1	0	1	6	1		2	2		13

（表３）　慈愛会看護部　管理者任用候補者選考結果及び昇任状況

病院	年度	看護部			介護福祉士					ナースエイド			介護支援専門員			昇任者数 次年度	次年度以降の昇任者数	再受験者数 受験者中	
		受験者（ ）内 副看護師長	合格者（ ）内 副看護師長	合格率（%）	受験者（ ）内 昇任済み		合格者（ ）内 昇任済み		合格率（%）	受験者	合格者	合格率（%）	受験者	合格者	合格率（%）				
いづろ今村病院	2014年度	4	2	50.0%					－			－			－	0	1	0	
	2015年度	5	2	40.0%					－			－			－	2	0	0	
	2016年度	4	3	75.0%					－			－			－	2	1	0	
	2017年度	7（5）	6（4）	85.7%					－			－			－	0	0	0	
	2018年度	4（1）	4（1）	100.0%					－			－			－	1	2	2	
	2019年度	2	2	100.0%					－			－			－	2	0	0	※教員へ１名
	2020年度	1	1	100.0%	0		0		－	0	0	－			－	0	0	0	
	2021年度	5	5	100.0%	4		3		75.0%	0	0	－	(1)	(1)	－	1	0	0	
	2022年度	3	3	100.0%	4		4		－			－			－			1	
高麗町 CL	2022年度	1	1	100.0%					－			－			－				
今村総合病院	2014年度	14	13	92.9%					－			－			－	8	3	0	
	2015年度	15	11	73.3%					－			－			－	3	8	1	
	2016年度	17（11）	13（9）	76.5%					－			－			－	2	1	3	
	2017年度	11（3）	10（3）	90.9%					－			－			－	5	0	3	※教員へ１名
	2018年度	10	8	80.0%					－			－			－	0	5	1	
	2019年度	6	5	83.3%					－			－			－	2	1	1	
	2020年度	6	6	100.0%	1		1		100.0%	5	4	80.0%			－	2	3		
	2021年度	5	5	100.0%	2		2		100.0%	2	2	100.0%			－	0	0	0	
	2022年度	4	4	100.0%	1		1		－			－			－			0	
七海 CL	2022年度	1	1	100.0%					－			－			－				
谷山病院	2014年度	12	10	83.3%					－			－			－	7	1	0	
	2015年度	8（1）	8（1）	100.0%					－			－			－	3	2	1	※教員へ１名
	2016年度	6（3）	5（2）	83.3%					－			－			－	1	1	0	
	2017年度	2（2）	1（1）	50.0%					－			－			－	0	0	0	
	2018年度	4（1）	4（1）	100.0%					－			－			－	1	1	1	
	2019年度	1	1	100.0%					－			－			－	1	0	0	
	2020年度	2	2	100.0%					－			－			－	0	0	0	
	2021年度	3	3	100.0%	1		1		100.0%			－			－	1	2	0	
	2022年度	1	1	100.0%	2		2		100.0%			－			－				
GH しらゆりの郷	2022年度			－	1		1		－			－			－				
奄美病院	2014年度	1	1	100.0%					－			－			－	0	0	0	
	2015年度	2（1）	2（1）	100.0%					－			－			－	1	0	0	
	2016年度	4（2）	2（1）	50.0%					－			－			－	1	0	0	
	2017年度	5（2）	4（2）	80.0%					－			－			－	0	2	1	
	2018年度	3（2）	3（2）	100.0%					－			－			－	1	0	0	
	2019年度	4	3	75.0%					－			－			－	3	0	0	
	2020年度	1（1）	1（1）	100.0%	3		3		100.0%			－			－	1	0	0	
	2021年度	3	3	100.0%	1		1		100.0%			－			－	1	0	0	
	2022年度	2	2	100.0%					－			－			－				
徳之島病院	2014年度	1	1	100.0%					－			－			－	1	0	0	
	2015年度	1	0	0.0%					－			－			－	0	0	0	
	2016年度	4	3	75.0%					－			－			－	1	0	1	
	2017年度	2	2	100.0%					－			－			－	2	0	1	
	2018年度	2	2	100.0%					－			－			－	1	1	0	
	2019年度	0	0	－	2		1		－			－			－	0	0	0	
	2020年度	1	1	100.0%	2		1		50.0%			－			－	0	0	1	
	2021年度	2（1）	1（1）	50.0%	1		1		100.0%			－			－	0	0	1	
	2022年度			－	1		0		－			－			－				
愛と結の街	2014年度	1	1	100.0%					－			－			－	1	0	0	
	2015年度	2	2	100.0%					－			－			－	1	0	0	
	2016年度	0	0	-					－			－			－	0	0	0	
	2017年度	1（1）	1（1）	100.0%	1	(1)	1	(1)	100.0%			－			－	0	0	0	
	2018年度	1（1）	1（1）	100.0%	1	(1)	1	(1)	100.0%			－			－	0	0	0	
	2019年度			－	3	(2)	3	(2)	100.0%			－			－	1	0	0	
	2020年度	1	1	100.0%	5	(3)	5	(3)	100.0%			－			－	3	0	0	
	2021年度	1	1	100.0%	5		4		80.0%			－			－	4	0	0	
	2022年度	1	1	100.0%	4		3		75.0%			－	1	1	100.0%			1	
訪問看護ステーション愛の街	2022年度	1	1	100.0%					－			－			－				
鹿児島中央看護専門学校	2019年度	1（1）	1（1）	100.0%					－			－			－	0	0	0	
	2020年度			－					－			－			－	0	0	0	
	2021年度			－					－			－			－	0	0	0	
	2022年度			－					－			－			－				
全体	2014年度	33	28	84.8%					－			－			－	17	5	0	
	2015年度	33（2）	25（2）	75.8%					－			－			－	10	10	2	
	2016年度	35（16）	26（12）	74.3%					－			－			－	7	3	4	
	2017年度	28（13）	24（11）	85.7%	1	(1)	1	(1)	100.0%			－			－	7	2	5	
	2018年度	24（5）	22（5）	91.7%	1	(1)	1	(1)	100.0%			－			－	4	9	4	
	2019年度	14（1）	12（1）	85.7%	5	(2)	4	(2)	80.0%			－			－	9	1	1	
	2020年度	12（1）	12（1）	100.0%	11	(3)	10	(3)	90.9%	5	4	80.0%			－	6	3	1	
	2021年度	19（1）	17（1）	89.5%	14		12		85.7%	2	2	100.0%			－	7	2	1	
	2022年度	14	14	100.0%	13		11		84.6%	0	0	－	1	1	100.0%	0	0	2	

（表４）　2022 年度　マネジメントラダー　申請・認定状況

令和５年５月現在

		ラダーⅠ	ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ	副看護部長職	看護部長職	全体
今村総合病院	対象者	8	3	11	3	3	1	29
	申請者	8	2					10
	認定者	2	2					4
	申請率	100%	67%	0%	0%	0%	0%	34%
	認定率	25%	100%	0%	0%	0%	0%	40%
いづろ今村病院	対象者	1		2	1		1	5
	申請者	1		2	1			4
	認定者	1		2	0			3
	申請率	100%	0%	100%	100%	0%	0%	80%
	認定率	100%	0%	100%	0%	0%	0%	75%
谷山病院	対象者	2	2		4	2	1	11
	申請者	2	2		4	2		10
	認定者	2	2		0	1		5
	申請率	100%	100%	0%	100%	100%	0%	91%
	認定率	100%	100%	0%	0%	50%	0%	50%
奄美病院	対象者		1		3	1	1	6
	申請者		1		3	1	1	6
	認定者		1		0	0	0	1
	申請率	0%	100%	0%	100%	100%	100%	100%
	認定率	0%	100%	0%	0%	0%	0%	17%
徳之島病院	対象者		1	2	1		1	5
	申請者		1	1	1		1	4
	認定者		0	0	1			1
	申請率	0%	100%	50%	100%	0%	100%	80%
	認定率	0%	0%	0%	100%	0%	0%	25%
認定の申請 ５病院計	対象者	11	7	15	12	6	5	56
	申請者	11	6	3	9	3	2	34
	認定者	5	5	2	1	1	0	14
	申請率	100%	86%	20%	75%	50%	40%	61%
	認定率	45%	83%	67%	11%	33%	0%	41%

※認定率は申請者に対しての認定率

業　績　一　覧

【論文】

今村総合病院

＜和文＞

1．吉森みゆき，有馬丈洋，西垂水和隆，北原美代子，有島尚亮，上之園芳一，神田直昭，常盤光弘，帆北修一：新型コロナウイルスワクチンのブースター接種後の副反応について．鹿児島市医報 61（2）：16-19，2022

いづろ今村病院

＜和文＞

2．岩元美樹，脇志織，前田みさき，内大久保恵，福盛貴子：繰り返される注射のインシデントの要因調査～スタッフの属性に焦点を当てて～．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：55-59，2022

谷山病院

＜和文＞

3．潮昌子：専門職としての自律とやる気を上げる組織風土に向けた取り組み．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：65-68，2022

愛と結の街

＜和文＞

4．仮屋薗綾，中田絵里，米澤美智代：顔面領域におけるがん性悪臭対策の検討～尊厳ある生活を支えるために～．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：32-39，2022

5．西七海，福満貴幸：自分で美味しく食べるために　自己摂取への取り組み．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：46-49，2022

法人事業本部

＜和文＞

6．今村健次：精神科認定看護師によるクラスター発生施設でのメンタルヘルス支援．病院 82（2）：130-134，2023

鹿児島中央看護専門学校

＜和文＞

7．高山理恵，大保まり子，久徳美鈴：災害トリアージ演習における看護学生の心のケアを重視した教育方法の効果．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：69-73，2022

【学会発表】

今村総合病院

＜国内＞

1．南由希美，清藤樹乃，石原愛梨，上山りえ，池田清夏，中野伸亮，伊藤能清：同種造血幹細胞移植後患者の復職状況の実態調査．第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2022 年 5 月 12-13 日，横浜

2．諏訪薗和人，溝上博臣，磯部裕子，吉川愛美，松元龍：今村総合病院での介護福祉士・ナースエイド委員会活動の報告～介護福祉士主導の研修～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

3．中村倫丈，嘉村早苗，桑野大介，市來征仁：ICU におけるリハビリテーションの実施状況～早期リハビリテーションの算定状況～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
4．谷川莉菜，大迫七海，兒玉健瑠，越口晋伍，中村倫丈，嘉村早苗：せん妄発症予防のための身体拘束減少を目指した取り組み～実態調査から見えた ICU の現状～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
5．松山日実子，櫻美尚美，久徳美鈴：臨床指導者と協働した臨床判断能力育成に向けた学習会の成果～指導者の意識に焦点を当てて～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
6．松山郁子，中窪尊子，永迫智子，今村健次，木佐貫涼子：新人看護師成長パス・指導者パスの導入を試みて．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
7．西森識，西垂水和隆，上山テルヨ，船迫彩乃：特定行為研修を修了した看護師の看護実践に対する変化．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
8．吉野典子，垣内恵里菜，作田圭子，林真香，前田真紀子，皆吉菜穂子，吉森みゆき：A 病院における継続看護の現状と課題～グループインタビューからみえてきたもの～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
9．鎌田さつき，薗牟田友美，溝田美智代，四元景子：小児生活習慣病予防検診で受診した児の経過と対応について～外来での支援方法を考える～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
10．鶴薗由加子，コロナ禍の母親のニーズに寄り添うための活動報告．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
11．松元知佳，上野真由美，日高教子，大久保珠里：事前指示書に対する透析スタッフの意識調査～患者の意思表示を明確にする事前指示書導入へ向けて～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
12．小波津武志，林真香，平恵子，皆吉菜穂子，吉森みゆき，患者のセルフケア向上につながる効果的な指導を目指して～化学療法を受ける患者にパンフレットを活用した指導を導入した試み～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
13．平川あゆみ，福田美幸：当院における院内救急コールの分析と今後の課題～コードブルー症例を振り返り見えてきたもの～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
14．井手扶紗，池田玲香，吉森みゆき，大久保珠里，松山郁子，中谷明実：看護補助者活動の活性化を目指して～看護師長小集団活動の取り組みから～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
15．松山日実子，櫻美尚美，久徳美鈴：臨床指導者と協働した臨床判断能力育成に向けた学習会の成果～指導者の意識に焦点を当てて～．第 34 回（一社）日本看護学校協議会学会，2022 年 8 月 9-10 日，兵庫
16．松山郁子，今村健次，木佐貫涼子：新人看護師成長パス・指導者パスの導入を試みて．日本医療マネジメント学会，第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
17．松山日実子，久徳美鈴：臨床指導者と協働した臨床判断能力育成に向けた学習会の成果～指導者の意識に焦点を当てて～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
18．中村倫丈：ICU におけるリハビリテーションの実施状況～算定状況からみた現状の考察～．日本医療マネジメント学会，第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4 日，鹿児島
19．瑞泉絢華，中村倫丈，切手康加，田中恵美，嘉村早苗：手指消毒に対する意識向上のための取り組みと評価～ ICU スタッフの手指衛生に対する行動変容～．第 20 回日本医療マネジメント学会，九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
20．小濵奈々：急変予知力向上のための取り組みの効果 － RRS 要請コード「看護師の懸念」に着目して－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4 日，鹿児島
21．中間周平：手術室看護師のモチベーション向上の為のストレス現状把握と課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
22．久保侑香：超過勤務時間から見えるセル看護方式導入後の効果．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

23. 北之園優佳：服薬管理方法を判断する基準の統一化に向けて．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
24. 春成優希：身体合併症精神科病棟における看護師のストレス実態調査．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
25. 宇治野菜月，吉松美恵子：総合病院における分娩件数増加に至らない要因の検討－職員による産院選択の現状から－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
26. 西森識：造血幹細胞移植後の患者への多職種カンファレンスが看護師に与えた影響．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
27. 谷村利行：意識調査によりみえてきた特定看護師の今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
28. 小波津武志：パンフレットを用いた，がん患者のセルフケア向上につながる効果的な指導の検討．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
29. 井手扶紗，松山郁子，吉森みゆき，北原美代子，中谷明実：看護補助者活動の活性化を目指して－看護師長小集団活動の取り組みから－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
30. 平川あゆみ：当院における院内急変コールの分析と今後の課題－コードブルー症例を振り返って－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
31. 有村美保：患者へ統一した看護を提供するための取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
32. 上山テルヨ：看護師特定行為研修センターの役割と今後の課題－研修の充実を目指して－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
33. 大野かおり：回復期リハビリテーション病棟における医療福祉連携士の役割を考える（シンポジウム）．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
34. 松崎璃子，吉永沙織，池田清夏，中野伸亮，伊藤能清：血液内科病棟で勤務している看護師の新型コロナウィルス流行中に行われた結婚式の実態調査．第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 11-12 日，名古屋

いづろ今村病院

＜国内＞

35. 倉岡真穂，落司文月，大坪美和子，岩切郁美，福盛貴子：患者の意思決定支援の実際とそれに伴う看護師の心の動き～治癒困難患者の意思決定支援を振り返って～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
36. 今井朋子，長野真二郎：多職種によるリンパ浮腫ケアの有効性の検討．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
37. 籔下和代，木佐貫涼子，北原美代子，中薗明子，福長由美，宮本陽子，原口悦江，中谷明美：働き方改革に対する取り組みの実際と課題～副師長の達成感･やりがい感に繋がる支援～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
38. 永田ゆい：ウォーキングカンファレンスの見直し～申し送りチェック表を利用して～．第 20 回日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
39. 籔下和代，木佐貫涼子，北原美代子，中薗明子，福長由美，宮本陽子，原口悦江，中谷明美：働き方改革に対する取り組みの実際と課題～副師長の達成感・やりがい感に繋がる支援～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
40. 長野加代子：医療と介護を繋いだ自宅での看取り．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2020 年 11 月 4-5 日，鹿児島
41. 落司文月：意思決定支援に対する現状把握と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，

2020 年 11 月 4-5 日，鹿児島

42. 今井朋子：多職種によるリンパ浮腫ケアの有効性の検討．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2020 年 11 月 4-5 日，鹿児島

谷山病院

＜国内＞

43. 山下喜美枝：精神科看護師が CVPPP の身体的介入場面で感じる感情の分析．第 47 回日本精神科看護学術集会，2022 年 6 月 24-25 日，宜野湾
44. 早水裕子：楽しい安全活動の推進～２つの活動を通して～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
45. 吉井百合子，児玉康恵，生見千鶴：ポリバレントスタッフの育成に向けて～看護補助者のシーツ交換の取り組みを通して～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
46. 上薗優子:動線を考えた業務のスリム化～預かり物品の整理を通して～．第 2 回慈愛会学会学術集会, 2022 年 7 月 9 日，鹿児島
47. 中薗明子：精神科病院における新型コロナウイルス感染症病棟看護師のストレス調査～現状と課題～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
48. 内田宏貴，郡田かおり：当院における特定看護師活動推進マニュアル導入について～周知活動と実践トレーニングレポートの成果～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
49. 加藤和広：新型コロナウイルス感染症クラスター発生施設におけるメンタルヘルス支援活動．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
50. 福栄作，大井美樹（日本精神科看護協会支部事務局気付）：精神看護学実習において実習指導者が行う意図的関わりの実践から見える指導の特徴．第 29 回日本精神科看護専門学術集会，2022 年 11 月 19-20 日，島根

奄美病院

＜国内＞

51. 大野美和：看護補助者との協働による医療安全の取り組み．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
52. 富丸千奈美：ICT 委員の教育体制の構築．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
53. 清あかり：外来継続看護の確立を目指して－情報共有と連携強化から見えてきたもの－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島
54. 本山健太:精神科病棟で働く職員のストレスに関する現状の把握と今後の展望－体験の共有･共感がもたらす効果－．第 29 回日本精神科看護専門学術集会，2022 年 11 月 19-20 日，島根（Web）
55. 成田清美：患者のアドヒアランスの向上に向けた内服援助－内服自己管理方法の変更からみえたもの－．第 29 回日本精神科看護専門学術集会，2022 年 11 月 19-20 日，島根（Web）

徳之島病院

＜国内＞

56. 上野博之，伊藤智子：新型コロナウイルスワクチン接種の意識調査～感染予防への行動変容～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
57. 白山洋美，吉元初美，嶺井千春，川原香織，城間いずみ：離島で働く人達の不安軽減に向けた多職種の思い．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
58. 屋綾子：自炊講座の取り組みから見えた課題．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
59. 福島絵理子：外国人技能実習生受け入れによる看護補助者の役割意識の変化．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

愛と結の街

＜国内＞

60. 加納美紀，中村真由美：帰りたい思いに寄り添って，グループホームで穏やかに過ごす～情報から見える A 氏への関わり方を考える～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
61. 中馬健一：住宅型有料老人ホームにおける生活支援の在り方について～ほがらかハウスの事例からの考察～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
62. 徳田めぐみ，前屋敷さよ子：中等度認知症の家族指導　本人の理解力のある段階で．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
63. 上赤栄造：通所リハビリ併用利用者と通所介護単独利用者との比較・分析～取り組みに対する意欲の差について～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
64. 濱田小百合：65 歳以下の介護度が維持または軽度に移行した方と重度に移行した方の差について．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

教育開発センター

＜国内＞

65. 池田貴美子，木佐貫涼子，米丸直美：管理者任用候補者選考制度における研修目標の達成度～受講動機別目標達成度の比較と考察～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1．中村倫丈：成人看護学Ⅱ呼吸機能障害の看護．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程看護科非常勤講師，2022 年 4 月 -6 月，鹿児島
2．中村倫丈：共通基本技術Ⅱフィジカルアセスメント．久木田学園看護専門学校非常勤講師，2022 年 7 月 -9 月，鹿児島
3．中村倫丈：高齢者権利擁護推進事業における看護実務者研修会．鹿児島県（鹿児島看護協会委託），2022 年 7 月 6 日，鹿児島
4．中村倫丈：フィジカルアセスメント・入門コース．鹿児島看護協会訪問看護師養成研修，2022 年 7 月 16 日，鹿児島
5．中村倫丈：フィジカルアセスメント・e ランコース．鹿児島看護協会訪問看護師養成研修，2022 年 8 月 6 日，鹿児島
6．中村倫丈：フィジカルアセスメント．鹿児島看護協会大島地区看護師研修会，2022 年 10 月 8 日，鹿児島
7．浜辺恵里香：入退院支援応用編．看護協会教育研修会，2022 年 10 月 24 日，鹿児島
8．浜辺恵里香：退院支援．令和 4 年鹿児島県 MSW 協会基礎研修，2022 年 12 月 3 日，鹿児島
9．浜辺恵里香：ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現．主任介護支援専門員研修，特定非営利活動法人鹿児島県介護支援専門員協会，2022 年 12 月 15 日，2023 年 2 月 16 日，鹿児島

いづろ今村病院

10. 中窪尊子：緩和ケア学．鹿児島純心女子大学，2022 年 6 月 29 日，鹿児島
11. 中窪尊子：第 8 回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム．NPO 法人日本ホスピス緩和ケア協会九州支部，2022 年 8 月 27 日，9 月 23-24 日，10 月 1 日，Web
12. 尾堂ゆかり：糖尿病重症化予防（フットケア）研修，鹿児島県看護協会，2022 年 11 月 16-18 日（全 3 回），鹿児島

谷山病院

13. 内田宏貴：精神科認定看護師教育課程対象理解Ⅰフィジカルアセスメント．日本精神科看護協会，2022 年 5 月 28-29 日，Web
14. 中薗明子：倫理的な組織文化の醸成．第 47 回日本精神科看護学術集会，2022 年 6 月 24-25 日，沖縄
15. 中薗明子：ファーストレベル教育課程人材管理Ⅰ．公益社団法人鹿児島県看護協会認定看護管理者ファーストレベル教育，2022 年 8 月 23 日，鹿児島
16. 内田宏貴：精神科認定看護師教育課程演習Ⅰ．日本精神科看護協会，2022 年 8 月 26-27 日，Web
17. 内田宏貴：認定看護セミナー．学校法人原田学園鹿児島医療技術専門学校講義，2022 年 10 月 6 日，鹿児島
18. 中薗明子：倫理綱領の改正を受けて現場がどのように取り組んでいくか．第 29 回日本精神科看護専門学術集会，2022 年 11 月 19-20 日，島根

愛と結の街

19. 川﨑愛:生活支援～食事について～．鹿児島医療福祉専門学校介護福祉学科，2022 年 4 月 8･25 日，5 月 9･16･23 日，6 月 6・13・20・27 日，7 月 4・11・25 日，8 月 29 日，9 月 5・12 日，鹿児島
20. 原口悦江：老年看護学方法論Ⅱ．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2022 年 5 月 23・30 日，6 月 20・27 日，鹿児島
21. 前屋敷さよ子：認知症について．妙行寺 認知症サポーター養成講座，2022 年 7 月 17 日，鹿児島
22. 木場田哲也：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島医療技術専門学校看護科，2022 年 9 月 5・12 日，鹿児島
23. 今西由香：老年看護学方法論Ⅰ．鹿児島医療技術専門学校看護科．2022 年 9 月 26 日，10 月 3 日，鹿児島
24. 川﨑友義：チームマネジメント．鹿児島女子短期大学，2022 年 9 月 30 日，10 月 7・14・21・28 日，11 月 4 日，12 月 2・9・16・23 日，2023 年 1 月 13・20 日，鹿児島
25. 宮田強：わたしは歩けるよ～グループホームでの個別リハビリへの取組み～．第 27 回鹿児島県老人保健施設大会，2023 年 2 月 14 日，鹿児島
26. 前屋敷さよ子：認知症の方が住み慣れた地域で暮らし続けていけるために．認知症等見守メイト研修会，2023 年 2 月 25・28 日，鹿児島

看護部支援室

27. 木佐貫涼子：慈愛の心．鹿児島中央看護専門学校 3 年課程，2022 年 4 月 22 日，5 月 13・20・27 日，鹿児島
28. 今村健次：医療安全．学校法人原田学園鹿児島医療技術専門学校，2022 年 6 月 7 日 -7 月 5 日（全 8 回），鹿児島

【受賞】

今村総合病院

1．松山郁子：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県看護協会，2022 年 5 月
2．吉森みゆき：看護業務功労者表彰．公益社団法人鹿児島県看護協会，2022 年 5 月
3．西森識：「特定行為研修を修了した看護師の看護実践に対する変化」第 2 回慈愛会学会学術集会　口演発表優秀賞．2022 年 8 月 1 日
4．松山郁子：「新人看護師成長パス・指導者パスの導入を試みて」第 2 回慈愛会学会学術集会　ポスター発表優秀賞．2022 年 8 月 1 日

いづろ今村病院

5．中窪尊子：鹿児島県看護協会長表彰．鹿児島県看護協会，2022 年 4 月

谷山病院

6．早水裕子：「楽しい安全活動の推進～２つの活動を通して～」第２回慈愛会学会学術集会　ポスター発表奨励賞．2022 年 8 月 1 日

徳之島病院

7．白山洋美：「離島で働く人達の不安軽減に向けた多職種の思い」第２回慈愛会学会学術集会　口演発表特別賞．2022 年 8 月 1 日

教育開発センター

8．池田貴美子：「管理者任用候補者選考制度における研修目標の達成度～受講動機別目標達成度の比較と考察～」第２回慈愛会学会学術集会　ポスター発表奨励賞．2022 年 8 月 1 日

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

リハビリテーション部門

中長期計画		2022年度 事業計画（Stage5）	実施　2022.4月～ 2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
リハビリ部	医療から介護・精神科含めたシームレスな地域連携	(1). 早期社会復帰に向けての退院前リハ指導 ・PT協会ハンドブックによる適切なツールを用いての質の高いリハ指導。(総合) ・退院前だけでなく入院早期からの訪問指導。 ・退院前の担当者会議への積極的参加。(総合) ・退院前カンファレンスへの積極的参加、サマリーの作成100％を目指す（総合ST） ・退院前訪問指導への積極的参加（前年度12件）（徳之島） ・外来向けサマリーの定着（徳之島） ・退院前訪問指導への同行（奄美） ・初回面談からの積極的退所後のリハサービスの提案（老健）セルフマネジメントへのシフト（老健） ・入所前後（退所前後）訪問の拡大及び充実により早期からのリハ介入・目標設定の共有（老健）	奄美：コロナ感染対策により退院前訪問指導同行見合わせ 総合：PT協会ハンドブックを使用し、自宅退院患者への指導90％以上実施できた。 総合：回復期入院直後に、必要な患者を対象に自宅訪問し、早期在宅復帰の具体的治療計画につなげた。 総合：退院前の担当者会議への参加はなかった。 徳之島：サマリー作成についてスタッフへ啓蒙。 老健：医療と介護の連携についてのミーティング実施	全施設：コロナ感染拡大対策でのご家族見舞い制限のため、家族に対する退院時の実技指導は紙面での指導に変えることとなった。 総合：回復期入院直後の訪問に対しコロナ禍より抵抗感を示すご家族もいらした。 総合：退院前の担当者会議への参加は、コロナ対策より見合わせた。 徳之島：作成しているサマリー内容・効率的作成方法検討。 老健：通所利用者に対する満足度調査実施	徳之島：質の高いサマリー作成定着・継続。 老健：初回面談からの積極的退所後のリハサービスの提案。セルフマネジメントへのシフト継続。
		(2). 在宅状況維持への訪問リハ活動推進 ・離島訪問看護同行継続と後任の育成（徳之島） ・指定特定相談支援事業所のモニタリング会議への参加（奄美デイケア） ・医療・介護分野とのシステム連携の検討（高麗町） ・情報共有の迅速化、Ｗｅｂ会議ツールの活用（高麗町） ・入所から訪問までの同セラピストのシームレスな支援体制（老健）・退所直後の訪問充実（老健） ・訪問リハビリ終了後の定期的な訪問（電話）での状態確認の開始→リピーター確保（老健） →セラピストによる退所後のアウトリーチ機能の見直し・強化（老健）	徳之島：4月、5月与論島・沖永良部島6月沖永良部島で離島訪問看護に計5回同行 徳之島：沖永良部島の保健センターとの退院前カンファレンス実施。 徳之島：離島訪問看護同行継続中（沖永良部島3回、与論島2回実施） 奄美：指定特定相談支援事業所のモニタリング会議参加：90 ～ 95％参加達成。 老健：訪問リハビリ終了後の定期的な訪問（電話）での状態確認実施100％	徳之島：後任育成のため離島訪問看護同行のメンバーを交互に変えて実施。 徳之島：沖永良部島の保健センターとの退院前カンファレンスをZoomで計画。 奄美：モニタリング会議参加のためのシステムの確認・見直しを検討 老健：訪問リハビリ終了後の定期的な訪問（電話）での状態確認を実施しているがリピーター確保に関しては、開始後の期間不足（１年未満）で未評価。	徳之島：後任育成も可能な方法で離島訪問看護同行継続。 徳之島：沖永良部島の保健センターと退院前カンファレンスをZoomで実施、今後継続。 奄美：モニタリング会議参加のためのシステム構築・継続。 老健：訪問リハビリ終了後の定期的な訪問（電話）でのリピーター確保の取り組み継続。
		(3). 病院と介護施設との連携（慈愛会内での在宅復帰向上） ・リハサマリー送付。サマリー内容検討（書式検討・客観的検査画像データ等も）(総合) ・新人スタッフの介護施設での業務体験を計画。(総合) ・病院～介護施設を経由して在宅復帰に至った症例の情報共有（症例報告やZoomカンファの検討）(総合) ・サマリーの提供と見学の同行で退院先施設との連携強化（徳之島） ・地域生活支援部門連絡会の実施（谷山） ・リハビリテーションサマリーの定着と見直し（谷山） ・デイケアの機能分化（谷山） ・介護施設へのリハビリ情報の提供（奄美） ・定期的な情報共有体制の整備（老健）・入退所マネジメント業務へのセラピストの介入開始（老健） ・病院から老健への紹介者数の設定（老健） ・老健の居宅サービス（通所系事業所・訪問リハ）の充実と広報活動（老健）	総合：リハサマリー内容検討修正（効率的な書式・送付先ニードを考慮：客観的データ等も） 総合：新人スタッフの介護施設での業務体験は実施できず。 総合：病院～介護施設を経由して在宅復帰に至った症例についてビックアップした。 徳之島：退院先施設への見学に同行（対象者3名） 谷山：地域支援部門連絡会へ参加。 老健：通所系合同送迎にリハスタッフ参加（事業所全体の業務効率化のため） 奄美：リハスタッフの病棟業務サポート（病棟スタッフ不足のため） 老健：HPでリハビリ利用の案内 老健：デイケア南日本新聞の取材及び記事掲載 老健：デイケア厚生労働省老健局主催生産性向上プロジェクト参加	総合：修正リハサマリー内容について、送付先のフィードバックを元にブラッシュアップ。 総合：新人スタッフ介護施設業務体験はコロナ禍で実施不可なるも、希望はあった。 総合：病院～介護施設～在宅復帰の症例も、評価の統一等が必要なことが判明。 徳之島：退院先施設へ見学同行し、より詳細な申し送りが実施できたことで、他施設との連携が深くなった。通常業務への影響も検討必要。 谷山：地域支援部門連絡会がリワーク、広報の会議に分化 老健：通所系合同送迎にリハスタッフ参加による利用者へのリハ提供への影響・リハスタッフの心身の健康への影響の検証でリハスタッフの健康面は維持。 奄美：リハスタッフの病棟業務サポートによる利用者へのリハ提供への影響検証必要。 老健：HPでの広報のブラッシュアップ検討。 老健：マスメディアでの広報の効果を認識。	総合：効率的に作成でき、内容も送付先のニードにあう修正リハサマリー運用継続 総合：スタッフの学習意欲に沿って、また、慈愛会リハ部交流の意義もあり、次年度は再度計画を検討していく。 総合：病院～介護施設～在宅復帰の方で評価も統一（工夫）された症例をまとめ、次年度のリハ活動発表会で報告する。 徳之島：通所業務の影響の評価よりシステム変更も考慮しながら退院先施設見学同行継続。 谷山：リワーク、広報の会議に分化した地域支援部門連絡会へ参加継続。 老健：通所系合同送迎にリハスタッフ参加の継続による利用者へのリハ提供への影響・リハスタッフの心身の健康への影響の検討継続。 奄美：リハスタッフの病棟業務サポートによる利用者へのリハ提供への影響検討継続。 老健：次年度よりHPでの広報に、リハ効果実績の報告も追加していく。 老健：個々のリハスタッフも、広報機会に係る情報を意識的に取得していく。
	人材確保・育成と教育体制の充実	(1). 慈愛会内施設でのスタッフローテーション ・いづろ今村、高麗町クリニックへのスタッフの異動・ローテーション（総合） ・新人スタッフの他施設への業務体験を計画（総合） ・離島病院との人事交流の継続（谷山） ・ワークライフバランスを尊重した職場環境の整備（高麗町） ・離職防止に向けた支援体制の構築（いづろ） ・人事異動時のタスクシェア・タスクシフト体制の充実（いづろ） ・目標・期間を明確化した新たなローテーション体制の確立（老健） ・生活リハビリ（多職種連携）に向けた・共育体制の充実（老健）	総合：リンパドレナージ業務にて週1回１日いづろ今村病院へ出向　１名 総合：訪問リハビリ業務への異動希望スタッフと、高麗町クリニックリハスタッフによる訪問リハ学習のための交流実施 総合：新人スタッフの介護施設での業務体験は実施できず。 谷山：離島病院との人事異動は本年度はなし。 老健：在宅支援充実に向けたカンファレンスの見直し実施	総合：リンパドレナージ担当リハスタッフのいづろ今村病院への異動検討。 総合：訪問リハビリ業務への異動希望スタッフと、高麗町クリニックリハスタッフによる訪問リハ学習のための交流実施 総合：新人スタッフ介護施設業務体験はコロナ禍で実施不可なるも、希望はあった。 谷山：離島病院との人事交流・異動計画は、Zoom会議で検討継続。 老健：在宅支援充実に向け修正したカンファレンスの効果検証、内容再検討。	総合：リンパドレナージ担当リハスタッフのプライベートの事情により困難となった。後継者の希望を募っていく。 総合：スタッフの学習意欲に沿って、また、慈愛会リハ部交流の意義もあり、次年度は再度計画を検討していく。 谷山：離島病院との人事交流は、Zoom会議で検討継続し、必要に応じて離島スタッフには責任者以外のスタッフの発言の場をつくり、モチベーション向上につなげる。 老健：在宅支援充実に向けた効果的なカンファレンス実施継続。

中長期計画		2022年度 事業計画（Stage5）	実施　2022.4月～ 2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
リハビリ部	人材確保・育成と教育体制の充実	(2). 能力開発（クリニカルラダー）の推進 ・クリニカルラダーを用いたスタッフへの教育・指導（申請100%を目指す）（総合） ・クリニカルラダーの内容更新（協会プログラムとのリンク）と適切な運用の見直し（総合） ・臨床実習指導者講習会へ参加（徳之島） ・職員の資格取得やキャリアアップをサポート（高麗町） ・他職種、養成校学生への教育支援（いづろ） ・ラダー対象外セラピストのラダーの検討もしくは代替手段の確立（老健） ・PT・OT・ST協会主催各種研修会受講（老健）・eラーニングの活用（老健）	総合：クリニカルラダー申請　39名 老健：クリニカルラダー申請　8名 奄美：クリニカルラダー申請　2名 徳之島：クリニカルラダー申請　3名 いづろ：臨床実習　通所2名、病院1名 総合：臨床実習　5名 老健：臨床実習　2名	総合：クリニカルラダー認定　22名 老健：クリニカルラダー認定　8名 奄美：クリニカルラダー認定　2名 徳之島：クリニカルラダー認定　2名 いづろ・総合・老健：コロナ禍での中止もあり。	クリニカルラダー認定されなかったスタッフは次年度継続。 申請しなかったスタッフは次年度申請を促す。 申請しなかったスタッフへの面談・アンケート等より、100%申請への対策を検討する。 いづろ・総合・老健：通常業務への影響とリハスタッフの心身の健康維持に配慮しながら受け入れ継続
		(3). 心リハ指導士・がんリハ研修・専門・認定セラピスト等育成 ・資格取得者の可視化と、院内・リハ部内での役割・位置づけを検討する。(総合) ・適性のあるスタッフの掘り起こしの継続（総合） ・専門・認定作業療法士の育成（谷山） ・ACP関連の研修受講（いづろ） ・CDE資格取得支援（いづろ） ・認知症ケア専門士資格取得（老健）・訪問リハビリ実務者研修全員修了（老健） ・地域包括ケア推進リーダー・介護予防推進リーダーの資格取得（老健）	いづろ：地域糖尿病療養指導士更新　7名 総合：登録理学療法士取得　1名 総合：がんのリハビリテーション研修　4名 総合：第一種衛生管理者取得　1名 谷山：鹿児島県災害派遣精神医療チーム鹿児島県DPAT構成員　1名 谷山：キネシオテーピング協会認定キネシオトレーナー（CKTT）認定　1名 老健：認知症ケア専門士資格取得　1名 老健：終末期ケア専門士資格取得　1名	いづろ・総合・谷山・老健：コロナ禍より、計画していた資格取得が中止となったものもあった。	いづろ・総合・谷山・老健：各自が率先し、配属先の臨床に役立つ資格を取得、各個人のスキルアップと、他職種とのチーム医療への貢献継続。
	Ｂｉｇ Ｄａｔａのｕｐｄａｔｅと活用（県民への還元）①	(1). 各施設での臨床データ収集とup date ・個別リハビリ、補完代替リハビリ（POC介入）のアウトカムデータ収集・分析（いづろ） ・糖尿病療養者の介入効果に関するデータ収集・分析（いづろ） ・科学的介護LIFEの導入（いづろ） ・運転評価データ収集継続（総合） ・収集項目の再検討、入力率100%を目指す（総合ST） ・精神科での身体リハの効果分析（奄美） ・精神科における車いす使用者への身体的アプローチの検討（徳之島） ・FIM・FAIの蓄積及び分析（老健） ・LIFE活用による自施設の立ち位置の確認及び分析（老健）	いづろ：糖尿病療養者の介入効果に関するデータ収集 総合：運転評価125件（入院107件　外来18件） 総合：ST臨床評価のデータ収集 奄美：精神科身体リハ対象患者、57名 徳之島：精神科身体リハ、6件/月 老健：小原町町内会での健康講話実施 老健：介護現場における生産性向上推進フォーラムにて発表1名 老健：アウトカムデータ（FIM・FAI）実施 老健：アウトカムデータ（FIM・FAI）実施	いづろ：糖尿病療養者の介入効果に関する収集データ分析 総合：運転評価結果分析・収集方法振り返り 総合：ST臨床評価の収集データ項目を再検討、一部変更 奄美：精神科での身体リハの効果分析 徳之島：精神科での身体リハの効果分析 老健：近隣地域への貢献について意見交換 老健：介護現場における働き方改革についてチーム内での意見交換 老健：アウトカムデータ（FIM・FAI）蓄積の振り返り 老健：LIFEに関する活用の研修会開催（第1回）、分析	いづろ：糖尿病療養指導による運動継続状況データ収集分析継続 総合：運転評価結果分析・収集継続 総合：ST臨床評価の効果的なデータ収集継続 奄美：精神科でのより効果の高い身体リハ継続、データ収集継続 徳之島：精神科でのより効果の高い身体リハ継続、データ収集継続 老健：地域共生社会の実現に向け、役割を果たしていくように今後も計画していく 老健：介護現場における生産性の高い働き方について実践・検討継続 老健：アウトカムデータ（FIM・FAI）蓄積継続 老健：アウトカムデータ（FIM・FAI）の蓄積継続
		(2). 臨床データに基づいた、学会発表・論文作成 ・膝前十字靭帯断裂術後のスポーツ復帰・再断裂率等の継続調査、毎年発表（総合スポーツPT） ・学会発表、論文作成２人以上（総合ST） ・全員最低5年に１回以上発表又は論文継続（総合一般PT） ・精神科における嚥下機能へのアプローチについてまとめる（谷山） ・職員の資格取得やキャリアアップをサポート（高麗町） ・老健大会（九州大会）での発表「FAI分析結果」（老健）	総合：日本言語聴覚士協会九州地区学術集会発表2名（内大会長賞受賞１名） 総合：九州理学療法学会発表　1名 総合：日本運動器理学療法学会発表　4名 総合：慈愛会学会発表　1名 総合：日本造血・免疫細胞療法学会発表　1名 総合：日本スポーツ理学療法学会発表　2名 総合：日本医療マネジメント学会発表 7名 総合：スポーツ整形院内研究会発表　14名 いづろ：日本医療マネジメント学会発表 1名 谷山：慈愛会学会発表　1名（嚥下アプローチ）	総合・いづろ・谷山：臨床データ蓄積・分析の結果を周知、実臨床へ生かす工夫検討。	総合・いづろ・谷山：臨床データ蓄積・分析継続。報告継続。
	Ｂｉｇ Ｄａｔａのｕｐｄａｔｅと活用（県民への還元）②	(3). エビデンスのある、県民への地域リハ・教育講演開催 ・県委託事業（お達者クラブ講話）への参加（総合） ・垂水市との連携参画：ことばの発達支援（総合ST） ・産前産後の理学療法開始（総合PT） ・認知症カフェの参加・講話（奄美） ・近隣公民館での出前講師（いづろ） ・地域包括支援センター、近隣包括支援センターへの働きかけ（いづろ） ・認知症カフェ（老健G）への参加及び健康教室開催（老健） ・生活機能向上連携加算を活用した慈愛会外部での出張訪問等の検討（老健）	総合：総合-垂水市連携事業　ことばの発達支援実践　ST1名　4件/2022年度 総合：総合-垂水市連携事業　講演「産後ママの身体ケア」 PT ２名 1件/2022年度 総合：産前産後理学療法実施　40件/2022年度 総合：消化器・泌尿器科術後患者の早期の自主リハビリパンフレット作成・配布 総合：透析患者向け自身の進退機能評価・自主リハビリYouTube動画配信 いづろ：近隣公民館での出前講師　実績無し 老健：グループホームとの生活機能向上連携加算取得	総合：総合-垂水市連携事業　ことばの発達支援　垂水市との情報共有方法検討 総合：総合-垂水市連携事業　講演後アンケート実施・集計・振り返り 総合：産前産後理学療法実施　患者満足度アンケート調査実施中 総合：パンフレット配布の患者様の声より、他の疾患へのパンフ作成の計画案。 総合：対象患者様より高評価あったが、時間の長さへの振り返りあり。 いづろ：地域婦人部からの講師要請あったものの、コロナ対策で実施に至らず。 老健：グループホームとの連携継続方法の振り返り、システム検証	総合：総合-垂水市連携事業　ことばの発達支援　安定した情報共有システムで継続 総合：総合-垂水市連携事業　講演アンケートより内容ブラッシュアップ、実践継続。 総合：産前産後理学療法実施継続　アンケート分析を今後に生かしていく。 総合：次年度の消化器・泌尿器科以外のパンフレット作成。 総合：透析関連以外のリハビリの短時間動画作成。 いづろ：感染に配慮しつつ地域支援に積極的に関わっていく。 老健：グループホームとの生活機能向上連携加算取得継続
	働き方改革・ＩＣＴの活用	(1). 財務の視点　標準18単位/day　精神科OT　17件／ day ・業務時間内での標準18単位算定（総合） ・加算の取得漏れや、算定ミスによる返戻対策に対するダブルチェックの取組（総合） ・精神科作業療法　14件/day（谷山） ・医療・介護分野とのシステム連携の検討（高麗町） ・個別リハ提供量確保による地ケア病棟施設基準維持　目標：1日平均2.5単位以上（いづろ） ・フレキシブルな活動の充実（算定外業務）及び数値化（老健） ・リハ以外の成果報酬加算への積極的なセラピスト介入（老健）	総合：14.6単位/day/リハスタッフ1名 いづろ：11.5単位/day/リハスタッフ1名（いづろ：地域ケア病棟個別リハ（1日平均）実績　2.55単位） 谷山：14.0件/day/リハスタッフ1名 奄美：13.9件/day/リハスタッフ1名 徳之島：11.5件/day/リハスタッフ1名 老健：通所リハ1日型再開 老健：訪問リハビリの外部受け入れ再開	標準18単位/day　精神科OT　17件／day　設定の基準の検討必要（理由：以下） いづろ：地域包括病棟では個別算定は一部のみ、スタッフの病院・介護事業所兼務 総合：コロナ禍でスタッフを病棟専従とし、病棟患者数とリハスタッフ数がアンバランスとなった 全てのリハ施設：コロナ禍でリハスタッフ家族原因の勤務制限が大きかった 老健：通所リハ1日型再開により利用者前年より増加傾向 老健：訪問リハ再開により利用希望に応え、件数増加（前年比3倍）	全てのリハ施設：withコロナでの算定向上につながる具体的数値目標の検討継続 老健：通所リハ1日型継続（短時間デイとの併用） 老健：訪問リハビリの外部受け入れ継続、件数upのシステム検討（慈愛会リハ部）

中長期計画		2022年度 事業計画（Stage5）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
リハビリ部	働き方改革・ICTの活用	(2). DXの活用にて、労働環境改善（超過勤務削減） ・臨床業務・その他業務に伴う項目も含み、限りなく紙ベースからデータへ変更、効率化を図っていく（総合） ・スタッフの業務内容のデータ化による内容の見直し（時間内業務・時間外業務の明確化）（総合） ・超過勤務時間を、各自前年度より1割減、または、月平均目標10時間以内へ減（総合一般PT・OT・ST） →心身へのストレス軽減・プライベートの時間確保へ繋げる（休職・退職者減少目的） ・TQM活動による業務改善（総合） ・算定外業務の業務量データ蓄積及び負担軽減策の検討（いづろ） ・業務マニュアルの見直し、活用にて業務の効率化（老健） ・多様な業務に対応するためのフレックス体制の検討（老健） (3). ワークライフバランス推進（継続勤務に繋げる） ・子育て・介護を要するスタッフへの理解を促す教育を実施する（総合） ・男性職員の育休・時短勤務の取得推進。（総合）　・リフレッシュ休暇の検討（総合） ・残業時間減（谷山） ・ワークライフバランスを尊重した職場環境の整備（高麗町） ・育児休暇、介護休暇、時短勤務取得等、公私生活充実への支援（いづろ） ・スタッフ不在時のフォロー体制構築（いづろ） ・定期的な面談実施とチャレンジプランを活用した働き甲斐のある職場環境作り（老健） ・リフレッシュ休暇（連続休暇）取得の義務化（老健）	総合：残業　5時間（スポーツ25時間）/月平均/リハスタッフ1名 いづろ：残業　4.13時間/月平均/リハスタッフ1名 谷山：残業　0～0.5時間/月平均/リハスタッフ1名 奄美：残業　0～0.5時間/月平均/リハスタッフ1名 徳之島：残業　0～0.5時間/月平均/リハスタッフ1名 老健：残業 5時間/月平均/リハスタッフ1名 いづろ・総合・老健：スタッフ間で相互協力を強化し、個々の希望休暇取得支援 高麗町：時間外業務を行わないような訪問時間に調整 総合：介護休業取得 1名 総合：男性育児休暇取得　3名 高麗町：介護休業取得　1名 いづろ：育児のための希望休暇取得に対する相互支援体制確立 老健：有能な人材の離職予防対策の新規時短勤務システム計画・導入	総合：コロナ対策（リハスタッフが病棟をまたいでのフォロー禁止）よる算定減 総合：算定外業務見直しと効率化の検討 いづろ：算定外の業務に要する時間集計・データ蓄積 いづろ・総合・老健：業務への影響の少ない効率的相互協力システムの構築検討 高麗町：業務全体を見直し、質を担保した上でより効率的時間配分を繰り返し検討 総合：男性育休をリハ部内で随時情報共有、周囲スタッフの理解を高める取り組み実践 総合：介護・男性育休取得の取得率の高さも働きやすい職場としてSNSで発信検討 いづろ：育児のための希望休暇相互支援体制を業務への影響より検証 老健：有能な人材の離職予防対策の新規時短勤務導入による業務への影響検証	いづろ・総合・老健：DX活用も含めさらなる改善を検討していく。 高麗町：時間外業務を行わないような訪問時間に調整継続 総合：男性育休申請への抵抗感減少、今後も周囲への情報共有継続 総合：応募の見学時SNS内容の問い合わせあり、で今後も継続 いづろ：業務影響を考慮した育児のための休暇相互支援体制継続 老健：業務影響のより少ない有能な人材の離職予防対策の新規時短勤務導入継続
	BCP（事業継続計画）・SDGs（持続可能な開発目標）への取組み	(1). 院内災害時でのリハスタッフ協力体制構築 ・防災に関するアクションプランの再確認（必要に応じて修正）とスタッフへの周知（総合） ・防災意識を高めるための教育。院内訓練への定期参加（総合） ・BCP作成への参画（徳之島） ・感染爆発、大規模災害発生等、有事を想定した際の事業継続案の策定（いづろ） ・老健におけるBCPの作成及び定期的な見直し（老健） ・リハ業務の選択・後方支援内容の検討・フェーズごとの行動マニュアルの作成（老健） (2). 地域リハ貢献活動（障害予防・健康増進活動含む） ・県委託事業（お達者クラブ講話）への参加（総合） ・地元保育園へ集団運動指導継続（徳之島） ・小原町高齢者クラブでの健康講話（谷山） ・認知症サポーター養成講座での講師（谷山） ・糖尿病療養者への講義、実技指導による運動支援継続（いづろ） ・フレイル対象者への支援体制構築（いづろ） ・小原町高齢者クラブでの健康講話・骨折予防教室（老健） ・通所を卒業された方の受け皿の検討（ボランティア）（老健） (3). SDGsでのスタッフの労働安全・リハ治療技術革新 ・嚥下電気治療機器の勉強会開催、最新心理検査の導入・勉強会開催（総合ST） ・最新の機器（機能的電気刺激・ロボット）の学習を深め、安全で効果の高い治療を推進（総合） ・院内スタッフの腰痛予防対策の取り組み（日本PT協会認定）を継続する（総合） ・職員の腰痛予防に向けた取り組みの継続（いづろ） ・近隣医療機関、施設との合同研修会開催（いづろ） ・腰痛対策として福祉用具の活用及び使用に関する研修会の開催（老健）	総合：コロナ感染拡大時の対応マニュアルに沿って実施 総合：スタッフの院内防災訓練への定期参加実施 いづろ：リハビリ室独自の防災訓練（大規模災害想定）実施 老健：フェーズごとの行動マニュアルの作成・実施 徳之島：地元保育園への運動指導を1回/Wで実施 いづろ：院内糖尿病教室講義資料改訂・講義動画撮影 いづろ：鹿児島県糖尿病療養指導士会にて地域保健師向け講義実施 老健：小原町町内会での健康講話実施 老健：一般療養棟で転倒予防講話の実施 総合：電気治療・ロボット治療の実績50-60件/月（加算対象2-3件/月） いづろ：職員腰痛予防対策動画作成 老健：スタッフ・利用者の腰痛予防対策のための福祉用具活用実技講習会実施	総合：複数のクラスター発生に沿って、対応マニュアルを繰り返し修正 総合：防災意識向上の教育・院内防災訓練定期参加継続 いづろ：リハビリ室独自の防災訓練（大規模災害想定）後の振り返り 老健：利用者へのリハ提供に影響が少ない他部署支援とする行動マニュアルへ変更 徳之島：通常業務への影響・保育園依頼頻度を1回/2Wへ見直し いづろ：改訂版教室講義資料の検証・撮影講義動画の使用方法検討 いづろ：個人の休み利用での派遣に関わるスタッフの意欲向上と時間負担感を検証 老健：小原町町内会での健康講話中の参加者の声より内容検証 総合：電気治療・ロボット治療の積極的使用の対策検討 いづろ：職員腰痛予防対策動画の院内サイトでの視聴検討	総合：コロナ5類移行に伴う対応マニュアル検討中 防災意識を高めるための教育。院内訓練への定期参加継続 いづろ：持続可能なリハビリ室独自の防災訓練（大規模災害想定）継続 老健：コロナ5類移行に伴う対応マニュアル検討中 徳之島：地元保育園への運動指導を1回/ 2Wで継続 いづろ：改訂版教室講義資料継続使用・撮影講義動画の使用方法検討継続 いづろ：個人の休み利用での派遣に関わるスタッフの意欲向上に繋がる形で今後も継続 老健：満足度の高い地域住民のための健康講話継続 総合：ミーティングでの件数周知、対象患者の拾い上げ・効率的使用方法の啓蒙継続。 いづろ：職員腰痛予防対策動画の院内サイトでの視聴準備中
	慈愛会リハビリ部連携強化	(1). 毎月の精神科・一般身障リハ責任者会議継続 ・情報共有徹底で、所属スタッフの慈愛会内他施設への関心・理解を高める（総合） ・一般・精神化連携へ、所属スタッフより新規提案を促していく（総合） ・谷山と老健Gの連携体制の整備（老健） (2). 医療・介護分野スタッフとの意見交換含む活動実施 ・慈愛会法人内他施設への新人スタッフの見学や業務体験などを計画（総合） ・症例報告、Zoomカンファの検討（総合） ・Web会議ツールの活用（高麗町） ・医療-介護スタッフ間での業務フォロー体制の維持（いづろ） ・病院へのご利用者の情報のフィードバック体制の構築（ICT活用）（老健） ・生活リハに焦点を当てた事例紹介・報告会の検討（老健）	老健OT：介護現場における生産性向上推進フォーラムにて発表1名 いづろ：コロナ感染対策業務においての病院スタッフ不足に対するリハ部フォロー実施 総合・老健：Zoomでのスタッフ個人面談実施	老健：医療と介護の連携にて共通の症例に関する情報フィードバック効果検証 いづろ：病院スタッフ不足のリハ部フォローによる患者リハビリ業務への影響検証 総合・老健：コロナ禍での施設を超えたスタッフ個人面談の方法検討	老健：医療と介護の連携による情報フィードバック・対外的報告持続 いづろ：5類移行後のコロナ対策時は患者へのリハ提供時間を考慮しながら協力体制構築 総合・老健：コロナ禍での施設を超えたスタッフ個人面談の方法検討継続

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会リハビリ部には、2022年4月現在、150人超えの理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）が所属しております。

身障系リハビリの領域では、一般急性期病院のいづろ今村病院・今村総合病院、介護保険事業所の老健愛と結の街グループ、地域医療の高麗町クリニックがあります。精神科リハビリ領域では、谷山病院・奄美病院・徳之島病院があり、それぞれの施設で、PT・OT・STが臨床・教育・研究に携わっています。（慈愛会リハ施設概況表参照）

1．慈愛会身障系リハ施設責任者会議（Zoom）

（参加者：いづろ今村病院・今村総合病院・愛と結の街・高麗町クリニック・慈愛会リハ部統括室長/統括室長補佐）

年4回開催：5月.8月.11月.2月の第4水曜日　17：00 ～

＜内容＞

①各施設リハ部門の現状報告と展望

（リハスタッフの動向・学生指導・施設内感染対策等含む）

②慈愛会リハ活動発表会準備会議

発表会テーマ「連携」

2022年度　「多職種連携」

2023年度　「施設間連携」

2024年度　「地域連携」

上記テーマに沿った活動を意識的に実践・報告してもらうこととした。開催時期は、コロナ禍より感染拡大状況を考慮し11月開催とした。

会場はかごしまオハナビルをメインに各施設Zoomとするハイブリッド形式。

精神科リハ施設（谷山・奄美・徳之島）もZoomで参加した。

③慈愛会リハビリ部内人事異動

2022年度はセラピストの人事異動の実施はなかったが、慈愛会内での環境変化にて更なるスキルアップに繋げるため、次年度はいづろ今村と今村総合の間で1名、今村総合と高麗町クリニック間で2名の異動を計画している。

④慈愛会リハビリ部内　物品有効活用

各施設内で使用しない物品の情報共有行い、有効活用へ結びつけた。

⑤その他

慈愛会フィロソフィ、事業計画・報告、教育（ラダー啓発）・研修、診療報酬改定、飲酒運転防止等

以上について話し合い、各施設との情報共有と連携向上に繋げている。

2．慈愛会精神科リハ施設責任者会議（Zoom）

（参加者：谷山病院・奄美病院・徳之島病院・慈愛会リハ部統括室長/統括室長補佐）

年12回開催：毎月第3水曜日　16：00 ～

＜内容＞

①各精神科施設リハ部門の現状報告と展望

（リハスタッフの動向・学生指導・施設内感染対策等含む）

②今年度の慈愛会精神科リハ活動発表会準備会議

開催時期は、コロナ禍より感染拡大状況を考慮し10月開催とした。

会場は徳之島病院をメインに各施設Zoomで参加とした。

身障リハ施設（今村総合病院）のスタッフの参加もあった。

③人事異動

谷山病院と奄美病院、谷山病院と徳之島病院にて、セラピストの人事異動。慈愛会内での環境変化にて更なるスキルアップに繋げた。

④物品有効活用

⑤その他

慈愛会フィロソフィ、事業計画・報告、教育（ラダー啓発）・研修、診療報酬改定、病院の感染対策、飲酒運転防止等について話し合い、各施設の情報共有と連携向上に繋げている。

合同研修会

「第11回　慈愛会リハビリテーション合同活動発表会」

・2022年11月19日（土）15:30-17:30

・メイン会場：かごしまオハナビル３階大会議室

・サテライト会場：今村総合病院A棟4階大会議室

・参加者所属施設：今村総合病院・いづろ今村病院・愛と結の街・高麗町クリニック・谷山病院・奄美病院・徳之島病院

・司会：今村総合病院　理学療法士　森脇 隆太

【内容】
1．理事長挨拶
慈愛会 理事長　今村 英仁
2．活動発表
第１セッション
座長　今村総合病院　理学療法士副主任　能勢 ひろみ
①Hb2g/dlをきる最重症貧血による長期臥床後に歩行再獲得した症例についての報告
いづろ今村病院　理学療法士　野田 佳孝
②多角的なつながり・連携について～1症例を通じて改めて感じたこと～
愛と結の街　理学療法士　細樅 友美
③食への意欲が低下した患者に他職種と連携することで経口摂取量の改善を認めた一例
今村総合病院　言語聴覚士　櫻井 明依理
第２セッション
座長　今村総合病院　作業療法士副主任　福岡 直幸
④産後リハビリテーション立ち上げ時の多職種連携
今村総合病院　理学療法士　津曲 麻美
⑤広報の新たな取り組み
今村総合病院　理学療法士　梶原 良太
⑥作業療法士の視点と今後の取り組み～多職種連携へ向けて～
今村総合病院　作業療法士　村田 耕一

3．総括
慈愛会　リハビリテーション部 部長　堂園 浩一朗

「第11回　慈愛会精神科リハビリテーション合同活動発表会」
・2022年10月22日（土）15:30-17:30
・メイン会場：徳之島病院（作業療法室）
・サブ会場：谷山病院・奄美病院
・実行委員（総合責任者/実行委員長：真喜志元希、総合司会：古田真悟）
【内容】
1．理事長挨拶
慈愛会　理事長　今村 英仁
2．活動発表
第１セッション
座長　徳之島病院　作業療法士　地村 尚人
①作業療法士の視点を活かしたコロナ対応病棟のクリーニング業務改善～残業時間の短縮を中心に
就労支援センターステップ　作業療法士　鰺坂 憲弘
②当院における身体的アプローチの必要性
徳之島病院　作業療法士　城間 いずみ
③コロナを糧に－進化するデイケア－
谷山病院デイケア　作業療法士　岩吉 雄太郎
第２セッション
座長　徳之島病院　作業療法士　田中 智大
④コロナ禍での作業療法～ QOLの維持を目指して～
徳之島病院　作業療法士　古田 真悟
⑤コロナ禍で魅せる！！ OT室の工夫
谷山病院　作業療法士　重久 健太郎
⑥コロナ禍における本院精神科作業療法の運営状況とその課題
奄美病院　作業療法士　森山 祐
3．企画
『作業療法中の各病院の様子』
・谷山病院・奄美病院・徳之島病院
4．総括
慈愛会　リハビリテーション部統括室長　浜田 香穂麗

技能・能力向上に向けた取り組み

（主な資格取得状況）（2022年度内取得）
・臨床実習指導者講習会受講　OT1名（谷山）
・公認心理士　ST2・PT1名（愛結ST1名　今村総合2名）
・認知症ケア専門士　ST1名（愛結）
・終末期ケア専門士　ST1名（愛結）
・認定理学療法士：脳血管1名、循環器1名、呼吸1名（総合PT）
・登録理学療法士：1名（総合PT）
・がんのリハビリテーション研修修了：3名（総合PT）
・厚労省の臨床実習指導者講習会参加者：4名（総合PT3名・谷山OT1名）
・第一種衛生管理者：1名（総合PT）
・BLSプロバイダー：1名（総合PT）
・（資格更新）鹿児島県地域糖尿病療養指導士・3学会呼吸療法認定士・日本PT協会認定・専門理学療法士資格・他（いづろ今村PT・総合PT複数名）

※各リハスタッフ、PT・OT・STの国家資格だけでなく、配属先の臨床に役立つ資格を取得し、各個人のスキルアップと、他職種とのチーム医療に役立てている。

公益財団法人慈愛会　各施設リハビリ概況表（2023 年 2 月現在）

施設名	今村総合病院		リハビリテーション基準		脳血管Ⅰ・運動器Ⅰ・呼吸器Ⅰ・廃用Ⅰ・心大血管Ⅰ・がんリハ			
病床数	428 床	外来患者：530 名／日		リハビリ対象患者：	入院 250 ～ 270 名、外来 100 ～ 120 名／日			
職員数	理学療法士	54 名（内 2 名育休）	作業療法士	18 名	言語聴覚士	17 名（内 1 名育休）	リハ助手	5 名
参考事項	脳血管障害等の急性期（ICU・SCU 含む）と回復期を中心に、リハビリ専門 Dr.（複数名）、病棟 Ns. と共に PT・OT・ST アプローチを密に行い、MSW の協力のもと早期の家庭・社会復帰を目指しています。その他、運動器・呼吸・心大血管・廃用症候群・身体合併症の精神科患者への廃用予防や、がん（血液・消化器等）に対してのリハビリテーション等、様々な経験が可能です。本年度より産前産後の理学療法として専門的な取り組みを開始しています。新人教育、ラダー制度を用いたキャリア形成や、院内勉強会・学会活動にも注力しています。また、スポーツ整形外科（スポーツ専門 Dr. 複数名）があり、スポーツ整形リハセンターにて PT と AT（アスレチックトレーナー）が協力し、機能回復・スポーツ復帰・障害予防のためのリハを行っています。							

施設名	いづろ今村病院		リハビリテーション基準		脳血管Ⅲ・廃用Ⅲ・運動器Ⅱ・呼吸器Ⅰ・がんリハ			
病床数	115 床	外来患者：190 名／日		リハビリ対象患者：	入院 30 ～ 45 名 / 日、外来 0 名 / 日			
職員数	理学療法士	8 名（うち通所 2 名）	作業療法士	2 名（うち通所 1 名）	言語聴覚士	2 名（通所・訪問兼務）	リハ助手	0 名
参考事項	12 名のスタッフで医療保険分野（DPC 病棟、地域包括ケア病棟、緩和ケア病棟）と介護保険分野（通所、訪問）領域を担っています。リハビリ料算定は主にがん、廃用、運動器ですが、地域包括ケア病棟では補完代替リハビリも行っており、糖尿病療養の教育支援や特定保健指導（予防医学）など算定外の業務も多岐にわたります。 院内にリハビリ専門医の在籍はありませんが、今村総合病院のリハ専門医との連携が強固で、随時的確なアドバイスを受けています。また、口腔ケア、摂食嚥下、NST、褥瘡対策、認知症対応、医療安全などで多職種間の連携強化にも力を注いでいます。スタッフは希望に応じ医療、介護それぞれの分野で活躍できるよう配属しています。							

施設名	高麗町クリニック		リハビリテーション基準		訪問リハビリテーション（介護・医療）			
病床数	0 床	外来患者：8 名／日		リハビリ対象患者：	5 名／日			
職員数	理学療法士	2 名	作業療法士	0 名	言語聴覚士	0 名	リハ助手	0 名
参考事項	在宅療養支援診療所での支援部門として、診療部門や各利用者の主治医・事業所と連携を図り、訪問リハビリテーション（予防・介護・医療）を提供しています。理学療法士が利用者及びご家族の状況やニーズに合わせ、心身機能の維持・回復、日常生活の自立を図るように支援を行っています。							

施設名	老健施設愛と結の街グループ		老健施設基準		超強化型老健			
病床数	100 床	外来患者：0 名／日		リハビリ対象患者：	入所 100 名、通所リハ 50 名／日			
職員数	理学療法士	5 名	作業療法士	4 名	言語聴覚士	2 名	歯科衛生士	（非常勤職員）1 名
参考事項	超強化型老健として、在宅復帰・在宅支援施設として、入所のリハビリだけでなく、訪問リハビリ、通所リハビリ（長時間・短時間）、ショートステイのリハビリ、他事業所と連携等幅広く実施しています。セラピストを各階専従・専任制度にし、多職種と協働し、目標達成型のリハビリテーションを行っています。生活を見る視点として、環境調整（シーティング、ポジショニング、福祉用具等）や作業機会の積極的な提供を行うとともに、認知症のケア、リハビリテーションにも力をいれています。また ST は言語障害だけでなく、提携の歯科衛生士と訪問歯科と連携し、口腔機能への専門的なアプローチを行っています。							

施設名	谷山病院		リハビリ基準	精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション				
病床数	392 床	外来患者：130 名／日		リハビリ対象患者：	入院 130 名、外来 10 名、デイケア 50 名／日			
職員数	理学療法士	1 名	作業療法士	18 名	言語聴覚士	0 名	音楽療法士	（非常勤職員）3 名
参考事項	精神一般病棟に加え、急性期治療病棟・療養病棟・認知症治療病棟の機能を持つ病院です。24 時間 365 日の精神科救急への対応を備えており、早期作業療法に取り組んでいます。心理教育、ARP（アルコールリハビリテーションプログラム）、退院準備プログラム、SST にも力を入れています。デイケアや就労支援センターなどの在宅部門でも作業療法士が勤務、また常勤の理学療法士と連携を取りながら身体機能への対応を進めています。							

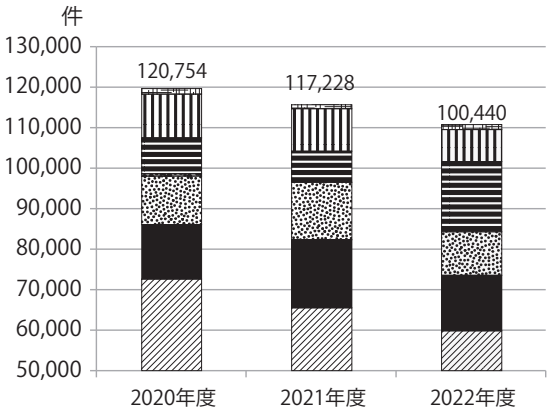
施設名	奄美病院		リハビリ基準	精神科作業療法・精神科デイナイトケア・認知症患者リハビリテーション				
病床数	348 床（休床 82）	外来患者：87.5 名／日		リハビリ対象患者：	入院 166 名、デイケア 40 名／日			
職員数	理学療法士	1 名	作業療法士	7 名	言語聴覚士	0 名	リハ助手	0 名
参考事項	現在作業療法士 7 名勤務しております。急性期治療病棟における早期作業療法の充実・長期入院患者の退院促進を特に重点的に実施しています。また、2017 年度より理学療法士が常勤配置となっており、認知症疾患リハビリテーションや、身体的リハビリテーション（非算定）を実施しています。平成 30 年度よりデイケアが大規模となり、年々マンパワーが増えており、地域移行定着の充実に力を入れています。							

施設名	徳之島病院		リハビリテーション基準		精神科作業療法・精神科デイケア			
病床数	206 床	外来患者：40.4 名／日		リハビリ対象患者：	入院 147 名、デイケア 14 名／日			
職員数	理学療法士	0 名	作業療法士	5 名	言語聴覚士	0 名	リハ助手	1 名
参考事項	前年度から OTR が 1 名減、リハ助手を採用。マンパワー不足を補いながら 2022 年度から車いす・寝たきりの患者を対象に身体的リハビリテーションを開始。長期入院患者の退院促進を重点的に行っています。積極的に離島訪問看護へも同行し海を越えて地域定着・地域移行に取り組んでいます。この他、地元の保育園に週 1 回運動指導を行っています。							

各種指標

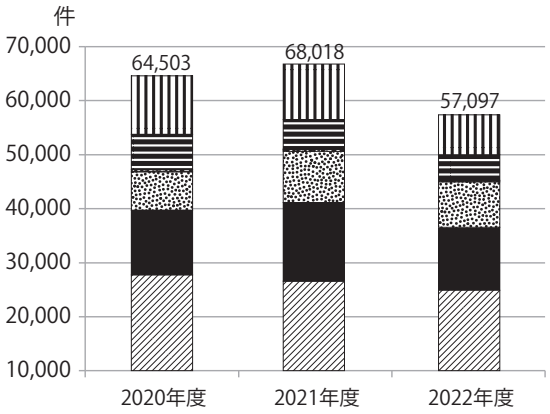
今村総合病院

一般総合リハセンター実施件数



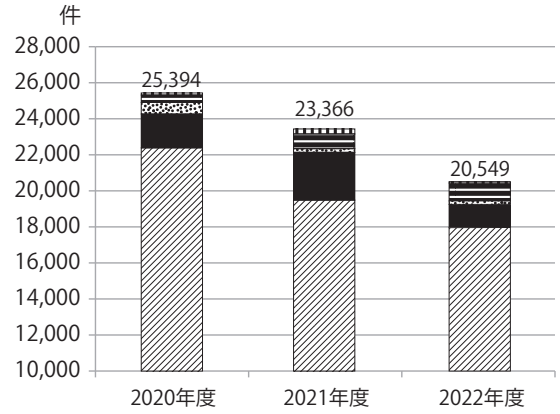
	2020年度	2021年度	2022年度
実施件数	120,754	117,228	100,440
脳血管	72,888	64,730	59,864
運動器	13,824	17,300	13,742
呼吸	11,932	14,667	11,099
心大血管	419	757	297
廃用	9,138	7,962	7,014
がん	11,140	10,812	7,502
摂食	1,413	1,000	922

3F　PT実施件数



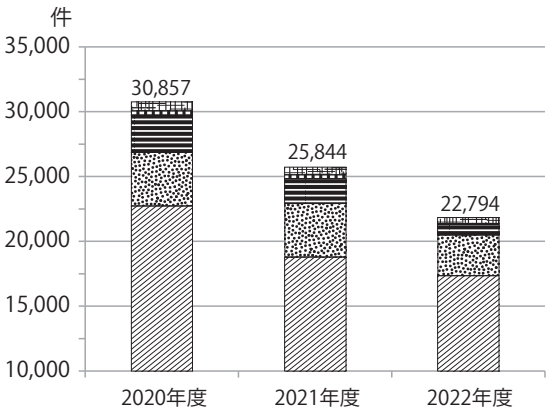
	2020年度	2021年度	2022年度
実施件数	64,503	68,018	57,097
脳血管	27,568	26,698	24630
運動器	11,949	14,651	12362
呼吸	7,166	9,971	7671
心大血管	419	757	297
廃用	6,569	5,574	4652
がん	10,832	10,367	7485

OT件数

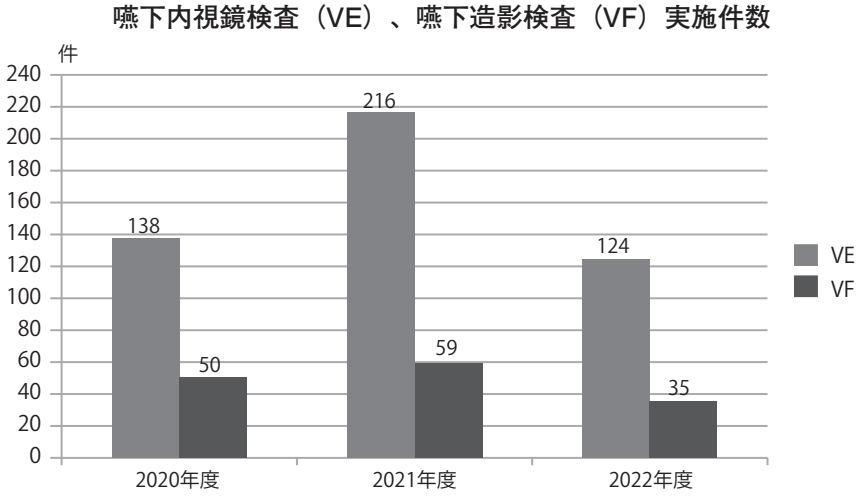


	2020年度	2021年度	2022年度
実施件数	25,394	23,366	20,549
脳血管	22,578	19,389	18,107
運動器	1,875	2,649	1,380
呼吸	605	276	265
廃用	283	875	796
がん	53	177	1

ST件数

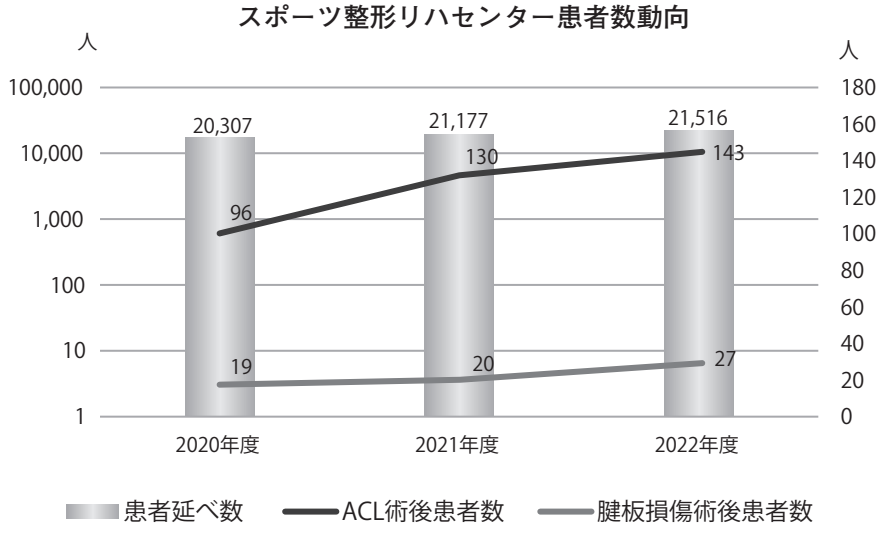


	2020年度	2021年度	2022年度
実施件数	30,857	25,844	22,794
脳血管	22,742	18,643	17127
呼吸	4,161	4,420	3163
廃用	2,286	1,513	1566
がん	255	268	16
摂食	1,413	1,000	922



【今村総合病院　一般総合リハビリテーションセンターの実績・特色】

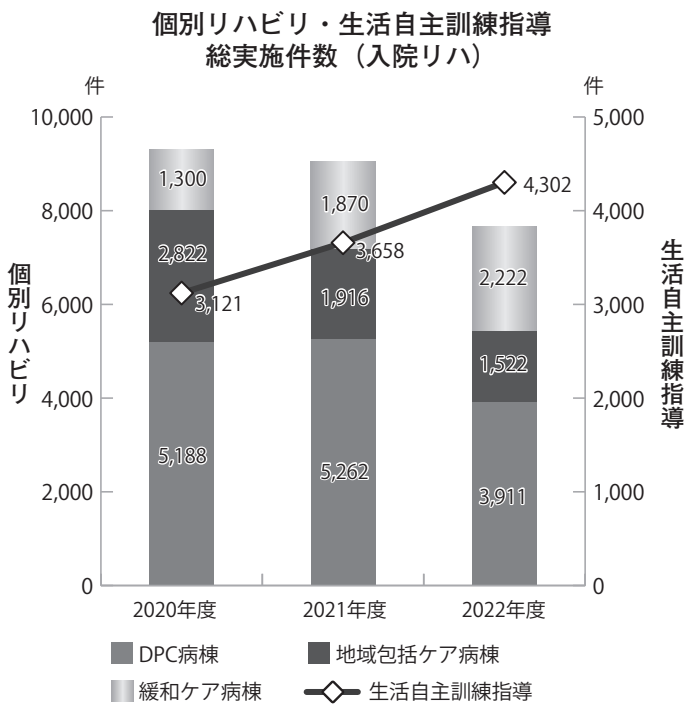
・リスク管理のもと、入院後すぐにリハビリテーションを開始し、365日（土日・祝日も）継続して実施します。
・脳卒中、心大血管疾患、呼吸器、運動器、がん、外科術後・内科治療後の廃用症候群、嚥下障害、高次脳機能障害等について、専門セラピスト（PT・OT・ST）による質の高いリハビリテーションを提供します。
・麻痺の回復を助ける・運動量増加に繋がる電気刺激装置、体重の一部を免荷しながら歩く練習ができる歩行装置、身体の筋肉量等を測定できる装置、その他の最新の機器を用いて実施します。
・鹿児島市地域リハビリテーション支援活動に協力しています。

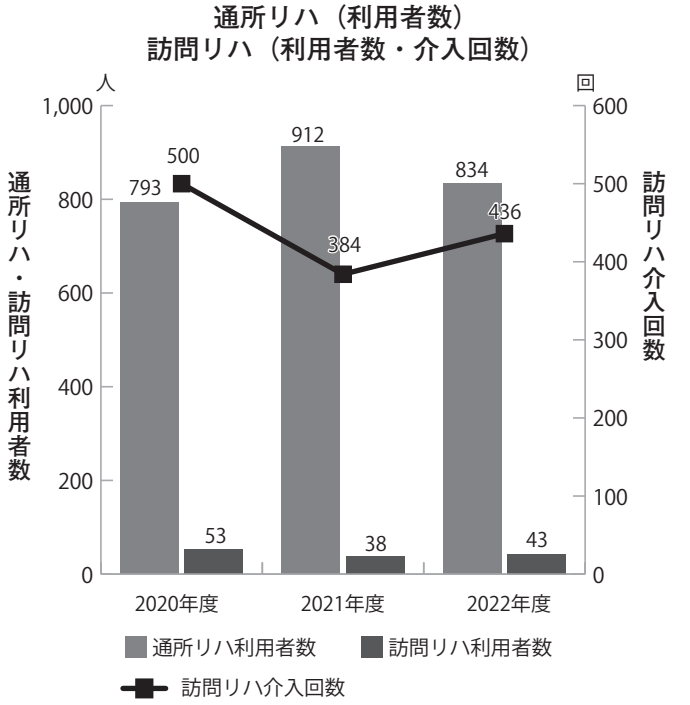


【今村総合病院　スポーツ整形リハビリテーションセンターの実績・特色】

・2022年度は前年度と比較し、リハ患者延べ数。腱板損傷、ACL術後患者数は上昇傾向となりました。
・腱板断裂、ACL術後BIG DATA作成が一応完了し応用可能となりました。
・スポーツ復帰に向けてのアジリティートレーニングは感染対策を実施しながら実施できました。

いづろ今村病院





【いづろ今村病院　入院リハビリテーションの実績・特色】

・当院には「DPC病棟」「地域包括ケア病棟」「緩和ケア病棟」の3つの病棟があり、どの病棟でも退院後の生活を見据えたリハビリ介入がなされます。1週間あたりの介入頻度、1回あたりの介入時間は疾病の重症度等で異なります。

・地域包括ケア病棟では、生活の場に戻るために実生活の中での動作練習を重視する補完代替リハビリも取り入れており、超高齢で体力的に積極的な介入が困難なケースにも対応しています。また在宅生活の継続が困難な方が施設を探す間の環境調整入院や、ご家族の都合で一時的に介護が困難になった場合のレスパイト入院も受け入れており、入院中の生活動作能力の低下を防ぐケアも行っています。

・当院では予防医療も重視しており、医師、看護師、栄養士、薬剤師などと連携しながら生活習慣病予防目的の運動指導も行っています。特に糖尿病療養者には講義のみでなく、実技指導まで手厚く介入しています。

【通所リハビリテーション　ウェルネスじあいの実績・特色】

・新規でご利用を検討される方に対し、まずは体験利用をお勧めしています。2022年度は年間21件の体験利用があり、そのうち16件の方は実際にご利用してくださいました。

・要介護の利用者様にはリハビリテーション会議の中で現状報告と施設に対する要望聴取を行い、サービス向上に繋げています。また必要に応じてリハビリ計画の見直しや目標修正も行い、個々の要望に応じたサービス提供を心がけています。

・ケアマネジャーとの連携を充実させつつ主治医との情報共有を図ることで無理なく安全なリハビリを提供しています。

・年4回の病院での消防訓練参加（代表者）に加え、年1回、通所リハビリテーションスタッフ全員で消防・災害訓練についての検討を行っています。非常の際の緊急時対応や毎日の感染対策が適切に行えるよう備えています。

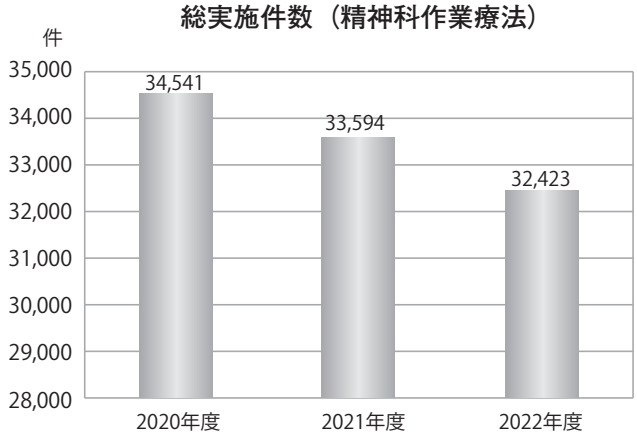
【指定訪問リハビリテーション　ウェルネスじあいの実績・特色】

・2022年度は理学療法士と言語聴覚士が訪問リハビリテーションを実施しました。緩和ケア病棟退院後の患者様に対する短期間の訪問リハビリ件数が増加傾向です。担当のケアマネジャーと連携を図りながらご利用者さま個々の目標に応じたリハビリプログラムを計画し、在宅での生活を支援しています。

・原則として当院の訪問リハビリテーションは当院退院後の患者様、もしくは当院をかかりつけとされている方を対象としています。主治医が他院医師の方の問い合わせに関しては高麗町クリニックを紹介するなど、慈愛会内での連携を図っています。

・当院入院中の方で訪問リハビリの適応・希望がある方には、入院中から入院担当スタッフと密に情報共有を行い、直接ご利用者様と訪問担当セラピストが関わることで退院後スムーズに訪問リハビリを提供できるように支援しています。

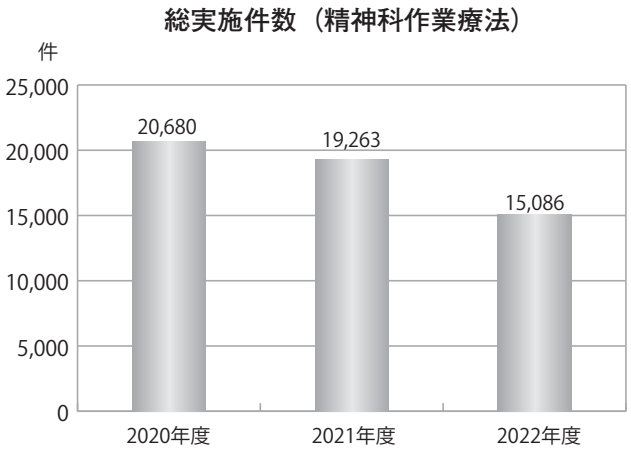
谷山病院

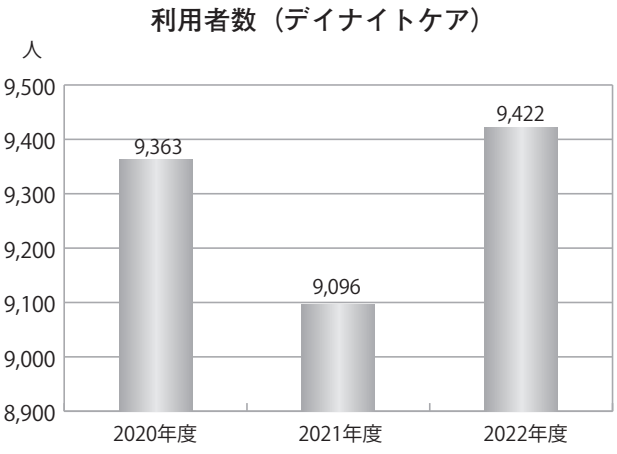


【谷山病院　精神科作業療法の実績・特色】

・急性期治療、退院支援、在宅部門、と作業療法士の職域が広く、作業療法士の視点で切れ目ない支援を提供できます。
・患者様のニーズに応えられるよう様々な個別・集団プログラムを実施しています。
・院内の教育的プログラム（心理教育、退院準備プログラム、アルコール学習会など）は作業療法士が中心となり多職種と協業し実施します。
・理学療法士の常勤、作業療法士による嚥下機能評価や訓練など、身体的リハビリテーションにも力を入れています。

奄美病院





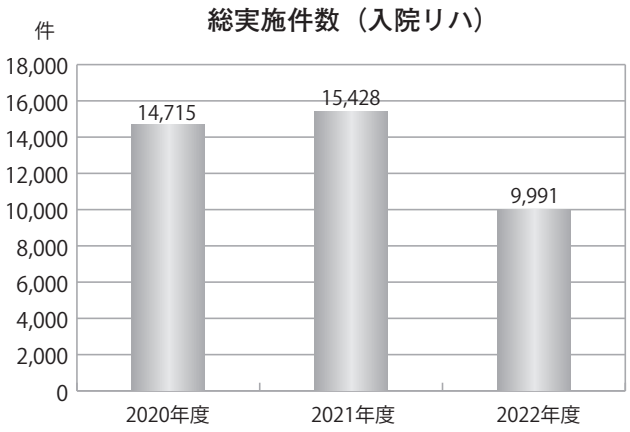
【奄美病院精神科作業療法の実績・特色】

・COVID-19対策で運営制限があり総実施件数は減少傾向です。
・感染対策に重点を置きながらも可能な限り早期に開始することができました。
・長期入院者の退院支援を多職種連携で強化しており地域移行加算を達成しています。
・幅広い年齢層に対応できており、理学療法士を中心とした身体的リハビリテーションも実施しています。

【奄美病院デイナイトケアの実績・特色】

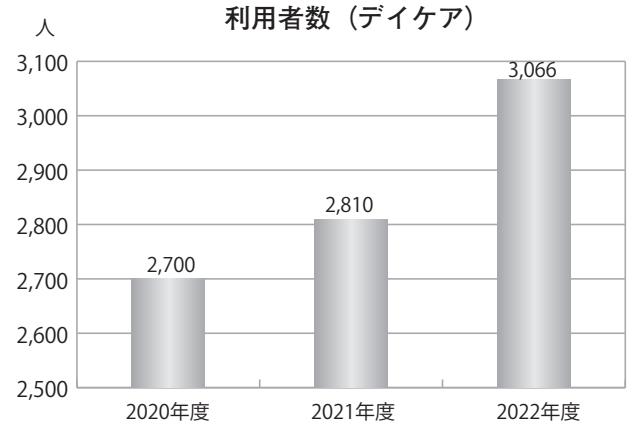
・病院や地域の社会資源との連携が充実しており地域定着者が増加しています。
・送迎サービスや入浴サービス（身体的・環境的理由）を実施しています。
・個々に応じた支援が充実しています。
・COVID-19による運営への影響はなく年間を通してサービス提供できました。

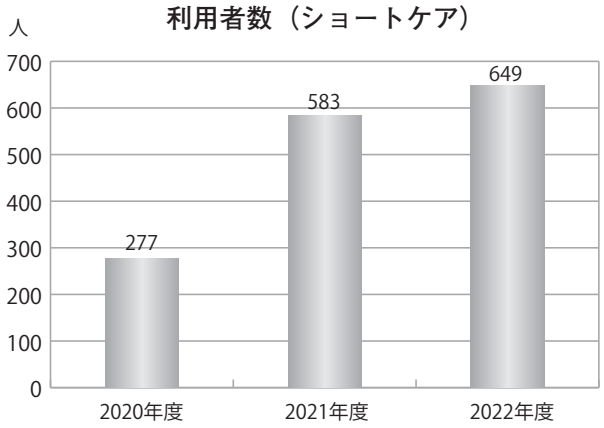
徳之島病院



【徳之島病院リハビリ部門の実績・特色】

・選択できるプログラムの充実と長期入院患者の退院促進を重点的に行っています。
・心理教育プログラムを多職種協働で行っています。
・患者様、病棟スタッフのニーズに応じて柔軟にプログラムの設定・変更を行っています。
・身体的アプローチを必要としている患者様への介入を開始。
・地元保育園での運動指導を実施しています。

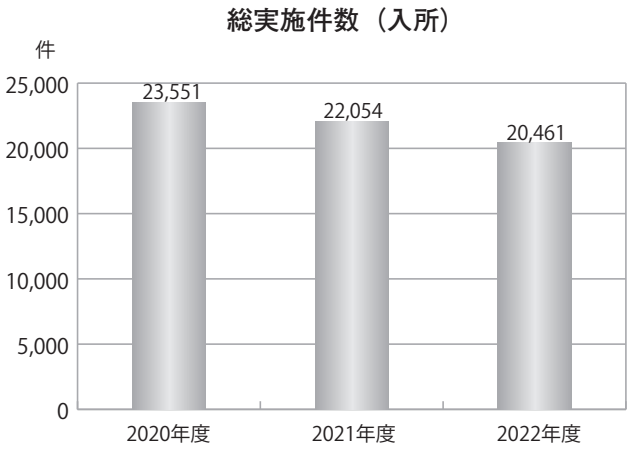


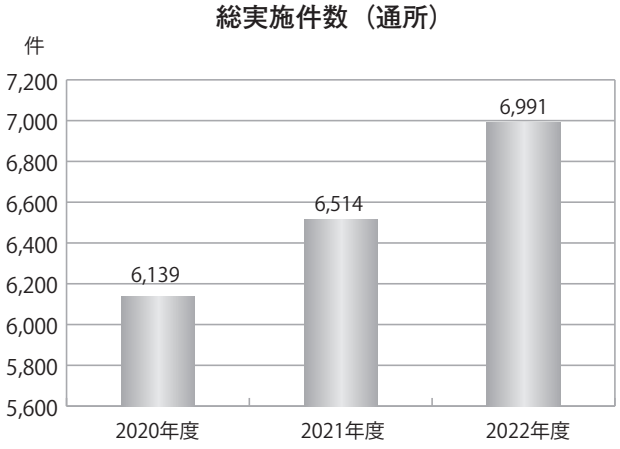


【徳之島病院デイケア・ショートケアの実績・特色】

・病院併設のデイケアのため、他部署と連携し安全かつ円滑にサービスを提供しています。
・島内全域を対象に送迎サービスを実施しています。
　利用者様が通いやすい環境づくりを行っています。
・利用者様が主体的に取り組めるよう、活動の多様化を図っています。
・食生活改善のため、土曜日のショートケアで自炊講座を行っています。
・30代～80代まで幅広い年齢層を受け入れています。

介護老人保健施設 愛と結の街



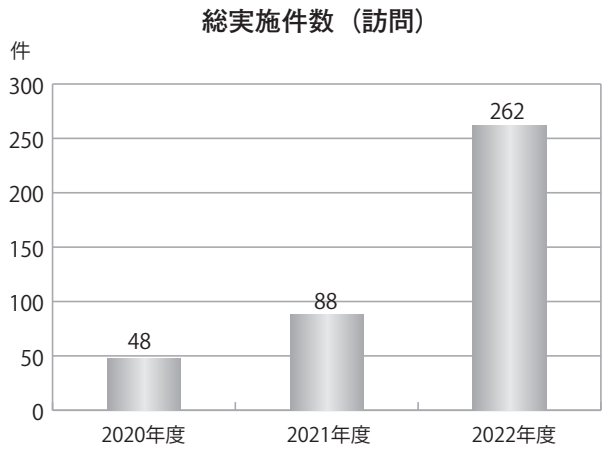


【入所リハビリの実績・特色】

・当施設は在宅復帰・在宅療養支援機能をもつ超強化型老健として稼働しています。各階に専従・専任セラピストが配置されています。
・入退所前後訪問、家屋調査等を実施、多職種と入所時より連携を図り、積極的に在宅復帰を支援します。
・老健退所後も通所リハビリ、訪問リハビリ、ショートステイ等を提供できる体制をとり、在宅支援に向け、シームレスな取り組みを行っています。
・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が常勤で勤務しています。
・対象疾患は脳血管障害、整形外科疾患、認知症のみならず、呼吸器疾患、精神疾患、がん等、幅広く受け入れております。
・リハビリは、ご本人、ご家族と一緒に目標設定したADL（日常生活動作）やIADL（家事等を含めた応用動作）が向上するように、セラピストや介護福祉士等と多職種協働で、生活リハビリを支援しています。また生け花や書道といった活動にも力を入れています。
・2021年に運用開始されたLIFE（科学的介護情報システム）を活用しています。リハビリ計画だけでなく、自立支援促進、栄養マネジメント、排泄支援等多職種で取り組み、厚生労働省に定期的な情報の提出、フィードバック情報の活用等行うことで、質の向上に努めています。
・2022年度もCOVID-19感染対策として、業務を一部制限せざるを得ない状況がありました。

【通所リハビリの実績・特色】

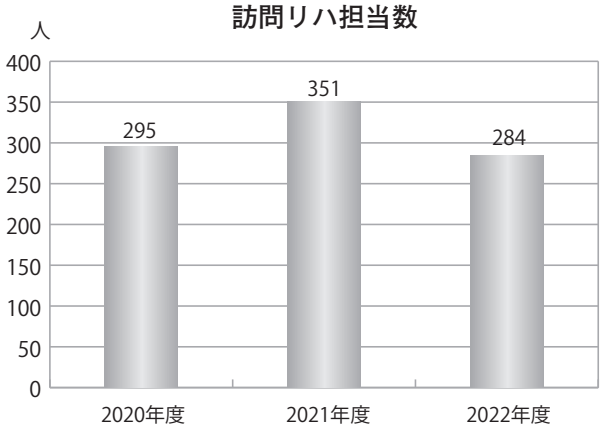
・2022年度より、通所リハは地域のニーズに応え、1日型サービス（6～7時間/食事・入浴サービス有）を再開しました。これまでのリハビリ特化型の短時間通所リハビリ（午前・午後2～3時間）と一緒のフロアで同じプログラムを実施しています。両サービス共にADLの維持向上を目指し、1日でも長く在宅で生活できるよう支援しています。短時間型サービス利用者で加齢や障害により心身機能が低下した場合でも必要に応じて1日型サービスに移行することができます。長期的な視点で安心して利用できます。
・介護福祉士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が協働して支援しています。「生活」や「活動」に焦点を当てたプログラムを提供しています。送迎業務に従事しており家族の相談に応じ、車両の乗り降り、自宅での動作の評価、練習、助言を行っています。
・リハビリマネジメント加算B（ロ）に対応しており、医師が参加するリハビリ会議（要介護の方のみ）を開催しています。医学的管理やリハビリの目標設定、進捗の確認を行っています。2021年度より運用開始されたLIFE（科学的介護情報システム）を活用しており、算定用件の一つであるリハビリデータを定期的に厚生労働省に提出し、フィードバックを受け、質の向上につなげます。
・管理栄養士と連携し、栄養マネジメントに対応しています。
・グループホーム、デイサービス等理学療法士等のリハビリ専門職が不在の事業所に対し、生活機能向上連携加算を算定する体制を整えております。

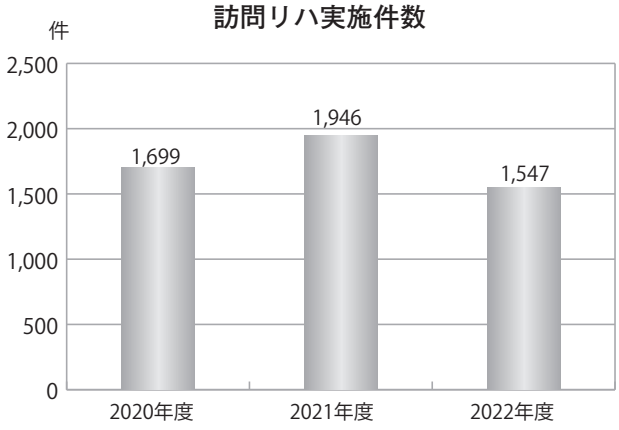


【訪問リハビリの実績・特色】

・訪問リハビリは、安心して在宅生活が行えるように、原則、入所担当セラピストが訪問まで引き続き担当します。退所後、短期間、集中的に訪問リハを行い、在宅生活を支援する体制をとっています。
・新規のご利用者もお受け入れしております。
・実際の生活の場である自宅での動作確認を行い、ご利用者とご家族が互いに行いやすい介助方法等の助言を行います。また家事動作や実際の外出等も確認し、アドバイス等行います。
・自宅での福祉用具の使用方法の確認等、環境面の調整を行います。
・理学療法士や作業療法士だけでなく、言語聴覚士の訪問リハビリが提供できます。
・言語聴覚士の訪問リハビリは、言語機能だけでなく、摂食嚥下機能の訓練の他、食事に関する助言、環境調整等を行います。
・リハマネジメント加算B（ロ）に対応しています。
・本加算は、医師や多職種が参加するリハビリ会議にて、医学的管理やリハビリの目標設定、進捗の確認を行いながら、医師が主体となって説明等を行います。また、リハビリに関するデータを厚生労働省に定期的に提出し、フィードバック情報を活用するもので、リハビリの質の向上に努めています。
・リハビリ会議は3カ月に1度行いますが、ご自宅まで医師が伺う体制とオンライン体制の両方を整備し、ご要望、感染対策等に応じて柔軟に対応いたします。

高麗町クリニック





【高麗町クリニック訪問リハの実績・特色】

・基本的な歩行練習や応用歩行練習、日常生活活動などの応用動作練習に加え、生活への楽しみ作り、ご家族の健康や運動の相談、介助方法の指導・助言などを行います。
・要支援1～要介護5と幅広い介護度の支援を担当。また、疾患も整形外科疾患や脳梗塞、糖尿病、腎不全、呼吸器疾患や癌末期など、幅広い疾患をもつ利用者の支援を行っています。
・南は谷山地区から北は伊敷地区まで、幅広い地域へ訪問しています。
・慈愛会内では、今村総合病院、いづろ今村病院、愛と結の街、かごしまオハナクリニックと連携しています。
・緊急時には在宅診療を行っている当クリニック医師に相談し対応します。
・感染症対策を十分に行い訪問リハビリを提供しています。

業　績　一　覧

【論文】

今村総合病院　理学療法士

＜和文＞

1．武清孝弘，堂園浩一朗，奈良聡一郎，吉田一成，堂園充代，村山芳博，森希美，馬場佳菜江，藤野聡司，小田原淳，徳永雅仁，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：同種造血幹細胞移植患者における身体機能変化．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：26-31，2022

＜著書＞

1．Takekiyo T，Morishita S：Exercise Therapy on Muscle Mass and Physical Function in Patients Undergoing Allogeneic Hematopoietic Stem Cell Transplantation．Physical Therapy and Research in Patients with Cancer，Springer，2023，pp163-190

谷山病院　作業療法士

＜和文＞

1．小澤孝典，嶺井千春，上野博之，幸春奈，久保美杉，伊藤智子，真喜志元希，梅岡啓香，川原香織：心理教育プログラム導入の振り返りと普及への課題～心理教育普及ガイドラインフィデリティ尺度とヒアリング調査から～．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：50-54，2022

【学会発表】

今村総合病院　理学療法士（総合）

＜国内＞

1．武清孝弘，堂園浩一朗，村山芳博，森希美，奈良聡一郎，吉田一成，堂園充代，小田原淳，藤野聡司，徳永雅仁，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：同種造血幹細胞移植患者における身体機能・QOL 回復．第 44 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2022 年 5 月 12-14 日，横浜

2．松元龍：今村総合病院 Stroke care unit の多職種連携．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島（Web）

3．松元龍：当院病棟職員の腰痛と関連因子．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

4．川﨑和也：当院回復期のアウトカムについて．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

5．梶原良太：広報の新たな取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

6．武清孝弘，堂園浩一朗，岡村敏之，森希美，中島徳久，奈良聡一郎，吉田一成，堂園充代，大山利栄，佐々木謙介，藤野聡司，徳永雅仁，宮園卓宜，中野伸亮，伊藤能清，宇都宮與：同種造血幹細胞移植患者の SF-36 における身体機能スコア変化の特徴．第 45 回日本造血・免疫細胞療法学会総会，2023 年 2 月 10-12 日，名古屋

今村総合病院　理学療法士（スポーツ整形リハセンター）

＜国内＞

7．鮫島智志，岡弥津希，轟原与織，吉田研吾，白尾泰宏，濱里雄次郎：鏡視下腱板修復術における患者主観評価と関節可動域の関連．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

8．吉田研吾，白尾泰宏，鮫島智志，轟原与織，岡弥津希，濱里雄次郎：当院における鏡視下腱板修復術後の他動関節可動域と再断裂率～他動関節可動域練習の早期化による変化～．第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会，2022 年 9 月 24-25 日，Web

9．岡弥津希，吉田研吾，鮫島智志，轟原与織，白尾泰宏，濱里雄次郎：鏡視下腱板修復術後における術後 1 年までの他動肩関節可動域の推移について．第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会，2022 年 9 月 24-25 日，Web

10. 轟原与織，白尾泰宏，吉田研吾，鮫島智志，岡弥津希，濱里雄次郎：鏡視下腱板修復術における術前・術後肩関節自動可動域の推移について．第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会，2022 年 9 月 24-25 日，Web

11. 鮫島智志，岡弥津希，轟原与織，吉田研吾，白尾泰宏，濱里雄次郎：当院における肩腱板断裂・損傷に対する鏡視下腱板修復術の治療成績－ JOA と Sh36 からみた疼痛と満足度－．第 10 回日本運動器理学療法学会学術大会，2022 年 9 月 24-25 日，Web

12. 橋口由美子，迫田彩夏，多田克史，白尾泰宏，濱里雄次郎：当院における膝前十字靱帯再建術後 3 ヵ月の伸展可動域に影響を与える因子について．第 9 回日本スポーツ理学療法学会学術大会，2022 年 12 月 10-11 日，東京

13. 迫田彩夏，橋口由美子，多田克史，白尾泰宏，濱里雄次郎：前十字靭帯損傷に合併する半月板損傷に影響を与える要因について．第 9 回日本スポーツ理学療法学会学術大会，2022 年 12 月 10-11 日，東京

今村総合病院　作業療法士

＜国内＞

14. 福岡直幸：ADOC-H にて立案した目標を共有したことで MAL が改善した一症例．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

今村総合病院　言語聴覚士

＜国内＞

15. 田中光：とろみ調整食品で調製した粘稠液状食品の再現性に対する臨床調査．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

16. 鮫島悠子：完全側臥位法による嚥下障害者に対する経口摂取の可能性と地域連携への課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

17. 丸岡由佳：脳卒中急性期患者へ看護師が行う嚥下機能評価導入に向けた取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

18. 丸岡由佳：MMASA 導入に向けての取り組み．第 11 回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会熊本学会，2023 年 1 月 28-29 日，Web

19. 小齊平千夏：視床損傷による注意機能と失語症状．第 11 回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会熊本学会，2023 年 1 月 28-29 日，Web

いづろ今村病院　理学療法士

＜国内＞

20. 西洋樹，松下格司：去勢抵抗性前立腺がん患者の多発骨・リンパ節転移による歩行障害に対する鎮痛薬治療と理学療法の有効性が認められた症例，第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

21. 西洋樹，松下格司：歩行障害を呈した転移性去勢抵抗性前立腺がん患者への鎮痛薬治療・理学療法と地域連携．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

谷山病院　作業療法士

＜国内＞

22. 東泊由紀：プレデイケアの効果～デイケア導入期に必要なこと～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島
23. 濵迫なる光：グループホーム退院を目指す知的障害者の日常生活能力向上に向けた取り組み～目標シートを作成して～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

愛と結の街　作業療法士

＜国内＞

24. 廣田享子，村井真由美：老健通所リハビリ利用者の応用的 ADL 評価（以下 FAI）スコアの傾向と課題．第 21 回九州ブロック介護老人保健施設大会inさが，2022 年 12 月 15-16 日，佐賀
25. 村井真由美, 原口悦江:生産性向上の取組～フロア業務･送迎を検討して～．介護現場における生産性向上推進フォーラム　九州・沖縄エリア，2023 年 2 月 14 日，大分（Web）

【研究会・講演会】

今村総合病院　理学療法士（総合）

1．村山芳博：社会の中の理学療法士．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会新人オリエンテーション，2022 年 4 月 17 日，鹿児島
2．村山芳博：理学療法士の医療政策論１．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会，2022 年 5 月 29 日，鹿児島
3．村山芳博：理学療法士の職能・未来と展望．鹿児島第一リハビリ専門学校，2022 年 6 月 17 日，鹿児島
4．村山芳博：理学療法士の医療政策論２．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会，2022 年 6 月 19 日，鹿児島
5．村山芳博：チーム医療の実践について．鹿児島大学医学部保健学科，2022 年 6 月 28 日，鹿児島
6．武清孝弘：造血幹細胞移植患者のリハビリテーションについて．厚生労働省 造血幹細胞移植体制整備事業 スキルアップ Web セミナー（島根大学），2022 年 10 月 8 日，島根（Web）
7．津曲麻美：産後・育児ママの身体のケアについて．慈愛会と垂水市の包括連携協定に基づく子育て世代向け講演会，2022 年 11 月 4 日，垂水
8．村山芳博：CVA の理学療法の評価．鹿児島大学医学部保健学科，2022 年 12 月 12 日，鹿児島

今村総合病院　理学療法士（スポーツ整形リハセンター）

9．納村千夏：産後・育児ママの身体のケアについて．慈愛会と垂水市の包括連携協定に基づく子育て世代向け講演会．2022 年 11 月 4 日，垂水
10. 白尾泰宏：身体特性から考える運動器疾患に対する理学療法（upper quarter 編）．鹿児島県理学療法士協会運動器専門領域研修会，2022 年 11 月 23 日，Web
11. 轟原与織：東京オリ・パラ用 JPTA ブラッシュアップ研修伝達～足関節テーピング編～．鹿児島県理学療法士協会専門領域スポーツ系研修会，2023 年 2 月 12 日，Web
12. 吉田研吾：スポーツ傷害における理学療法（肩関節）．第 2 回奄美地区研修会，2023 年 2 月 18 日，Web
13. 白尾泰宏：身体特性から考える運動器疾患に対する理学療法（lower quarter 編）．鹿児島県理学療法士協会運動器専門領域研修会，2023 年 3 月 5 日，Web

いづろ今村病院　理学療法士

14. 土井敦：福祉用具と住宅改修．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会 生活環境支援部研修会，2022 年 10 月 9 日，

鹿児島（Web）

15. 土井敦：介護実務者研修 介護技術習得に向けて現場で役立つ基礎的知識．公益財団法人介護労働安定センター，2022 年 10 月 13 日，鹿児島
16. 土井敦：基本動作と生活環境．鹿児島理学療法士作業療法士言語聴覚士連絡協議会 訪問リハビリテーション研究会，2022 年 10 月 29 日，鹿児島（Web）
17. 西洋樹：フレイルと運動について．鹿児島県理学療法士連盟　宮路拓馬国政報告会，2022 年 10 月 30 日，鹿児島
18. 土井敦：看護介護職員向け動作介助研修会．公益社団法人鹿児島県理学療法士協会 公開講座，2022 年 12 月 18 日，鹿児島（Web）
19. 西洋樹，森永恭子：糖尿病の運動療法（効果的な運動の種類，強度，時間など）．鹿児島県糖尿病療養指導士会受託鹿児島県国保ヘルスアップ事業，2023 年 1 月 29 日，2 月 5・26 日，鹿児島（Web）
20. 土井敦：快適な住環境整備と介護．鹿児島県歯科学院専門学校 介護職員初任者研修，2023 年 2 月 17 日，鹿児島
21. 西洋樹：糖尿病疾患における自助を促す工夫．鹿児島県理学療法士協会公益事業部主催　介護予防シンポジウム，2023 年 3 月 9 日，鹿児島（Web）
22. 西賢一郎：呼吸リハビリテーションに関するステートメントについて～チーム医療，病期・病態別呼吸リハビリテーションを中心に～．第 12 回呼吸療法セミナー　南九州 ME 研究会，2023 年 3 月 18 日，鹿児島（Web）

谷山病院　作業療法士

23. 小澤孝典：精神科作業療法について．鹿児島中央看護専門学校，2023 年 1 月 10 日，鹿児島

【受賞】

今村総合病院　理学療法士（総合）

1．村山芳博：日本理学療法士協会賞　受賞．公益社団法人日本理学療法士協会，2022 年 5 月
2．松元龍：「今村総合病院 Stroke care unit の多職種連携」第 2 回慈愛会学会学術集会 口演発表優秀賞．2022 年 8 月 1 日

今村総合病院　言語聴覚士

3．丸岡由佳：「MMASA 導入に向けての取り組み」大会長賞．第 11 回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会熊本学会，2023 年 1 月 28-29 日

谷山病院　作業療法士

4．東泊由紀：「プレデイケアの効果～デイケア導入期に必要なこと」第 2 回慈愛会学会学術集会　ポスター発表優秀賞．2022 年 8 月 1 日

【マスメディア】

いづろ今村病院　理学療法士

1．西洋樹：「衆議院議員宮路拓馬講演会ミニ講演会を終えて」．鹿児島県理学療法士連盟広報誌，2023 年 3 月 6 日

愛と結の街　作業療法士

2．村井真由美：作業療法士の仕事を知りたい．南日本新聞　オセモコ，2022 年 9 月 24 日

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

薬 剤 部 門

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
薬剤部	薬剤師確保対策	(1). 全体の薬剤師数（50名）：薬剤師の確保 ・いづろ8名、総合29名、谷山7名、奄美4名、徳之島2名	・病院間薬剤師職員の定期・臨時 異動（2名）：総合病院⇒谷山病院2名異動（7月：1名、12月：1名） ・奄美・徳之島病院薬剤師の常勤 補充数（3名） ・奄美応援体制　（谷山病院対応）今年度は応援体制なく推移 ・左記計画の一環で新採薬剤師の離島での実地研修を年2回計画していたが、新採薬剤師の離島での実地研修なし	・中途採用3名（いづろ1名　総合2名）、退職者2名（谷山2名） ・奄美・徳之島の離島病院の薬剤師の確保 ・奄美4名体制が継続：2024年3月まで ・新採薬剤師の離島での実地研修のあり方や育成方法の見直し	・徳之島は定着しているが、奄美については来年度5月より現地採用者1名の定着を考える。離島未研修者の研修を検討する。 ・奄美4名体制中：新規採用薬剤師面接強化（2024. 3/2025. 3退職予定あり）
		・新卒薬剤師（5名）	・新卒薬剤師（4名うち1名卒延）　中途薬剤師（3名採用） ・各薬科大学への薬剤師募集の情報発信（6回）：九州地区内4大学（12/19）2024年度新卒薬剤師求人票送信 九州保健福祉大学3/5・第一薬科大学3/10：2024年度新卒者合同説明会	・新卒薬剤師確保希望は5名で採用試験2回行い、内定通知5名であったが採用は4名となった。辞退者の評価が必要。 ・薬学生の病院見学は、情報発信をWEB等積極的に行い、新型コロナの影響もなく、例年 と同等であった。中途見学者、2024年度卒見学者含め24名の見学者の対応ができた。 5月～ 8月いづろ3名（福大2名・広島国際1名）9月～ 11月いづろ：3名　総合：9/12 ～ 2名受入（崇城1名・神戸学院1名）合計8名 ・薬学実務実習生の受け入れ慈愛会で7名良好。中途採用3名	・新卒採用人数は４名程度でとどまっているため、新卒だけではなく、中途採用のリクルートも考える。 ・様々な薬剤師の就職説明会に参加し、薬剤師募集に関し、各大学とともに求人活動の積極的な活動を行う。 ・薬学実習生を受け入れることで採用へ結びつけるため10名の受入を目指す。 ・新卒者の採用とともに即戦力の中途採用も目指す。
		・薬剤師採用試験（2回） ・薬学部実務実習生受入れ（9名） ・薬学生の病院見学受入れ（10名）	・薬剤師採用試験（5/16　8/8　2回） ・薬学実務実習生の受入れ（いづろ：6名, 総合：3名） ・薬学生の病院見学の受入れ（19名）　中途薬剤師4名見学		
		(2). 認定薬剤師の養成 ・日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師4名 ・日本病院薬剤師会感染制御認定薬剤師1名 ・日本病院薬剤師会精神科薬物療法認定薬剤師1名	・日病薬病院薬学認定薬剤師（新規目標）を取得延数11名としていたが7名達成。 ・日本病院薬剤師会病院薬学認定薬剤師 3名（いづろ1名　総合2名） ・精神科薬物療法認定薬剤師（新規目標）2名合格10/1（総合/谷山）	・上方修正した計画からは少し足りないがほぼ計画通り取得できた。 ・精神科薬物療法認定薬剤師（新規目標1名に対して2名取得）	・今後もこれを継続しより専門性を持った薬剤師の育成を行う。
		・日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士2名 ・日本糖尿病療養指導士1名	・日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士1名（いづろ今村11月） ・糖尿病療養指導士（新規目標）1名取得（いづろ今村5月）	・NST専門療法士1名取得（いづろ今村病院）	
		・その他	・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院	・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院　近隣薬局管理薬剤師1名育成	・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院１名　2023年度は、研修生受入れを継続する。
		(3). 症例検討会の実施（66回） ・いづろ12回、総合40回、谷山6回、奄美4回、徳之島4回	・症例検討会・処方検討会:57回 ・鹿児島県病院薬剤師会学術大会にて優秀発表賞受賞（いづろ）	・新型コロナの影響もあり学会の中止などがあったがWEB発表で達成できた。	・症例検討会・処方検討会継続充実：5病院で情報共有にて更なる充実 ・第7回鹿児島県病院薬剤師会学術大会継続
		(4). 薬剤部合同研修会（1回） ・慈愛会薬剤部合同研修会	・慈愛会薬剤部合同研修会の実施（2022. 11. 12）53名参加。演題8題を発表した。	・慈愛会薬剤部合同研修会の実施（2022. 11. 12）　8題の演題で3年ぶりに会場参加53名の集合研修会で離島一部Zoom参加であった。	・継続して慈愛会薬剤部合同研修会を実施し、8題の演題も継続し集合研修会を行う。
		(5)学会発表・論文化 ・学会発表8回	・慈愛会学会学術集会7/9：いづろ・総合口頭発表各1題　谷山：ポスター 1題 ・各種学会発表（院外）（8題）:日本医療マネジメント学会総合3演題いづろ1演題	・慈愛会学会学術集会7/9：いづろ今村病院　東屋敷史織【奨励賞受賞】 ・日本医療マネジメント学会を11/4,5に開催（いづろ今村病院・今村総合病院にて演題登録）。学会、学術大会等も新卒者の発表ができた。今後に繋いでいく。次世代の育成を行う。	・慈愛会薬剤部合同研修会（8演題）継続
	地域連携の強化	(1). 薬薬連携交流会の開催 ・慈愛会薬薬連携交流会2回 ・近隣薬局意見交換会12回（総合）	・第12回10/21日（金）19：00 ～ 特別講演：今村総合病院消化器内科 田口宏樹主任部長　参加者：97名 ・近隣薬局意見交換会を毎月開催した（総合）。2022年度診療報酬改定、供給不足医薬品の代替医薬品の検討、夜間・休祭日の調剤薬局の対応等について意見を交換した。 ・ファルマコムから地域連携に係る取り組みとして、慈愛会利用患者100名の月次報告に係る提案を受けて、その内容について検討した。	・薬薬連携交流会年2回開催を計画していたが新型コロナ禍より年1回の開催となった。 ・慈愛会利用患者32名分（2カ月分）の報告を受けている。各病院への情報提供書の提案もいただいているため、各薬局長より情報収集し検討している。	・薬薬連携交流会年2回開催（8月・2月実施） ・薬薬連携に関連して、今村総合病院では、調剤薬局との連携のためにも調剤薬局からの研修生受入を行う。 ・引き続き来年度も継続的に取り組んでいく。

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
薬剤部	地域連携の強化	(2). 退院時薬剤情報連携加算件数 増加（111件） ・いづろ60件、総合50件、奄美1件	・退院時カンファレンスにサティスファーマ地域連携担当者のZoom参加を開始した ・いづろ：41回、総合：33回、奄美：0回と目標は未達であった。	・在宅の年末年始の対応を検討している。 ・目標は未達であったが、いづろ、総合でしっかりと取り組むことができている。	・引き続き来年度も継続的に取り組んでいく。 ・引き続き来年度も継続的に取り組んでいく。
		(3). 連携充実加算件数 増加（200件） ・総合200件	・総合：268回と目標を達成した。	・総合：目標を達成した。	・引き続き来年度も継続的に取り組んでいく。
		(4). 入院支援センターでの業務（総合） ・総合：準備（薬剤師1名配置予定）	・配置には至っていないが、退院時カンファレンスに参加する体制を整えることで機能を代替している。	・薬剤師の確保状況と整合しながら引き続き左記をを検討及び実施する。	
		(5)在宅医療への取組（在宅患者訪問薬剤管理指導） ・各施設で現状把握	・いづろ：在宅医療センター会議の参加や緩和ケア病棟での退院後訪問する調剤薬局と多職種のカンファレンスに参加している。他全病棟の退院支援カンファレンスも参加できている。 ・総合：①トレーシングレポートの運用を本格的に開始している。②近隣薬局との定例会の継続並びに退院支援カンファレンス参加を各薬局へ呼びかけを行っている。	・いづろ、総合は左記の通り取り組んでいる。谷山、奄美では取り組みを未実施。徳之島では、退院前訪問等は行っていないが、引き続き在宅業務に関われるよう、各部署に情報提供の依頼を継続して行っていく。	・いづろ：引き続き左記取り組みを継続していく。 ・総合：近隣薬局との定例会の継続並びに退院支援カンファレンス参加を近隣以外にも広げていきたい。
	薬剤業務の効率化・生産性向上	(1). 医薬品の安定供給体制の確保 ・各施設との連携強化と情報一元化	・ジェネリック医薬品の供給の不安定な状況は継続中、先発医薬品も検討しながら体制を整備していた。 ・後発医薬品変更に向けた取り組みについては各病院で後発品へスムーズに変更し、5病院すべて85%以上を達成できた。 ただし、後発品供給不安定は継続している。	・あと数年、左記状況は変わらない予測もある。今度も動向を注視する。 ・新規発売の後発品はWEB会議にて選定している。	・先発医薬品への変更も検討しながら継続して体制を整備していく。一方で、後発医薬品の変更について、引き続き数量ベースで80%確保を継続し、経費削減に貢献していく。
		・採用医薬品の統一化を推進	・医薬品採用品の統一化を目指し、今年度の目標を10品目としたが、21品目を変更した。電子カルテへの対応及び医薬品ロスの縮小を図った。	・原料の調達不可による後発医薬品の不安定な供給により離島における85%キープは難しい状況である。今後も先発に変わる可能性ありえる。	
		・薬局長ＷＥＢ会議での情報共有化（毎月：第３水曜日開催）	・薬局長ＷＥＢ会議での情報共有化　毎月第３水曜日実施）8月はコロナ禍休会となった。人事面の共有や厚生局・保健所における監査や適時調査の情報共有ができた。	・WEB会議を毎月開催し、後発医薬品の選定、奄美病院への薬剤師派遣、処方オーダリング、合同研修会及び学会発表など情報共有を行った。	・今後も継続し、情報共有を行う。また、薬局長としてのスキルアップを目指す。
		(2). 調剤業務の効率化 ・効率化のための取組項目記載（各施設で手順書見直しを含む）	(2)(3)について各病院の実施状況は以下のとおり。いづろ：退院患者に薬剤管理サマリーを作成し薬薬連携を図る。総合：薬剤助手4人体制整備：調剤補助業務見直し。谷山：持参薬に関する全病棟対応標準化マニュアル作成及び薬剤助手業務手順書マニュアル見直し。奄美：処方オーダリングが導入された際の外来・入院調剤の手順を整理 一包化の監査システム導入（6月）定期薬の監査効率化。徳之島：入院時処理手順のマニュアル化、業務の標準化。	(2)(3)について、5病院とも計画を達成し業務につなげることができた。５病院のスタッフの適正人数の確保は進行形であるため、更なる適正人数の確保の推進が必要になる。	(2)(3)について、今年度の目標を達成することで業務の効率化をさらに進めていく。また、適正人員を確保し、各施設でチーム医療の更なる充実を図る。
		(3). 病棟薬剤業務の標準化 ・標準化のための取組項目記載（各施設で手順書見直しを含む）			
		(4). 薬剤管理指導件数 増加（21,730件） ・いづろ3,600件、総合15,500件、谷山2,000件、奄美60件、徳之島570件	・左記計画について次のとおり当初計画を見直した。いづろ3,600件から4,200件、奄美60件から240件。その上で実施件数、目標達成度は以下のとおりとなった。いづろ：4,853(115.5%)、総合：16,159(104.3%)、谷山：1,345(67.3%)、奄美：38(2%)、徳之島：523(91.8%)	・薬剤管理指導についてはいづろ・総合は達成。徳之島はおおむね達成、奄美病院は、体調不良の薬剤師と助手2名あり、指導業務が行えない状況であり、大幅減。また、谷山はクラスターの影響で減となった。	・薬剤管理指導業務の推進（物から人への業務比率を高め入院から外来へのスムーズな移行を図る）
		(5). 退院時服薬指導件数 増加（6,630件） ・いづろ1,080件、総合5,400件、谷山100件、奄美20件、徳之島30件	・左記計画について次のとおり当初計画を見直した。いづろ1,080件から1,100件。その上で実施件数、目標達成度は以下のとおりとなった。いづろ：1,474(147.4%)、総合：5,499(101.8%)、谷山：30(30.0%)、奄美：24(120%)、徳之島：29（96.7%）	・退院指導についても同上の状況であったが、3病院は目標達成、徳之島はおおむね達成、谷山は未達成。	・奄美病院の中途採用薬剤師を確保し、4名の薬剤師を配置できた。鹿児島市内からの派遣は無く、薬剤管理指導と退院指導を積極的に行う。次年度へ準備中。
		(6). 向精神薬調整連携加算件数 増加（41件） ・谷山10件、奄美1件、徳之島30件	・谷山28件、奄美0件、徳之島13件	・谷山では目標を達成した。薬剤師の充足状況も踏まえながら取り組んでいく。	・引き続き来年度も継続的に取り組んでいく。
		(7). 薬剤総合評価調整加算件数 増加（71件） ・いづろ60件、総合10件、奄美1件	・いづろ14件、総合0件、奄美0件	・いずれも未達であったが、薬剤師の充足状況も踏まえながら今後も取り組んでいく。	・引き続き来年度も継続的に取り組んでいく。
		(8). 薬剤調整加算件数 増加（16件） ・いづろ10件、総合5件、奄美1件	・いづろ0件、総合0件、奄美0件	・いずれも未達であったが、薬剤師の充足状況も踏まえながら今後も取り組んでいく。	・引き続き来年度も継続的に取り組んでいく。
		※その他、2022年度診療報酬改定への対応について	その他、2022年度診療報酬改定に係る新設3項目　4月～3月実績:1,816万円 ・外来腫瘍化学療法診療料1・抗悪性腫瘍剤投与：総合（2278件） ・外来腫瘍化学療法診療料1・抗悪性腫瘍剤を投与orその他：総合（250件） ・周術期薬剤管理加算：総合（1627件） ・慈愛薬剤部主な診療報酬：年間16,574万円 月平均：1,381万円 ・慈愛会薬剤部主要報酬額：令和4年度対前年度　年間100.3%	・2022年度診療報酬改定にも対応できた。	・左記について引き続き対応し、2024年度診療報酬改定にも備えていく

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1．薬局長会議の開催（適宜第３水曜日にWEB会議を開催）

《主な協議・確認事項》

・人事配置について
・各薬剤部の事務分掌について
・業務計画及び進捗状況の確認について
・レセプト集計、実績資料について
・新規後発医薬品の統一品目の選定について
・奄美病院の薬剤師充実について
・処方オーダリングについて
・薬剤部合同研修会について
・新型コロナ関連について

2．薬薬連携交流会の開催

第6回 慈愛会 薬薬連携交流会（参加人数：97名）

・2022年10月21日（金）19:00-20:45
・Zoomによるオンライン交流会
　配信場所：かごしまオハナビル 3階大会議室
・基調講演Ⅰ
　「特定薬剤管理指導加算2取得の取り組み」
　演者：セレン薬局 管理薬剤師　黄 紗耶先生
・基調講演Ⅱ
　「専門医療機関連携薬局認定に対する医療機関の責務」
　演者：今村総合病院 薬剤部 主任　橋本 直美
・特別講演
　「膵臓癌の診療について」
　演者：今村総合病院 消化器内科　田口 宏樹主任部長

合同研修会

「**第12回 薬剤部合同研修会**」

・2022年11月12日（土）15:00 ～
・かごしまオハナビル3階大会議室　Zoom配信
・総合司会：いづろ今村病院 副主任 東條 知子

【内容】

・開会のあいさつ
　慈愛会 薬剤部 統括部長 吉永 浩之
・第１部
　座長：いづろ今村病院 薬局長　神門 孝典
　講演：「医療機能評価における薬剤師の視点」
　慈愛会 薬剤部 統括部長 吉永 浩之
・第2部
　研修発表会
　座長：谷山病院 薬局長　新村 味穂子
　①フェンタニル製剤における麻薬誘発性便秘症（OIC）発現頻度と要因解析
　いづろ今村病院　古澤 夕紀子
　②錠剤一包化鑑査支援システムの活用について
　奄美病院　平田 友和
　③周術期薬剤管理加算について
　今村総合病院　冨永 咲季
　④当院の疑義照会の現状
　谷山病院　横手 未仁

　座長：今村総合病院 薬局長代理　松山 淳史
　⑤インシデントの振り返りと解析　～薬剤師2年目の視点から～
　今村総合病院　阿部 竜也
　⑥薬剤調整について考える～認知症回診を通して～
　いづろ今村病院　神門 孝典
　⑦当院におけるクロザピン服用患者に対する薬剤師の関わり
　谷山病院　稲森 志織
　⑧血液内科病棟での新型コロナウイルス感染症のクラスター発生について ～そのとき薬剤師は～
　今村総合病院　西元寺 慧一

技能・能力向上に向けた取り組み

1．人材育成，指導等の取り組み

・各病院において，薬剤部クリニカルラダーに基づく人材育成

ラダー認定：13名

【レベルⅤ：1名　レベルⅣ：3名　レベルⅢ：2名　レベルⅡ：3名　レベルⅠ：4名】

・ジェネラリスト薬剤師として日病薬病院薬学認定薬剤師の単位取得を推進

2．資格取得状況（新規）

・日本病院薬剤師会薬学認定薬剤師（今村総合：2名）（いづろ今村：1名）
・精神科薬物療法認定薬剤師（今村総合：1名）（谷

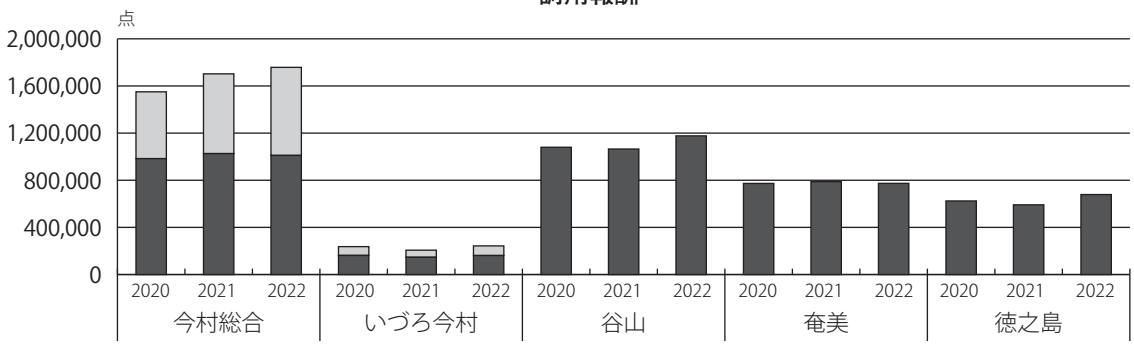
山：1名）
・日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士（いづろ今村：1名）
・日本糖尿病療養指導士（いづろ今村：1名）

3．研修施設認定
・日本臨床腫瘍薬学会：がん診療病院連携研修病院

病院名	資　格	2022年度末 在籍有資格者	2022年度 計　画	2022年度 実　績
今村総合	・がん専門薬剤師	1		
	・がん薬物療法認定薬剤師	1		
	・外来がん治療認定薬剤師	1		1
	・感染制御認定薬剤師	1	1	
	・ＮＳＴ専門薬剤師	3	2	
	・糖尿病療養指導士	3	1	
	・ｲﾝﾌｪｸｼｮﾝｺﾝﾄﾛｰﾙﾄﾞｸﾀｰ（ICD）	1		
	・スポーツファーマシスト	2		
	・実務実習指導薬剤師	2		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	15	1	4
	・精神科薬物療法認定薬剤師		1	
	・日薬研修センター認定薬剤師	3		
いづろ今村	・感染制御認定薬剤師	1		
	・糖尿病薬物療法履修薬剤師	1		
	・糖尿病療養指導士	4	1	1
	・ＮＳＴ専門薬剤師		1	1
	・ＣＫＤ専門薬剤師			
	・精神科薬物療法認定薬剤師			
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	4	1	1
	・日病薬感染制御認定薬剤師	3		
	・実務実習指導薬剤師	2	1	
谷　山	・精神科薬物療法認定薬剤師	1	1	1
	・糖尿病療養指導士	1		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師	2	2	
奄　美	・日薬研修センター認定薬剤師	1		
	・日病薬病院薬学認定薬剤師			

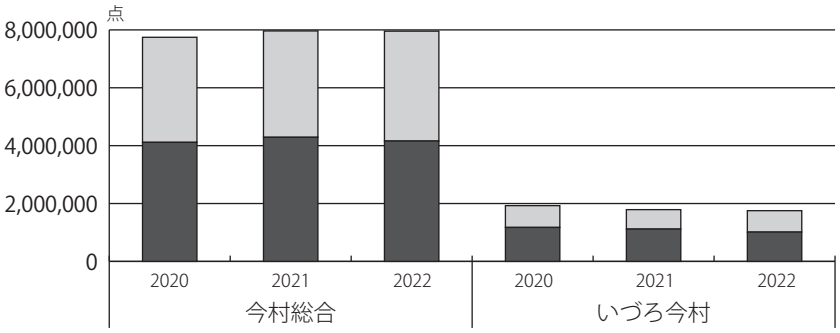
各種指標

調剤報酬



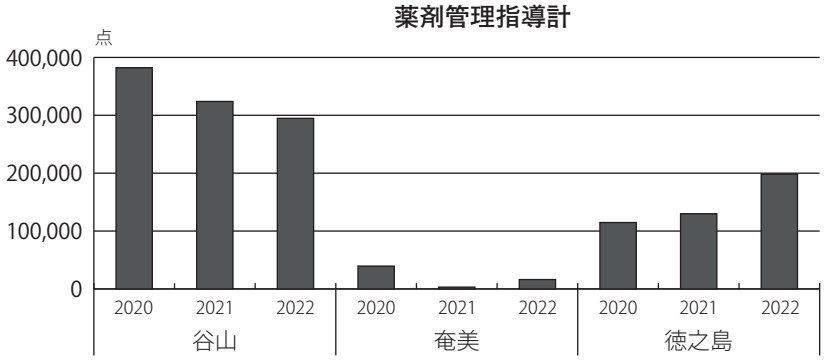
	2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022
■ 薬剤師調剤技術料計	983,531	1,026,307	1,010,730	162,074	146,570	161,368	1,080,068	1,065,058	1,176,822	773,122	787,926	773,539	624,313	591,612	678,632
□ 無菌製剤技術料計	566,805	676,535	747,205	74,630	60,165	81,590	–	–	–	–	–	–	–	–	–

病棟関連指導報酬



	2020	2021	2022	2020	2021	2022
■ 薬剤管理指導計	4,114,395	4,289,360	4,160,965	1,174,240	1,117,385	1,013,161
□ 病棟業務加算計	3,631,104	3,675,341	3,795,765	753,236	671,501	740,276

薬剤管理指導計



	2020	2021	2022	2020	2021	2022	2020	2021	2022
■ 薬剤管理指導計	382,170	323,905	294,765	39,465	3,110	16,220	114,750	129,920	198,300

業　績　一　覧

【論文】

いづろ今村病院

＜和文＞

1．野元優基，内山ゆかり，東條知子，東屋敷史織，遠矢素子，神門孝典，長野真二郎，山口辰哉：薬剤総合評価調整加算・薬剤調整加算算定取得に対する取り組み～ポリファーマシー解消に向けて薬剤師が介入した症例を通しての一考察～．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：40-45，2022

【学会発表】

今村総合病院

＜国内＞

1．谷口麻里子，橋本直美，西元寺慧一，井原万葵，松山淳史，鬼丸俊司：薬物療法変更に伴う返品薬取扱いについて～医療安全にも繋がる業務改善～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

2．谷口麻里子，橋本直美，鬼丸俊司：安全安心の薬剤再利用の取り組み～コスト削減を目指した業務改善～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

3．鬼丸俊司，橋本直美：薬薬連携拡大のための試み～患者に寄り添う適切な医療を提供するために～．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

4．橋本直美，鬼丸俊司：閉鎖式薬物輸送システムの全面導入による医療従事者に対する抗がん曝露対策．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

5．鎌田春紫，國師奈緒美，志氣成，冨永咲季，橋本直美，松山淳史，鬼丸俊司：周術期薬剤管理加算算定に向けた業務展開について．第 6 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会，2023 年 2 月 11 日，鹿児島

いづろ今村病院

＜国内＞

6．御牧夕紀子，遠矢素子，野元優基，東屋敷史織，東條知子，内山ゆかり，神門孝典：フェンタニル製剤における下剤の適正使用の検討．第 15 回日本緩和医療薬学会年会，2022 年 5 月 13-15 日，熊本（Web）

7．東屋敷史織，内山ゆかり，東條知子，御牧夕紀子，遠矢素子，神門孝典：当院入院患者における週 1 回 GLP-1 受容体作動薬セマグルチドの使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

8．東屋敷史織：当院入院患者における週 1 回 GLP-1 受容体作動薬セマグルチドの使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

9．田原七海，古澤夕紀子，遠矢素子，木村理子，東屋敷史織，東條知子，内山ゆかり，神門孝典：フェンタニル製剤におけるオピオイド誘発性便秘症の要因探索．第 6 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会，2023 年 2 月 11 日，鹿児島

谷山病院

＜国内＞

10．大平有紗，四本晶子，馬場貴子，幸田将輝，染川考佑，稲森志織，田代佳代，横手未仁，新村味穂子，山口辰哉：退院時薬剤情報連携加算取得に向けた当院の取り組み．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

11．永井未仁，四本晶子，染川考佑，稲森志織，森原亜希子，長曽我部翔，新村味穂子，吉永浩之：谷山病院の疑義照会の現状．第 6 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会，2023 年 2 月 11 日，鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1．橋本直美：専門医療機関連携薬局認定に対する医療機関の責務．第 6 回慈愛会薬薬連携交流会，2022 年 10 月 21 日，鹿児島

谷山病院

2．四本晶子：服薬継続の重要性について．鹿児島市保健部保健支援課主催　患者家族会・ドラえもんの会，2023 年 2 月 18 日，鹿児島

3．染川考佑：谷山病院における抗パーキンソン薬（抗コリン薬）と抗精神病薬の使用状況．抗コリン薬・抗精神病薬を再考するin鹿児島，2022 年 3 月 24 日，鹿児島（Web）

【受賞】

慈愛会薬剤部

1．吉永浩之：病院機能評価事業 功績感謝状．公益財団法人日本医療機能評価機構，2023 年 3 月 18 日

今村総合病院

2．鎌田春紫：「周術期薬剤管理加算算定に向けた業務展開について」優秀発表賞．第 6 回鹿児島県病院薬剤師会学術大会，2023 年 2 月 11 日，鹿児島

いづろ今村病院

3．東屋敷史織：「当院入院患者における週 1 回 GLP-1 受容体作動薬セマグルチドの使用状況および消化器症状の副作用発現に関する検討」口演発表奨励賞．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 8 月 1 日

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

画像診断／放射線治療部門

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
画像診断部	放射線治療部門・安定稼動の継続	⑴. 安定稼動 照射件数4,000/年を目標 品質管理1/月 ⑵. 専門性の向上 認定取得、研修受講、学会研究会発表	220 症例を実施　　（前年度比 112. 2%） 照射件数　3,427件　　（前年度比 110. 9%） 密封小線源治療　5件 放射線治療品質管理室活動としての品質管理 （IDVT測　定,計　画CTmonthlyQA,Cable Verify測定,MVCT空間分解能・コントラスト、ArcCHECK monthlyQA） 第35回日本放射線腫瘍学会学術大会発表（市来） 2022年度　日本放射線技術学会 九州支部放射線治療セミナー発表（市来） 第15回南九州地域放射線治療技術合同研究会参加（牧野,上川,髙山） 125I 線源による前立腺永久挿入密封小線源治療受講（市来,上川） 放射線治療かたろう会第150回記念大会参加（牧野） 日本放射線治療専門放射線技師認定機構2022年度認定教育セミナー受講（髙山）	定期的な品質管理を行うことで、放射線治療の質を担保し大きな故障を未然に防ぐことができた。 照射件数を前年度を上回ることができた。小線源治療についての使用許可証および放射線障害予防規程の準備、機器,HIS/RIS等のネットワークを配備することができ、12月より密封小線源治療（前立腺）を開始することができた。 始業・終業点検の徹底によるダウンタイムの減少 医学物理士指導のもと、TomoTherepy,治療計画CTの品質管理を行うことができた。 放射線治療専門技師試験を1名受験 webメインであったが他の放射線治療施設と情報交換することができた。 ローテーターとコンツーリングの指導,育成	安定的に稼動し質を担保するためにも、品質管理、定期点検、始業終業点検を継続していく。 引続き院内外への放射線治療の広報,アピールを行う。 放射線治療専門技師の受験 JASTRO認定施設の申請 治療用照射装置出力線量の第三者機関による測定の実施 人材育成の継続
	生産性の向上・効率化	⑴. 機器の安定稼動 モダリティ件数報告(昨年度件数を維持・増加)、点検状況報告			
		・一般撮影系	【今村総合病院】39,394件(前年度比100.4%) 【いづろ今村病院】11,951件(前年度比99.1%) 【全体】51,345件(前年度比100.1%)	【今村総合病院】 院内クラスターの影響により、外来,入院の制限があり、CT,MRIが僅かに減少となったが全体的には増加傾向であった。	【今村総合病院】 検査内容等の広報,アピールを行い、検査件数の増加を図る。 医療安全を考慮した業務の効率化を行う。
		・ＣＴ	【今村総合病院】15,656件(前年度比96.2%) 【いづろ今村病院】3,210件(前年度比111.7%) 【全体】18,866件(前年度比98.5%)	【いづろ今村病院】 院内クラスターはあったが、全体的に増加傾向であった。院内向け画像診断科ニュースを発行し、情報提供を行うことができた。	【いづろ今村病院】 年１回以上の画像診断科ニュースを発行し、部署アピールを行う。 リスクマネージメントを徹底し、質の高い検査、画像情報の提供を行う。
		・ＭＲＩ	【今村総合病院】6,696件(前年度比94.3%) 【いづろ今村病院】956件(前年度比102.7%) 【全体】7,652件(前年度比95.1%)	【全体】 部署内にてクラスター発生することなく、業務を行うことができた。 また施設認定として 画像診断管理認証施設: いづろ今村病院、今村総合病院 マンモグラフィ検診施設・画像認定施設: いづろ今村病院 を取得することができた。	【全体】 引続き感染管理を行いながら、適切な人材配置・効率化を行い、件数増加へ対応できる体制をつくる。 タスクシェアリング、業務拡大を行い件数増加へ繋げる。 断らない体制の継続。
		・透視	【いづろ今村病院】1,367件(前年度比108.7%)		
		・Angio	【今村総合病院】481件(前年度比119.7%)		
		・ＲＩ	【今村総合病院】218件(前年度比104.8%)		
		・腹部超音波	【いづろ今村病院】8,039件(前年度比99.0%)		
		・乳腺撮影	【いづろ今村病院】2,376件(前年度比103.3%)		
		・モダリティ点検状況	【今村総合病院】 11種22台のモダリティ　計画通りに定期点検施行 【いづろ今村病院】 6種13台のモダリティを計画通りに定期点検施行	定期点検を計画通りに施行することができた。 日常点検(始業,終業点検）を行うことで大きな故障を防ぐことができ、大きなダウンタイムが発生する事は無かった。	業務への影響をおさえた定期点検の計画 始業,終業点検を引続き徹底していく。
		⑵. 地域連携強化 ①他医療機関からの検査紹介増加（C@RNA） 目標450件/年 カルナコネクトの登録施設数報告 ②技師による施設訪問の継続 目標10施設/年	他施設からの検査紹介　608件(前年度比122.6%) うちカルナコネクト使用の紹介　374件/年(前年度比137.0%) 登録施設　19件（+3) 訪問件数　7施設 8回	いづろ今村病院にて検査紹介数は608件あり、前年度から121件増加した。 またカルナコネクト導入施設が3施設増加し、システムを利用した検査紹介は前年度比137%であった。 コロナにより施設訪問件数が、昨年を上回ることができなかった。	クリニック等への訪問を行っていき、カルナコネクト導入施設を増加させ、検査紹介増加へ繋げる。 訪問時使用するパンフレットの更新。 定期的なホームページ更新 マンモグラフィ検診施設・画像認定証取得のアピール

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～ 2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
画像診断部	人材育成	⑴ 技師連携強化 部署内，全体の研修、一体化会議の開催 法人内施設の相互助勤 ⑵ スペシャリストの育成 認定・資格取得、ラダーに沿った教育 学会・研究会発表、研修受講	10/29第16回慈愛会画像診断部合同研修会を開催 症例検討の実施　　一体化会議/月の開催 いづろ今村病院技師による、今村総合病院と谷山病院への助勤 **取得** 第1種放射線取扱主任者：1名 放射線管理士：7名、放射線機器管理士：5名 医療画像情報精度管理士：2名 放射線被ばく相談員：1名、胃X線検診読影補助認定：1名 マンモグラフィ検診施設・画像認定証取得：いづろ今村病院 **発表** 慈愛会学会：3題 日本医療マネジメント学会：3題 他県内：1題 県外：5題 慈愛会合同研修会：6題 各研究会：3題 **講習会・研修会** 医療安全管理者養成研修：2名 Ai認定講習会：1名 原子力災害医療基礎研修：3名 甲状腺簡易測定研修：2名 ホールボディカウンター研修：1名 原子力災害中核人材研修：1名 医療機関の放射線業務従事者のための放射性同位元素等規制法講習会：1名 密封小線源治療安全講習会：2名 ミドルマネジメント研修：5名 多職種合同ラダーレベル研修：2名 管理者任用候補者研修：4名	毎月の一体化会議にて情報を共有し、対応。 いづろ今村病院，谷山病院，今村総合病院の業務サポート体制がとれた。 症例検討による知識レベルの向上を図った。 コロナ禍ではあったが，６種の認定資格を取得することができ、Webを活用し各学会・研究会での発表、研修，講習会へ参加することができた。 キャリア開発ラダー　レベル取得 レベルⅠ：2名、レベルⅡ：3名、レベルⅢ：1名、レベルⅣ：2名、レベルⅤ：0名 地域貢献として市民健康まつりへ骨密度測定，被ばく相談へ参加、県原子力防災訓練へ汚染検査・測定員として参加することができた。 鹿児島医療技術専門学校より延べ10名（いづろ：4名、総合6名）臨床実習生の受入れ。	情報共有を密に行い、引続き施設間の技師レベルでの連携強化を行う。 引続き各施設に合った認定資格，施設の取得、学会や研究会への発表、講習会の受講を積極的に行っていく。 現状に適したラダーの見直しを行う。 日本診療放射線技師会（JART）クリニカルラダー，マネジメントラダーの活用 県，市の行事参加や、地域，離島医療への貢献など積極的に参画し慈愛会をアピールできる人材育成。 ノンテクニカルスキル教育 医療安全の徹底
		⑶ 多職種連携 告示研修の受講進捗 タスクシフト/シェアの推進	厚生労働省告示第273号研修 修了者：18名 （いづろ今村病院5名、今村総合病院13名）	告示研修 を18名（全体の60％）修了することができた。 主に下部消化管造影検査時の経肛門的バルーン挿入や、造影剤・エアーの注入、抜針等のタスクシェアリングを行うことができた。	告示研修受講を啓発し、タスクシフト・シェアを推進。 チーム医療への貢献、業務拡大を図る。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1.画像診断部一体化会議

毎月第3火曜日、いづろ今村病院・今村総合病院の役職者により開催

・施設間の報告による情報共有
・慈愛会画像診断部合同研修会における企画運営
・モダリティごとの技術・情報共有、業務支援、定期点検、始業・終業点検
・人材交流、育成、人員配置
・病欠時業務サポート
・新型コロナ感染症標準予防策、感染経路別予防策、撮影対応法、撮影後清掃、感染性廃棄物取扱
・法改正への対応

2.施設間の業務支援

・いづろ今村病院技師による今村総合病院の当直業務
・今村総合病院技師によるいづろ今村病院技師の当直明けサポート
・いづろ今村病院技師による午後からの今村総合病院への助勤
・谷山病院技師への業務支援
・計画停電、休日当番医の緊急時対応、相互支援
・機器トラブル時の相互サポート

合同研修会

「**第16回慈愛会画像診断部合同研修会**」

・2022年10月29日（土）　14:00-16:00
・今村総合病院A棟４階　大会議室
・司会・進行　今村病院　市來 守、水流 彩友美

【内容】

1．メーカー講演（Zoom）

「被ばく線量管理の現状とシステム運用について」

富士フィルムメディカル株式会社営業本部ITソリューション事業部 事業推進部　中野 伸哉先生

2．一般演題

（1）人間ドックの腹部超音波検査における質の向上に向けた取り組みについて

いづろ今村病院　上釜 健作

（2）放射線治療部門の品質管理について
今村総合病院　髙山 大史
（3）当院検診マンモグラフィの精検率から見えてきたこと～受診者数を増やすためには～
いづろ今村病院　下田 知佳
（4）被ばく相談室の設置の目的・成果の報告
今村総合病院　蓑田 辰則
（5）当院の人間ドックにおける胃X線検査の役割
いづろ今村病院　上舞 優介
（6）長期的使用注入用埋込ポート使用時の造影CT撮影の注意点
今村総合病院　川上 眞司

3．新人紹介
今村総合病院　松元 遥、前田 裕介
いづろ今村病院　津曲 楓真、松田 真樹

4．理事長総括
慈愛会　理事長　今村 英仁

技能・能力向上に向けた取り組み

取得認定資格一覧	今村総合病院	いづろ今村病院
第1種放射線取扱主任者	2	
第1種作業環境測定士	1	
放射線治療専門放射線技師	1	
放射線治療品質管理士	1	
超音波検査士		1
検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師	1	2
胃がん検診専門技師	3	3
肺がんCT検診認定技師	2	
大腸CT検査技師		1
X線CT認定技師	5	
日本血管撮影・インターベンション専門認定技師	1	
放射線管理士	6	3
放射線機器管理士	8	1
医療画像情報精度管理士	2	1
臨床実習指導教員	6	1
放射線被ばく相談員	2	
Ai認定診療放射線技師	2	
画像等手術支援認定診療放射線技師	1	
アドバンスド診療放射線技師	5	2
シニア診療放射線技師	2	1

取得認定資格一覧	今村総合病院	いづろ今村病院
エックス線作業主任者	3	
ガンマ線透過写真撮影作業主任者	3	
厚生労働省　告示研修修了者	13	5

○施設認定

医療被ばく低減施設	今村総合病院
臨床実習指導施設	今村総合病院
マンモグラフィ検診 施設・画像	いづろ今村病院
画像診断管理認証施設	今村総合病院 いづろ今村病院

○2022年度実績　認定資格

第1種放射線取扱主任者	取得	蓑田
シニア診療放射線技師	取得	蓑田
放射線管理士	取得	上釜,牧野,前田,上川,高山,上舞,勝目
放射線機器管理士	取得	上釜,牧野,前田,上川,高山
医療画像情報精度管理士	取得	前田,市來
放射線被ばく相談員	取得	牧野

○2022年度実績　講習会・研修会

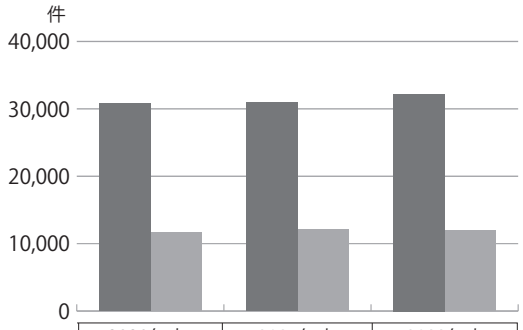
厚生労働省 告示研修	修了	馬場,上釜,牧野,市來,蓑田,上川,上舞,勝目,前田,髙山,水流,橋口,中田,徳永,小林,西田
医療安全管理者養成研修	修了	惠,脇田
密封小線源治療安全取扱講習会	修了	蓑田、前田
原子力災害医療基礎研修	修了	惠,市來,蓑田,上川
原子力災害医療中核人材研修	修了	蓑田
原子力災害医療派遣チーム研修	修了	蓑田
原子力災害研修 講師養成研修	修了	蓑田
甲状腺簡易測定研修	修了	脇田、蓑田
医療機関の放射線業務従事者のための放射性同位元素等規制法講習会	修了	上川
ホールボディカウンター研修	修了	蓑田

○2022年度実績　認定施設取得

画像診断管理認証施設	今村総合病院 いづろ今村病院
マンモグラフィ検診 施設・画像	いづろ今村病院

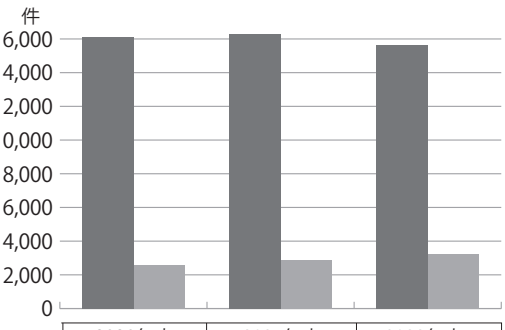
各種指標

一般撮影検査



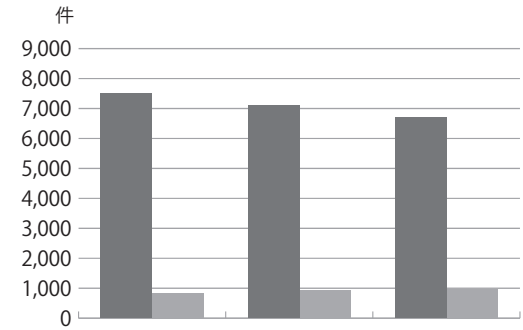
	2020年度	2021年度	2022年度
■ 今村総合病院	30,827	30,906	32,209
■ いづろ今村病院	11,720	12,059	11,951

CT検査



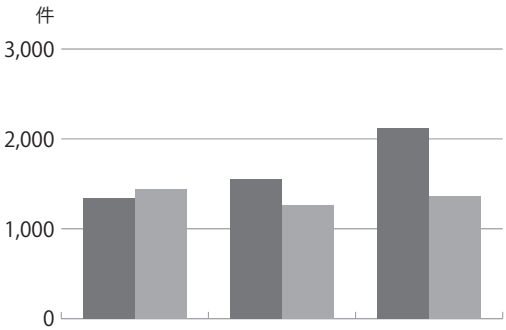
	2020年度	2021年度	2022年度
■ 今村総合病院	16,089	16,280	15,656
■ いづろ今村病院	2,556	2,874	3,210

MRI検査



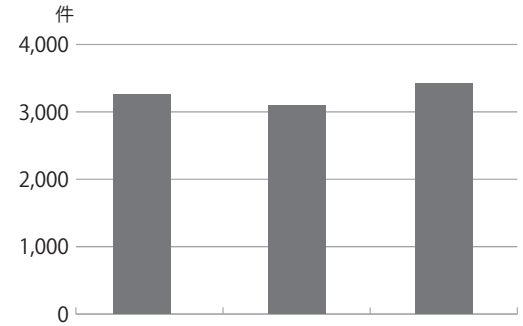
	2020年度	2021年度	2022年度
■ 今村総合病院	7,495	7,104	6,696
■ いづろ今村病院	828	941	956

透視検査



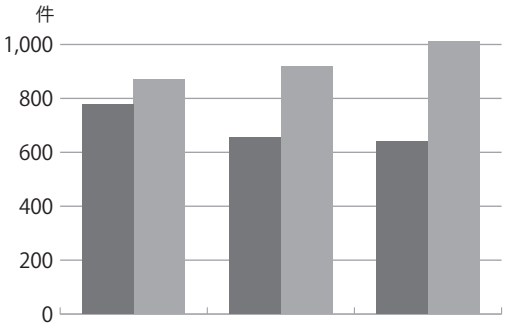
	2020年度	2021年度	2022年度
■ 今村総合病院	1,340	1,555	2,125
■ いづろ今村病院	1,438	1,258	1,367

放射線治療



	2020年度	2021年度	2022年度
■ 照射件数	3,260	3,089	3427

谷山病院検査数



	2020年度	2021年度	2022年度
■ 一般撮影	777	654	639
■ CT	870	919	1,010

業　績　一　覧

【論文】

今村総合病院

＜和文＞

1．市來守，牧野竜大，上川翔美，髙山大史，惠智徳，小澤修一，内山典明，西田博利，土器屋卓志，米倉健太郎：強度変調放射線治療を用いた全身皮膚周囲照射の放射線治療計画に関する報告．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：20–25，2022

【学会発表】

今村総合病院

＜国内＞

1．馬場隆行：患児の笑顔を作り出そう　－患者・家族・医療者の立場から－．第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会，2022 年 5 月 26–27 日，鹿児島

2．馬場隆行：手話と鏡で施設バリアを取り除く．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

3．二間瀬竜太：長期的使用注入用植込みポート使用時の造影 CT 撮影の注意点．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

4．蓑田辰則：被ばく相談室の設置の目的・成果の報告－目に見えない気持ちと対話する－．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

5．馬場隆行：ついに公開．クロックポジションスケール；CPS のすべて．ここから始まる高精度 X 線撮影．プレショットや補助具は CPS の序章だった．第 38 回日本診療放射線技師学術大会，2022 年 9 月 15–18 日，神戸

6．馬場隆行：手話と鏡で施設バリアを除く－大切な人も安心できる撮影室をめざして．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島

7．川上眞司：埋め込み型ポート使用時の造影撮影の注意点．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島

8．蓑田辰則：被ばく相談室の設置の目的・成果の報告－目に見えない気持ちと対話する－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島

9．市來守：ヘリカル IMRT を用いた全皮膚照射における PTV 設定の検討．第 35 回日本放射線腫瘍学会学術大会，2022 年 11 月 10–12 日，広島

10．馬場隆行：高精度補正を行うための基本と臨床応用。ここまで進化した撮影画像の計測と入射点移動で実現する高精度 X 線画像の実現．第 17 回九州放射線医療技師学術大会，2022 年 11 月 18–20 日，福岡

いづろ今村病院

＜国内＞

11．脇田慎一：地域医療連携サービスの使用実績と今後の課題～選ばれる画像診断部となるために～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

12．上舞優介：人間ドックにおける胃 X 線検査の役割．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

13．脇田慎一：地域医療連携サービスの使用実績と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島

14．上舞優介：当院の人間ドックにおける胃 X 線検査の役割．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4–5 日，鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1．馬場隆行：ついに初公開！これがクロックポジションスケール：CPS の全貌だ！　見逃すな！広島からはじまる戦略的高精度 X 線撮影　プレショットや補助具は CPS の序章だった！．23 回 NTRT 全国 X 線撮影技術読影研究会，2022 年 7 月 9–10 日，広島

2．市來守：椎体定位放射線治療の初期経験．2022 年度 日本放射線技術学会 九州支部放射線治療セミナー，2022 年 7 月 30 日，鹿児島

3．川上眞司：手術支援　CT 画像．第 52 回鹿児島 CT 研究会，2022 年 8 月 17 日，Web

いづろ今村病院

4．上釜健作：超音波検査室の精度認定制度について．第 317 回鹿児島超音波医学研究会，2022 年 5 月 31 日，鹿児島（Web）

5．上釜健作：ここがポイント！虫垂アプローチ．第 20 回鹿児島超音波研究会，2022 年 7 月 20 日，鹿児島（Web）

6．上釜健作：PD 後の膵尾部腫瘤の 1 例．第 321 回鹿児島超音波医学研究会，2022 年 9 月 27 日，鹿児島（Web）

7．上釜健作：左乳癌による転移性肝腫瘍の 1 例．第 324 回鹿児島超音波医学研究会，2022 年 12 月 6 日，鹿児島（Web）

8．上釜健作：どうしていますか？？経過観察時に心がけるべきこと．第 21 回鹿児島超音波研究会，2023 年 2 月 1 日，鹿児島（Web）

9．上釜健作：SMA 症候群の 1 例．第 327 回鹿児島超音波医学研究会，2023 年 3 月 29 日，鹿児島（Web）

【受賞】

いづろ今村病院

1．脇田慎一：「地域医療連携サービスの使用実績と今後の課題～選ばれる画像診断部となるために～」第 2 回慈愛会学会学術集会 ポスター発表奨励賞．2022 年 8 月 1 日

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

臨床検査部門

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
臨床検査部	臨床検査業務を改善し、より質の高い検査結果を提供する	(1). 検査内容（検体検査・生理検査・輸血検査・病理検査）の把握 ・臨床検査適正化委員会の隔月開催 ・数値目標　前年比1.02（2021年実績） 生化学検査　175,196件 （総合128,771件・いづろ42,990件） 心電図検査　17,250件 （総合6,041件・いづろ10,871件） 心血管超音波検査　7,965件 （総合5956件・いづろ1,853件） 血液型検査　2,723件 （総合2,185件・いづろ485件） 交差適合試験検査　3,814件 （総合2,965件・いづろ774件） 病理組織検査　4,111件 （総合4,030件） 細胞診検査　3,425件 （総合3,358件） (2). 新規検査項目の検討と導入 ・新規検査項目の検討と導入を行う	(1) ・臨床検査適正化委員会6回開催 ・2022年度検査実績 生化学検査　168,194件 （総合122,549件・いづろ44,676件） 心電図検査　17,372件 （総合5,990件・いづろ11,382件） 心血管超音波検査　7,470件 （総合5,345件・いづろ2,125件） 血液型検査　3,048件 （総合2,290件・いづろ758件） 交差適合試験検査　3,539件 （総合2,885件・いづろ654件） 病理組織検査　3,674件 細胞診検査　2,633件 (2) ・高麗町クリニックの検体検査を今村総合病院にて受託検査 ・コロナPCR院内検査の結果陽性報告時にｃｔ値の報告を開始 ・日赤血液センターへの血液製剤発注業務をWebシステムへ移行 ・非血縁者間末梢血幹細胞採取施設取得のためのマニュアル整備	(1) 2022年度目標達成率（前年度比1.02） 96.0% 100.7%（目標達成） 93.8% 111.9%（目標達成） 92.8% 89.4% 76.9% (2) ・高麗町クリニックの検体検査受託の運用を開始 ・コロナ陽性患者の感染解除時期の指標にｃｔ値報告を活用できた ・新規に外注検査3項目を電カル（MIRAIs）にてオーダ、結果閲覧できるようになった	(1) ・新規検査　項目の検討 ・検査業務の拡大等を図る ・業務の効率化で検査件数の増加に対応できるようにする。 (2) ・新規検査項目の検討と導入 ・輸血検査I&Aの維持更新にむけて、輸血検査システム更新
	正確で迅速、安全な検査結果提供の維持	(1). 外部・内部精度管理の実施 ・外部精度管理（日臨技・日本医師会・鹿児島県医師会・各種メーカーサーベイ）を受検し、データ分析を行う ・内部精度管理の徹底 (2). 医療安全・接遇教育の実施で質の高い検査提供の維持 ・院内外の講習会の受講と、e-ラーニングなど教育の実施 (3). コストを意識した業務改善 ・検査依頼から検査結果報告までの全行程の見直しを行う。 ・連携病院間での業務改善によるコスト削減	(1) ・日臨技・鹿臨技・日本医師会・鹿児島県医師会の外部精度管理の受検 ・メーカーサーベイランス　10社実施 ・内部精度管理検査　生化学43項目/日の実施 ・内部精度管理の部門システムでの一括管理 ・日本臨床細胞学会認定施設第9回コントロールサーベイ実施 (2) ・輸血学会のガイドラインに沿って検体を1週間冷蔵保管 ・日・当直輸血業務に係る技師へのグループ研修の実施 (3) ・タクロリムスの検査測定機器（ルミパルスへ）の変更 ・今村総合病院と七波クニリックで、グルコース・A1ｃ測定装置・尿測定装置を一括更新し、精度管理対応と、検査試薬コストの削減を行った ・今村総合病院といづろ今村病院で、機器更新時に生化学検査試薬を統一し、精度管理対応と、検査試薬コストの削減を行った。 ・骨髄液凍結保存の検討とマニュアル整備 ・腹部超音波検査の機器更新（Fortis） ・採血管の変更によるコスト削減の検討	(1) 外部精度管理調査結果は概ね良好 ・今村総合病院 日臨技　評価A+B　98.4% 日本医師会　評価項目修正点　96.9点 鹿児島県医師会　(2SD)　37/37 鹿臨技　評価A+B　98.3% 日本臨床細胞学会（病理）　正解率　89% ・いづろ今村病院 日臨技　評価A+B　98.5% 鹿児島県医師会　(2SD)　32/33 (2) ・全技師への研修を実施 (3) ・検査機器を法人内で一括更新、導入しコスト削減した ・法人内で検査試薬を統一し、コスト削減した ・検査機器の更新時に、検体検査基準値をJCCLS共用基準値へ変更し、関連病院間の検査機器・検査試薬の統一で、検査結果情報の共有化を行った	(1) ・外部、内部精度管理の継続 (3) ・輸血検査I&Aの維持更新にむけて、輸血検査システム更新

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画 (Stage1)	実施　2022.4月～ 2023.3月 (DO)	評価・検証 (CHECK)	改善 (ACTION)
臨床検査部	関連病院内外の連携強化	(1). 関連病院間の連携強化 ・臨床検査一体化会議の隔月開催 ・関連病院間の検査結果検索ネットワークの充実 ・関連病院間での業務協力を行う (2). 外部への検査部としてのアピール ・慈愛会臨床検査部のパンプレットの作成 ・各病院で、ホームページの臨床検査部門の更新を行う	(1) ・臨床検査一体化会議の6回/年開催 ・いづろ今村病院の尿中レジオネラ、肺炎桿菌キット・リパーゼを総合病院での一括検査へ ・コロナＰＣＲ検査の院内実施を充実させるため、機器台数を増やし、勤務体制を強化した。今村総合病院・いづろ今村病院間で機器連携で、相互の依頼件数増加に対応した ・いづろ今村病院の技師が今村総合病院の日祝日業務をおこなう ・今村総合病院の技師が、いづろ今村病院の超音波検査業務をおこなう (2) ・九州厚生局　施設基準に係る適時調査で、検査部関連で改善項目なし ・ホームページの更新時検査件数の集計基準の見直しを行なう	(1) ・法人内で検査項目の検討を行ない効率化を図る ・クラスター発生時の依頼件数増加にも、柔軟に対応した ・一体化に向けて業務の連携を行った (2) ・2022年度3回/年の更新を実施、1回/月の内容チェックを実施	(1) ・法人内の人事交流を進める
	人材育成を行い、検査技術のスキルアップを行う	(1)専門性の高い知識と、検査技術の習得 ・キャリアラダーに沿った新人研修と教育を行う ・日・当直業務の教育徹底 ・慈愛会学会学術集会の発表と参加 (2)専門分野の各学会や団体が認める各種認定資格の取得を目指す ・各種認定資格受験への環境を整える ・各種認定資格の取得 ・資格取得者の資格維持・更新の環境を整える (3)ラダーに沿った指導・教育を行う ・能力開発プログラムに沿った教育の実践 ・管理者任用候補者選考試験の受験を目指す ・タスク・シフト／シェアに関する厚生労働省指定講習会の受講	(1) ・ミーティング時のe-ラーニングと自己学習 ・中堅技師の慈愛会多職種講習会への参加 ・日当直者の輸血研修の実施（今村総合病院・いづろ今村病院） ・慈愛会学会4題ポスター発表（今村総合2題、いづろ今村2題） ・12/3第10回慈愛会　臨床検査部合同研修会を、会場＋Webで開催（4演題、特別講演） (2) ・認定輸血検査技師2次試験2名受験予定 ・日本臨床神経生理学会専門技術師（筋電図・神経伝導）1名受験（6月） ・超音波検査士　2名受験 ・認定一般検査技師　1名受験 (3) ・中堅技師の慈愛会多職種講習会への参加 ・管理者任用候補試験受験 ・座学と実習の全技師受講完了を進める	(1) ・多職種講習会9名参加 ・輸血研修全員実施 (2) ・認定輸血検査技師2名合格 ・日本臨床神経生理学会専門技術師（筋電図・神経伝導）1名合格 ・超音波検査士　2名合格 ・認定一般検査技師　1名合格 ・細胞検査士1次試験1名合格 (3) ・管理者任用候補試験合格（今村総合2名・いづろ2名） ・受講（座学・実習）終了者　4名	(2) ・資格取得を目指せる環境を整える (3) ・全技師受講で、多職種連携を進める
	働きやすい環境づくり	(1). 必要な休暇取得ができる職場環境の維持 ・休暇取得に対応できる業務体制づくり (2). 身体的にも精神的にも健全に業務できる環境を整える ・環境の改善 ・業務の改善	(1) ・法人内異動1名、新入職員1名、時短取得者3名 ・コロナ関連の出勤停止あり人員減での業務調整 ・永年勤続表彰関連のリフレッシュ休暇取得対応 (2) ・停電発生時の機器管理手順の見直し ・環境測定実施（検査室：メタノール：第１管理区分） ・環境測定実施（病理部：ホルマリン・キシレン：第１管理区分） ・コロナPCR用安全キャビネット（クラスⅡ）の更新 ・検体検査室内棚の一部撤去。 ・クリーンパーティーションの設置（いづろ肺機能室）	(1) ・教育研修をすすめ、業務効率化して人員減に対応 ・リフレッシュ休暇全対象者11名取得 (2) ・環境測定は適切 ・業務上の感染発生のない安全検査環境を維持できた ・検査室内のコミュニケーション障害の防止（インシデント対策）をおこなう	(1) ・業務改善を進める ・検査部内担当業務変更の検討と実施

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

【人事交流】

・今村総合病院検体検査から谷山病院へ1名異動しました。

・今村総合病院臨床検査の24時間365日体制対応のため、いづろ今村病院の臨床検査技師も、検体、輸血検査の日直業務をおこないました。

・今村総合病院技師がいづろ今村病院で、腹部超音波検査業務をおこないました。

【情報共有】

・今村総合病院で高麗町クリニックからの検体検査の受託を開始。検査結果は電子カルテシステムで、関連病院間での時系列比較も可能になりました。

・今村総合病院臨床検査適正化委員会を、今年度は隔月偶数月に6回、臨床検査部・病理診断科・看護部・事務部の参加で開催しました。

・慈愛会臨床検査部一体化会議を、今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院が参加し、今年度は隔月奇数月に開催しました。

・今村総合病院いづろ今村病院間で、当番医などの情報を共有し、PCR検査の件数増加に対応できる検査環境の整備をおこない、迅速な検査結果報告をおこないました。

・検体検査機器の更新時に、今村総合病院、いづろ今村病院、七波クリニック間で、検査機器、検査試薬を統一し、検査基準値の見直しをおこない、検査結果の共有、時系列比較を行えるようにしました。

合同研修会

「**第10回慈愛会　臨床検査部合同研修会**」

・2022年12月3日（土）14:00-16:00

・ハイブリッド開催

現地開催（今村総合病院A棟大会議室）

+Web視聴（いづろ今村病院・谷山病院）

【内容】

1．理事長挨拶

慈愛会　理事長　今村 英仁

2．一般演題　4題

演題1

当院における人間ドックのピロリ菌陽性患者の推移

いづろ今村病院　臨床検査部　椙松 裕乃

演題2

いまさら聞けない尿沈渣

今村総合病院　臨床検査部　吉見 里香

演題3

当院における血圧脈波検査の有用性について

今村総合病院　臨床検査部　十田 寿美

演題4

免疫染色の意義と当院における標本作成について

今村総合病院　病理部　八ヶ代　奈菜

3．特別講演

いま改めて学ぶHbA1c　最新知見を踏まえて

アークレイ マーケティング株式会社　神原 浩先生

4．総括・閉会の挨拶

今村総合病院　臨床検査部部長　坂江 清弘

技能・能力向上に向けた取り組み

・今年度ラダー申請12名。（今村総合病院8名、いづろ今村病院4名）

・今村総合病院で新入職員（5月入職）1名の教育、育成をおこないました。クリニカルラダーに沿って教育し、約3ヶ月間の研修後、日当直検体検査業務を開始。その後は担当業務の検体検査技術習得のための教育を継続しています。

・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会の受講（基礎講習、実技講習）を進め、今年度の実技講習終了者は、今村総合病院4名。早期の受講終了を計画的に進め、多職種連携と検査業務拡大の検討をしていきます。

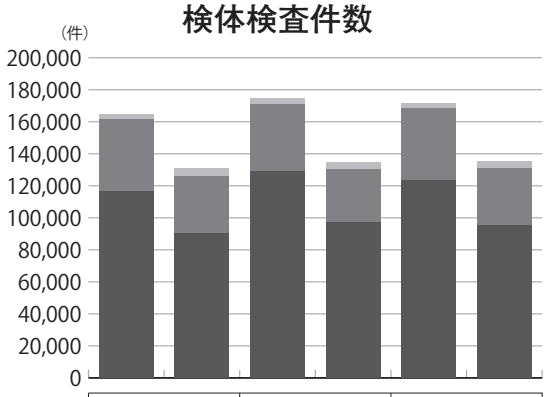
・今村総合病院臨床検査部で、月1回のミーティング時にWeb研修会を実施しました。

各種認定資格取得状況

資格名等	総数	2022 年度　新たな取得者	
超音波検査士	7 (10 領域)	2	竹之内敏典、臼田歩実（いづろ今村病院）
認定輸血検査技師	2	2	藤山裕輝、中島彩乃（今村総合病院）
JSCN 専門技術師	1	1	加治屋美紀（今村総合病院）
認定一般検査技師	1	1	炭谷一行（今村総合病院）
細胞検査士	4		
細胞治療認定管理士	3		
睡眠学会認定検査技師	1		
2 級甲類臨床病理技術士	1		
JHRS 認定心電図専門士	1		
病院感染制御スタッフ	1		

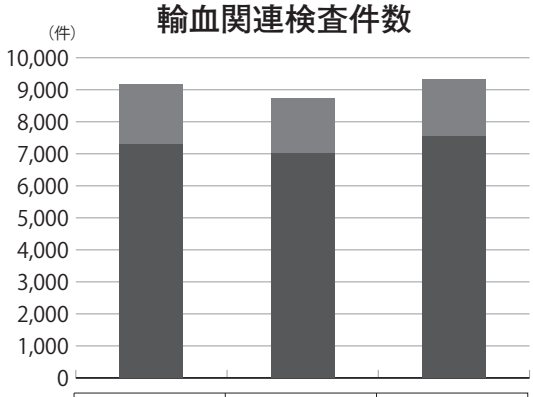
各種指標

検体検査件数



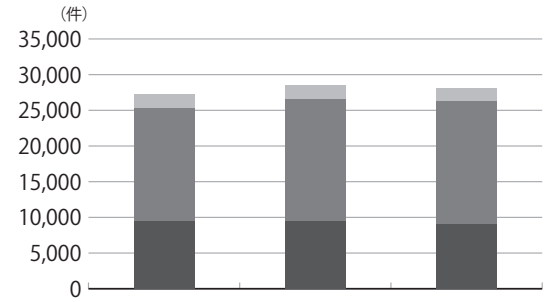
	2020年度		2021年度		2022年度	
	生化学	血液	生化学	血液	生化学	血液
谷山病院	3,474	4,613	3,329	4,284	3,397	4,295
いづろ今村病院	44,396	35,937	42,307	33,368	44,676	35,373
今村総合病院	96,212	78,697	98,086	82,085	123,518	95,526

輸血関連検査件数



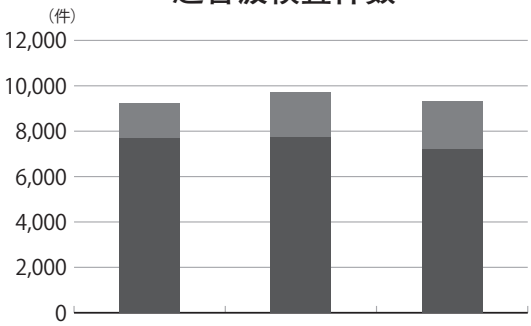
	2020年度	2021年度	2022年度
いづろ今村病院	1,853	1,695	1,807
今村総合病院	7,302	7,023	7,529

生理機能検査件数



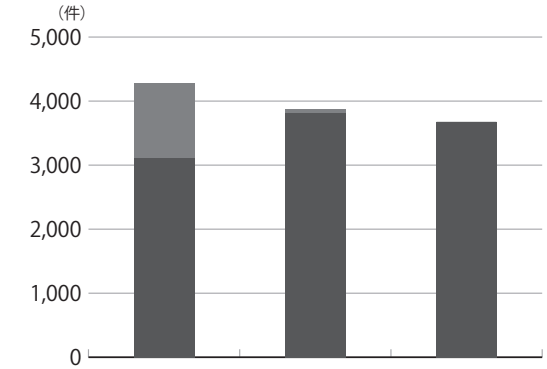
	2020年度	2021年度	2022年度
谷山病院	1,928	1,884	1,786
いづろ今村病院	15,833	17,055	17,213
今村総合病院	9,461	9,524	9,093

超音波検査件数



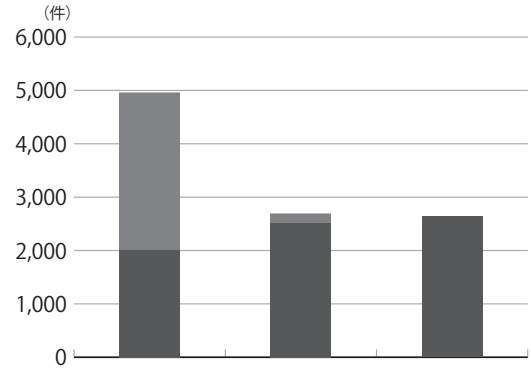
	2020年度	2021年度	2022年度
いづろ今村病院	1,615	1,557	2,125
今村総合病院	7,978	7,692	7,207

病理検査件数（組織診）



	2020年度	2021年度	2022年度
七波・オハナ	0	0	0
いづろ今村病院	1,167	62	0
今村総合病院	3,114	3,816	3,674

病理検査件数（細胞診）



	2020年度	2021年度	2022年度
七波・オハナ	20	16	0
いづろ今村病院	2,929	166	0
今村総合病院	2,008	2,512	2,633

業　績　一　覧

【学会発表】

今村総合病院

＜国内＞

1．久保田知慎:採血取り直しとなる原因と検査値に及ぼす影響について．第 2 回慈愛会学会学術集会, 2022 年 7 月 9 日, 鹿児島

2．上野朋絵：院内コロナウイルス PCR 検査の実態と現状．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

3．中島彩乃:RhD 陰性血輸血後に抗 D を産生した RhD 陰性患者症例．第 18 回鹿児島県医学検査学会, 2023 年 2 月 12 日, 奄美

いづろ今村病院

＜国内＞

4．上赤遼：血液検査に影響を与える因子の評価．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

5．臼田歩実，湯淺由合，泉琴美，山下誠，木佐貫彰，長野真二郎：GLS による糖尿病性心筋症の検出．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

6．上赤遼：血液検査に影響を与える因子の評価．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

7．臼田歩実：糖尿病患者における心不全のリスク軽減に向けた当院の取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

【研究会・講演会】

今村総合病院

1．藤山裕輝：当院における日当直スタッフへの輸血業務再教育と支援体制．役立つ！スキルアップ．鹿児島県臨床検査技師会 Web 研修会，2022 年 12 月 10 日，鹿児島

【受賞】

いづろ今村病院

1．臼田歩実：「GLS による糖尿病性心筋症の検出」第 2 回慈愛会学会学術集会 ポスター発表最優秀賞．2022 年 8 月 1 日

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

栄養管理部門

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
管理栄養部	栄養ケアマネジメントの機能強化と人材育成	⑴.急性期から在宅まで一貫した栄養マネジメント機能の強化 ①管理栄養士の病棟配置に向けた取り組み（急性期病院） ・運用、人材育成、体制、スキルや実技を向上するための調査と仕組み作り ・NST研修への参加	①担当病棟のチーム制、持ち回り制など、管理栄養士のスキルアップ・情報共有のため取り組んだ。栄養計画書の運用見直し、入院診療計画書・褥瘡計画書への対応など病院の方針に則して実施できた。	①病棟訪問や食事摂取状況、疾患に即した栄養を提供できているか、検査値等の確認を行う。また必要に応じて主治医・多職種と連携協働した。	①病棟配置に向けて体制を整え、スキルアップをはかる。
		②精神科における栄養マネジメントの取り組み ・精神疾患、高齢患者の低栄養対策の仕組み作り ・退院に向けた栄養ケア体制に関する調査、必要な人材確保、NST研修への参加	②コロナ感染の状況みながら、昼食時の病棟訪問や入院時のスクリーニングを実施病棟スタッフと連携して対応できた。	②食事摂取状況、食形態など確認する。主治医・多職種と連携して行った。	②途切れのない栄養管理に向け、取り組んでいく。
		③介護における栄養マネジメントの機能強化 ・運用、体制の構築に向けて仕組み作り ・NST委員会と担当医との連携、NST関連の研修会へ参加	③入所時のスクリーニング、昼食時の食事観察など、感染状況をみながら継続実施。経口維持、適切な食事形態を提供できるよう努めた。	③定期的にスクリーニング、食事観察を継続。体重などの変化にも気をつけ、多職種と協働した。	③多職種と連携し、栄養マネジメント維持に努める。
		⑵.地域一体型NSTに向けた取り組み ①在宅・地域への栄養マネジメント（医療） ・ニーズ、診療報酬など制度や仕組みを調査・学習して必要事項をピックアップ ・栄養情報提供書の見直し（急性期） ・必要な人材確保、栄養情報提供書の導入（精神科）	①コロナ感染対応のため、イベント等は中止のまま。地域には出て行けない状況であった。栄養情報提供書は、必要時に作成できるようになっている。	①食事摂取状況や食事形態、体重などをチェックして栄養状態維持をはかる。栄養に関する情報を必要に応じて出せるようにした。	①在宅、地域に必要な情報、情報収集の方法を検討する。
		②在宅・地域への栄養マネジメント（介護） ・ふれあい会食にて栄養講話の継続、栄養マネジメントの体制作り ・訪問給食の継続	②介護まつり等のイベントは中止のまま。訪問給食は継続できた。	②感染状況をみながら、イベント等へ協力できる体制を整えている。	②在宅、地域への栄養マネジメントに向け、協力継続する。
		⑶.人材育成 ・管理栄養士のラダー運用と見直し	・管理栄養士のラダー運用、見直しには至らなかった。	・研修会やセミナー等の開催情報を共有、声かけして参加を促した。	・ラダー運用について検討していく。
		・栄養部WGの継続と発展的再編に向けた検討、合同研修会の実施	・栄養部WGは継続中。来年度からは、調理スタッフWGも再開して慈愛会栄養部門の連携、発展に繋げていく。合同研修会は全体・栄養士向けの2つを開催した。	・資格取得に取り組む体制作り、合同研修会の継続 ・各施設の状況把握、情報共有から業務改善に繋がる体制作りへ	・合同研修会、職種ごとの勉強会の継続 ・調理スタッフの連携、自立に向けて体制づくり
		・実習生の受け入れ、職場体験などへの協力（人員確保にも繋がるよう継続していく）	・栄養士実習生は可能な限り受け入れた。	・実習生受け入れの継続	・実習生受け入れ、資格取得への取り組み
		⑷.その他 ・地域イベント、院内行事等への参加協力	・開催された場合は、参加・協力した（慈愛会学会など）	・地域イベント、院内外行事へ参加協力できた。	・人材育成、協力体制の継続
		・各種講師派遣、関連団体への参加協力	・各方面からの講師依頼、研修会などへの参加協力は、感染対策を行いつつ実行できた。	・講師依頼、関連団体からの協力依頼に応えられた。	・人材育成、協力体制の継続

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
管理栄養部	病院給食、介護給食の合理化と更なる発展に向けた取り組み	(1).厨房運営の合理化や品質向上に向けた取り組み ①調理スタッフ不足への対策 ・体制の見直し、求人依頼の方法など拡充に向けて検討 ・状況に応じた給食の提供（完調品、カット野菜、献立簡素化など）	①各施設の状況に合わせて取り組み、給食提供維持できた。 体制変更、完調品やカット野菜の導入、献立の簡素化など。 マニュアル作成、更新により業務改善に繋がった取り組みもできた。	①各施設、感染などの状況をふまえつつ給食提供できた。 その都度、できる範囲の対応を検討し、安全な給食を提供した。 マニュアルを整え、業務を標準化する取り組みもできた。	①給食提供維持のためマニュアル等の活用、人材育成
		②品質向上、給食運営の発展に向けて ・ニーズに合わせた給食提供の維持、適正な材料費維持の検討	②食材の価格高騰が続くなか、早めに情報共有することができた。 給食材料費への影響も共有し、お互いの対策を参考にして対応できた。	②食材高騰の情報を早くキャッチして自施設への対応ができた。	②ニーズに合わせた給食提供の維持、適正な食材費を維持する。
		(2).安全管理における連携 ①衛生管理、感染対策、その他安全管理 ・大量調理施設衛生マニュアルの遵守、マニュアルの見直し	①各施設、必要に応じてマニュアル更新を行っている。(栄養部門WGの共有フォルダにて共有しているため、お互い参考にしやすい)	①安全対策は、施設の状況に応じて見直しできた。	①必要に応じた対策の更新
		②非常食 ・非常食の在り方について検討 ・自助・互助・共助など連携への検討	②奄美と本部で非常食の在り方等について、慈愛会学会にて発表した。 離島での非常食の必要量など情報共有、またコロナ禍の状況や対応など共有し、自施設における参考とした。	②非常食について在り方など共有検討した。	②自助、互助、共助など連携
	栄養部門の組織体制の整理、財務の視点	(1).慈愛会栄養部門の組織体制の検討 ・栄養マネジメントと給食管理の整理、進捗状況をみながら組織体制など検討	・今後の給食方式について、情報共有中（理事長・本部より）	・コロナ禍で人員少ない状況での給食提供を経験した。対策を立て対応できた。	・給食提供維持のために体制等の検討、給食方式について学ぶ。
		(2).栄養部門からの収益増に向けて 総合　個別　90件 いづろ　個別 100件　集団 40件　透析予防 20件 谷山　個別 20件　集団 2件 慈CL　個別 10件　透析予防 180件 七波　個別 30件 奄美　個別 10件 徳之島　個別 10件　集団 1件 愛結　経口維持 20件　栄養改善 1件	総合　個別　81件 いづろ　個別 130件　集団 49件　透析予防 24件 谷山　個別 17件　集団 1件 慈CL　個別 10件　透析予防 208件 七波　個別 34件 奄美　個別 2件 徳之島　個別 4件　集団 1件 愛結　経口維持 27件　栄養改善 0件	・栄養相談および介護（経口維持）の目標との比較 コロナ感染の影響で実施できない状況もあったが、概ね達成できた。	・目標を設定して取り組む。
		②診療報酬、介護報酬の算定拡充 ・対象項目をピックアップして点数獲得に向けて取り組む ・NST、ICU早期栄養介入、栄養マネジメント強化など目標の数値化を目指す	②栄養相談、NST関連で実行可能なところに取り組んでいる。	②感染対策して、実行できる事に取り組んだ。	②診療報酬、介護報酬の算定拡充に向けて取り組む。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

毎月1回Zoom会議にて、6施設における互いの状況報告や情報共有を継続した。食材高騰の影響・コロナ禍の対応など、早期共有により自施設での取り組みの参考となった。来年度から調理師の連絡会議も予定され、慈愛会栄養部門の連携強化へ繋がると思われる。

①栄養ケアマネジメントの機能強化と人材育成

・病棟配置に向け、担当病棟のチーム制・持ち回り制など管理栄養士のスキルアップと情報共有に取り組んだ。コロナ感染の状況をみながら病棟訪問、入院・入所時のスクリーニングを実施し、適切な食事形態を提供出来るよう努めた。地域へ向けたイベント等は中止されたままだったが、栄養情報提供書は必要に応じて作成できる体制は整っている。また栄養管理計画書の運用見直し、入院診療計画書や褥瘡計画書への対応に

も取り組んだ。

・人材育成においては、ラダー運用はままならなかったが自己研鑽に努め、多数の研修会や学会への参加・単位取得や新たな資格取得に繋がっている。院内外への協力参加、各種講師依頼への協力、関連団体への参加協力にも努めた。栄養士実習生も可能な限り受け入れ協力できた。

学会、院外セミナー、研修会への参加

（証明書発行あるもの、Web参加含む）

第5回糖尿病医療学研究会inかごしま
日本栄養士会生涯教育　臨床栄養・地域栄養
鹿児島県栄養士会リレー研修会PartⅠ
特定健診・特定保健指導スキルアップセミナー
心不全療養指導士受験用eラーニング
2022年全国栄養士大会オンライン
第26回糖尿病スタッフセミナー
鹿児島県栄養士会リレー研修会PartⅡ
令和4年かごしま臨床栄養連携研究会
第26回病態栄養学会年次学術集会
R4糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会
循環器予防療養指導オンラインセミナー
日本病態栄養学会糖尿病透析予防指導セミナー
2022年度日本病態栄養学会 鹿児島県セミナー

②給食の合理化と発展に向けた取り組み

・コロナ禍の対応と調理スタッフ不足への対策
感染対応やスタッフ不足の対策情報を共有し、各施設の状況に合わせて、体制変更・完調品やカット野菜の導入・献立の簡素化など工夫して給食提供維持に努めた。

・調理スタッフのマニュアル作成や更新により、業務改善に繋がる取り組みもできた。

・食材高騰が続く中、情報と互いの対策を早期共有することで適正な食材費へと対応できた。

・非常食についての検討
奄美と本部で、非常食の在り方等について慈愛会学会で発表した。離島での必要量、コロナ禍の状況や対応についても情報共有できた。
今後も自助、互助、共助など連携できるよう検討を重ねていくべきと考える。

③栄養部門の組織体制の整理、財務の視点

・給食管理は、調理スタッフの人員不足が続く中、更にコロナ感染関連による急な休みにも対応した。今後の給食方式については学習も必要で、慈愛会の方針など情報共有しながら体制等の検討をすすめていく。

・診療報酬、介護報酬の算定拡充に向け、対象項目あれば対応できるよう体制を整えていく。栄養相談などは目標設定して取り組みを継続する。

合同研修会

昨年に続きZoomを利用して開催。各施設にて集合・または個人参加にて、全8施設から参加できた。（栄養部門全職種合同　30名参加）

「第9回 慈愛会栄養部門合同研修会（全体）」

・2023年3月11日（土）15:00-17:00

【内 容】

Ⅰ．報告
「慈愛会栄養部門WG事業計画と進捗状況」
いづろ今村病院　管理栄養士　中薗 智美

Ⅱ．勉強会
「衛生管理について～各施設の事例を踏まえて」
いづろ今村病院　管理栄養士　内田 紗弥

Ⅲ．各施設の取り組み発表
①嚥下食・ソフト食の取り組み
②コロナ禍の状況共有（各施設での対応）
③その他（調理スタッフ；仕事の流れ、作業しやすくする工夫、人員配置、人員確保の工夫など）

「第3回 慈愛会栄養部門　栄養士合同研修会」

（対象；管理栄養士・栄養士）

【内 容】

情報共有、勉強会
①「栄養ケアプロセス（NCR）とは」
慈愛会クリニック　管理栄養士　加藤 実穂
②糖尿病の食事療法「カーボカウント」について
～各施設の指導方法や指導媒体など共有しましょう～

技能・能力向上に向けた取り組み

資格取得（2022年度に取得した資格）

・日本糖尿病療養指導士
　いづろ今村病院　萬福 有理
・人間ドック健診情報管理指導士
　いづろ今村病院　　堀木 まどか
・鹿児島地域糖尿病療養指導士
　いづろ今村病院　　堀木 まどか
・心不全療養指導士（日本循環器学会）
　慈愛会クリニック　　加藤 実穂

資格更新（2022年度に更新した資格）

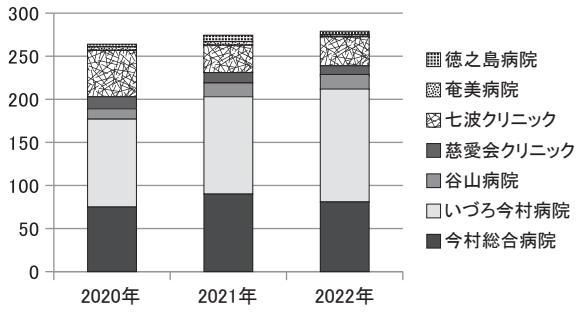
・糖尿病病態栄養専門管理栄養士
　慈愛会クリニック　　加藤 実穂
・病態栄養専門管理栄養士
　いづろ今村病院　　内田 紗弥

院内外活動

・病院広報誌へレシピ提供「じあいのとびら」「にじ」
　今村総合病院・いづろ今村病院
・鹿児島糖尿病療養指導士会役員兼事務局
　いづろ今村病院
・糖尿病患者会「ななみ会」「いずみ会」
　いづろ今村病院・七波クリニック・慈愛会クリニック
・鹿児島中央看護専門学校講師
　慈愛会クリニック
・糖尿病ガイドブックの食事療法の項目について、意見提出
　慈愛会クリニック　加藤実穂
・鹿児島県栄養士会への協力（リレー研修・糖尿病重症化予防・まちの保健室・市民健康まつり）
　いづろ今村病院・慈愛会クリニック・七波クリニック
・院内IBDチーム活動
　いづろ今村病院

各種指標

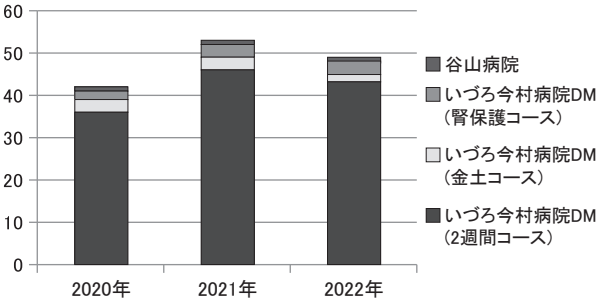
個別栄養食事指導件数（件／月）



	2020年	2021年	2022年
今村総合病院	75	90	81
いづろ今村病院	102	113	130
谷山病院	12	16	17
慈愛会クリニック	14	12	10
七波クリニック	54	32	34
奄美病院	4	3	2
徳之島病院	3	7	4

＊糖尿病透析予防指導管理料
　いづろ今村病院　　290件/年（2021年度　292件/年）
　慈愛会クリニック　2493件/年（2021年度　2457件/年）
＊無料栄養相談（公益事業）
　慈愛会クリニック　　40件/年（2021年度　51件/年）
＊介護関連
　愛と結の街　経口維持324件/年（2021年度　230件/年）

集団栄養食事指導件数（件／月）



	2020年	2021年	2022年
いづろ今村病院DM（2週間コース）	36	46	43
いづろ今村病院DM（金土コース）	3	3	2
いづろ今村病院DM（腎保護コース）	2	3	3
谷山病院	1	1	1

業　績　一　覧

【学会発表】

いづろ今村病院

＜国内＞

1．中薗智美，内田紗弥，植祐美，梶原喜久美，浜松淳，志賀友洋，内野丈志：栄養部門 業務改善の取り組み～よりよい食支援のために～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

2．中薗智美：共通目標に向かって業務改善を行い，栄養部門の人材育成に繋がった取り組み．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

奄美病院

＜国内＞

3．和田裕美：離島における非常食のあり方とは～コロナ禍を踏まえて現場の視点から考える～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

徳之島病院

＜国内＞

4．清水崇：外来栄養指導強化に関する取り組みについて．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

5．清水崇，作元ゆかり：外来栄養指導強化に関する取り組みについて．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

愛と結の街

＜国内＞

6．隈﨑耕輔，山下幸輝，滝寺雅之，今村瑞香:調理師としてできること～法人グループ内の課題からみえてきたこと～．第 33 回全国介護老人保健施設大会 兵庫，2022 年 9 月 22 日，神戸

【研究会・講演会】

いづろ今村病院

1．中薗智美：IBD 患者さまとの関わり 栄養士の立場から．鹿児島 IBD チーム医療連携の会，2022 年 5 月 26 日，鹿児島（Web）

2．中薗智美：病院栄養士の体験から．鹿児島県立短期大学キャリアデザイン「先輩の就活体験・職業体験から学ぶ」，2022 年 9 月 21 日，鹿児島

3．萬福有理：先輩からあなたへ　体験発表．鹿児島純心女子大学，2022 年 9 月 27 日，鹿児島（Web）

4．中薗智美:「職場の安全は皆さんの健康から」～高血圧症について　食事に関すること（適塩）．積水安全大会，2022 年 10 月 6 日，鹿児島

5．中薗智美：病態を知ろう（糖尿病）「症例検討～インスリン」．鹿児島県栄養士会リレー研修会 Part Ⅰ（第 5 回），2022 年 10 月 15 日，鹿児島（Web）

6．堀木まどか：癌治療におけるチームアプローチ～緩和ケアのお食事について．慈愛会看護部 J-seaty ナース研修会，2022 年 12 月 6 日，鹿児島

7．中薗智美：症例検討研修会（症例 2）．令和 4 年度鹿児島県栄養士会糖尿病重症化予防事業，2023 年 1 月 28 日，鹿児島

8．中薗智美：糖尿病の食事指導～腎症・時間栄養学・肥満への対応～．令和 4 年度糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会，2023 年 1 月 29 日，鹿児島

9．中薗智美：高齢者のフレイル対応～食事編．食品交換表の活用，飲酒指導．令和 4 年度糖尿病重症化予防保健指導従事者研修会，2023 年 2 月 5 日，鹿児島

徳之島病院

10．清水崇：第 8 回鹿児島 1 型糖尿病セミナーファシリテーター，2022 年 12 月 4 日，鹿児島（Web）

愛と結の街

11．今村瑞香：老健における管理栄養士としての役割．慈愛会看護部 J-seaty 研修会，2022．10 月 11 日，鹿児島

慈愛会クリニック

12．加藤実穂：病態を知ろう（糖尿病）「NCP 症例検討」．鹿児島県栄養士会リレー研修会 Part Ⅰ（第 5 回），2022 年 10 月 15 日，鹿児島（Web）

【受賞】

奄美病院

1．和田裕美：「離島における非常食のあり方とは～コロナ禍を踏まえて現場の視点から考える～」第 2 回慈愛会学会学術集会 ポスター発表優秀賞．2022 年 8 月 1 日

徳之島病院

2．清水崇：「外来栄養指導強化に関する取り組みについて」第 2 回慈愛会学会学術集会 ポスター発表奨励賞．2022 年 8 月 1 日

【マスメディア】

いづろ今村病院

1．堀木まどか：KAJYOTAN GUIDEBOOK 2023　入学者向けパンフレット　生活科学科 食物栄養学専攻～食物栄養学専攻 OG　寄稿，2022 年 5 月

部門別　事業報告(PDCA) 総括 指標 業績一覧

ソーシャルワーカー部門（JSW）

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会ソーシャルワーカー部（JSW）	地域貢献	(1). 地域交流会等に参加し、社会福祉・精神保健福祉に関する知識の普及啓発活動に参画する ・健康・介護まつりへの関わり（相談ブース等の担当） ・モニター会議参加 ・がん相談関連のイベントへの参加 ・世界アルツハイマーデー街頭活動への参加 ・地域ケアマネ等向け研修、意見交流会の開催 ・地域住民向け講座等への講師派遣（認知症サポーター等） ・地域における啓発活動への積極的な参加（ピアサポーターとの協働） ・家族支援教室の開催 ・秋祭りの開催 ・鴨池校区コミュニティー協議会参加 ・鴨池商店街振興会参加 ・小原町内会はぐくみ会参加 ・東谷山校区コミュニティー協議会参加 ・地域健康クラブ等へ出張講演	(1). 地域交流会等に参加し、社会福祉・精神保健福祉に関する知識の普及啓発活動に参画する 【今村総合病院】実績無し 【いづろ今村病院】実績無し 【谷山病院】実績無し 【奄美病院】 ・地域ケアマネ等向け研修、意見交流会の開催 ・地域住民向け講座等への講師派遣（認知症サポーター等） 【愛と結の街】 ・東谷山校区コミュニティ協議会、小原町内会はぐくみ会　参加 【今村総合病院】 ・慈愛コミュニティ委員会へ変更し活動委員会参加	(1). 地域交流会等に参加し、社会福祉・精神保健福祉に関する知識の普及啓発活動に参画する 【谷山病院】実績なし 【奄美病院】 ・地域ケアマネ等向け研修、意見交流会の開催 ・地域住民向け講座等への講師派遣（認知症サポーター等） ・世界アルツハイマーデー企画展示活動 ・ピアサポーター研修、交流会 【愛と結の街】 ・小原町内会はぐくみ会　7月、9月中止 【今村総合病院】 ・毎月第1火曜日へ日程変更	(1). 地域交流会等に参加し、社会福祉・精神保健福祉に関する知識の普及啓発活動に参画する 【今村総合病院】 ・健康・介護まつり（相談ブース担当）　開催時に即応できる体制整備 【いづろ今村病院】 ・健康・介護まつり等地域活動の開催時に即応できる体制整備 【今村総合病院】 ・がん相談員の育成と採用。『つながる想いinかごしま』への参加 【谷山病院】 ・世界アルツハイマーデー活動参加 ・地域健康クラブ等へ出張講演 【愛と結の街】 ・小原町内会はぐくみ会　講話実施 【奄美病院】 ・世界アルツハイマーデー企画展示活動 ・ピアサポーター研修、交流会
		(2). 認知症疾患医療センターの役割の充実と機能強化 ・認知症疾患医療連携協議会の開催 ・認知症カフェ開催 ・医療従事者・介護従事者向け研修会の開催 ・初期集中支援チームへの協力	(2). 認知症疾患医療センターの役割の充実と機能強化 【谷山病院】 ・認知症疾患医療連携協議会の開催 ・医療従事者・介護従事者向け研修会の開催 ・初期集中支援チームへの協力 【奄美病院】 ・認知症疾患医療連携協議会の開催 ・医療従事者・介護従事者向け研修会の開催 ・初期集中支援チームへの協力	(2). 認知症疾患医療センターの役割の充実と機能強化 【谷山病院】 ・認知症疾患医療連携協議会の開催 ・医療従事者・介護従事者向け研修会の開催 ・初期集中支援チームへの協力 【奄美病院】 ・認知症疾患医療連携協議会の開催 ・医療従事者・介護従事者向け研修会の開催 ・初期集中支援チームへの協力	(2). 認知症疾患医療センターの役割の充実と機能強化 【谷山病院】 ・認知症カフェ開催 【奄美病院】 ・認知症カフェ開催
		(3). 沖永良部・与論島への巡回診療、訪問看護の実施 ・離島訪問委員会の設立 ・離島訪問主要メンバーとしてのPSW参加継続	(3). 沖永良部・与論島への巡回診療、訪問看護の実施 ・巡回診療、訪問看護を毎月、実施（外来看護師、作業療法士、精神保健福祉士）	(3). 沖永良部・与論島への巡回診療、訪問看護の実施 ・巡回診療、訪問看護を毎月、実施（外来看護師、作業療法士、精神保健福祉士）	(3). 沖永良部・与論島への巡回診療、訪問看護の実施 ・巡回診療、訪問看護を継続
	地域連携	(1). 関係機関との連携強化 ・地域連携セミナー開催準備対応 ・計画的な訪問活動 ・今村総合病院・いづろ今村病院合同での訪問活動開始 ・他医療機関実績 （20以上の施設、年3回以上の面会：今村総合・いづろ） ・自立支援協議会への参加 （奄美：1回/月、徳之島：1回/2カ月、谷山1回/1カ月） ・居住支援協議会への参加 （奄美:要請時、徳之島:１回/３カ月） ・奄美地区地域医療連携室協議会への参加（3回/年） ・精神医療審査会へ委員としての参加 ・介護認定審査会へ委員としての参加 ・介護予防地域ケア会議へ参加 （1回/3カ月） ・谷山中央地域ケア推進会議へ参加 ・鹿児島市ケアプラン適正化事業へ指導者として参加 ・鹿児島市介護支援専門員協議会施設委員として参加 ・鹿児島県介護支援専門員協議会更新研修等の指導者として参加	(1). 関係機関との連携強化 【今村総合病院】 ・実績無し 【いづろ今村病院】 ・70件（各診療科や地域連携プロジェクト推進委員会との協働） 【今村総合病院・いづろ今村病院】 ・実績無し 【今村総合病院】 ・他医療機関との連携実績：205事業所　452回（3回以上 30事業所） 【谷山病院】 ・精神医療審査会の意見聴取　不定期参加 ・鹿児島国際大学非常勤　精神保健福祉援助実習　前期5回 ・介護予防地域ケア会議へ参加　4回/年 【奄美病院】 ・自立支援協議会　1回/月 ・居住支援協議会　3回/年 ・奄美地区地域医療連携室協議会3回/年 ・介護認定審査会へ委員として参加 【愛と結の街】 ・鹿児島市ケアプラン適正化事業へ指導者として参加 ・鹿児島市介護支援専門員協議会施設委員として参加 ・鹿児島県介護支援専門員協議会更新研修等の指導者として参加 ・鹿児島市地域ケア会議参加	(1). 関係機関との連携強化 【いづろ今村病院】 ・コロナ感染症流行のタイミングをみながらの訪問のため、計画的には困難。病院全体としての訪問活動を推進 【今村総合病院】 ・経営幹部同伴での挨拶回りを行ったが、自部署単体での挨拶回りはできなかった。 【谷山病院】 ・精神医療審査会の意見聴取　不定期参加 ・鹿児島国際大学非常勤　精神保健福祉援助実習　前期5回 ・介護予防地域ケア会議へ参加　4回/年 【奄美病院】 ・自立支援協議会　1回/月 ・居住支援協議会　3回/年 ・奄美地区地域医療連携室協議会3回/年 ・介護認定審査会へ委員として参加 【愛と結の街】 ・鹿児島市ケアプラン適正化事業へ指導者として参加 ・鹿児島市介護支援専門員協議会施設委員として参加 ・鹿児島県介護支援専門員協議会更新研修等の指導者として参加 ・鹿児島市地域ケア会議参加	(1). 関係機関との連携強化 【今村総合病院・いづろ今村病院】 ・合同での地域連携室パンフレット作成。活用していく 【いづろ今村病院】 ・定期的な訪問活動を計画的を検討 【今村総合病院】 ・定期的な訪問活動を計画的に行っていく 【谷山病院】 ・精神医療審査会の意見聴取の継続参加 ・鹿児島国際大学非常勤　精神保健福祉援助実習　前期5回　継続協力 ・介護予防地域ケア会議へ参加　4回/年　継続協力 【奄美病院】 ・介護認定審査会　継続協力（増員：新任者へのサポート） 【愛と結の街】 ・行政からの依頼等速やかに検討し協力していく

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会ソーシャルワーカー部（ＪＳＷ）	法人内連携強化	⑴. 慈愛会ソーシャルワーカー（JSW）部門の組織体制の強化 ・JSW代表者会開催 1回/月、必要時 ・総会準備委員会の開催 1回/月 ・教育委員会（初任者研修） 1回/月 ・人材確保のためのリクルート活動 ・離職防止、人材確保に向けた情報共有及び取り組み強化 ・国家資格取得加算提案（給与への反映） ・精神科救急医療相談事業の夜勤金額の見直し提案	⑴. 慈愛会ソーシャルワーカー（JSW）部門の組織体制の強化 ・ＪＳW代表者会　毎月第2金曜日開催 ・JSW総会・研修会開催（Web開催）：1回開催 ・初任者研修：全4回実施 ・2022年3月4日（金）　鹿児島国際大学合同企業説明会参加 ・実績無し ・実績無し	⑴. 慈愛会ソーシャルワーカー（JSW）部門の組織体制の強化 会議、研修会等は計画的に実施した 訪問者：9名	⑴. 慈愛会ソーシャルワーカー（JSW）部門の組織体制の強化 更なる法人内の連携強化の継続維持を図っていく 研修内容の充実を図る 今後継続的に参加し、慈愛会の強みをアピールしながら人材確保に努めていく
		⑵. 離島採用できる体制づくり ・離島と協力し、離島採用の体制を整える ・部門として離島の人材不足の解消方法を検討開始し実施する ⑶. 施設間連携強化の推進 ・慈愛会地域連携推進会議 ・合同カンファレンス	⑵. 離島採用できる体制づくり 【奄美病院】 ・職員募集チラシを作成し 1.精神保健福祉士会鹿児島支部へ広報依頼 2.鹿児島国際大学へチラシ配布 【徳之島病院】 ・離島医療派遣のPSWのフォロー（2回/年） ・離島医療派遣のPSWの冬の賞与見直し	⑵. 離島採用できる体制づくり 【奄美病院】 ・職員募集チラシを作成し 1.精神保健福祉士会鹿児島支部へ広報依頼 2.鹿児島国際大学へチラシ配布 【徳之島病院】 ・離島医療派遣のPSW、1名退職 ・離島医療派遣のPSWの冬の賞与（派遣元に準じる）	⑵. 離島採用できる体制づくり 【奄美病院】 ・広報活動の継続 【徳之島病院】 ・次年度へ向けて地域連携室PSWの業務整理 ・地元採用できる様に求人票や給料（手当）について慈愛会経営企画室に相談
	教育体制	⑴. クリニカルラダーを活用した教育体制の充実 ・適宜クリニカルラダーの見直しを図る。 ・評価者のサポートを行う	⑴. クリニカルラダーを活用した教育体制の充実 ・2022年度、JSW部門の能力開発プログラムの内容を見直して開始した。	⑴. クリニカルラダーを活用した教育体制の充実 ・スケジュール通りに申請書や課題が提出できていない医療機関があり。	⑴. クリニカルラダーを活用した教育体制の充実 ・申請書や課題の提出をJSW全体でも管理する必要がないか検討する ・能力開発プログラムの内容を見直し、社会福祉士と精神保健福祉士で分けて作成するか検討する。
		⑵. 大学や専門学校等の実習生受け入れの継続 ・計画的に実習指導者資格研修が受講できる体制整備 ・若手の実習指導者資格取得者が実習指導できる体制整備	⑵. 大学や専門学校等の実習生受け入れの継続 【今村総合病院】 ・日本文理大学社会福祉士 現場実習1名 【谷山病院】 ・鹿児島国際大学精神保健福祉士病院・事業所見学（6月：13名） ・鹿児島国際大学精神保健福祉士実習（6月、8月～9月：1名） ・志學館大学精神保健福祉士 実習（6月～7月、7月～8月：2名　途中で1名中止） 【奄美病院】 ・潤上病院（福岡県）精神保健福祉士実習（8月:1名）	⑵. 大学や専門学校等の実習生受け入れの継続 【今村総合病院】 ・1名の受入 【谷山病院】 ・鹿児島国際大学精神保健福祉士実習報告、事後協議会に参加 ・実習生の実習報告を通しての理解度の共有、コロナ禍の病院実習で出来る実習内容と大学側の要望との擦り合わせ ・志學館大学精神保健福祉士1名の実習途中で実習中止になった事案ついて、本人の意向を確認した大学側と協議の上で決定に至った。（緊張で病院実習に行けないとの理由） 【奄美病院】 ・潤上病院（福岡県）精神保健福祉士実習（8月:1名）	⑵. 大学や専門学校等の実習生受け入れの継続 【今村総合病院】これまで同様、断らない体制を続け、リクルートへも繋げていく 【谷山病院】 ・大学側とも協議を続けながら、今後、実習中に症例を持つことは中止とした。また、可能な限り実習が終了できる準備を大学側に依頼していく。 【奄美病院】 ・実習生受入れの継続
		⑶. 支援者としての質の担保、向上 ・合同症例検討会の継続 ・伝達研修会実施の継続	⑶. 支援者としての質の担保、向上 【いづろ今村病院・今村総合病院】 ・毎月第4水曜日に開催 【谷山病院】 ・伝達研修会（事例勉強会）の定期開催	⑶. 支援者としての質の担保、向上 【いづろ今村病院・今村総合病院】 ・今後の方向性について振り返りを行っていく 【谷山病院】 ・伝達研修会（事例勉強会）を毎月開催できず	⑶. 支援者としての質の担保、向上 【いづろ今村病院・今村総合病院】 ・今後の方向性について、2023.5月に振り返りを行う 【谷山病院】 ・伝達研修会（事例勉強会）の毎月開催
	退院支援	⑴. 地域移行・地域定着支援の充実を図る ・退院支援マニュアル作成 ・クリニカルパス活用定着に向けた取り組み強化 ・クリニカルパスの見直し ・ピアサポーターの活用 ・ライフパス活用の取り組み強化と評価 ・入退所時訪問指導の強化	【谷山病院】 ・鹿児島市地域移行推進事業　地域移行推進会議に参加	【谷山病院】 ・鹿児島市地域移行推進事業　地域移行推進会議に参加 ・地域移行を活用した退院支援が定着しない	【谷山病院】 ・鹿児島市地域移行推進事業　地域移行推進会議に参加 ・地域移行推進事業やピアサポーターの内容を院内の他職種に知ってもらい、有効活用してもらう 【奄美病院】 ・地域移行・地域定着会議参加 ・ピアサポーター研修・交流会参加

中長期計画		中長期計画と2022年度 事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会ソーシャルワーカー部（JSW）	財務	(1). 新しい取得可能な加算要件を理解し、正しく算定していく ・診療・介護・障害報酬改定内容の理解と柔軟な対応 (2). 算定可能な加算等を積極的に取得していく ・入退院支援加算1 ・総合評価加算 ・介護支援連携指導料（該当病床×0.15件以上/年） ・退院時共同指導料（退院時共同指導料Ⅱ取得推進） ・多機関共同指導加算取得 ・精神科急性期医師配置加算 ・地域移行実施加算 ・院内標準診療計画加算 ・介護支援等連携指導料 ・精神科退院前訪問指導料 ・退院調整加算 ・超強化型老健の維持	【今村総合病院】 入退院支援加算1　：2,043件 総合評価加算　：911件 介護支援連携指導料　：86件 多機関共同指導加算取得　：8件 【いづろ今村病院】 入退院支援加算1　：522件 介護支援連携指導料　：7件 退院時共同指導料　：28件 多機関共同指導加算取得　：7件 【谷山病院】 介護支援等連携指導料　：8件 精神科急性期医師配置加算　：540件 地域移行実施加算　：9件 精神科退院前訪問指導料　：126件 退院調整加算　：56件 【奄美病院】 介護支援等連携指導料　：40件 精神科急性期医師配置加算2：8,328件 地域移行実施加算　：6件 精神科退院前訪問指導料　：135件 退院調整加算　：45件 【愛と結の街】 在宅復帰率50%以上、ベッド回転率10%以上、入所前後訪問指導割合30%以上、退所前後訪問指導割合30%以上を維持	【今村総合病院】 ・入退院支援加算1 入院患者数の3割以上の取得 ・介護支援連携指導料 居宅介護支援事業所、相談支援事業所との連携 【いづろ今村病院】 ・入退院支援加算は微増 ・一般病棟の削減により各指導料の算定可能病棟が減少 ・退院時共同指導料の6件以上/3ヶ月の確保 【谷山病院】 介護支援等連携指導料　：8件 精神科急性期医師配置加算　：540件 地域移行実施加算　：9件 精神科退院前訪問指導料　：126件 退院調整加算　：56件 【奄美病院】 介護支援等連携指導料　：40件 精神科急性期医師配置加算2：8,328件 地域移行実施加算　：6件 精神科退院前訪問指導料　：135件 退院調整加算　：45件 【愛と結の街】 ・在宅復帰率50%以上、ベッド回転率10%以上、入所前後訪問指導割合30%以上、退所前後 ・訪問指導割合30%以上を維持	【今村総合病院】 ・入退院支援加算1 入院患者数の3割以上の取得を継続して目指す ・介護支援連携指導料 居宅介護支援事業所、相談支援事業所との連携状況をコロナ前に戻すよう、訪問活動など行っていく。 【いづろ今村病院】 ・各指導料はオンラインが中心となっている。質の充実を目指す ・施設基準に必要な件数を確実に実施、算定していく 【谷山病院】 ・介護支援等連携指導料、精神科急性期医師配置加算、地域移行実施加算、精神科退院前訪問指導料、退院調整加算の算定を積極的に取得していく。 【奄美病院】 ・地域移行実施加算：目標件数5件 ・その他の加算も積極的に取得していく。 【愛と結の街】 ・在宅復帰率50%以上、ベッド回転率10%以上、入所前後訪問指導割合30%以上、退所前後訪問指導割合30%以上を維持
		(3). 相談支援専門員を増員し、契約者数の増加を目指し支援の充実を図る。 ・適正人数の相談支援専門員を計画的に養成・配置し、契約者数の増加を図る。 ・鹿児島県相談支援ネットワークへの参加		(3) 【奄美病院（あゆみ）】 ・２０２２年度中に相談支援専門員が2名減少。 ・鹿児島県相談支援ネットワーク会議：6回/年　参加。	(3) 【奄美病院（あゆみ）】 ・適正人数の相談支援専門員を計画的に養成・配置し、契約者数の増加を図る ・鹿児島県相談支援ネットワークの参加

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

慈愛会ソーシャルワーカー部（JSW）

いづろ今村病院：3 名

今村総合病院：　11 名

谷山病院：　　30 名

（徳之島病院への派遣 2 名は除く）

奄美病院：　　11 名

徳之島病院：4 名（内 2 名は谷山病院から派遣）

介護老人保健施設愛と結の街：3 名計　　62 名

【人事交流・施設間の協力体制】

谷山病院より徳之島病院（2 名）に精神保健福祉士を派遣

【2022 年度の活動】

1．JSW 代表者会議（12 回 / 年）

（目的）

慈愛会内のソーシャルワーカー間の情報共有を図ることで、質の高いマネジメントを行い、互いの業務、役割、現状を知ることで、法人内の連携を強化することを目的としている。

2．JSW 総会・合同研修会準備班（5 回／年）

（目的）

総会準備、合同研修会の企画立案を目的としている。

3．JSW 教育委員会（2017 年 12 月より教育プログラム作成委員会として活動。2019 年 4 月名称変更）（12 回／年）

(目的)

統一した教育プログラムの作成、運用により、援助の質の担保、離職防止を図ることを目的としている。

合同研修会

【慈愛会ソーシャルワーカー部門総会・研修会】

・2022 年 6 月 18 日（土）14:00-17:00
・オンライン（Zoom）開催
・研修会「コロナ禍の訪問看護の実態」
　株式会社花梨　訪問看護ステーションかりん
　管理者　森 恵先生
・各病院・各事業所からの事業報告
・理事長挨拶、総会総括

【慈愛会ソーシャルワーカー　初任者研修】

対象：令和 3 年度新規採用者、令和 2 年度中途採用者
　　計 7 名

会場：Zoom 使用

① 2022 年 5 月 28 日（土）8:30-12:30
　・慈愛会での SW の役割、JSW について
　　講師：今村総合病院　地頭所孝之
　・慈愛会における各施設の機能や連携について
　　講師：各施設代表者
　・倫理綱領、SW の価値・倫理について
　　講師：谷山病院　内門直人

② 2022 年 9 月 10 日（土）8:30-12:30
　・スーパービジョンについて
　　講師：奄美病院　西牟田智子
　・面接技法、コミュニケーションススキルについて
　　講師：谷山病院　満窪圭吾
　・メンタルヘルスについて
　　講師：いづろ今村病院　南尚江
　・精神保健福祉について
　　講師：谷山病院　別府千尋

③ 2022 年 10 月 22 日（土）8:30-12:30
　・社会保障（年金、公的扶助）について
　　講師：今村総合病院　原田美和
　・無料低額診療について
　　講師：谷山病院　住吉亜紀美
　・障害者福祉について
　　講師：谷山病院　上ノ堀知美
　・介護保険について
　　講師：居宅介護支援事業所愛と結の街　高田直樹
　・ケース記録の必要性、個人情報の取扱いについて
　　講師：愛と結の街　春山大道

④ 2022 年 3 月 11 日（土）8:30-12:30
　・離島医療について
　　講師：奄美病院　森越志保
　・個別発表（1 年間の総括､自己覚知および事例発表）

【いづろ今村病院・今村総合病院　合同症例検討会】

① 2022 年 5 月 21 日
　症例提供者：濵口隆弘（今村総合病院）
　テーマ：身寄りのない患者様、内縁関係（精神疾患）がある関係者との対応について

② 2022 年 6 月 21 日
　症例提供者：長濱咲江（今村総合病院）
　テーマ：患者と家族の意向の折り合いがつかなかった事例

③ 2022 年 8 月 24 日
　症例提供者：片山秀実（いづろ今村病院）
　事例を通し声かけなどの対応方法について検討

④ 2022 年 9 月 28 日
　症例提供者：辻恵理（今村総合病院）
　テーマ：意思決定支援における MSW の役割

⑤ 2022 年 10 月 26 日
　症例提供者：原田美和（今村総合病院）
　テーマ：身寄り問題について考える

⑥ 2022 年 11 月 30 日
　症例提供者：南尚江（いづろ今村病院）
　テーマ：家に帰りたい！

⑦ 2023 年 1 月 25 日
　症例提供者：日髙洋美（今村総合病院）
　テーマ：AYA 世代のがん患者の支援

⑧ 2023 年 3 月 22 日
　症例提供者：上野彩乃（今村総合病院）
　テーマ：病院で最期を迎える患者様に対する支援

【谷山病院　事例検討会】

① 2022 年 7 月 16 日
　症例提供者：濵田　凌
　テーマ　本人への動機づけや家族支援について

② 2022 年 8 月 25 日
症例提供者：黒瀬絢未
テーマ：いくつもの問題（家庭環境、家族関係、経済状況、支援者との関係性）を抱えているケースについて

③ 2022 年 9 月 17 日
症例提供者：東國原穂波
テーマ：退院が中止になった患者の今後の方向性について

④ 2022 年 10 月 15 日
症例提供者：川原香織
テーマ：入院費滞納等の経済的な問題を抱える方への退院支援について

⑤ 2022 年 12 月 24 日
症例提供者：佐々木奈美
テーマ：本人の（退院）要求が強く、対応時間が長時間の方への退院支援について

⑥ 2023 年 1 月 21 日
症例提供者：前田結華
テーマ：本人と家族の意向が異なり、家族は入院継続の意向が伺えるケースの今後のアプローチについて

⑦ 2023 年 2 月 18 日
症例提供者：濵崎健志
テーマ：本人が希望する退院先と支援者の退院先の違いについてどのように本人の意向に沿って退院支援を行えばよいか

【奄美病院　院内勉強会・研修会】

① 2022 年 7 月 9 日
症例提供者：下田清一
テーマ：「相談支援事業所について」

② 2022 年 8 月 20 日
症例提供者：早野文明
テーマ：「窃盗を繰り返す患者についての支援」

③ 2022 年 9 月 10 日
症例提供者：西牟田智子
テーマ：「スーパービジョンについて」

④ 2022 年 12 月 17 日
症例提供者：森越志保
テーマ：「離島の認知症疾患医療センターの現状と取り組みと課題」

⑤ 2023 年 1 月 14 日
症例提供者：早野文明
テーマ：「社会集団を用いたピアサポート」

⑥ 2023 年 2 月 18 日
症例提供者：奥田透
テーマ：「認知症の第一人者が認知症になったら」

⑦ 2023 年 3 月 11 日
症例提供者：貴島世梨香
テーマ：「Excel マスターになろう」

技能・能力向上に向けた取り組み

【2022 年度取得資格】

・両立支援コーディネーター基礎研修：10 名
今村総合病院：杉元早希、倉英子、前岡美玖、平山翔大
奄美病院：吉村あゆみ、西牟田智子、森越志保、貴島世梨香、奥田透、早野文明

・脳卒中療養相談士：3 名
今村総合病院：地頭所孝之、原田美和、馬場園望

・公認心理師：2 名
奄美病院：西牟田智子、貴島世梨香

・相談支援専門員：1 名
奄美病院：早野文明

【有資格者数】

・社会福祉士：44 名（実習指導者：4 名）
今村総合病院：9 名（実習指導者：3 名）
地頭所孝之、原田美和、辻恵里、日髙洋美、永濱咲江、上野彩乃、馬場園望、杉元早希、倉英子
（実習指導者）
原田美和、日髙洋美
いづろ今村病院：3 名（実習指導者：0 名）
南尚江、内屋敷香織、岡田美鈴
谷山病院：22 名（実習指導者：0 名）
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、久保早苗、上ノ堀知美、佐澤佳史朗、満窪圭吾、今元大祐、濵平真維、松崎里香、遠矢ふみ、春山大道、石堂奈央、内門直人、住吉亜紀美、染川悠希、前田結華、東國原穂波、川原香織、濵田凌、黒瀬絢未、濵崎健志

奄美病院：6 名（実習指導者：1 名）
下田清一、吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、貴島世梨香、悦本遼
（実習指導者）
西牟田智子
愛と結の街：2 名（実習指導者：0 名）
齋藤尚美、中西鉄矢
徳之島病院：2 名（実習指導者：0 名）
中村美鈴、元見竜也

・精神保健福祉士：48 名（実習指導者：15 名）
今村総合病院：4 名（実習指導者：1 名）
地頭所孝之、永濱咲江、上野彩乃、前岡美玖
（実習指導者）
地頭所孝之
谷山病院：30 名（実習指導者：12 名）
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、島由紀子、久保早苗、上ノ堀知美、古園友理恵、佐澤佳史朗、満窪圭吾、今元大祐、濵平真維、村山ひろみ、遠矢ふみ、春山大道、清水一寿子、有馬喜隆、石堂奈央、内門直人、住吉亜紀美、宮竹敦史、佐々木奈美、權現領圭太、染川悠希、前田結華、東國原穂波、川原香織、濵田凌、黒瀬絢未、福留清楓、濵崎健志
（実習指導者）
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、満窪圭吾、村山ひろみ、内門直人、住吉亜紀美、宮竹敦史、久保早苗、清水一寿子、佐々木奈美、川原香織
奄美病院：10 名（実習指導者：2 名）
下田清一、吉村あゆみ、西牟田智子、有村美幸、森越志保、悦本遼、貴島世梨香、奥田透、早野文明、栗坂林子
（実習指導者）
下田清一、西牟田智子
徳之島病院：4（実習指導者：0 名）
梅岡啓香、中村美鈴、本山和秀、元見竜也

・介護福祉士：3 名
愛と結の街：2 名　齋藤尚美、竹迫宏美
奄 美 病 院：1 名　勝田英明

・介護支援専門員：5 名
いづろ今村病院：2 名　南尚江、岡田美鈴
愛と結の街：3 名　齋藤尚美、中西鉄矢、濱田郁代

・相談支援専門員：14 名
谷山病院：7 名
岩元利保子、赤塚広泰、中山佳祐、久保早苗、上ノ堀知美、古園友理恵、權現領圭太
奄美病院：7 名
下田清一、吉村あゆみ、有村美幸、勝田英明、悦本遼、奥田透、早野文明

・サービス管理責任者：7 名
谷山病院：4 名　満窪圭吾、岩元利保子、村山ひろみ、遠矢ふみ
奄美病院：3 名　下田清一、吉村あゆみ、有村美幸

・がん相談支援センター相談員基礎研修（1）（2）知識確認コース終了者：4 名
今村総合病院：3 名　原田美和、辻恵里、永濱咲江
いづろ今村病院：1 名　南尚江

・福祉住環境コーディネーター：3 名
愛と結の街：2 名　齋藤尚美、竹迫宏美
奄美病院：1 名　西牟田智子

・公認心理師：3 名
いづろ今村病院：1 名　南尚江
奄　美　病　院　2 名　西牟田智子　貴島世梨香

・認定社会福祉士認証・認定機構　認定社会福祉士（障害分野）：1 名
奄美病院　西牟田智子

・認定社会福祉士認証・認定機構　認定スーパーバイザー：1 名
奄美病院　西牟田智子

・認知症ケア専門士：1 名
奄美病院 1 名　西牟田智子

・両立支援コーディネーター基礎研修：　18 名
　今村総合病院：11 名
　　地頭所孝之、原田美和、辻恵理、日髙洋美、永濱咲江、上野彩乃、馬場園望、杉元早希、倉英子、前岡美玖、平山翔大
　いづろ今村病院：1 名　南尚江
　奄美病院：6 名
　　吉村あゆみ、西牟田智子、森越志保、貴島世梨香、奥田透、早野文明

院内外活動

【啓発活動】

・慈愛コミュニティ委員会（月 1 回）
　今村総合病院：地頭所孝之
・谷山中央地域ケア推進会議（年 3 回）
　愛と結の街：斉藤尚美
・東谷山校区コミュニティ協議会
　愛と結の街：斉藤尚美
・平松町地域ＰＴＡ子育て講話 「生活に活かせるリフレーミング」
　奄美病院：吉村あゆみ
・奄美海上保安部メンタルヘルス講演会 「部下を持つ職員のためのメンタルヘルス」
　奄美病院：吉村あゆみ
・奄美市教育委員会（学校保健委員会）「オンラインゲームの問題点、オンラインゲームやＳＮＳとの付き合い方、ゲーム依存症について」
　奄美病院：西牟田智子
・龍郷町成年後見研修会 「成年後見制度とは」
　奄美病院：西牟田智子
・奄美市笠利地区居宅介護支援事業者連絡会及びケアマネージャー学習会 「高齢者虐待について」
　奄美病院：西牟田智子
・認知症疾患医療センター全国研修会 「離島の認知症疾患医療センターの現状と取り組みと課題」
　奄美病院：森越志保

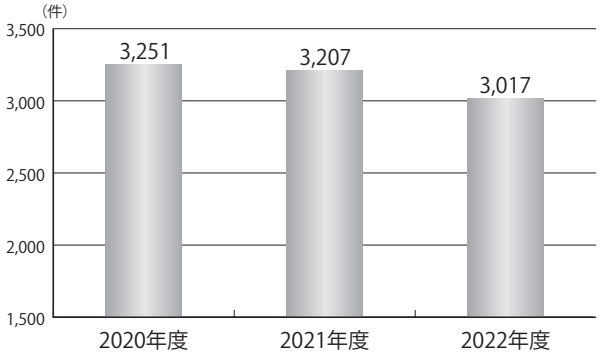
【院外活動】

・介護認定審査会（奄美地区）
　奄美病院：西牟田智子
・鹿児島市介護保険ケアプラン適正化指導検討会
　愛と結の街：佐別當誠子
・鹿児島県介護支援専門員実務研修等指導
　愛と結の街：佐別當誠子
・鹿児島県精神医療審査会委員
　谷山病院：住吉亜紀美
・鹿児島国際大学精神保健福祉援助実習Ⅱ　非常勤講師
　谷山病院：内門直人

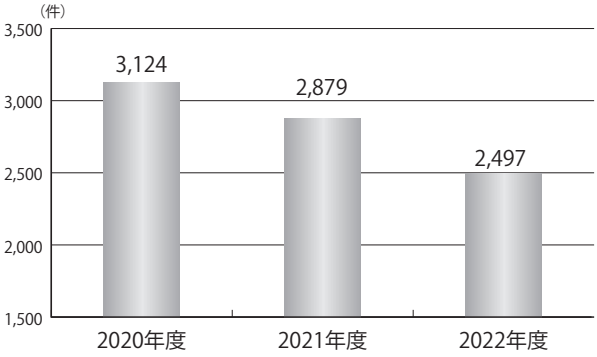
各種指標

今村総合病院

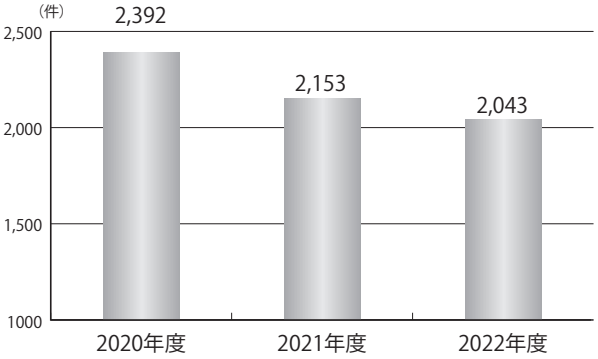
介入者数（延べ患者数）



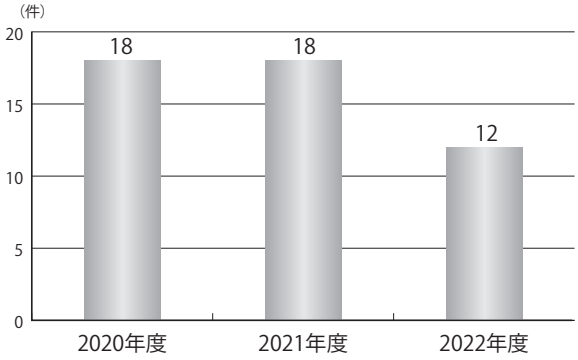
終了者数（延べ患者数）



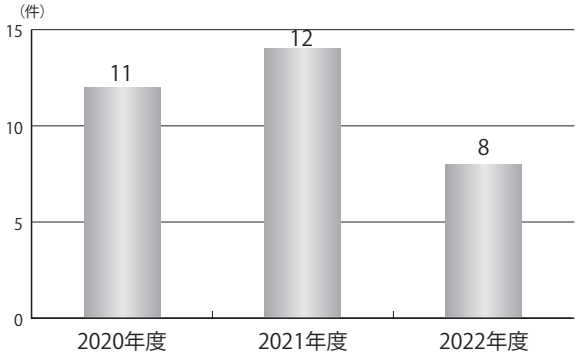
入退院支援加算1



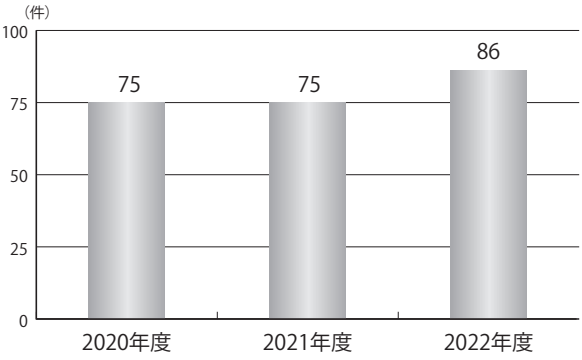
退院時共同指導料２



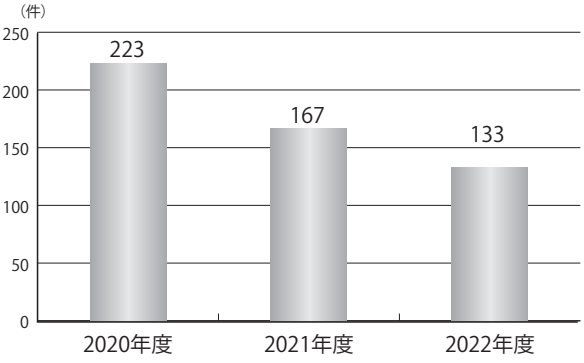
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料

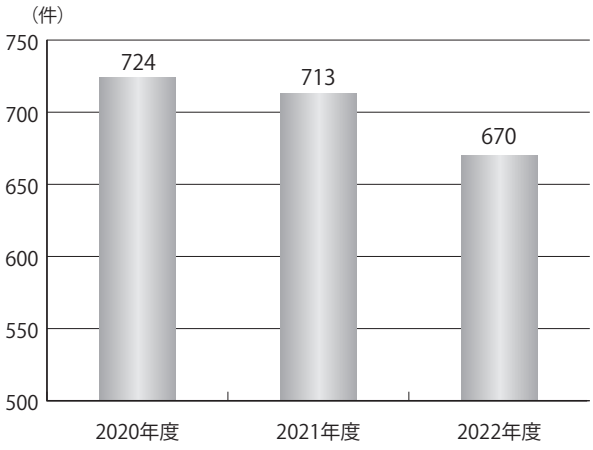


地域連携診療計画加算

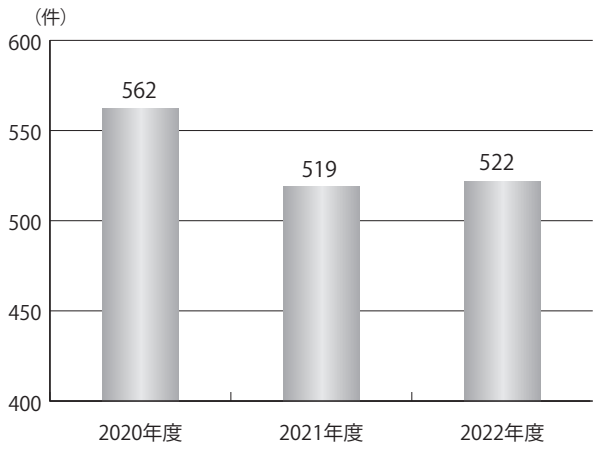


いづろ今村病院

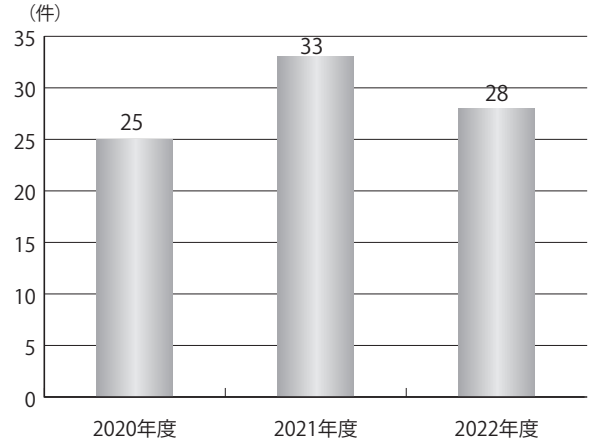
介入者数（延べ患者）



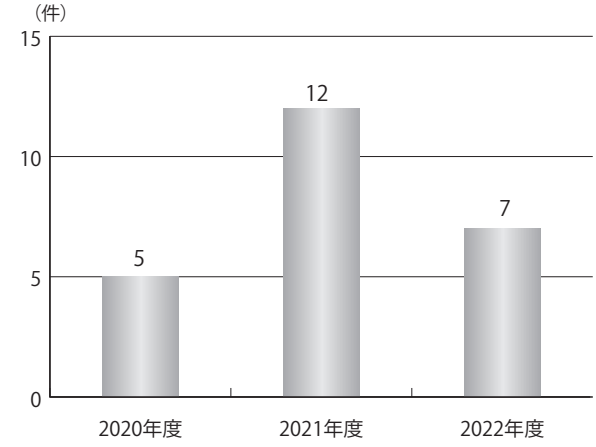
入退院支援加算1



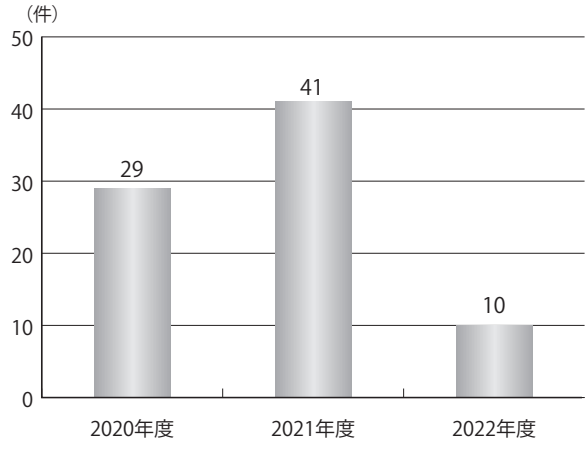
退院時共同指導料２



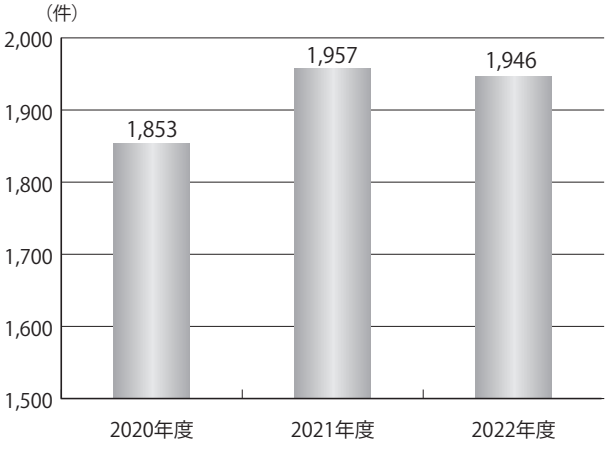
多機関共同指導加算



介護支援等連携指導料

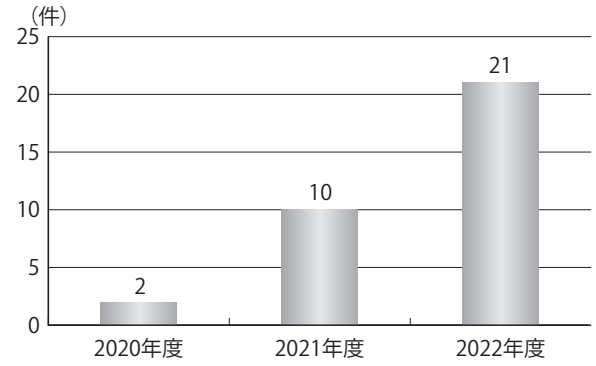


患者サポート体制充実加算

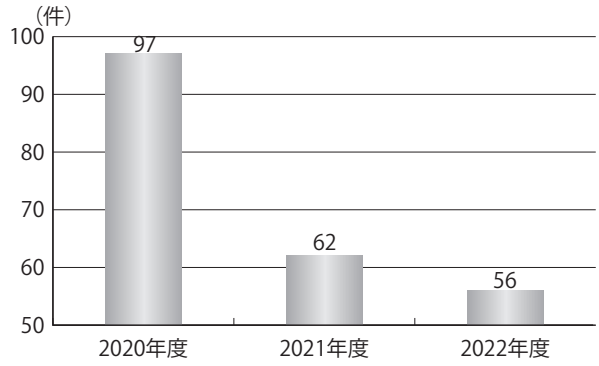


谷山病院

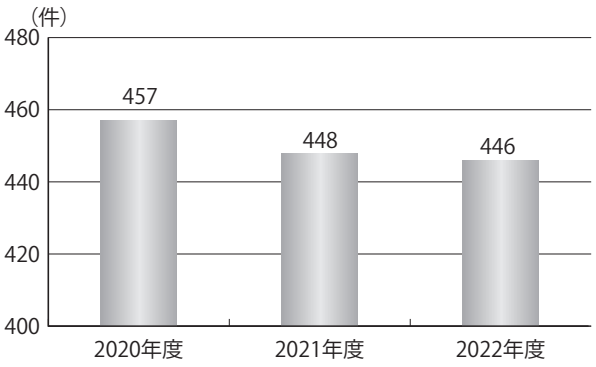
院内標準診療計画加算



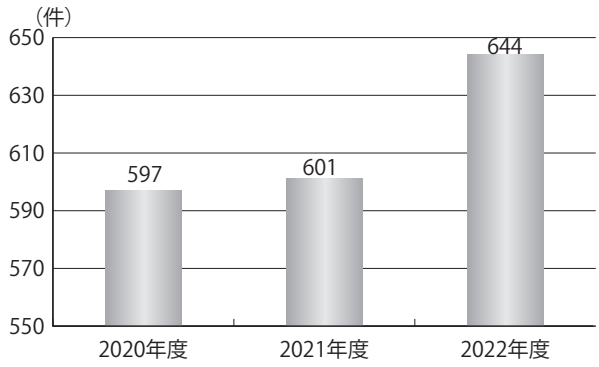
退院調整加算



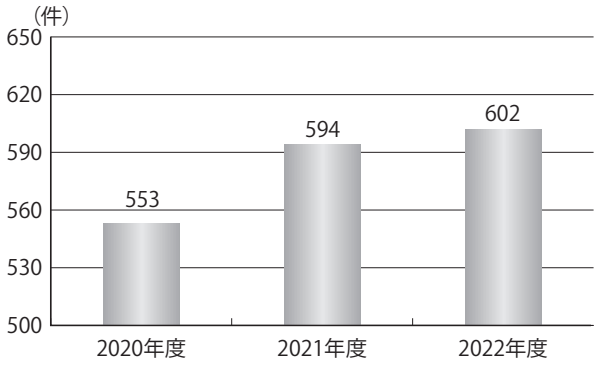
患者サポート体制加算



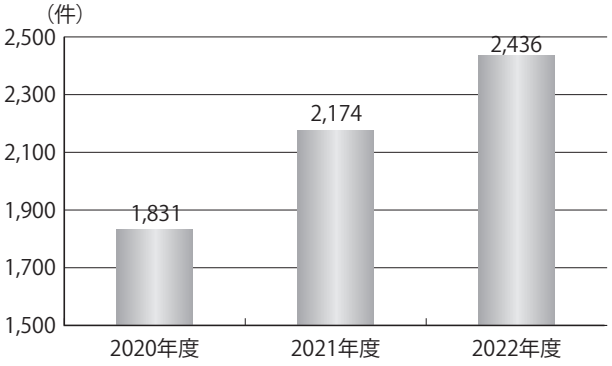
療養病棟退院支援委員会件数　C5病棟



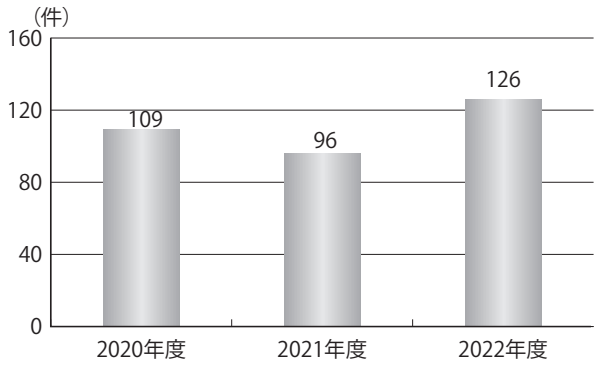
療養病棟退院支援委員会件数　C6病棟



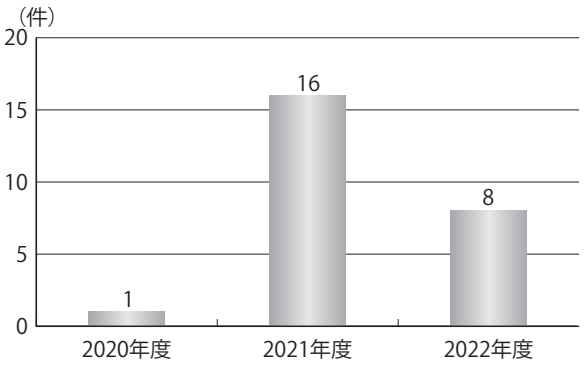
受診入院相談件数



退院前訪問指導料

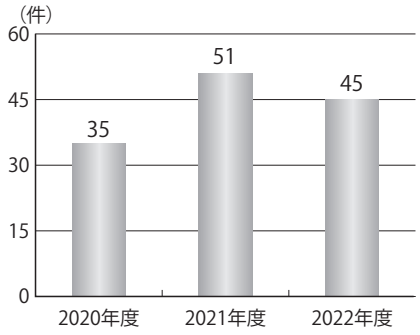


介護支援等連携指導料

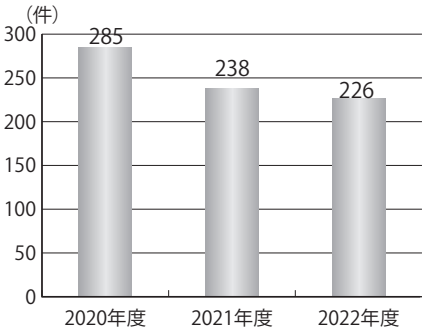


奄美病院

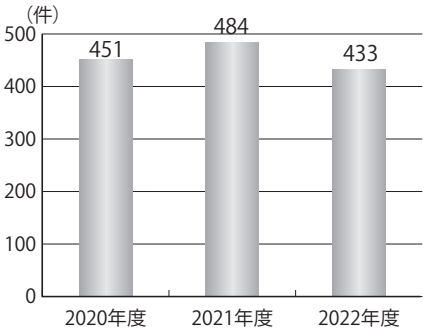
退院調整加算



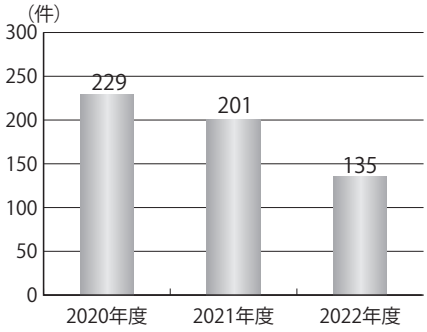
患者サポート体制加算



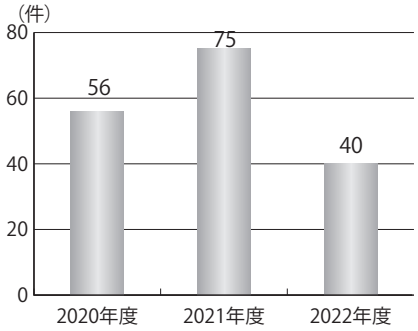
療養病棟退院支援委員会件数（2西病棟）



退院前訪問指導料

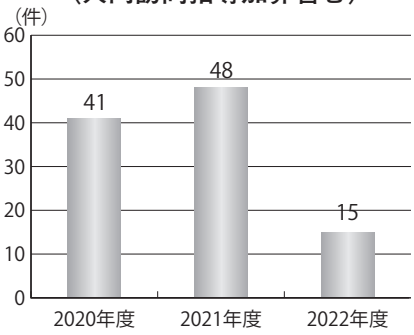


介護支援等連携指導料

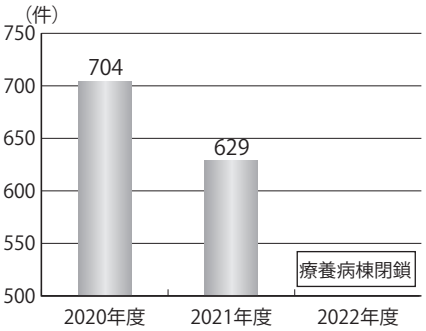


徳之島病院

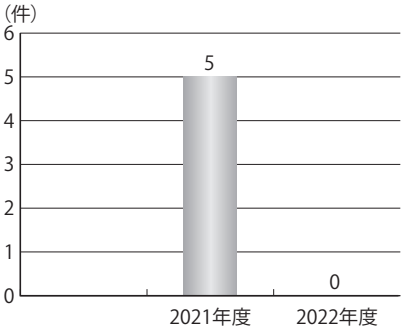
退院前訪問指導料（共同訪問指導加算含む）



療養病棟退院支援委員会（２病棟）



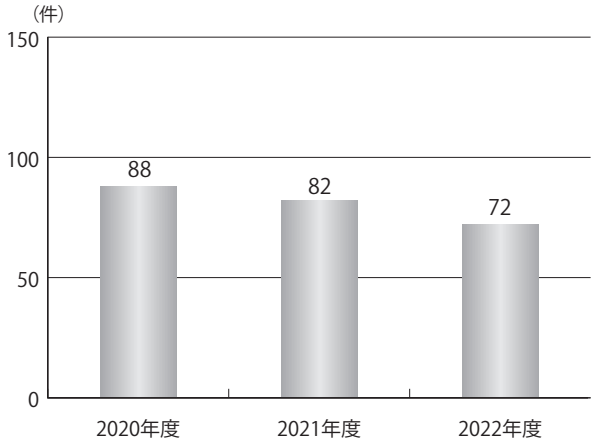
介護支援等連携指導料



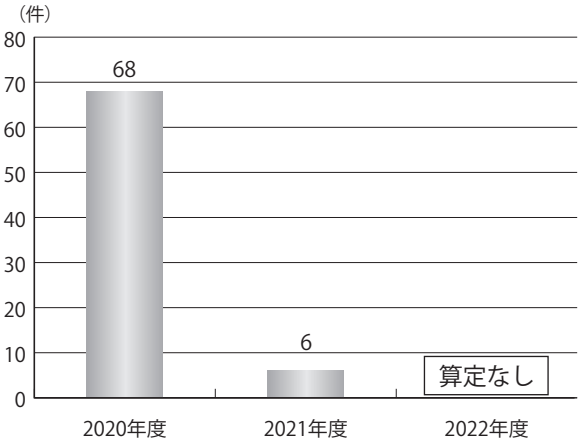
※2021年度より算定

介護老人保健施設 愛と結の街

退所時情報提供加算

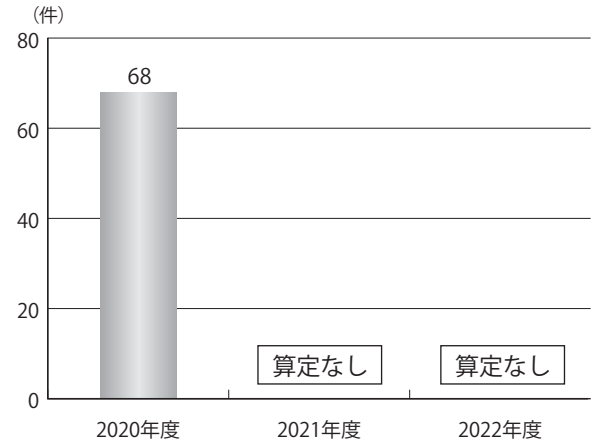


退所時連携加算

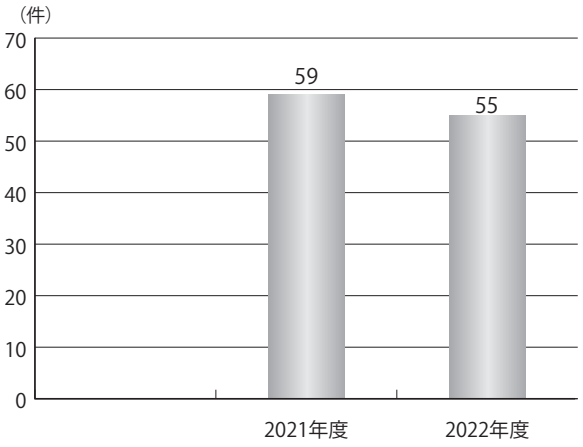


※入退所前連携加算Ⅱへ改定

退所時指導加算

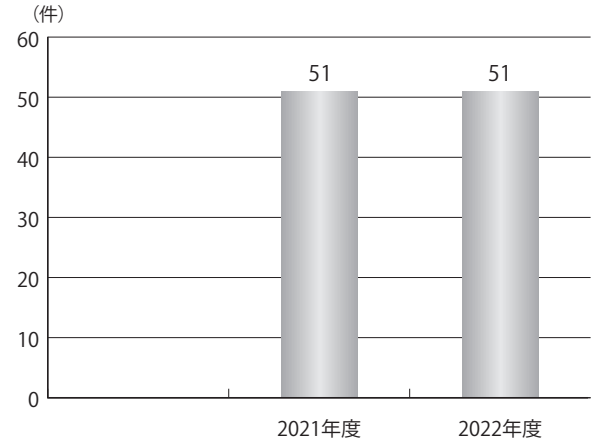


入退所前連携加算Ⅱ



※2021年度新設。算定開始

入所前後訪問指導加算Ⅰ



※2021年度より算定開始

業　績　一　覧

【論文】

奄美病院

＜その他の論文，著述＞

1．西牟田智子：AA との出会い，AA について思うこと．AA 鹿児島地区 40 周年記念誌，2022，pp7-8

2．西牟田智子：はい。精神保健福祉士の○○です！．Members’Magazine「精神保健福祉士」No.242，2022，pp6

【学会発表】

奄美病院

＜国内＞

1．吉村あゆみ:ワーカーミーティングの活性化へ向けて～ SPRINT(最速仕事術)の応用～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

今村総合病院

＜国内＞

2．地頭所孝之：法人内ソーシャルワーカーの連携を目指して　慈愛会ソーシャルワーカー部の報告と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

【研修会・講演会】

今村総合病院

1．馬場園望：将来の MSW 育成プロジェクト．鹿児島国際大学 学生対象講話，2022 年 7 月 20 日，鹿児島

奄美病院

2．吉村あゆみ：生活に活かせるリフレーミング．第 1 回平松町地域 PTA 子育て講話，2022 年 7 月 13 日，奄美

3．吉村あゆみ：離島精神医療における LAI（TRI）の意義．ヤンセンオンライン講演会離島精神科医療を考える会，2022 年 8 月 25 日，長崎（Web）

4．西牟田智子：AA との出会い，AA について思うこと．AA 鹿児島地区 40 周年記念集会，2022 年 10 月 16 日，鹿児島（Web）

5．吉村あゆみ：部下を持つ職員のためのメンタルヘルス．奄美海上保安部メンタルヘルス講演会，2022 年 11 月 24 日，奄美

6．西牟田智子：精神保健福祉士の実践論Ⅰ．一般社団法人鹿児島県精神保健福祉士協会，2022 年 11 月 27 日，鹿児島（Web）

7．有村美幸，貴島世梨香：地域支援者による実践報告．令和 4 年度鹿児島県医療観察制度地域連絡協議会．2022 年 12 月 1 日，奄美

8．西牟田智子：オンラインゲームの問題点，オンラインゲームや SNS との付き合い方，ゲーム依存症について．奄美市教育委員会（学校保健委員会），2022 年 12 月 2 日，奄美

9．西牟田智子：成年後見制度とは．龍郷町成年後見研修会，2022 年 12 月 22 日，大島郡龍郷町

10．森越志保：離島の認知症疾患医療センターの現状と取り組みと課題．第 10 回認知症疾患医療センター全国研修会，2023 年 1 月 28 日，高知（Web）

11．西牟田智子：高齢者虐待について．奄美市笠利地区居宅介護支援事業者連絡会及びケアマネージャー学習会，2023 年 2 月 15 日，奄美

【受賞】

奄美病院

1．吉村あゆみ：「ワーカーミーティングの活性化へ向けて～ SPRINT（最速仕事術）の応用～」第 2 回慈愛会学会学術集会 口演発表優秀賞．2022 年 8 月 1 日

【マスメディア】

奄美病院

1．森越志保：世界アルツハイマー月間　認知症について，地域包括支援センター，認知症疾患医療センターについて．あまみエフエム　ゆぶぃニングアワー　夕方フレンド，2022 年 9 月 7 日

2．森越志保，西牟田智子：世界アルツハイマー月間の取り組みについて．奄美新聞，2022 年 9 月 23 日

3．森越志保，西牟田智子：世界アルツハイマー月間の取り組みについて．南海日日新聞，2022 年 9 月 24 日

部門別　総括 指標 業績一覧

臨床工学部門(CE)

総　括

新型コロナウイルス陽性透析患者の対応の為の病棟透析や各診療科から依頼のCRRT業務が減らない中、退職者が続出した１年であった。このような状況下で大きな事故が無く業務を遂行できた事は奇跡だと思える。2022年5月からはロボット支援手術も開始され、従来携わっている循環器業務も順調であった。タスクシフト・シェアに係る告示研修も修了者はまだ2名だが今後も計画を立て随時受講し、受講修了者を増やしていきたい。

2022 年度の取り組み

・医療安全管理責任者との連携

　インシデント事例共有と対策の検討や他施設インシデント事例の情報共有により情報発信を行った。

・CEセンター事業目標の構築

　資産情報管理システムを用いたリソース管理がスタートした。

・今村総合病院といづろ今村病院との業務連携

　平日2時間の機器管理業務と24時間オンコールによる業務支援が行われた。

・業務拡大と専任者の配置

　ペースメーカー、ロボット支援手術に指導者を擁立し、育成が始まったが、専任者の任命は出来なかった。

・災害対策・BCP整備活動への参加

・法人関連施設との業務提携や在宅事業への支援

　循環器内科と連携して在宅用呼吸器・ペースメーカー業務の連携を図り、管理業務が始まった。

・看護師と共同で安心安全な透析医療の提供

・透析センター勤務者減の為、透析量の提供の仕方を見直す。

・シャントエコー、エコー下穿刺技術の向上

・厚生労働省主導の告示研修受講修了者を増やす。

・医師の働き方改革に伴いタスクシフト・シェアに対応できる技士の人員増を目指す。

各種指標

（単位：件）

	2020年度	2021年度	2022年度
透析	27,250	26,871	25,528
病棟透析	138	138	385
CRRT	208	259	224
PMX	5	14	16
DFPP	59	39	15
PE	30	22	33
LDL	45	57	45
G-CAP	592	414	197
CART	19	45	57
HBO	490	592	414

業　績　一　覧

【学会発表】

今村総合病院

＜国内＞

1．中鶴良登，三重陽一，竹之内聖三，新村由梨，渡邉喜代美，上荒磯ひとみ，平牟禮妙子，井上元紀，川井田季睦，竹下佳希，徳満拓実：当院における透析中に運動療法を開始した患者の評価～エスカルゴ運動を取り入れて～．第12回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，2022年4月11-28日，岡山（Web）

2．井上元紀，神ノ川喬伍，松田歩美，今村莉那，竹之内聖三，三重陽一，福元まゆみ，上床美紀，潤田心，渡邉喜代美，上荒磯ひとみ，川元みつ子：透析センターでの，防災マニュアル改定への取り組み．第39回鹿児島県人工透析研究会，2023年2月12日，鹿児島

3．川井田季睦：タスクシフトに向けての取り組み．第29回鹿児島県臨床工学会＆かごわい2022，2023年2月19日，鹿児島

4．中鶴良登，徳満拓実，三重陽一，竹之内聖三，新村由梨，渡邉喜代美，上荒磯ひとみ，片平由依，關朱璃奈，井上元紀：当院における透析中の運動療法導入促進への取り組み～InBodyによる筋肉量評価を取り入れて～．第13回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会，2023年3月18-19日，埼玉

部門別　事業報告(PDCA) 総括

総務人事部門

中長期計画		中長期計画と2022年度事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
総務人事部	公正・公平な処遇の実現	(1). ドクターパフォーマンスレビューの進化（深化） ・医師働き方改革への取組スタンスの決定 ・医師年俸への賞与導入に向けての実施策の検討	(1)2024年度に向けての新制度(改訂方針)の説明 ①基本年俸の多面評価による加算検討 ②賞与の導入検討 ③実際原価計算⇒管理原価計算による診療科別原価計算による予算化検討 ・いづろ今村においては病棟別原価計算を導入検討 ④ドクターパフォーマンスレビューの運用に関する次世代事務メンバーの育成検討	(1)2022年度は周知期間、2023年度の実績から反映。実額で影響するのは2023年12月の冬季賞与・2024年度の年俸から	(1)働き方改革を見据えた医師当直対応　当直の許可申請の労基への再申請 ・奄美病院を除く全病院が年度内に届出済、医療勤務環境改善支援センターの指導を仰ぎ対応 ・ドクターパフォーマンスレビューの運用に関する次世代事務メンバーの育成検討 ・半期単位での多職種検討会の実施検討
		(2). 一般職員給与水準の適正化 ・ベンチマークに基づく職種ごとの給与の見直し	(2)日本経営とコンサル契約 ①新等級制度の検討 ・役割定義、昇格要件、降格要件、ワークライフバランスによる働き方の限定の分類について整理 ②賃金制度の見直し検討 ③物価高騰対応 ・医師を除く職員へ20,000円支給（11/10） ・子の扶養手当の増額6,500円→10,000円へ（10/1 ～ 3/31）	(2)初任給については九州（福岡・鹿児島）の求人情報から比較検討し中央値～第3四分位程度の水準を目指す ・新たな処遇改善対応により、非該当事業所職員への対応が課題 ・「看護職員処遇改善加算」以外は、定期昇給分も含めて対応可能であり、今後定期昇給 ・財源の一部として活用していくことも考えられる	(2)引き続き今年度中を目途に制度の構築を進める。 本格的な見直しに先行して、職員の現行給与のベースアップ等についても検討を継続
		(3). 一般職員への賞与査定の導入 ・目標管理制度の開始と人事考課への反映方法の決定 ・人事考課に基づく賞与査定導入へ向けての検討	(3)全職種による目標管理制度の開始 ・2022年度人事考課表から精緻化した目標管理「チャレンジプラン」を導入	(3)今年度から医師を除く全職種において目標管理「チャレンジプラン」の導入となった	(3)導入初年度であり、達成状況の評価やスタッフとの面談時の活用について検証が必要
	多様性に対応できる人事施策の展開	(1). 更なる法人内連携強化に向けての組織体制の構築 ・在宅支援部門および水産会館跡地活用におけるプロジェクトへの参画	(1)在宅支援部の新設及び在宅支援部長の配置を実施	(1)訪問看護ステーション愛の街の円滑な運営を図るべく在宅支援部長を配置。	(1)法人内外において、在宅支援部の更なる充実を構築していく
		(2). 地域社会および法人外事業所等との連携の展開 ・県内外医療機関への法人事業本部職員のスキルを活用した支援策の実施	(2)総務人事部職員１名を派遣 ・財務・労務・人事管理及び理事会等の運営		
		(3). 多様な働き方への対応と多様な人材確保･活用策の展開 ・外国人技能実習生の実習修了後の処遇、活用策の策定 ・大学生のインターンシップの継続実施および異業種事業所からの人材導入 ・副業、時短勤務、休職制度等、多様で柔軟な勤務形態の導入	(3)実習修了及び実習受入 ・ﾐｬﾝﾏｰからの技能実習生2022. 9に受入終了（徳之島病院にて実習中2名は他老健での就職希望、慈愛会退職） ・大学生への事務系インターンシップ受入（鹿児島大学より１名応募あり8/23 ～ 10日間実施）	(3)実習修了及び実習受入 ・外国人技能実習生の受入はないが、コロナ収束後を見据えた外国人材活用策の検討は必要である ・コロナ禍ではあったが、昨年に続き、円滑な受入・研修が実施出来た	(3)実習修了及び実習受入 ・技能実習制度廃止に伴う、新たな制度の創設内容の把握検討が必要 ・一般職員の給与見直しの中で、多様な働き方のコース（ワーク・ライフ・バランス・コース）の検討を行っており、このコースの内容と照らし合わせながら、時短勤務制度について検討を進める
		(4). 人事情報の集中一元管理システムの構築	(4)MIC（1月）・ミロク（2月）・富士フイルムビジネスイノベーション（11月）に各社職員カードシステムの商品説明を受ける	(4)法人事業本部のみでの検討ではなく看護学校等とも連携を図り、他の活用についても検証が必要	(4)次年度においても引き続き導入に向けて検討が必要

中長期計画		中長期計画と2022年度事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
総務人事部	地域社会、地域医療機関他に貢献できる人材の育成	(1). キャリアラダーに基づく人材育成 ・キャリアラダーに基づく人材育成の実践と適正な評価の実施	(1)キャリア開発推進委員会開催（６回実施） ・多職種合同ラダーレベル研修会の開催 計177名参加（看護部123診療支援部32事務部22） ・ミドルマネジメント研修の開催 計102名参加（看護部43診療支援部34事務部25） ・新入職員オリエンテーション 86名参加（看護部59診療支援部20事務部7）	(1)多職種合同ラダーレベル研修会が３カ月延期になったことがラダーレベルⅣを目指す者にとって満足度が低かった	(1)研修開催日の早期案内、各施設参加人数をバランスよく振り分けるリモート開催の影響も大きいと思うので、対面による実施を今後行っていく必要有
		(2). 長期研修派遣制度（キャリアアップ支援強化）の継続 ・派遣者の修了後活用状況の検証と派遣要領の見直し	(2)看護部以外において、診療支援部から2名の長期研修派遣審査会開催	(2)理学療法士と診療放射線技師による認定理学療法士及び医療物理士の資格取得を目指す	(2)階層別研修会等において、看護部以外への長期研修派遣について周知が必要
		(3). 法人外医療機関他との人材交流および人的派遣	(3)法人外医療機関よりリハスタッフの派遣要請が有。	(3)顧問弁護士等に相談の上、適切に対応	(3)副業や兼業の需要が増えてくることが見込まれる。法人としての対応策を検討
	収益性と安全性を維持できる医療経営への転換	(1). 的確に財務状況を認識できる管理会計の展開 ・事業利益、償却前事業利益に着目した管理会計の実施	(1)・3月末累計実績（百万円） ⇒事業収益:23,450、事業費用:23,677 →事業利益:▲226 償却前利益:1,961、長期借入金返済:1,071、自己資金投資:284、リース調整:85　→最終C/F:691	(1)・コロナ関連補助金を加味しない計数（百万円） ⇒事業収益:23,450、事業利益▲226、当期利益▲47、C/F残▲318	(1)・2023年度は本業の稼ぎである事業利益段階での黒字確保予算を策定 ⇒事業収益24,701、事業利益594、当期利益634、C/F残566 奄美G、徳之島Gについては本部も一体となった支援を行っていく
		(2). 計画的投資による事業の継続 ・事業継続に必要とされる設備投資実施状況の検証 ・柔軟な金融資産運用方法の検討	(2)・2022年度自己資金による設備投資額　284百万円 リース・割賦等も活用し必要な投資を実施 ・資産運用規定、適切な運用商品について複数の証券会社より情報収集実施	(2)・上半期は業績不芳な施設もあり、必要な設備投資の先延ばしもみられた ・実際の運用開始まで至らず	(2)・引き続き、リース・割賦等も活用のうえ、適切なタイミングで必要な投資が実施されるようアナウンスしていく ・資金運用について、比較的リスクの低い債券での運用を検討する
		(3). 将来の建物改修準備資金の確保 ・建物再建設時準備資金確保に基づく目標キャッシュフロー管理の実施	(3)・2023年度　建物設備投資準備資金の積立目標額　328百万円 ・2023年度の賞与支給率は建物設備投資準備資金目標額を加味したうえで決定	(3)・目標未達事業所…奄美G、徳之島G、老健G 全体では積立目標額206Mに対し、実績467M	(3)・2023年度予算策定時、各事業所と十分協議のうえ積立目標額を決定 賞与支給率にも影響するため、毎月の進捗管理を徹底していく
		(4). 各事業所への本部貸付制度の検討 ・本部貸付制度の策定	(4)・貸付制度策定済み　必要な事業所へは引き続き案内していく	(4)・利用事業所無し	(4)・徳之島病院の外壁等改修工事にて利用予定 併設施設の設備投資等での利用も促していく
	各種会計基準に基づく適正・適確な経理処理の実施	(1). インボイス制度、電子帳簿保存法への対応 ・インボイス制度および電子帳簿保存法改定対応策の周知と運用状況の把握	(1)インボイス制度、電子帳簿保存法への対応 ・電子帳簿保存法への対応は対象外である公益事業を除いた収益事業のみ対応実施 ・インボイス制度への対応として適格請求書発行事業者への登録、インボイス制度の概要についての研修の実施、各施設の取引事業者の適格請求書発行事業者の登録の有無などの情報収集の依頼を実施	(1)インボイス制度、電子帳簿保存法への対応 ・電子帳簿保存法への対応は各施設へ周知はできており請求書等のファイルによる保存も実施できている ・インボイス制度については各施設の経理担当者への周知と事前の準備対応はできた	(1)インボイス制度においては現在も不明瞭な点が多く特例などの変更項目が出てきている それに対応するための情報を早く取得するために様々なところにアンテナを張る必要がある また本格的に開始となる前に各施設の経理担当者へ周到な経理処理のための知識を習得するために研修を行う必要がある
		(2). 職員「保全協会」の制度見直し ・逆ザヤとなっている状況の是正策の検討	(2)職員「保全協会」の制度見直し ・職員への貸出条件、保全資産の運用など規定による縛りが厳しく未実施	(2)職員「保全協会」の制度見直し ・預貯金規程及び職員貸付規程の改正が必要となるため実施できず	(2)保全協会につては制約が多いのでそれらを考慮しつつ是正策の検討を図る必要がある
		(3). トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・適正なガバナンス確立における経理処理部門での監査法人と連携した内部監査実施	(3)トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・併設施設において財務経理課の職員による内部監査の実施	(3). トーマツと連携した現場における経理処理状況の把握 ・併設施設の経理処理の把握をすることが出来、主要施設以外の現状も把握することができた	

中長期計画		中長期計画と2022年度事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
総務人事部	法人保有資産の保全体制の強化と有効活用	⑴. 本部管財機能の見直し ・本部管財課の総務人事部組織内での位置づけ見直し	⑴CE部門との連携実施…　CEIAへの登録、保守計画作成を協力して実施	⑴医療機器をよく知る部門との連携で現実的な保守計画や更新計画の作成が可能	⑴CE部門との連携を強化継続
		⑵. 法人保有資産のCEIAシステムによる一元管理 ・今村総合病院より登録開始	⑵CEIAシステム　登録件数：2,967物件　CE部門・今村総合病院用度担当と協力して登録実施 ・いづろ今村病院、オハナCL、七波CL分の登録も開始した	⑵新規購入分に関してはほぼ実施。既存機器はCE部門管轄以外の部署の登録が少ない ⇒コロナにより部屋に入り実物のチェックができなかった	⑵CEIAへの登録継続　　既存機器を各部門でチェックし登録を進める
		⑶. 法人保有資産の保全計画策定 ・医療機器における保全計画の策定	⑶保全計画の策定 ⇒かごしまオハナビル屋上危険鉄骨除去、マイアミ駐車場漏水・ロックウール補修計画、慈愛会ビル空調更新計画、1Fカルテ室雨漏り補修 ⇒CE部門・今村総合病院用度担当と総合病院の手術室・中材機器の保守計画策定	⑶慈愛会ビル、マイアミ駐車場とも老朽化が進み突発的な修理には早急に対応 計画的な補修は最小限で実施 ・手術室・中材機器の保守計画はCE部門との連携で現状にあった計画を策定	⑶建物の保全計画は後続計画が策定されるまで最小限で計画実施する ・医療機器の保全計画はCE部門と連携し策定を進める
		⑷. 法人保有資産の有効活用 ・法人所有の遊休資産の売却、賃貸等、有効活用の実施	⑷魚見町　楽天アンテナ設置（60千円/年）　マイアミ駐車広告看板設置（264千円/年） ・「平川海の家」周辺保有資産（土地）の位置図を作成	⑷「平川海の家」周辺土地の他、現状把握していない「指宿土地境界及び場所等資料」 「長田町土地と隣接地との境界資料」を作成し将来的な有効活用に備えた	⑷法人保有資産の有効活用の検討継続
	適正な物品管理の実施（購入、更新、配置）	⑴. 本部における価格交渉の定型化 ・本部における、まとめ交渉、2次交渉による適正かつ妥当な価格による取引の実施	⑴本部交渉及び本部と連携した購入対応機器 ⇒総合・七波　血統＋HbA1C　尿一般検査　総合　生化学検査機器　奄美　厨房機器　他 ⇒生化学検査試薬の見直し（いづろ、総合、谷山） ⇒新規リース・割賦の本部での見積・交渉　　４８物件	⑴本部交渉及び本部と連携したことによる購入効果 ⇒機器関連　▲8,515千円（生化学保守含む） ⇒検査試薬　生化学試薬見直し及び検査試薬統合による効果▲7,794千円/年 ⇒動産保険入金　12件　6,505千円	⑴本部交渉及び本部と連携した購入対応の継続
		⑵. 医療および施設関係機器の更新計画策定 ・医療機器および施設における関係機器の適正な使用年数の決定	⑵総合病院及び七波CL　血統＋Hba1C検査機器 ・総合病院及び谷山病院　生化学検査機器更新計画　（谷山2023年度） ・総合及び七波、いづろ　尿一般検査機器更新計画（いづろ2023年度）	⑵慈愛会施設の更新時期の検査機器の更新を総合用度と計画。機器の価格の他に 生化学検査試薬メーカー6社から3社へ変更し単価値下げを行った	⑵複数施設にわたる機器・システムの更新計画は医療機器・システム機器の多い総合病院用度課と連携し他施設も含め計画していく。
		⑶. 医療機器の適正配置 ・各病院施設における医療機器の保有、使用状況の把握	⑶医療機器の適正配置 輸液ポンプ・シリンジポンプはVHJ病院の100床あたりの配置数を確認	⑶CEIA登録により把握の簡易化が可能になる	⑶VHJ病院や市内の病院の保有数の確認を行う

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1．各部門責任者の選任

・在宅支援部統括責任者の新設配置、法人事業本部事務統括の配置、総務人事部長の交代人事実施。

・社会福祉法人慈愛会南界園園長交代に伴う運営支援として財団より人材投入（園長補佐の配置）。

・4/1いづろ今村病院、7/1高麗町クリニックの管理者交代。

・長年事務長不在であった奄美病院へ専任の事務長配置。

・引き続き、慈愛会の横串組織の充実を図り、各部門統括責任者の配置を進めていく。

2．外部人材の受け入れ

・国立大学法人鹿児島大学の課題解決型インターンシップ（事務系）１名の受け入れを昨年に引き続き行った。コロナ禍であったが、法人事業本部内にて9日間受け入れた。

・株式会社鹿児島銀行職員1名の出向受け入れを行った。2022年4月より2年間、経営企画室および今村総合病院にて勤務予定。

3．MIC（株式会社南日本情報処理センター）との定例協議を実施

J-TIS（慈愛会総合情報システム）の委託事業所であるMICとの定例協議を実施した。IT部門の状況把握・方針管理の迅速化が引き続き図られた。

4．賞与引当算定基準の変更

賞与支給可能額について、建物設備投資準備資金の積立目標額を考慮して算定することとし、将来の建設改修に伴う資金の確実な確保を図った。

5．インボイス制度開始に伴う研修会の実施

2023年3月28日に各施設経理担当者へインボイス制度開始に伴うインボイス制度の概要、開始までの間にするべき準備などの説明会を実施。

インボイス制度に対する制度の内容、及び事前の準備対策などの周知を行う。

6．医療機器管理システムCEIAへの登録

今村総合病院の医療機器から昨年度登録を開始したが、今年度はいづろ今村病院、かごしまオハナクリニック、七波クリニックの登録も始め、医療機器の情報共有ができる体制を進めた。

技能・能力向上に向けた取り組み

1．「役職者（科長・課長・科長代理・課長代理、師長）を対象とした多面評価」の実施

2020年度から実施され3年目となった。2022年度の多面評価結果については、従来の対象者の他に事務長、看護部長、本部部長の経営管理層まで拡大し実施した。

＜実施状況＞

145名（看護部74名・診療支援部31名・事務部40名）

合同研修会

1．新入職員研修会

⑴ 入職式

開催日：2022年4月1日

・リモートによる理事長の式辞、新入職員は各配属病院・事業所にて参加

⑵新入職員研修会

開催日：2022年4月1日

・リモートで実施　113名参加

＜研修の目的＞

①慈愛会職員として理念、基本方針、法人概要等の基礎知識を身につける

②社会人・医療人として必要なマナー・接遇について学ぶ

③医療安全・感染管理の基本について学ぶ

④健全な生活設計（消費者トラブルの対処）について学ぶ

⑤401kの説明

⑥慈愛会教育体制、キャリア開発プログラムラダー認定制度について学ぶ

⑦新卒同期職員の親睦を図る

2．総務担当者合同研修会

⑴第1回　2022年9月21日開催

＜主なテーマ＞

・育児・介護休業法改正
・育児休業、社会保険料免除について
・氏名変更時の年金手帳について
・キャリアアップ助成金について
・最低賃金変更に伴う給与について
・雇用保険料の変更について
・正職員のiDeCo加入について
・コロナ感染による休業取り扱いについて

⑵第2回　2022年11月14日開催

＜主なテーマ＞

・物価高騰に関する支援
・人事制度・賃金規程の見直し
・役職者に対する多面評価の実施
・年末調整について

⑶第3回　2023年3月9日開催

＜主なテーマ＞

・2023年４月採用者に関するお知らせ・お願い
・2023年4月～5月の業務スケジュール確認
・職員カードの変更依頼書について
・永年勤続表彰について
・2023年度年間休日予定表について
・社会保険料変更（2023年3月～）について
・雇用保険料率変更について
・傷病手当支給申請書の記入方法について

業　績　一　覧

【論文】

今村総合病院　診療情報管理室

＜和文＞

1．前田雄介：脳梗塞患者における自宅退院の可否に関する検討：決定木分析による自宅退院可否の早期予測モデル．診療情報管理 34(3)：109-113，2022

今村総合病院　総務課

＜和文＞

2．鈴木大輔，有島尚亮：有事下でもゆるぎない病院経営を目指して～ COVID-19 禍における「病院経営の BCP」への一考察～．かごしま慈愛会ジャーナル 1（創刊号）：8-19，2022

法人事業本部

＜和文＞

3．今村英仁：日本の病院の官民問題を議論する前に．病院 81(4)：298-302，2022

4．今村英仁：病院給食の問題解決に向けて－本特集の背景とねらい．病院 81(8)：654-658，2022

5．高野正樹：病院給食の赤字化の理由　病院給食管理と臨床栄養管理の課題に分けて現状を分析する．病院 81(8)：21-30，2022

6．今村英仁：徳洲会グループのガバナンス　日本最大民間病院グループのサスティナビリティへの挑戦．病院 81(9)：811-815，2022

7．今村英仁：社会保障制度と不可分な病院経営のサスティナビリティ．病院 82(1)：55-57，2023

＜その他の論文，著述＞

1．尾形裕也，今村英仁：対談　公民問わず迫られる各病院の役割の明確化．病院 81(4)：279-284，2022

2．中村丁次，今村英仁：対談　病院給食と臨床栄養管理の両輪を回す．病院 81(8)：639-644，2022

3．今村英仁：特別寄稿　日本医師会常任理事に就任して．鹿児島大学医学部同窓会鶴陵会会報第 51 号：39-43，2023

【学会発表】

今村総合病院　総務課

＜国内＞

1．福留亮：病院全体で取り組む施設基準の検討について－チームアプローチ検討委員会の活動報告．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

2．鈴木大輔，有島尚亮：医療機関における地域支援を考える - 異なる二つの包括連携協定の報告と課題について．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

今村総合病院　診療情報管理室

＜国内＞

3．前田雄介：脳梗塞患者における自宅退院の可否に関する検討（第 2 報）．第 48 回日本診療情報管理学会学術大会，2022 年 10 月 14 日 -11 月 13 日，Web

4．本村公一：多職種による診療記録の質的監査と今後の課題．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

今村総合病院　医師事務補助課

＜国内＞

5．登美奈子：医師事務補助課に求められること～医師事務補助課の変遷と今後～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

6．登美奈子：当院医師事務補助課の変遷と今後－医師事務補助課に求められるものとは？－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

7．東雅美，登美奈子：A クリニックでの業務改善サポート－医師から DA へタスクシフティング－．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

8．上栗明郁，日髙奈津美，大迫真由美，東雅美：コミュニケーションツールの作成とその成果について～ウイズコロナ時代の新たな取り組み～．日本医師事務作業補助者研究会第 11 回全国学術集会，2022 年 11 月 20 日，Web

いづろ今村病院　医事課

＜国内＞

9．長屋雄太，松本綾乃，永野里歩，今留美希:病棟紹介と入院料の比較．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

10．長屋雄太：病棟紹介と入院料の比較．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

いづろ今村病院　健康管理センター

＜国内＞

11．坂之上智恵子，安本清美，下野綾華，前野祐香，菊永恵理子，佐藤チハル：検査の効率化と受診者へのサービス向上を目指して．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

12．坂之上智恵子：検査の効率化と受診者へのサービス向上を目指して．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

鹿児島中央看護専門学校

＜国内＞

13．飯田珠美，大保まり子，久徳美鈴：選ばれる看護師養成所を目指した一戦術としての ICT 推進の効果．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

14．飯田珠美，久徳美鈴：選ばれる看護師養成所を目指した一戦術としての ICT 推進の効果．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

七波クリニック

＜国内＞

15．帖地浩一郎：糖尿病専門クリニックにおける新型コロナワクチンの接種体制についての一考察．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

法人事業本部

＜国内＞

16．高野正樹，和田裕美：非常食に係る先行研究を踏まえて，そのあり方を考える～奄美病院栄養科との共同研究～．第 2 回慈愛会学会学術集会，2022 年 7 月 9 日，鹿児島

17. 高野正樹：離島における非常食のあり方を考える．日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会，2022 年 11 月 4-5 日，鹿児島

【研究会・講演会】

法人事業本部

1．今村英仁：病院給食問題と地域の課題解決に向けて．医療経済フォーラム・ジャパン第 106 回定例研修会，2022 年 4 月 7 日，東京

2．今村英仁：病院の栄養部門が抱える課題とこれからの管理栄養士への期待．第 7 回全国栄養経営士のつどい　東京大会，2022 年 9 月 1 日，東京（Web）

3．今村英仁：地域におけるポジショニング. 東京大学 高度医療経営人材育成プログラム, 2022 年 9 月 3 日, 東京（Web）

4．今村英仁：病院給食の問題解決に向けて．HOSPEX Japan2022　病院・福祉給食セミナー，2022 年 10 月 27 日，東京

5．高野正樹：「病院給食の赤字化の理由」～ヒト・モノ・カネの視点から～．HOSPEX Japan2022　病院・福祉給食セミナー，2022 年 10 月 27 日，東京

6．今村英仁：病院の栄養部門が抱える課題とこれからの管理栄養士への期待．令和 4 年度東京都立病院機構 No.1 職層別研修　管理者研修　病院幹部マネジメント（栄養）Web 研修，2023 年 2 月 20 日，東京（Web）

7．高野正樹：医療施設給食の赤字化の理由～給食経営管理および臨床栄養管理の視点からの考察．第 34 回日本給食経営管理学会研修会，2023 年 3 月 10 日，Web

【受賞】

今村総合病院　医師事務補助課

1．登美奈子：「医師事務補助課に求められること～医師事務補助課の変遷と今後～」第 2 回慈愛会学会学術集会 口演発表奨励賞．2022 年 8 月 1 日

鹿児島中央看護専門学校

2．飯田珠美：「選ばれる看護師養成所を目指した一戦術としての ICT 推進の効果」第 2 回慈愛会学会学術集会 口演発表優秀賞．2022 年 8 月 1 日

【マスメディア】

法人事業本部

1．今村英仁：鹿児島・垂水市，医療機関と連携協定　妊産婦支援へ．日本経済新聞電子版，2022 年 5 月 11 日　URL：https://www.nikkei.com/article/DGXZQOJC111KR0R10C22A5000000/

2．今村英仁：産科ゼロの垂水市，出産・子育て支援へ鹿児島市の医療機関と連携．朝日新聞デジタル，2022 年 5 月 11 日　URL：https://www.asahi.com/articles/ASQ5B76TQQ5BTLTB004.html?iref=pc_ss_date_article

3．今村英仁：出産・子育て環境整備へ連携協定　垂水市と慈愛会．南日本新聞，2022 年 5 月 12 日

4．今村英仁：病院給食問題と地域の課題解決に向けて．社会保険旬報 No.2858，2022 年 6 月 11 日

5．今村英仁：健康・福祉充実　連携協定を締結　鴨池コミュ協と慈愛会．南日本新聞，2022 年 6 月 21 日

6．今村英仁：日本医師会常任理事に今村氏．南日本新聞，2022 年 7 月 1 日

7．今村英仁：県内初の日本医師会常任理事．南日本新聞「かお」，2022 年 8 月 24 日

部門別　事業報告(PDCA) 総括

医療情報室　慈愛会総合情報システム (J-TIS)

中長期計画		中長期計画と2022年度事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会総合情報システム（J－TIS）	J－TISの安定稼働	(1). J-TIS基盤の更新 ・J-TISサーバ群ハードウェア基盤の更新および、ハードウェア更新に伴うシステムの更新について検討する。 ・バックアップ環境の整備	・病院情報システムバックアップデータの２重化 バックアップデータを別のネットワークにあるストレージにコピーして保存する仕組みを導入。	・ランサムウェア対策として、病院情報システムのデータバックアップ機能を強化した。バックアップしたデータをさらに別のネットワークへコピーし、7世代分のバックアップデータを保管。最大2週間前まで復元可能となった。	
		(2). システムの最新化 ・谷山病院の医事システムおよび電子カルテシステムの更新に向けて、新機能などの検討や、サーバのデータセンター移設について検討・準備を行う。 ・慈愛会職員管理システムの更新	・高麗町クリニックで外注検査の検査結果取込みを運用開始。 ・オンライン資格確認システムの導入。(病院・クリニック全9施設) ・返戻レセプトのオンライン化（今村総合病院） ・情報系－基幹系ネットワーク分離（慈愛会クリニック）	・オンライン資格確認システムを、いづろ今村・今村総合・谷山・奄美・徳之島の5病院と、慈愛会クリニック・高麗町クリニック・七波クリニック・かごしまオハナクリニックの4クリニックに導入し、運用を開始した。	オンライン資格確認システム基盤を利用した、電子処方箋の導入を進めていく
		(3). 慈愛会ネットワークの強化 ・VPNワイド網のレスポンス品質改善に向けて、VPN網更新やセキュリティを含めたネットワークの強化を行う。 ・オハナビル内ネットワーク機器の更新 ・高麗町クリニック内ネットワーク機器の更新 ・七波クリニックLAN環境の整備 ・慈愛会クリニックLAN環境の整備 ・老健－谷山間ネットワーク環境の整備 ・IT資産管理環境整備 ・セキュリティ対策	・ウイルス対策ソフトの更新 ・鹿中看Webサーバのデータセンターへの移設 ・慈愛会Webサイトのリニューアルとドメイン管理の移管 ・かごしまオハナビルネットワーク品質改善策検討 ・法人事業本部新規システム導入検討 ワークフローシステム、人事管理システム 勤怠管理システム更新	・返戻レセプトのオンライン化をすべての病院・クリニックで運用開始できた。 ・慈愛会クリニックのネットワークを業務系と情報系に分離し、セキュアなネットワーク環境を構築できた。 ・鹿中看を含め、慈愛会のWebサイトをリニューアルし、ドメイン管理についても南日本情報処理センターに移管し一本化した。	オハナビル・高麗町クリニックのネットワーク機器の更新について検討する。 かごしまオハナビルのネットワーク品質の向上に向けて、VPN回線の見直しや専用線の利用などを含めて検討する必要がある。 ワークフローシステム、人事管理システムの導入に向けて、デモの実施やシステム内容の比較検討を進める。
		(4). サイバーセキュリティ対策 ・IT資産管理環境整備 ・ネットワーク機器ファームウェアの最新化		・オハナビルのネットワークについては、一時改善がみられたものの、レスポンス低下の状況がみられる。	仮想サーバのリソース増強を行ったが、充分とは言えない。今後はサーバリソースについて、クラウドの利用なども検討していく。
		(5). 仮想端末環境の拡充 ・新規導入端末については、積極的に仮想端末を導入し、障害対応や端末管理の効率化を図る。	・仮想環境のリソース拡充	・ワークフローシステム、人事管理システムの導入の検討を始めた。 ・仮想管理サーバのリソース拡充を行い、仮想サーバの増強を実施した。	

中長期計画		中長期計画と2022年度事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
慈愛会総合情報システム（J-TIS）	DWHの活用拡大	⑴. 急性期電子カルテと介護システムの連携 急性期電子カルテ「MIRAIs」と介護システム「寿」で、相互にデータを閲覧できる環境を検討。セキュリティを担保しながら情報共有できる環境を整備する。 ⑵. 精神科基盤のDWH構築 精神科電子カルテ情報・医事情報をDWHへ取り込む環境の整備を進める。 ⑶. 介護・福祉基盤のDWH構築 介護情報をDWHへ取り込める環境の整備を進める。 「科学的介護情報システム」LIFEデータ活用の検討 ⑷. DWHの利活用拡大 精神・介護を含めたDWHの構築と活用方法の検討	・スタッフ向けインフォメーションボードを構築（今村総合・いづろ今村） DWHからデータ抽出し、入院患者状況などリアルタイム表示環境を構築。 DWHを利用して、リアルタイムに入院患者状況などを院内サイトで確認可能 ・RPAを利用した、データ抽出作業の自動化。 リアルワールドデータへDWHを利用してデータを提供	・DWHを利用してデータを抽出し、スタッフに入院患者状況などをリアルタイムで提供できるようにした。 ・DWHのデータ抽出に関して、RPAを利用してデータを自動で抽出するなど業務改善につながっている。	まだ、手作業で行っている業務などを洗い出し、DWHを活用して自動化できるものを自動化したり、業務の簡素化を図りたい。 システムによる、さらなる情報の共有化を推進する。 精神科カルテ情報・医事情報をDWHへ取り込む環境構築については、引き続き準備を進めていく必要がある。
	人材育成	⑴. 職員教育 SE会議の開催 システム構成図を作成し、各施設のシステム状況を共有する。 ⑵. スキルの向上 勉強会の開催 慈愛会ネットワーク図と各施設内LAN構成図を作成し、現在のネットワーク状況を把握し、ネットワークに関するスキルの向上を目指す。	・毎月1回SE会議を開催。情報共有を行っている。 ・HTMLおよびPHPプログラム勉強会実施 VHJ-IT部会参加（WEB開催） MIRAIsユーザフォーラム参加（WEB参加）	チャットによるSE間のコミュニケーションツールの利用で、情報の共有が出来るようになった。	スタッフのスケジュール管理や報告書の情報を共有できる環境を整備したい。

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

1．オンライン資格確認システムの導入

慈愛会の病院・クリニック合わせて９施設にオンライン資格確認システムを導入した。

谷山病院、奄美病院、徳之島病院については、新規に光回線を引き、オンライン資格確認端末までの院内LAN配線工事を実施。また、既存のネットワーク回線を利用した他の施設についてもLAN配線工事を行い、機器を設置した。

2．DWH(データウェアハウス)の活用

○いづろ今村病院と今村総合病院で入院患者状況などを定期的に抽出。院内サイトや医局の大型モニタに表示し、スタッフへの情報共有ができる仕組みを構築した。

データの抽出は、DWHからRPAを利用して自動で抽出される。

施設名	ネットワーク回線種別	ｶｰﾄﾞﾘｰﾀﾞ台数	運用開始日
いづろ今村病院	IP-sec+IKE サービス(既存回線利用)	２台	2023/1/10
今村総合病院	IP-sec+IKE サービス(既存回線利用)	３台	2023/1/10
谷山病院	IP-VPN（新規回線契約）	２台	2023/3/27
奄美病院	IP-VPN（新規回線契約）	１台	2023/4/1
徳之島病院	IP-sec+IKE サービス（新規回線契約）	１台	2023/4/1
慈愛会クリニック	IP-VPN（既存回線利用）	１台	2023/3/10
高麗町クリニック	IP-VPN（既存回線利用）	１台	2023/3/1
七波クリニック	IP-VPN（既存回線利用）	１台	2023/2/13
オハナクリニック	IP-VPN（既存回線利用）	１台	2023/2/27

○RPAを利用した定期的なデータ抽出
・記録・入退院データ、会議室等予約データ、在院数データ、平均在院日数、SOFAスコア、高齢者総合評価表

○看護記録分析用データ抽出（いづろ今村病院、今村総合病院）
電子カルテの看護記録に入力されたデータを解析して、データが入力された時間帯や入力文字数、入力の即時性などの分析資料を作成。

3．病院情報システムデータのバックアップ２重化
○ランサムウェア対策として、病院情報バックアップデータを別のネットワークにあるストレージにコピーし、２重化して保管する仕組みを構築。通常のバックアップデータとネットワーク経由でアクセスできない環境にバックアップデータを保管することでセキュリティを担保することが可能となった。(2022年5月)

4．J-TIS基盤ハードウェアの拡充
J-TISハードウェアの仮想環境のリソースを増強し、枯渇する仮想端末の台数増加に対応した。(2023年1月)

5．慈愛会ネットワーク環境の改善
○かごしまオハナビルのネットワークについて、VPN回線のレスポンス低下が再発したため、品質改善に向けた対応策を検討中。
・NTTフレッツVPNプライオ回線(IPv6、ベストエフォート型)への変更や、ダークファイバ敷設による専用線の導入について継続検討中。

○慈愛会クリニック内ネットワークの分離
慈愛会クリニック内ネットワークを電子カルテ端末利用の基幹系ネットワークと、インターネットアクセス用の情報系ネットワークに分離してセキュリティを強化。(2023年2月)

6．慈愛会Webサイトリニューアル支援
○慈愛会Webサイトをリニューアルするとともに、運用サーバを慈愛会サーバからクラウド運用に移行。鹿児島中央看護専門学校のWebサーバも同時に移設して、jiaikai.or.jpドメインとkachukan.ac.jpのドメイン管理についても一本化した。(2022年12月)

7．業務支援システム構築
○いづろ今村病院
入院予定患者用表紙一括出力プログラム作成。院内サイトで運用を開始。(2022年7月)
会計カード出力プログラム作成。院内サイトで運用開始。(2022年9月)

○今村総合病院
手術室前に「手術予定一覧」表示用モニタを設置。(2022年6月)
ファイルメーカ入力支援ツール作成。(2022年8月)
イントラネット「紹介患者状況」プログラム「ファイル出力」機能追加。(2022年10月)
イントラネット「勤務表作成」プログラム「一括入力」機能追加。(2023年2月)

部門別　事業報告(PDCA) 総括 業績一覧

教育開発センター

中長期計画		中長期計画と2022年度事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
教育開発センター	医療の達人プロフェッショナル育成	(1). キャリア開発ラダー、キャリアラダー活用の推進 全職種クリニカルラダー構築 キャリア開発ラダー、キャリアラダー周知と活用認定率・申請率向上	(1). キャリア開発ラダー申請状況 ＊2022年度申請率（申請者数、未入力部門あり） 薬剤部門100%、リハビリテーション部門75.4%、画像診断部門100%、 臨床検査部門66.7%、医療相談部門81.8%、視能訓練士100%、介護福祉士100% ＊2022年度認定率（認定者数、未入力）	(1). 各部門においてキャリア開発ラダーの運用が開始され2年目である。キャリア開発推進委員が中心となり、ラダーを使用する中で気づいた点を追加・修正しながら、人材育成のツールとして活用している。2022年度の申請率は、平均85%である。認定率については、把握できていない（3月末で未入力）。入力締め切り日の設定、確認等を実施していく。また、キャリア開発ラダーを作成しているが、運用できていない部門があるなど、活用状況に差があるため、今後も支援が必要である。	(1). 職員能力開発プログラムの活用推進 全職種キャリア開発プログラム活用 キャリア開発ラダーレベル申請率向上
		(2). スペシャリスト、ジェネラリストの育成 長期研修派遣推進資格取得支援	(2). スペシャリスト、ジェネラリストの育成 キャリア開発推進委員会にて、各職種のスペシャリスト・資格の詳細入力を依頼し把握中。	(2)能力開発プログラムの活用支援とスペシャリスト育成のために、スペシャリストとして活躍している有資格者の活動内容を整理している途中である。各専門職のキャリアを可視化することで、全職種で協働するための多職種理解にも繋がると考える。	(2). スペシャリスト・ジェネラリストの育成 各職種のスペシャリスト・資格の可視化 資格取得支援
		(3). 多職種合同研修 第1回多職種合同研修企画検討 教育開発センターへの多職種職員配置検討	(3). 多職種合同研修会開催 1）キャリア開発推進委員研修会 7月12日（火）13時～ 17時30分 ※P205参照 2）ラダーレベル研修会 第1回 6月15日（水）8時30分～ 17時30分 第2回10月 4日（火）8時30分～ 17時30分 第3回11月19日（土）8時30分～ 17時30分 ※P206参照	(3). 新たな取り組みとして、多職種合同研修会「キャリア開発推進委員研修」及び「ラダーレベル研修」を開催した。現場で人材育成・指導にあたっているキャリア開発推進委員を対象とした研修には29名が参加し、ラダーレベルⅣを目指す者への支援方法について学んだ。アンケートは、研修満足度「十分満足」・「満足」が100%、意見では「多職種で意見交換できたことが良かった」という記述が多かった。また、研修受講後には、「ラダーレベル研修」のファシリテーターとして参加し、研修の学びを活かし支援を行う参加者もいた。今後も研修を継続していく。 「ラダーレベル研修」は、キャリア開発ラダーⅢを取得している者（レベルⅣを目指す者）を対象とし開催した。受講対象者が多く、研修を6月・7月・8月の3回計画した。しかし7月・8月は、COVID-19感染者急増により、10月・11月に開催を延期した。アンケートでは、研修満足度「十分満足」・「満足」が90%という結果であった。研修では、外来講師：宮之原明子先生の「魅力学～人に好かれる人になる～」の講義を企画した。リーダーになっていく、リーダーを目指す参加者にとって、この講義はとても学びの多い内容であった。多職種で構成されたグループワークでは、“協働して取り組む活動”をテーマに意見交換と発表を行った。この中で提案された内容が、今後慈愛会内で多職種合同の取り組みとして実現していくことを期待する。	(3). 多職種合同研修 ・キャリア開発推進委員研修： 7月11日（火） ・ラダーレベル研修（レベルⅣ取得を目指す者） 3回開催： 6月14日（水） 7月20日（木） 8月5日（土）
			3）新入職者研修 オリエンテーションⅠ（hop） 4月1日（金）10時40分～ 17時30分 オリエンテーションⅡ（step） 5月14日（土）8時30分～ 17時30分 オリエンテーションⅢ（jump） 12月3日（土）8時30分～ 17時30分 ※P208 ～参照	新入職員研修は多職種合同で、初めて年3回全員参加の研修として開催した。集合研修の機会が制限される中、5月のstep研修は「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」を研修内容に含め、“語り合い”（グループワーク）を中心とした研修とし、現状と悩みを共有する機会となっていた。12月のjump研修は全参加者が集合できる機会となり、次年度に向けての動機づけとなるよう研修内容を企画した。今後も、慈愛会全体で多職種合同の研修として開催し、同期入職者の絆が深まること、業務継続の意欲が高まること、更には慈愛会内の連携推進を図る機会となるよう、研修を企画していく。	・新入職者研修： 研修Ⅰ（hop） 4月3日（月） 研修Ⅱ（step） 5月20日（土） 研修Ⅲ（jump） 12月2日（土）
			4）中途入職者研修 ① 4月28日（木）8時30分～ 17時30分 ② 6月 9日（木）8時30分～ 17時30分 ③ 8月25日（木）8時30分～ 17時30分 ④10月20日（木）8時30分～ 17時30分 ⑤12月22日（木）8時30分～ 17時30分 ⑥ 2月16日（木）8時30分～ 17時30分 ※P209参照	中途入職者研修を多職種合同で年6回開催した。リモート（Zoom）を使用することで、参加しやすい環境が整えられてきている。今後も、慈愛会入職者への支援として研修を開催していく。	・中途入職者研修 6回開催： 4月27日 6月22日 8月24日 10月26日 12月21日 2月22日

中長期計画		中長期計画と2022年度事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
教育開発センター	医療の達人プロフェッショナル育成	⑷. 一人ひとりのスタッフの付加価値を上げる チャレンジプラン全職種導入 人事考課と給与反映検討	⑷. チャレンジプラン全職種導入 2022年度より全職種でチャレンジプランシートが導入された。2021年度ミドルマネジメント研修において、チャレンジプランシートの導入と活用方法及び記載方法について説明を実施している。2022年度のミドルマネジメント研修内容にも、BSCとチャレンジプランについての説明を計画した。 ＊ミドルマネジメント研修はP207参照。	⑷. 目標管理について職員が理解を深め、管理者自身も職員への具体的な支援のためには、部署目標・BSCを職員と共有し活用していくこと、目標達成を実感しあうことが必要である。チャレンジプランを活用し、仕事のやりがいにつなげていくためには、更に充実に向けて取り組む必要がある。	⑷. 一人ひとりのスタッフの付加価値を上げる チャレンジプラン活用推進 人事考課と給与反映によるやりがい感向上
		⑸. 多職種協働チームケア実践（重症化予防、患者満足度向上） 教育開発推進委員会の定期的開催 多職種協働チームケア検討	⑸. キャリア開発推進委員会議 5月11日、9月13日、11月8日、1月10日、3月14日 ＊開催日ごとの内容はP205参照。	⑸. キャリア開発推進会議の機能により、各研修成果への連動、ファシリテーター経験後の次研修への展開に活かせている。今後も会議運営を充実させながら、慈愛会職員のキャリア推進に取り組んでいく。	⑸. 多職種協働チームケア実践（重症化予防、患者満足度向上） キャリア開発推進委員会定期開催 5月9日、9月12日、12月7日、1月9日、3月12日 多職種協働チーム編成検討
		⑹. スタッフプロファイリング管理とキャリア支援 スタッフプロファイリング内容および管理等について人事部と検討開始			⑹. スタッフプロファイリング管理とキャリア支援 継続検討
		⑺. 心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 2022. 5. 14（土） かごしま県民交流センター県民ホールにて開催 慈愛会全職種投稿募集による開催	⑺.　心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 1）第3回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 ⑴エピソード募集と選考＊一部2021年度実施内容を含む ・1月14日～ 3月3日：エピソード募集 ※P212参照 ・3月7日～ 3月22日一次選考：21作品を選出 ・3月24日～ 3月31日二次選考：13作品を選出 ・4月8日選考会：入選13作品を決定 ⑵第3回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催 ・5月14日（土）9時～ 11時55分 ・内容（第1部）入賞13作品の朗読、選考委員長選評、優秀賞発表と表彰 （第2部）看護部ラダーレベルⅤ実践取り組み報告 ⑶「心に届く慈愛の物語」冊子発行 ・6月入選作品13編を掲載した冊子発行（1262冊）、慈愛会各施設へ配布 ⑷入選者13名へメッセージを送付 ・新入職員へ冊子を配布し、エピソードを読んだ感想をメッセージカードに記載してもらった。 ・集まったメッセージカードをフォルダにまとめ、入賞者一人ひとりへ届けた。 ⑸慈愛の便り発行 ・新入職員からのメッセージカードを受けとった入選者からのお礼の言葉を「慈愛の便り」としてまとめ、各施設へ配布した。 2）心に届く慈愛の物語を紡ぐ会運営委員会発足 ⑴運営委員：20名 ⑵会議開催 11月14日、1月23日、2月27日 ※P212参照 3）第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会 ⑴エピソード募集と選考 ・1月13日～ 3月3日：エピソード募集 ※P213参照 ・3月7日～ 3月22日一次選考：32作品が選出 ・3月24日～ 4月3日二次選考：＊選考中 ⑵第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催計画 日時：2023年5月20日（土）9時20分～11時50分 会場：かごしま県民交流センター県民ホール、リモート（Zoom） ＊選考委員長三角みづ紀先生、来鹿予定	⑺.　第3回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会は、多職種を対象とした企画として、全職種よりエピソードを募集し、診療支援部7作品、事務部1作品を含む、51作品の応募があった。県民ホールに集合して開催できたこと、プログラムを全て実施できたことで、慈愛会全体での取り組みに発展していく機会となった。第4回から更に発展し多職種で取り組むためには、運営委員会の設立が必要であると考え、協力支援を頂き、設立できた。第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会の開催に向けて、運営委員が中心となり、各施設へのエピソード応募の働きかけや、企画に取り組んだ。結果、エピソード募集には、全施設・多職種から、100作品の応募があった。しかし、診療部からのエピソード応募は無く、医師への働きかけが今後の課題である。	
		⑻. その他		⑻.　慈愛会創立90周年を迎えるにあたり、慈愛会フィロソフィの見直し、周知と活用推進が必要である。慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクトを設立する。奥健一郎先生の講義を入れながら、創立90周年を機会にフィロソフィのバージョンアップを図りたい。	⑻.　慈愛会フィロソフィバージョンアッププロジェクト 慈愛会創立90周年に向けて検討スタート プロジェクトチームの立ち上げ、活動開始

中長期計画		中長期計画と2022年度事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
教育開発センター	管理者（マネジャー）のマネジメント力向上	(1). 管理者任用候補者選考研修質向上	(1). 管理者任用候補者選考制度 1）選考対象者の基準見直し ＊2022年度選考制度について6月7日総務人事部と協議。 ［前年度からの変更点］ ①選考対象者（全職種共通） ・所属年数及び経験年数について追加 「慈愛会に所属した経験が1年以上あり、職務経験が5年以上ある者」 ・キャリア開発ラダーについて追加 「キャリア開発ラダーが導入されている職種にあっては、ラダーレベルⅣを取得している者」 「キャリア開発ラダーが導入されていない職種については、ラダーレベルⅣと同等であると認められた者」 ②多面評価 ・評価基準を10段階から5段階に変更 ・評価者人数を7名程度から10名程度に増（上司1名以上、同僚・関連部署職員9名程度） ＊選考制度について、事務長会、参事会にて承認を受け、7月14日全施設へ周知した。 2）管理者任用候補者選考と研修 ※P206参照	(1). 管理者任用候補者選考は法人内の昇任制度として定着している。これまでに多数の職員が研修を受講し、現場において管理者として活躍している。2022年度は、選考対象者の基準を見直し、慈愛会所属年数と職務経験年数を追加、キャリア開発ラダーについてレベルⅣを取得している者（同等レベルであると認められた者）を追加した。選考では、多面評価の評価基準と評価者人数を変更した。合格基準は、多面評価・筆記試験・面接試験の全てで6割以上の評価であることとなっている。今年度の選考には5名が再チャレンジした。この研修の意義を理解しチャレンジ精神とキャリアアップへの意欲が高い職員のキャリア支援として、今後も強化していく必要がある。	
		(2). ミドルマネジメント研修	(2). ミドルマネジメント研修 12月10日（土）8時30分～ 17時30分 ※P207参照	(2). 今年度から開始された第3次マスタープランについては、これまでに周知されているが、各施設それぞれの方針を更に深く理解する機会、慈愛会組織の方針を共有する重要な位置づけとできた。また、ミドルマネジメント者が慈愛会フィロソフィの意義について外部講師の講演を聴講し、フィロソフィの周知と活用についてグループワークを行い理解を深めたことで、今後、慈愛会フィロソフィバージョンアップの取り組みがスムーズに進むことが期待される。	(2). ミドルマネジメント研修 12月9日（土）
		(3). 初期キャリア支援（昇任者研修） 7月新任昇任者（副主任・主任・副看護師長・）研修開催	(3). 初期キャリア支援研修 7月1日（金）8時30分～ 12時30分 ※P207参照		
		(4). 看護部他管理者育成プログラム（マネジメントラダー）作成検討・活用 多職種マネジメントラダー構築検討			(4). 看護部他管理者育成プログラム（マネジメントラダー）作成検討・活用
	地域人材派遣・人事交流	(1). スペシャリスト派遣・人事交流 スペシャリスト活動支援 認定看護師・特定看護師会活動支援	(1). 慈愛会認定看護師会活動支援 ＊2022年度より「慈愛会認定看護師」と「慈愛会特定看護師会」に分かれ活動を開始した。 1）慈愛会認定看護師会 メンバー数：26名 2）慈愛会特定看護師会 メンバー数：13名 ※P213 ～参照	(1). 慈愛会認定看護師会・特定看護師会は、2022年度より「慈愛会認定看護師会」と「慈愛会特定看護師会」に分かれ活動を開始した。認定看護師会においては、チームの中で一人ひとりがリソースナースとしての役割を発揮し、組織や地域への貢献を意識しながら活動を継続することができた。特定看護師会は、全体会が1回開催された。各々が所属施設内での活動を中心に取り組んでおり、今後、活動内容の把握と、どのような活動支援を行っていくかが課題である。	(1). スペシャリスト派遣・人事交流 スペシャリスト活動支援（認定看護師会、特定看護師会活動支援） 放送大学、進学、長期研修受講支援
	慈愛会クリティカルパス多職種協働開発および普及	(1). 慈愛会クリティカルパス整備 慈愛会クリティカルパス活用状況実態把握/クリティカルパス活用推進上の課題抽出/新クリティカルパス開発プロジェクト立ち上げ（2）. 慈愛会連携パス作成による連携推進		(1). 慈愛会内でクリティカルパスを効率的に活用するために、まず各施設で作成しているパスの種類等の情報を収集し、活用状況について把握する。状況把握後、パスの活用に向けて協議していく。	(1). 慈愛会クリティカルパス整備 慈愛会クリティカルパス作成・運用状況調査 クリティカルパス活用推進委員会立ち上げ クリティカルパス運用率アップ
		(2). 慈愛会連携パス作成による連携推進 慈愛会連携パス検討	(2). 慈愛会連携推進会議開催（1回/2か月） 4月21日、6月16日、8月18日、10月20日、12月15日、2月16日 ・各施設の連携状況 ・各施設のサマリーの確認	(2). 会議において各施設の情報が共有され、連携強化を図っている。在宅医療・在宅看護に必要なACPについて協議し、連携パスの導入について検討中である。検討を継続する。	(2). 慈愛会連携パス作成による連携推進 慈愛会連携推進会議と共同作成検討

中長期計画		中長期計画と2022年度事業計画（Stage1）	実施　2022.4月～2023.3月（DO）	評価・検証（CHECK）	改善（ACTION）
教育開発センター	慈愛会学会学術集会継続開催	⑴. 学会運営 第2回学会テーマ「過去から学び、飛躍する慈愛会」 大会長今村総合病院臨床研究センター長	⑴.　慈愛会学会運営 1）運営委員会議※開催日ごとの内容はP210参照。 4月26日、5月17日、6月7日、7月6日（臨時会議）、7月22日、8月29日、9月13日、11月8日、1月17日、2月28日 2）第2回慈愛会学会学術集会 ⑴日時：2022年7月9日（土）9時～ 16時30分 ＊COVID-19感染者数の急増を受け、時間短縮と一部プログラムを変更し開催 ⑵会場：鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号 ⑶登録演題数と詳細 ※内訳はP211参照 ⑷内容 ※詳細はP86参照 ⑸学術集会参加者 465名（会場参加者252名、各施設リモート会場参加者213名） ⑹優秀演題表彰 ①表彰内容、表彰数：口演発表最優秀1、口演発表優秀5、ポスター発表最優秀1、ポスター発表優秀4、特別賞1、奨励賞7 ②表彰式：8月1日（月）12時30分～ 13時 3）第3回慈愛会学会学術集会 ⑴開催案内ポスター募集と決定 ・募集期間：10月7日～ 11月4日 ・応募数：6作品 ＊運営委員会にて最優秀作品、佳作2作品を決定 ・11月14日（月）表彰式 ⑵演題募集 ・募集期間：2022年11月15日～ 2023年2月28日 ・登録演題数：口演23演題、ポスター 46演題 施設別：いづろ今村病院18題、今村総合病院25題、谷山病院11題、奄美病院4題、徳之島病院3題、愛と結の街1題、看護学校1題、法人事業本部3題、社会福祉法人3題 部門別：診療部2題、診療支援部30題、事務部7題、看護部29題、教育部1題	⑴.　2022年7月9日に第2回慈愛会学会学術集会を開催した。開催直前に、鹿児島県内のCOVID-19感染者数が急増し開催が危ぶまれたが、運営委員会で協議し、感染予防策を徹底しプログラムを一部変更し開催に至った。学術集会の運営においては、運営委員をはじめ、各施設に多大な協力をいただいた。昨年の課題であったZoom接続時の音響については、機器を整え臨んだ。前日確認では問題はなかったが、当日音声トラブル（舞台上で音声が二重に聞こえる）が生じた。第3回学術集会も同じ会場で開催するため、原因を探り調整していく。また今回、大会テーマに基づいた大会長講演とパネルディスカッションを実施した。パネルディスカッションは、パネリスト・コーディネーターの先生方にご協力を頂き、テーマに添って慈愛会内の各施設での取り組みを共有する機会となった。時間が不足し意見交換が実施できなかったため、次回は時間を確保し、意見交換・質疑応答で、更に各施設の取り組みを共有できる機会として計画していく。	⑴.　慈愛会学会運営 第3回慈愛会学会学術集会開催 日時：2023年7月1日㈯ 会場：鹿児島県市町村自治会館4階 大会長：介護老人保健施設愛と結の街施設長　野村秀洋
		⑵. かごしま慈愛会ジャーナル発行 第1巻発行	⑵.　かごしま慈愛会ジャーナル発行 1）編集委員会議※開催日ごとの内容はP211参照。 4月18日、6月20日、8月8日、9月26日、12月5日、2月6日 2）かごしま慈愛会ジャーナル創刊号発行 ⑴掲載内容論文12題 ⑵発行日2022年4月30日 ⑶発行部数820部 ⑷配布及び送付先慈愛会内施設：353部、外部施設（連携施設等）：467部 3）かごしま慈愛会ジャーナル第2巻発行 ⑴掲載内容学会報告2題、トピックス2題、論文16題 ⑵発行日2023年4月30日予定	⑵.　慈愛会学会誌「かごしま慈愛会ジャーナル」創刊号を4月30日に発行した。第1回慈愛会学会学術集会の優秀演題と寄稿・投稿論文が掲載されており、多職種の取り組みを知ることができる内容となっている。同時に、連携施設宛てに冊子を送付し慈愛会の取り組みを幅広く知ってもらう機会とした。令和5年4月に、第2回学術集会の優秀演題等を掲載した“かごしま慈愛会ジャーナル第2巻”を発行予定である。	⑵.　かごしま慈愛会ジャーナル発行 2023年4月30日第2巻発行 掲載内容（学会報告2、トピックス2、論文16） かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会定期開催

組織横断的な運営・情報共有の取り組み

2022年度は、主な事業として「職員（診療部を除く）のキャリア開発推進支援」「管理者任用候補者選考」「管理者研修」「入職者研修」「慈愛会学会」「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」について活動した。

キャリア開発推進支援では、慈愛会全体の多職種で学び合うこと、多職種を理解し協働推進できるリーダー育成のために「キャリア開発推進委員研修」及びラダーレベルⅣを目指す者を対象とした「ラダーレベル研修」の2つの多職種合同研修を導入した。「ラダーレベル研修」は対象者が多く、年度前半で3回の開催を予定していたが、COVID-19感染者数の急増による日程延期で、2・3回目は10月・11月の開催となった。受講者が研修内容を活かしラダーレベルⅣ取得に向けて取り組めるよう、次年度も年度前半に研修を計画する。

「管理者任用候補者選考」は法人内の昇任制度として定着している。これまでに多数の職員が研修を受講し、現場において管理者として活躍している。

「管理者研修」では、新任昇任者を対象とした「初期キャリア支援研修」を初開催した。管理、人事考課制度、目標管理、経営の視点を学ぶ内容とし、『先輩管理者の語り』を計画した。“昇任して思うこと”をテーマに行ったグループワークでは、同じ新任役職者として意見交換を行い、目標共有ができ、不安軽減につながったと考える。3回目の開催となった「ミドルマネジメント研修」では、第3次マスタープランへの事業所別、部門別の取り組みについて担当者から説明を受け、目標管理とSWOT/クロスSWOT分析、BSCへの落とし込みについて講義とグループワークで再認識する機会とした。また、慈愛会フィロソフィの意義について外来講師の講演を聴講し、フィロソフィの周知と活用についてグループワークを行った。ミドルマネジメント者が慈愛会フィロソフィについて理解を深めたことで、今後、慈愛会フィロソフィバージョンアップの取り組みがスムーズに進むことが期待される。

「入職者研修」は、新入職者を対象とした「オリエンテーションⅠ（hop）」「オリエンテーションⅡ（step）」「オリエンテーションⅢ（jump）」と、中途入職者を対象とした「中途入職者研修（全6回）」を多職種合同で開催した。新入職員研修は、初めて年3回新入職員が全員参加する研修として開催した。集合研修の機会が制限される中、5月のstep研修は「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」を研修内容に含め、“語り合い”（グループワーク）を中心とした研修とし、現状と悩みを共有する機会となっていた。12月のjump研修は全参加者が集合できる機会となり、次年度に向けての動機づけとなるよう研修内容を企画した。今後も、慈愛会全体で多職種合同の研修として開催し、同期入職者の絆が深まること、業務継続の意欲が高まること、更には慈愛会内の連携推進を図る機会となるよう、研修内容を企画していく。

「慈愛会学会」では、2022年7月9日に第2回学術集会を開催した。COVID-19の感染拡大により開催が危ぶまれたが、感染予防策を徹底しプログラムを一部変更し開催に至った。この第2回学術集会の優秀演題等を掲載した“かごしま慈愛会ジャーナル第2巻”を2023年4月発行予定である。

3回目となる「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」は、今回から全職種を対象にエピソードを募集し、かごしま県民交流センター県民ホールにおいて開催した。今後、慈愛会全体の取り組みとして更に発展するために、11月に運営委員会が立ち上がり、第4回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会の開催に向けて、取り組みを開始している。

職員のキャリア開発推進支援

1．キャリア開発推進委員会 会議と活動内容

＊2022年度委員：40名

（施設：いづろ今村9、今村総合17、谷山4、奄美1、徳之島1、愛と結の街3、看護学校1、本部4）

（部門：診療支援部28、事務部6、看護部5、教育部1）

〔キャリア開発推進委員会の会議開催状況〕

日時	討議内容	備考（活動内容）
5月10日 15時～16時	1．2022年度 キャリア開発推進委員会の目標 2．多職種合同ラダーレベル研修会について 3．多職種合同キャリア開発推進委員研修について	・各部門へラダーレベル申請者、認定者状況の入力依頼。 ・各部門へ認定証の発行依頼。
9月13日 15時～16時	1．多職種合同研修報告・研修予定 1）キャリア開発推進委員研修：アンケート報告 2）ラダーレベル研修：第1回アンケート報告 2．キャリア開発ラダー ・キャリア開発支援のための情報共有／見える化 3．「心に届く慈愛の物語」について	・ラダーレベル研修（第2・3回）のファシリテーター協力依頼。 ・「情報共有/見える化」のために、職種の資格詳細の入力依頼。 ・各部門新入職者へ「心に届く慈愛の物語」冊子配布と、入賞者へのメッセージ記載を依頼。
11月8日 15時～16時	1．研修報告・研修予定 1）ラダーレベル研修：第2回アンケート報告 2）新入職員オリエンテーションⅢ（jump） 3）ミドルマネジメント研修 2．「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」について 3．2023年度計画（スケジュール）について 4．次年度（2023年度）の研修企画／希望 5．その他 1）キャリア開発支援のための情報共有／見える化 2）キャリア開発ラダーについて 3）能力開発プログラムの修正／追加	・ラダーレベル研修（第3回）、新入職員オリエンテーションⅢ（jump）のファシリテーター協力依頼。 ・各部門の指導者へ、新入職者へのメッセージ記載を依頼（jump研修時に渡す）。 ・能力開発プログラムの用語統一と修正依頼。
1月10日 15時～16時	1．研修報告（アンケート結果報告） 1）多職種合同ラダーレベル研修（第3回） 2）新入職員オリエンテーションⅢ（jump） 3）ミドルマネジメント研修 2．2023年度の研修計画について 3．投稿募集について 1）慈愛会学会学術集会演題 2）「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」エピソード 4．その他 1）キャリア開発支援のための「情報共有／見える化」 2）キャリア開発ラダーについて 3）能力開発プログラムの修正／追加	・慈愛会学会学術集会の演題応募依頼。 ・「心に届く慈愛の物語」エピソード応募の協力依頼。
3月14日 15時～16時	1．2022年度研修報告 2．2023年度研修計画について 3．能力開発プログラムについて 4．キャリア開発支援のための「情報共有／見える化」 「スペシャリスト」の詳細入力について 5．その他 1）応募・投稿状況 2）多職種合同研修ラダーレベル研修について	・2023年度ラダーレベル研修の外来講師について、意見・希望をとる。

2．多職種合同キャリア開発推進委員研修

1）目的：将来を見据えて人材を積極的に育成支援する力を養う

2）内容

(1) 職員能力開発プログラムとキャリア支援について

(2) キャリア支援について（グループワーク）

(3) コーチング、ラダーレベルⅣ申請者への支援方法

3）日時：2022年7月12日（火）13：00～17：30

4）会場：かごしまオハナビル3階大会議室

5）受講者：29名

（施設：いづろ今村病院5名、今村総合病院10名、谷山病院6名、愛と結の街8名）

（部門：診療支援部21名、事務部1名、看護部7名）

3. 多職種合同ラダーレベル研修

1）目的：リーダーに求められる役割を知り、リーダーシップを発揮するための能力を習得する

2）内容

(1) キャリア開発ラダーレベルⅣに求められること

(2) 魅力学～人に好かれる「人」になる～

講師：株式会社清友代表取締役　宮之原明子 先生

(3) 多職種協働と医療職のリーダーに求められること（グループワーク）

(4) 多職種チームで協働して取り組む活動目標と計画（グループワーク）

3）対象：キャリア開発ラダーレベルⅢ取得者、レベルⅣを目指す者

4）日時と研修会場、受講者　　＊3回開催

	日時	研修会場	受講者	施設別受講者人数	部門別人数
第1回	6月15日（水） 8：30～17：30	かごしまオハナビル 3階大会議室	31名	いづろ今村病院（17） 今村総合病院（4） 谷山病院（6） 愛と結の街（4）	診療支援部（4） 事務部（5） 看護部（22）
第2回	10月4日（火） 8：30～17：30	川商ホール 4階市民ホール	62名	いづろ今村病院（11） 今村総合病院（40） 谷山病院（6） 愛と結の街（5）	診療支援部（20） 事務部（3） 看護部（39）
第3回	11月19日（土） 8：30～17：30	慈愛会ビル 3階・4階教室 リモート（Zoom）	84名	いづろ今村病院（13） 今村総合病院（41） 谷山病院（15） 愛と結の街（9） 奄美病院（5） 徳之島病院（1）	診療支援部（8） 事務部（14） 看護部（62）

合同研修会

Ⅰ．管理者任用候補者選考

1）研修日時

2022年11月15日（火）　8：30～17：30

11月16日（水）　8：30～17：30

11月24日（木）　8：30～17：30

11月25日（金）　8：30～12：30

2）選考内容、選考日

(1) 多面評価、11月15日（火）～11月30（水）

(2) 筆記試験、12月13日（火）

(3) 面接試験、12月5日（月）～12月13日（火）

(4) 理事長面談（合格者のみ）、1月19日（木）

3）研修受講者・選考受験者

(1) 研修受講者：61名

（診療支援部22名、事務部13名、看護部26名）

(2) 選考受験者（再受験者含む）：66名

（診療支援部24名、事務部14名、看護部28名）

4）選考結果

合格者60名（合格率：90.9%）

施設名	研修受講者数			選考受験者数		
	診療支援部	事務部	看護部	診療支援部	事務部	看護部
いづろ今村病院	3	2	6	3	2	7
今村総合病院	13	7	5	15	7	5
谷山病院	1	2	4	1	3	4
奄美病院	1		2	1		2
徳之島病院			1			1
愛と結の街	3	1	5	3	1	6
在宅支援部			1			1
クリニック	1	1	2	1	1	2

部署別	受験者	合格者	合格率
看護部	28	26	92.8%
診療支援部	24	20	83.3%
事務部	14	14	100%
計	66	60	90.9%

Ⅱ．管理者研修

1．初期キャリア支援研修

1）目的

新任昇任者が役職者（副主任・主任・副看護師長）としての役割と責任を自覚し、資質の向上を図る

2）内容

(1) 管理者に求められるもの

(2) 管理とは、管理者に求められる資質・管理者に必要な能力、人材育成

(3) 人事考課について、チャレンジプラン

(4) 自院の財務状況の把握

(5) 先輩（副主任、主任）の語り

(6) 昇任して思うこと ～慈愛会役職者として取り組んでいきたい事こと～（グループワーク）

3）日時：2022年7月1日（金）8時30分～ 12時30分

4）会場：かごしまオハナビル3階大会議室、リモート（Zoom）

5）受講者：42名

（施設：いづろ今村病院5、今村総合病院22、谷山病院6、奄美病院5、愛と結の街1、法人本部3）

（部門：診療支援部23、事務部11、看護部8）

2．ミドルマネジメント研修

1）目的

管理者としてのマネジメントとリーダーシップを図るための中間管理者の育成

2）内容

(1)「一人ひとりのスタッフとご利用者（患者）を大事にする組織づくりと、リーダーへの期待」

(2) 慈愛会第3次マスタープラン【事業所別】【部門別】について

SWOT/クロス分析、BSC、BSCとチャレンジプラン　スタッフへの具体的な支援方法

チャレンジプランの活用　スタッフの力を引き出すためには

(3)「慈愛会フィロソフィの意義について考える」

外来講師：奥健一郎先生

(4) 慈愛会フィロソフィの周知と活用　バージョンアップ（グループワーク）

3）日時：2022年12月10日（土）8時30分～ 17時30分

4）研修会場、受講者

研修会場	受講者	施設名（受講者人数）
鹿児島県市町村自治会館4階ホール	103名	いづろ今村病院（13）、今村総合病院･七波クリニック（47）、谷山病院・併設事業所（17）､愛と結の街･併設事業所（7）、在宅支援部（1）、鹿児島中央看護専門学校（2）、法人事業本部（6）
奄美病院　会議室		奄美病院･併設事業所（7）
徳之島病院　会議室		徳之島病院（3）

＊部門別：診療支援部28名、事務部24名、看護部49名、教育部2名

＊ファシリテーター：20名

Ⅲ．入職者研修

1．新入職者研修：

オリエンテーションⅠ（hop）・Ⅱ（step）・Ⅲ（jump）

1）目的

慈愛会職員としての役割意識を高め、職場適応を支援する

2）内容

（1）オリエンテーションⅠ（hop）

・慈愛会の概要説明
・社会人・医療人として求められるマナー・接遇について
・医療安全
・感染管理
・健全な生活設計、消費者トラブルの対処
・401ｋ説明
・慈愛会教育体制

（2）オリエンテーションⅡ（step）

・グループ討議①「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会・看護部キャリア開発ラダーレベルⅤ実践報告」について意見交換
・グループ討議②「入職後1ヶ月経過した今思うこと」を語り合う
・グループ活動（多職種交流）「慈愛会クイズ」
・研修まとめ「今日感じたこと、思ったこと」「1年後の自分へのメッセージ」

（3）オリエンテーションⅢ（jump）

・グループ活動（多職種交流）①「入職後８ヶ月経過し、今思うこと」「私のストレスマネジメント」を語り合う
・グループ活動（多職種交流）②「心に響くフィロソフィ」意見交換、発表（プレゼン）
・グループ活動（多職種交流）③「私の働いている職場の部署目標紹介」
・講義：目標管理（チャレンジプラン）
・研修まとめ：仲間へのメッセージ記入「私と一緒に働いてくれている仲間へ」

3）研修日時と会場、受講者

研修	日時、会場、受講者数	施設別受講者数
Ⅰ（hop）	4月1日（金） 10:40 ～ 17:30 かごしまオハナビル3階大会議室、リモート（Zoom） 受講者：110名	いづろ今村病院（13） 今村総合病院（76） 谷山病院（11） 奄美病院（2） 徳之島病院（5） 愛と結の街（2） 法人事業本部（1）
Ⅱ（step）	5月14日（土） 8:30 ～ 17:30 かごしま県民交流センター大ホール、リモート（Zoom） 受講者：87名	いづろ今村病院（11） 今村総合病院（61） 谷山病院（8） 奄美病院（2） 徳之島病院（3） 愛と結の街（2）
Ⅲ（jump）	12月3日（土） 8:30 ～ 17:30 鹿児島県市町村自治会館4階ホール 受講者：86名	いづろ今村病院（11） 今村総合病院（59） 谷山病院（9） 奄美病院（2） 徳之島病院（3） 愛と結の街（2）

2．中途入職者研修

1）目的

(1) 慈愛会の理念を知り、受講者それぞれの職種・業務において何を実践すべきか考える

(2) 就業規則・各種規程を通じ、職員として身に付けるべき就業上の知識・ルールを学ぶ

(3) 慈愛会の組織・各施設の概要について理解する

(4) 基本的な接遇・ビジネスマナーについて学ぶ

(5) メンタルヘルスケア（セルフケア）について学ぶ

(6)「慈愛会フィロソフィ」について知る

(7)「現状と将来のビジョン」について考える

2）内容

(1) 理事長講話

(2) 慈愛会の概要について

(3) 人事制度について

(4) 慈愛会の教育支援体制について

(5) 就業規則のポイント

(6) 接遇について

(7) メンタルヘルスケア（セルフケア）について

(8) 入職後の自身の現状と将来のビジョンについて

3）研修会場

かごしまオハナビル3階大会議室、リモート（Zoom）

4）研修日時と受講者

研修	日時	受講者	施設名（受講者人数）
第1回	4月28日（木） 8時30分～17時30分	9名	今村総合病院（7）、かごしまオハナクリニック（1）、谷山病院（1）
第2回	6月9日（木） 8時30分～17時30分	28名	いづろ今村病院（5）、慈愛会クリニック（1）、 今村総合病院（12）、谷山病院（4）、奄美病院（3）、徳之島病院（1）、 愛と結の街（2）
第3回	8月25日（木） 8時30分～17時30分	10名	いづろ今村病院（2）、今村総合病院（3）、谷山病院（4）、ステップ（1）
第4回	10月20日（木） 8時30分～17時30分	21名	今村総合病院（6）、かごしまオハナクリニック（3）、谷山病院（3）、 奄美病院（5）、徳之島病院（2）、法人事業本部（2）
第5回	12月22日（木） 8時30分～17時30分	16名	今村総合病院（9）、かごしまオハナクリニック（1）、谷山病院（3）、 徳之島病院（2）、鹿児島中央看護専門学校（1）
第6回	2月16日（木） 8時30分～17時30分	12名	いづろ今村病院（2）、今村総合病院（3）、奄美病院（5）、徳之島病院（1）、 法人事業本部（1）

技能・能力向上に向けた取り組み

Ⅰ．慈愛会学会

1．慈愛会学会運営委員会 会議と活動内容

日時	討議内容	備考（活動内容）
4 月 26 日 14 時～ 15 時	1．発表演題 口演セッション分けと座長、ポスター発表順の決定 2．発表者案内について 3．審査員及び係の依頼について 4．パネルディスカッションについて 5．タイムスケジュール 6．学術集会参加者募集について 7．慈愛会学会規程について 8．画像素材の収集について	・各施設からの係、審査員の選出依頼。 ・学術集会参加希望者の取りまとめ依頼。 ・各施設の画像収集とデータ送付を依頼。
5 月 17 日 14 時～ 15 時	1．審査者・係担当者について 2．審査について 3．運営マニュアルについて 4．抄録集について 5．画像素材の収集について	・各施設の画像収集とデータ送付を依頼。
6 月 7 日 14 時～ 15 時	1．抄録集について 2．学術集会運営について 3．動画作成について 4．学術集会参加者数について	・抄録集の配布依頼。 ・動画の再確認依頼（7 月 5 日 14 時～）。
臨時会議 7 月 6 日 13 時～ 14 時	1．感染者対策 2．タイムスケジュール（プログラム）の変更	・変更スケジュールの周知依頼。
7 月 22 日 16 時～ 17 時	1．優秀発表について 2．研究継続の奨励について（奨励賞の決定） 3．表彰式について 4．第 2 回学術集会について 5．第 3 回学術集会運営委員について	・優秀発表表彰式の出席依頼（8 月 1 日 12 時 30 分～）。
8 月 29 日 15 時～ 16 時	1．第 3 回学術集会に向けて 2．第 2 回学術集会の振り返り 3．第 3 回学術集会　開催日程・会場について 4．第 3 回学術集会　大会テーマについて 5．開催までのスケジュール / 今後の予定について	
9 月 13 日 14 時～ 15 時	1．第 3 回学術集会テーマについて 2．第 3 回学術集会の開催案内ポスター募集について 3．第 3 回学術集会の演題募集について	・開催案内ポスター募集の周知依頼。
11 月 8 日 14 時～ 15 時	1．第 3 回学術集会開催案内ポスターについて 2．第 3 回学術集会開催案内ポスター表彰式について 3．第 3 回学術集会演題募集について 4．第 3 回学術集会プログラムの検討について 5．第 3 回学術集会日程・会場予約について	・開催案内ポスター表彰式の出席依頼（11 月 14 日 9 時 30 分～）。 ・演題募集、周知依頼。
1 月 17 日 14 時～ 15 時	1．第 3 回学術集会　日程及び会場について 2．第 3 回学術集会　演題応募状況について 3．第 3 回学術集会　プログラムについて	・演題募集、周知依頼。
2 月 28 日 15 時 30 分～ 16 時 30 分	1．第 3 回学術集会　演題応募状況について 2．第 3 回学術集会　発表者案内について 3．第 3 回学術集会　プログラムについて	・各施設の演題応募目標数の確認と演題提出依頼。

2．第２回慈愛会学会学術集会

・2022年7月9日（土）9時～ 16時30分

・鹿児島県市町村自治会館4階ホール、会議室403号

・登録演題数と詳細

演題数73題（口演発表24題、ポスター発表49題）

（施設別演題登録数）

いづろ今村病院	18
今村総合病院	25
谷山病院	10
奄美病院	5
徳之島病院	4
愛と結の街	6
看護学校	2
慈愛会本部	2
社会福祉法人慈愛会	1

（職種別演題登録数）

診療部		4
診療支援部		27
	薬剤師	3
	管理栄養士	3
	リハビリテーション部 PT・OT・ST	5
	診療放射線技師	5
	臨床検査技師	4
	臨床工学技士	1
	MSW・PSW	2
	視能訓練士	1
	歯科衛生士	1
	介護支援専門員	1
	生活支援員	1
看護部		32
	看護師	27
	介護福祉士	5
事務部		9
	事務員	6
	施設管理係	3
専任教員		1

・学術集会参加者

465名（会場参加者252名、各施設リモート会場参加者213名）

3．かごしま慈愛会ジャーナル編集委員会

（1）会議と活動内容

日時	討議内容	備考（活動内容）
4 月 18 日 15 時～ 16 時	1．創刊号発行について 2．発行までの手順・諸事項について 3．編集委員任期について	・編集委員の任期延長について依頼。委員全員が了承。
6 月 20 日 15 時～ 16 時	1．創刊号について 2．創刊号についての意見等 3．慈愛会ホームページでの「かごしま慈愛会ジャーナル」公開について 4．第２巻発行までのスケジュールについて 5．第２回学術集会での投稿募集について	・第２回学術集会で、一般投稿募集を周知。 ・第２回学術集会ポスター会場で創刊号を展示公開。
8 月 8 日 15 時～ 16 時	1．第２回学術集会表彰者への投稿依頼について 2．トピックス依頼について 3．第２巻発行までのスケジュール確認 4．一般投稿募集について	・各施設への一般演題募集の周知。
9 月 26 日 15 時～ 16 時	1．第２回学術集会表彰者への原稿投稿について 2．トピックス寄稿依頼について 3．投稿 / 寄稿原稿の確認依頼について	・投稿 / 寄稿原稿の確認依頼者の推薦。
12 月 5 日 15 時～ 16 時	1．第２巻の原稿投稿状況について 2．トピックス寄稿依頼について〔報告〕 3．投稿 / 寄稿原稿の確認依頼 内容について	・編集委員による寄稿投稿原稿の内容確認。
2 月 6 日 15 時～ 16 時	1．第２巻　原稿校正の状況について 2．ジャーナル紙面・構成案について 3．ジャーナル発行数・外部送付について 4．ジャーナル投稿規程について	・投稿規程の内容確認を依頼。

（2）かごしま慈愛会ジャーナル創刊号の発行

・掲載内容：論文12編

・発行日：2022年4月30日

・発行部数：820部

・配布及び送付先：慈愛会内施設：353部、外部施設（連携施設等）：467部

Ⅱ．心に届く慈愛の物語を紡ぐ会

1．第3回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」

1）日時：2022年5月14日（土）9時00分～11時55分

2）会場：かごしま県民交流センター県民ホール

参加者：233名（会場参加164、リモート参加69）

3）エピソード応募数と詳細

1月14日～3月3日：エピソード募集

エピソード応募数：51編

（施設別応募数）

いづろ今村病院	5
今村総合病院	13
谷山病院	7
奄美病院	7
徳之島病院	7
愛と結の街	11
慈愛会本部	1

（部門別応募数）

診療支援部	7
事務部	1
看護部	43

4）選考経過

3月7日～3月22日 1次選考：選考委員により21作品を選出

3月24日～4月3日 2次選考：選考委員により13作品を選出

4月8日 選考会：入選作品13編を決定

選考委員長：入選作品の中から、最優秀作品1編、優秀作品2編を選出

2．心に届く慈愛の物語を紡ぐ会運営委員会

＊2022年11月設立

（1）運営委員：20名

（施設別：いづろ今村病院4、今村総合病院5、谷山病院3、奄美病院2、徳之島病院1、愛と結の街1、在宅支援部1、看護学校1、法人本部2）

（部門別：診療部2、診療支援部5、事務部4、看護部8、教育部1）

（2）会議と活動内容

日時	討議内容	備考（活動内容）
11月14日 15時～16時	1．運営委員会規程について 2．第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」開催までのスケジュール 3．第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」エピソード募集について 4．企画についての提案	・運営委員、各施設総務担当にエピソード募集ポスターを送付、周知と取りまとめを依頼。 ・各施設別のエピソード応募目標数を設定。
1月23日 15時～16時	1．第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」エピソード募集について 2．優秀エピソード選考について 3．第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」について	・エピソード応募状況の確認、引き続き周知を依頼。
2月27日 15時30分～16時30分	1．エピソード応募状況について 2．第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」について 3．優秀エピソード選考について	・第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」プログラムの決定

3．第4回「心に届く慈愛の物語を紡ぐ会」

1）日時：2023年5月20日（土）9時20分～11時50分　開催予定

2）会場：かごしま県民交流センター県民ホール

3）エピソード応募数と詳細

1月13日～3月3日：エピソード募集

エピソード応募数：100編

（施設別応募数）

いづろ今村病院	16
今村総合病院	20
谷山病院	18
奄美病院	12
徳之島病院	9
愛と結の街	11
在宅支援部	5
看護学校	4
慈愛会本部	5

（部門別応募数）

診療部	0
診療支援部	21
事務部	6
看護部	69
教育部	4

4）選考経過

3月7日～3月22日 1次選考：32作品が選出

3月24日～4月3日 2次選考：　＊選考中

Ⅲ．慈愛会認定看護師会、特定看護師会　活動支援

慈愛会認定看護師会・特定看護師会は、2022年度より「慈愛会認定看護師会」と「慈愛会特定看護師会」に分かれ活動を開始した。認定看護師会においては、チームの中で一人ひとりがリソースナースとしての役割を発揮し、組織や地域への貢献を意識しながら活動を継続することができた。

1．慈愛会認定看護師会

1）メンバーと領域

（1）メンバー数：26名（認定看護師24名、認定看護師教育課程修了者1名、認定看護管理者1名）

（2）認定看護分野（人数）

がん化学療法看護（1）、がん性疼痛看護（1）、感染管理（4）、緩和ケア（3）、救急看護（2）、集中ケア（1）、糖尿病看護（1）、脳卒中リハビリテーション（1）、皮膚排泄ケア（2）、精神科（6）、がん放射線療法（1）、認知症看護（1）

（3）認定看護師教育課程修了者（人数）

在宅ケア認定看護師教育課程（1）

2）認定看護師会　会議開催状況

開催月日	討議内容	人数
5月21日 8時30分～12時（全体会）	1．各人の前年度の活動報告と今年度の活動計画 2．各チームの前年度の活動報告と今年度の計画 ・各チームで討議、発表 ・全体討議 3．これからの認定看護師会のあり方について 4．認定看護師会規程の見直しについて	22名
10月21日 15時～16時30分（リーダー会）	1．年度中間報告（活動進捗状況、問題点や課題） 2．協議・共有事項 1）院外広報について 今村総合病院ウェブサイトの「チーム医療」で認定看護師の活動を紹介する。 ・がん分野チーム（「緩和ケアチーム」の紹介） ・クリティカルケアチーム（「ＭＥＴ」や「ＲＳＴ」の紹介） 2）院内広報について 施設内周知とコンサルテーションの一助として一覧表を作成予定	8名
3月17日 15時～17時（全体会）	1．今年度の活動報告、評価、課題について ・各チーム ・個人 2．次年度活動計画について ・評価シートの説明 3．協議・共有事項 1）広報活動の状況 2）次年度以降の役員について 3）概況書の作成について 4）認定ラダーの申請・認定状況	23名

3）チーム別活動内容・まとめ（★チームリーダー）

活動 メンバー	活動実績	まとめ
救急分野チーム 〔メンバー〕 平川★ 濱崎 小濱 中村	PAT 研修の開催 対面＋ Zoom によるハイブリッド研修 1．内容 ①「急変を予測するためのフィジカルアセスメント～アナフィラキシーショックを起こした患者を発見したときどうする？～」 内容：急変前変化、迅速評価・一次評価を用いたアセスメント方法、急変時対応、アナフィラキシーショックの対応など 講師：平川あゆみ救急看護認定看護師 ②「患者さんが転んだ～頭部打撲後のフィジカルアセスメント～」 内容：転倒後の観察のポイント・頭部外傷・急性頭蓋内血腫について・意識障害の鑑別評価など 講師：濱崎彩脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 2．対象者：慈愛会標準クリニカルラダーⅢ申請者 3．研修期間 ①1 /13、2/10 ②1/17、2/14 4．参加者 ①19 名 ②31 名 Zoom にていづろ病院、徳之島病院、奄美病院へも同日配信	PAT 研修の目的は、「後輩を育成する中堅看護師のフィジカルアセスメント能力向上」である。一昨年度より教育委員と協同し慈愛会標準クリニカルラダーⅢ申請者の必須研修として、急性期、回復期、精神科、在宅などの幅広い看護を担っている慈愛会全体の看護師を対象として開催している。 今年度は対面研修を実施できた。コロナ禍であり、Zoom を併用したハイブリット型とした。アンケートは二次元コードを用い、研修後直ぐに回答できるようにしたことで回答率は 100％だった。アンケート結果から、研修の理解度や満足度は高く、患者の状態変化を早期に発見するための一助となる研修内容になったと考える。Zoom 活用の不慣れもあり、開始時刻が遅れるなどのトラブルもあったことが今後の課題となった。
がん分野チーム 〔メンバー〕 長瀧★ 中窪 水流 前田 小波津 長野	がん看護のチームナースの育成とチーム内の協働を目標に活動した。 1．ELNEC-J 研修 2回開催（9/4・9/11） 2．放射線化学療法を受ける患者の看護の研修の開催計画をしていたが、感染の影響をうけて、未実施となった。 3．チーム内での協働 CN の連携、知識・技術の向上などを図るため、月1回の緩和ケア合同カンファレンス・CN 会議を今年度より開催した。 ①活動日 ・緩和ケアリンクナース会開催日（第 4 水曜日） ・いづろ・総合緩和ケア合同カンファレンス（第 4 金曜） ・ELNEC-J 開催準備（時間外） ②広報 ・つん活動 ・カンファレンス、勉強会などへの参加、協力、開催 ・緩和ケア通信を一般向けに作成しウェブサイトで公開することを検討中	1．鹿児島県看護協会や鹿児島市立病院・相良病院合同研修は対面で同時期に実施されていたため、当院でも研修方法については再検討の余地がある。まずは、法人内のエンドオブライフケアにかかわる職員の受講者を増やす。 2．未実施となったので、次年度引き継ぎ課題とする。 3．緩和ケアチームの医師、いづろ PCU の師長・連携室スタッフにも協力を得て、患者のケア・治療に関して検討・相談することで患者・家族への迅速な対応やケア・希望をつなぐことなどシステム構築の地盤作りにつながっている。今後形にすることを目標としたい。 がん看護外来についても看護部に提案しているが、標榜は未定。 活動日の交渉・拡大、後進育成については継続課題である。

活動 メンバー	活動実績	まとめ
精神科チーム 〔メンバー〕 内田★ 今村 加藤 平江 鶴田 杉田	年間の活動実績 ・4月　第2回広報誌発行　592部 （今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院・奄美病院・徳之島病院・愛と結の街・小原地区・鴨池地区・名瀬地区） ・5/9　オンライン会議 ・6月　精神科看護セミナー　研修計画書　各作成 ・7/11　対面会議 ・8月　クラスター対応のため会議未実施 ・9/12　オンライン会議 ・10/17　オンライン会議 ・11/14　オンライン会議 ・12/12　オンライン会議 ・1/16　オンライン会議 ・2/13　オンライン会議	広報誌については、前年度分の第2号を4月に発行することができた。第3号については、10月に発行する予定であったがコロナのクラスター発生や加筆修正に時間がかかり今年度の発行はできなかった。 来年度に向けて精神科看護セミナーを企画している段階にある。精神科看護の領域において認定看護師がセミナーを実施することで公益財団法人としての役割を果たすことになると思われる。 来年度は、広報誌は内容を充実させ発行回数を減らす方向で活動を展開する。今まで2名1組で発行準備をしていたが、記載内容の重複があったことから統一した内容にするために主に1人で作成し、もう一人にフォローしてもらう体制とする。 精神科看護セミナーについては、6名の精神科認定看護師がそれぞれの強みを活かしセミナーを行いながら他施設との情報交換による交流も計画していくこととする。
組織横断チーム 〔メンバー〕 中尾★ 吉森 米澤 上野 尾堂 切手 福留 櫻井 仮屋薗	・会議：7/23（土）、10/29（土）対面およびリモートで実施した ・研修会および動画の配信：研修会または動画配信を目指し会議を開催したが、実施できなかった	新型コロナウイルス感染症のクラスター発生等により、計画していた研修計画が実施できなかった。期限までに研修資料の準備が完了したメンバーもいたが、とりまとめができず配信するまでに至らなかった。 チームには皮膚排泄ケア、糖尿病看護、感染管理と3領域の認定看護師が在籍しているため、慈愛会職員へ有益な情報が提供できない状況は回避する必要があった。チーム全体で研修や配信企画を行いつつ、個人で準備完了次第、配信できるような事前準備があればクラスターの影響に関わらず、動画配信が可能だったのではと考える。

2．慈愛会特定看護師会

（1）メンバー数：13名

（2）研修修了分野（修了者人数）：

・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連（9）
・呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連（6）
・呼吸器（気道確保に係るもの）関連（2）
・呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連（2）
・循環動態に係る薬剤投与関連（2）
・精神及び神経症状に係る薬剤投与関連（3）
・創傷管理関連（7）
・胸腔ドレーン管理関連（1）
・腹腔ドレーン管理関連（1）
・栄養に係るカテーテル管理（中心静脈型中心静脈注射用カテーテル管理）関連（1）
・栄養に係るカテーテル管理（抹消留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連（1）
・創部ドレーン管理関連（1）
・動脈血液ガス分析関連（2）
・術後疼痛管理関連（1）
・ろう孔管理関連（4）

（3）会議開催状況

①2022年11月25日（金）15：00 ～、参加者9名

2022年度　主なトピック

日本医療マネジメント学会
第 20 回九州・山口連合大会を開催して

日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会
大会長　帆北　修一
今村総合病院　名誉院長

慈愛会の皆さんのサポートがあり、日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会を 2022 年 11 月 4-5 日、かごしま県民交流センターで無事に現地開催する事ができました。今回のテーマを「医療マネジメントの維新　～燃ゆる思いで～」といたしました。“維新（restoration）”とは、“革命（Revolution）”とは意味合いが異なり、日本国の伝統に基づく“徳による進化”という意味があります。日本医療マネジメント学会の目的は、医療の質の向上を求めてクリティカルパス、医療安全、医療福祉の連携を３本の柱とすることです。

今村総合病院をはじめとして、公益財団法人慈愛会の皆さんのパワー・団結力の強さを感じた２日間で、ベクトルが同じ方向を向いていると感じた次第です。特別講演等・一般演題で約 270 名の方々に講演・発表をしていただきました。スタッフを含めて約 900 名という多くの方々に参加していただきました。

2019 年６月に学会の話があり、今村英仁理事長に相談し、慈愛会全体でお引き受けする事といたしました。その後約２年５カ月の間、経営幹部・準備委員会の皆さんをはじめ直接学会に関与していただいた多くの方々のご支援に対して御礼申し上げます。そして学会当日の病院を守っていただいた職員の皆さんに心より感謝申し上げます。

九州・山口連合大会という地方会で、鹿児島県医師会長 池田琢哉先生、前日本看護協会長 坂本すが先生、日本病院会会長 相澤孝夫先生に特別講演を、鈴木康裕 元厚生労働省医務技監、田中滋 埼玉県立大学理事長、松田晋哉 産業医科大学公衆衛生学教授、岡留健一郎 済生会福岡総合病院名誉院長、尾形裕也 九州大学名誉教授に招聘講演と教育講演を、さらに２つの教育セミナーと５つのシンポジウムで発表・議論していただきました。日本の医療を牽引されるトップレベルの先生方に講演をしていただき、一般演題でも多くの方が熱心に発表・議論されておられ、学会終了後多くの方々から非常に素晴らしい学会であったとの感想をいただきました。市民公開講座も鹿児島らしく、尚古集成館 前館長田村省三先生に御講演していただきました。

“マネジメント”とは、「経営」や「管理」という意味で使われる事が多いですが、“マネジメント”の基本は他者への配慮・愛情（利他の心）とも言われています。今回多くの方々との出会い（邂逅・御縁）の機会をいただき、本当に実り多き学会を開催できたこと、そして慈愛会の皆さんの素晴らしさを感じた事に改めて感謝いたします。

一年のあゆみ

1．慈愛会の新型コロナ対応

	鹿児島県の動向	慈愛会各施設の COVID-19 対応状況
2022年 4月	「爆発的感染拡大警報」を継続 （1/19～） 警戒基準　レベル２（警戒強化） 病床フェーズ４	【徳之島病院】 LINE 電話によるリモート面会の開始 【鹿児島中央看護専門学校】 コロナ陽性者：10 名。4/19 ～ 4/23　オンライン授業 【今村総合病院】 鹿児島商工会議所ワクチン職域接種（3 回目）（4/11 ～ 4/22） 【愛と結の街】 老健入所者向け 3 回目ワクチン接種実施
5月		【鹿児島中央看護専門学校】 コロナ陽性者：5 名。5/9 ～ 5/17　オンライン授業、5/9 ～ 5/13　訪問以外の基礎実習が学内実習へ、5/16 ～ 5/29　臨地実習を学内実習へ
6月	オミクロン株派生型　BA･５の感染者3人、BA･２･12･１の感染者1人を県内で初確認と県が公表（6/20）BA･5は全国で11都県目、BA･2･12･1は9都府県めの確認 県全体の病床フェーズ4→3へ引き下げ（6/21）。即応病床560床→431床へ。但し入院状況等を踏まえ喜界島･与論島はフェーズ2、姶良･伊佐、曽於、肝属の各医療圏、奄美大島･徳之島･沖永良部島はフェーズ4。 爆発的感染拡大警報から「感染拡大警戒期間」に切り替え（6/29）	【奄美病院】 職員の感染判明についてウェブサイトで公表（6/3：第１報～ 6/23：第６報） 【愛と結の街】 老健入所者向け 3 回目ワクチン接種追加分実施
7月	県全体の病床フェーズ４へ引き上げ 「爆発的感染拡大警報」再発令（7/15）。7/15の感染者数1,599人は過去最多4日連続1,500人超 感染確認最多を次々と更新、7/26　3,149人、7/27　3,328人 病床フェーズ「緊急Ⅰ」へ引き上げ（7/27）。即応病床565床→661床へ	【今村総合病院】 受け入れ病床 20 床→８床へ（7/1） 県の病床フェーズ引き上げ通知（3 → 4、7/11 付）を受け、7/21 より受け入れ病床８床→ 20 床へ。A 棟７階東病棟を閉鎖 【奄美病院】 職員の感染判明についてウェブサイトで公表（7/1：第７報） 【鹿児島中央看護専門学校】 コロナ陽性者：8 名。7/12-7/15：オンライン授業、7/22-8/31：臨地実習を学内実習へ
8月	「BA･5対策宣言」発令（8/3-8/31）。奄美大島５市町村は独自に警戒レベル4→5へ引き上げ（2/24以来） 病床フェーズ「緊急Ⅱ」へ初めて引き上げ（8/8）。即応病床740床へ 病床フェーズ緊急Ⅱを750床へ増床（8/12） 感染確認最多更新4,948人（8/18）第7波ピーク 「BA･5対策宣言」を9/30まで延長（8/26） 県が「コロナ・フォローアップセンター」開設（8/29）	【徳之島病院】 職員の感染判明についてウェブサイトで公表（8/2、8/8、8/16） コロナ流行により離島巡回診療・相談、離島訪問看護の中止 【奄美病院】 徳之島病院支援として看護師派遣 院内クラスター（8/13） 【愛と結の街】 老健病棟職員陽性判明→病棟職員全員及び濃厚接触の疑いのある入所者に PCR 検査実施。全員陰性を確認 【慈愛会各施設】 職員向け 4 回目ワクチン集団接種

	鹿児島県の動向	慈愛会各施設の COVID-19 対応状況
9月	病床フェーズ緊急Ⅱから緊急Ⅰへ引き下げ（9/17）即応病床数722床 全数把握を簡略化　フォローアップセンターに相談窓口設置24時間態勢（9/20） 病床フェーズ緊急Ⅰから一般4へ引き下げ（9/28） 即応病床数617床　うち重症33床 BA･5対策強化宣言終了、県独自の「爆発的感染拡大警報」解除（9/30） 10/1から「感染拡大警戒期間」に移行	【いづろ今村病院】 コロナウイルス感染症後遺症診療開始（循環器内科・皮膚科、9/12 ～） 【鹿児島中央看護専門学校】 臨地実習を学内実習へ（9/1-9/16） 【徳之島病院】 職員の感染判明についてウェブサイトで公表（9/9） コロナ流行により離島巡回診療・相談、離島訪問看護の中止 【奄美病院】 クラスター収束（9/28） 【愛と結の街、高麗町クリニック】 職員及び入所者・利用者向け 4 回目ワクチン接種実施
10月	病床フェーズ一般4から一般3へ引き下げ（10/13）即応病床が605床から460床へ 変異株オミクロン株の新系統XBBを県内で初めて1名確認と県が発表（10/28）	【今村総合病院】 フェーズごとの病床確保数変更を届出。即応病床数　フェーズ 1:0、フェーズ 2：2、フェーズ 3：4、フェーズ 4：8、緊急フェーズⅠ・Ⅱ：20 オミクロン株と従来株に対応した 2 価ワクチン接種開始 【谷山病院】 県からの要請による結核患者受け入れ（10/27）に伴い、県新型コロナ対策室と協議の上、重点医療機関の指定について、結核患者が退院し受け入れ可能となるまでの期間、休止の取り扱いとなった
11月	病床フェーズ一般３から一般２へ引き下げ（11/2）即応病床は411床から283床へ 病床フェーズ２から３へ引き上げ（11/22）	【今村総合病院】 フェーズ 2 へ移行（11/2）受け入れ病床 2 床へ フェーズ 3 へ移行（11/22）受け入れ病床 4 床へ 【愛と結の街】 老健入所者へのインフルエンザワクチン接種開始
12月	病床フェーズを一般4に引き上げ（12/16） 即応病床は＋96の501床 塩田康一知事が県民への緊急メッセージ（12/21） 病床フェーズを緊急Ⅰに引き上げ（12/23） 病床数は652床へ	【今村総合病院】 フェーズ 4 移行に伴い 12/20 より受け入れ病床 8 床へ 緊急Ⅰ移行に伴い 12/30 より受け入れ病床 20 床へ 【慈愛会各施設】 利用者向けおよび職員向けワクチン 5 回目ワクチン集団接種（オミクロン株対応 2 価ワクチン）
2023年 1月	病床フェーズを緊急Ⅱに引き上げ（1/2） 即応病床は＋66の726床（重症31床）へ。 緊急Ⅱは9/15以来 感染確認最多更新5,209人（1/15）第8波ピーク 病床フェーズを7段階に見直し（1/10）。 当日現在緊急Ⅱ、確保病床722床（重症35床） 緊急Ⅱの病床数を4床増の726床に（1/16） 緊急フェーズⅠ移行（1/31）	【今村総合病院】 確保病床変更なく 20 床 【谷山病院】 確保病床数を全フェーズ 10 床から、フェーズⅡ－Ⅳ：5 床、フェーズⅤ：8 床、緊急Ⅰ・Ⅱ：10 床へ変更 【いづろ今村病院】 院内クラスター発生、収束 【愛と結の街】 老健職員、通所リハ利用者陽性判明→接触のある職員、利用者の検査結果陰性の為、通常通り業務実施 【鹿児島中央看護専門学校】 コロナ陽性者：12 名。新型コロナ感染拡大により 1 年生の基礎 1-2 実習を一部春休みに代替え
2月	病床フェーズ相次ぎ引き下げ 緊急フェーズⅠ→フェーズⅤ（2/10） フェーズⅤ→Ⅳ（2/16） 即応病床は82減の856床に フェーズⅣ→Ⅲ（2/22）	【今村総合病院】 2/10 付フェーズⅤ移行に伴い 2/20 から受け入れ病床 8 床へ ワクチン接種（12 歳以上）2/18 をもって中止。（接種率低下のため） 小児科での乳幼児向け接種（6 カ月～ 4 歳以下）は継続 2/22 付フェーズⅢ移行に伴い 3/4 から受け入れ病床 4 床へ 【いづろ今村病院】 ワクチン接種 2/4 までで中止。鹿児島市の接種率低下のため 【谷山病院】 コロナ病床受け入れ再開（2/10）受け入れ病床 8 床 2/16 付フェーズⅣ移行に伴い受け入れ病床 5 床へ 結核患者受け入れのためコロナ患者受け入れ休止（2/20）
3 月	病床フェーズⅢからⅡへ引き下げ（3/1）	【今村総合病院】 3/1 付フェーズⅡ移行に伴い、3/11 から 2 床での運用へ 【鹿児島中央看護専門学校】 年間を通して、一部講師はオンライン授業で対応したが、ほぼ対面授業であった

2．新型コロナウイルス感染症陽性患者（入院）、診療・検査医療機関（発熱外来）の受け入れ、ワクチン接種（個別接種、職域・集団接種）への対応

（2023年3月現在）

	陽性患者の入院受け入れ	診療・検査医療機関（発熱外来）診療実績	ワクチン個別接種
今村総合病院 〔即応病床数〕 一般フェーズ２：２床 一般フェーズ３：４床 一般フェーズ４･５：８床 緊急フェーズⅠ・Ⅱ：20床	49名 （2020.7/4 ～ 2021.3/31） 167名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31） 186名 （2022.4/1 ～ 2023.3/31）	453名 （2020.11/1 ～ 2021.3/31） 2,347名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31） 4,202名 （2022.4/1 ～ 2023.3/31）	901名 （2021.3/8 ～ 2021.3/31） 14,013名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31） 4,779名 （2022.4/1 ～ 2023.3/31）
谷山病院 〔即応病床数〕 一般フェーズ２～ 緊急フェーズⅡ：10床	12名 （2020.7/1 ～ 2021.3/31） 37名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31） 58名 （2022.4/1 ～ 2023.3/31）	9名 （2020.11/1 ～ 2021.3/31） 23名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31） 107名 （2022.4/1 ～ 2023.3/31）	20名 （2021.3/12 ～ 2021.3/31） 1,084名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31） 953名 （2022.4/1 ～ 2023.3/31）
いづろ今村病院		223名 （2020.11/1 ～ 2021.3/31） 1,203名 （2021.4/1 ～ 2022.3/31） 2,160名 （2022.4/1 ～ 2023.3/31）	6,295名 （2021.5/26 ～ 2022.3/31） 3,067名 （2022.4/1 ～ 2023.3/31）

＊即応病床数：鹿児島県からの要請に応じて新型コロナウイルス感染症患者を受け入れることとして県病床確保計画に定められた病床の数。
フェーズの区分は2023年3月31日現在の記載方法に基づく。

（1）ワクチン職域接種への対応　2022年度分

鹿児島市商工会議所（中小企業への共同接種）5,187名

・今村総合病院・いづろ今村病院・谷山病院 スタッフ総数199名
2022.4/11-4/20：3回目接種
※慈愛会以外2病院が職員派遣

3．地域医療機関支援等コロナ対応にかかる人材派遣　2022年度分

（1）今村総合病院　感染管理認定看護師　吉森みゆき

鹿児島県新型コロナウイルス感染症対策本部
「感染症チーム」「介護・福祉施設班」「医師会運営の相談窓口チーム」委員
【鹿児島県の要請による派遣実績と活動概要】

①鹿児島市の医療機関　2022.4/16
・新型コロナウイルス感染症によるクラスター対応支援

②鹿児島市の障害者支援施設　2022.4/20
・新型コロナウイルス感染症によるクラスター支援

③鹿児島市の認定こども園・保育園　2022.5/24・7/19
・新型コロナウイルス感染症対策支援

④鹿屋市の障害者支援施設　2022.7/4
・新型コロナウイルス感染症対策支援

⑤日置市の医療機関　2022.9/8・10/3・2023.2/3
・新型コロナウイルス感染症によるクラスター対応支援

【講演】

・2022.8/1 ～ 8/31鹿児島市保健所令和４年度感染症講演会及び感染症対応実務研修
「施設等における新型コロナウイルス感染症の感染対策について」講師（Web）
・2022.8/27令和4年度鹿児島県看護協会鹿児島地区 看看連携 Withコロナ時代における感染対策研修
「新型コロナウイルス感染症対策の支援」講師
・2022.10月～鹿児島県公式ウェブサイト　鹿児島インターネット放送局ムーブ！かごしま「高齢者施設等における感染者発生対応マニュアル」に基づいた研修動画②
「高齢者施設等における感染者発生対応マニュアル（陽性者への対応）陽性者の隔離・リストアップ・ゾーニング」講師（動画配信）
・2022.10/29 第89回日本消化器内視鏡技師学会 教育講演
「新型コロナウイルス感染症の感染対策～標準予防策とは！」講師
・2022.11/18　守屋病院職員研修
「新型コロナウイルス感染症対策について」講師
・2023.2/17 鹿児島県看護協会再就職支援研修
「医療施設の看護状況について」講師
・2023.2/17 社会福祉法人聖寿会特別養護老人ホーム健生苑職員研修
「新型コロナウイルス感染症について」講師
・2023.2/28 医療法人良整会よしのぶクリニック職員研修
「コロナ禍の感染予防基本的マナー」講師

【会議】

・2022.7/21鹿児島県(高齢者生き生き推進課依頼)「高齢者施設等における感染者発生対応マニュアル」作成メンバー
・2022.10/12、11/11・25 、2023.1/13、2/15、3/2・15・28 鹿児島県、鹿児島市との連絡会　障害者施設支援

【予防活動】（鹿児島県、鹿児島市、鹿児島市保健所、鹿児島県看護協会依頼）

・2022.11/24・25 鹿児島県障害者施設の予防支援

（２）今村総合病院　看護師　越口晋伍、竹山龍二、川端美穂、池田慎、榎本時子

【鹿児島県の要請による派遣実績と活動概要】

①鹿児島県医師会COVID-19 JMAT派遣看護師宿泊施設（鹿児島市内のホテル）
2022.4/2 ～ 3、4/9 ～ 10、4/17、4/24
・健康管理、入所者への対応、個人用診療記録の記載等

（３）愛と結の街　看護師　谷山里香

【鹿児島県の要請による派遣実績と活動概要】

①志布志市の介護老人保健施設　2022.7/9 ～ 10
・クラスター発生に伴う看護職員充足を目的とした派遣（グリーンゾーンでの看護業務支援）

（４）いづろ今村病院　感染管理認定看護師　川畑友佳

【鹿児島県の要請による派遣実績と活動概要】

①鹿児島市の障害者支援施設　2022.7/26
・感染症対策に関わる現状の確認、食事介助・入浴介助・手指衛生・職員支援

②鹿児島市の療育施設　2022.11/24
・感染症対策に関わる現状の確認、主にクリスマス会の実施に関する対策として、環境整備・空調・手指衛生・体調管理・観覧席の工夫について助言

（５）谷山病院　感染管理認定看護師　中尾明美

【鹿児島県の要請による派遣実績と活動概要】

①奄美大島の障害者支援施設（2施設）　2022.12/12 ～ 13
・施設の感染対策の現状確認と感染症の基礎知識及び感染症対策についての助言

4．慈愛会各施設の一年のあゆみ

	主なできごと
2022年 4月	【慈愛会】 第 73 期入職式　新卒 94 人、既卒 19 人、計 113 人が慈愛会入職（4/1） 【いづろ今村病院】 新院長に常盤光弘医師が就任（4/1） 【愛と結の街】 通所リハを短時間利用・1 日型利用のハイブリッド運用開始 【鹿児島中央看護専門学校】 3 年課程第 20 期生 45 人入学 放送大学 1 学期入学生 10 人
5月	【今村総合病院】 垂水市と包括連携協定を締結（5/10） ダビンチを使用してのロボット支援手術初症例 ボランティア清掃活動じあいの時間実施（5/23） 【鹿児島中央看護専門学校】 19 期生　民泊（5/31･6/1） 【慈愛会】 第 3 回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会開催（5/14）
6月	【今村総合病院】 鴨池校区コミュニティ協議会と包括連携協定を締結（6/16） 【鹿児島中央看護専門学校】 イブニングガイダンス開催（6/17、第 2 回：9/16） 【慈愛会】 今村英仁理事長 日本医師会常任理事就任（6/25）
7月	【高麗町クリニック】 新院長に木原浩一医師が就任（7/1） 【慈愛会】 第 2 回慈愛会学会学術集会　開催（7/9） 大会長：宇都宮與 今村総合病院名誉院長兼臨床研究センター長 【愛と結の街】 鹿児島市の実地指導受ける：居宅、住宅型有料老人ホーム、ヘルパーステーション、デイサービス（はなぶさ） 【鹿児島中央看護専門学校】 オープンキャンパス開催（7/23・30）
8月	【鹿児島中央看護専門学校】 3 年目サポートキャンパス開催（8/27） 【高麗町クリニック】 訪問診療専属運転手の採用
9月	【奄美病院】 「認知症サポートキャラバン『ロバ隊長』をみんなで完成させよう！」企画を院内外で展開 【徳之島病院】 ミャンマーからの技能実習生 研修期間修了 外部団体による音楽ミニコンサート開催（9/22） 【愛と結の街】【奄美病院】 部署・病棟毎に敬老会開催

第 73 期入職式　今村理事長式辞

垂水市との包括連携協定締結式

第 3 回心に届く慈愛の物語を紡ぐ会

第 2 回慈愛会学会学術集会

高麗町クリニック　訪問診療専属運転手採用

奄美病院　「『ロバ隊長』をみんなで完成させよう！」院内イベント

	主なできごと
10月	【鹿児島中央看護専門学校】 第 20 期生戴灯式（10/4） 2023 年度推薦入学選考試験（10/22） 【高麗町クリニック】 血液生化学検査を今村総合病院に移行 【徳之島病院】 病棟秋祭り開催（11 月まで順次） 【愛と結の街】 通所リハ利用者増への対応及び業務効率を図るため通所リハ・はなぶさ合同送迎プロジェクト立ち上げ 【今村総合病院】 轟原与織理学療法士・鮫島智志理学療法士が「いちご一会とちぎ国体」で、選手のトレーナーとして鹿児島県代表チームに帯同
11月	【今村総合病院】 日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会開催（11/4･5）大会長：帆北修一院長 【いづろ今村病院】 施設基準等に係る適時調査実施 【鹿児島中央看護専門学校】 20 期生　地域 . 島嶼体験（11/6-11/12） 2023 年度入学選考試験（11/26） 【徳之島病院】 島嶼医療研修の鹿児島中央看護専門学校学生受け入れ
12月	【今村総合病院】 前立腺がんに対する密封小線源療法初症例 ボランティア清掃活動じあいの時間実施（12/12） 【愛と結の街】 グループホーム食事提供見直し協議開始 【鹿児島中央看護専門学校】 18 期生ケーススタディ発表会（12/14･15） 1 年目サポートキャンパス開催（12/24）
2023年 1月	【今村総合病院】 施設基準等に係る適時調査実施 【いづろ今村病院】 病床再編工事開始（2 月完工） 【愛と結の街】 生産性向上推進事業（NTT 研究所）通所リハで参加
2月	【鹿児島中央看護専門学校】 第 112 回看護師国家試験（2/12）3 年課程 52 人、2 年課程既卒生 108 人受験
3 月	【いづろ今村病院】 病床再編　急性期 35 床（－ 7）､地域包括ケア 58 床（＋ 5）､緩和ケア 22 床（＋ 2） マンモグラフィ検診施設・画像認定取得 【鹿児島中央看護専門学校】 3 年課程卒業式（3/3）18 期生 52 人 看護師国家試験合格発表　3 年課程 51 人、2 年課程既卒生 27 人合格 【今村総合病院】 第 7 回絵画コンクール表彰式（3/25） 【慈愛会各病院施設】 オンライン資格認証対応システム導入（4 月にかけて順次）

徳之島病院　病棟秋祭り

鹿児島中央看護専門学校　戴灯式

日本医療マネジメント学会第 20 回九州・山口連合大会

グループホーム愛と結の街　食事提供見直し協議開始

いづろ今村病院　マンモグラフィ検診
施設・画像認定取得

オンライン資格認証対応システム導入

編 集 後 記

慈愛会年報作成委員会　副委員長
公益財団法人慈愛会今村総合病院　名誉院長兼臨床研究センター長
宇都宮 與

法人年報第7号の完成､作成に携わられたスタッフの皆さん､ご苦労様でした｡法人年報は､施設別の年度総括、指標（実績)、業績の報告に加え、部門別にも同じ形式の報告がなされています。各病院や事業所の活動実態や人事異動が手に取るようにわかり、法人活動にとって羅針盤のような役割を果たします。コロナ禍においても実績を伸ばしたところや影響を受け、厳しい結果になったところもありました。いずれも今後の飛躍の重要な指標になると信じています。今回併設事業所の活動実績と年度総括が加えられ、より詳細に全体像を把握することができるようになりました。

学術的には2022年度は大きなイベントとして第2回慈愛会学会学術集会に加え、帆北修一大会長のもと日本医療マネジメント学会第20回九州・山口連合大会が11月4-5日にかごしま県民交流センターにおいて盛大に開催されました。それぞれ年報の業績覧に記載され、前年度より充実した内容になりました。

慈愛会職員が積極的に法人年報に目をやり、法人がさらに発展することに繋がることを祈念します。

慈愛会年報作成委員会
委 員 長　納 光弘（公益財団法人慈愛会 会長）
副委員長　宇都宮 與（公益財団法人慈愛会今村総合病院 名誉院長 兼 臨床研究センター長）
委　　員　栗ヶ窪 みゆき（今村総合病院)、山名 舞子（いづろ今村病院)、松山 匡博（谷山病院)、白原 弘紀（奄美病院）
芳 あずさ（徳之島病院)、前田 有架（愛と結の街)、濵下 千浪（鹿児島中央看護専門学校）
黒瀬 寛（高麗町クリニック)、内田 良慶・中馬 敦志・瀬涯 里花（法人事業本部）

公益財団法人慈愛会　年報
第7号

発 行 日　2023年7月
発 行 者　今村 英仁
発 行 所　公益財団法人慈愛会
鹿児島県鹿児島市鴨池新町6番4号
TEL 099(256)0311
編　　集　慈愛会年報作成委員会
制作・印刷　株式会社イースト朝日
鹿児島県鹿児島市南栄3丁目30-7
TEL 099(266)5522

医療の原点は慈愛にあり